

YAESU

The radio

50/144/430MHz

TRIPLE-BAND HEAVY DUTY
SUBMERSIBLE TRANSCEIVER

STANDARD

VX-8D

取扱説明書



かんたん操作

お使いになる前に

各部の名称と操作

レピーター運用/WIRES運用

メモリーを使う

スキャンを使う

Bluetooth®機能を使う

GPS機能を使う

APRS®機能を使う

各種の便利な機能

特定の相手局との交信

必要に応じて使う機能

付 録

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

正しくお使いいただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。

お読みになった後は、大切に保管してください。

この取扱説明書に記載の社名・商品名などは、各社の商標または登録商標です。

本機を使用するためには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。

また、アマチュア無線以外の通信には使用できません。

目次

かんたん操作	4
準備しよう	4
アンテナを取り付ける	4
ベルトクリップまたは保護板を取り付ける	4
ハンドストラップを取り付ける	5
電池パックを取り付ける/取り外す	5
電池パックを充電する	6
乾電池ケース「FBA-39」の使いかた	7
使用時間の目安と残量表示(電池パック, 乾電池)	7
車載用外部電源「SDC-13」を接続する	8
電源ケーブル「DC-6」で外部電源に接続する	9
交信してみよう	10
1. 電源を入れる	10
2. 音量を調節する	10
3. 操作/バンドを選択する	11
4. 周波数帯(BAND)を選ぶ	12
5. 周波数をあわせる	13
6. 送信する	14
ラジオを聴いてみよう	15
セットモードとは	16
時計をセットしよう	17
お使いになる前に	18
安全上のご注意	18
電波を放射する前に	21
特長	22
同製品を確認する	23
各部の名称と操作	24
各部の名称と働き	24
テンキーの説明	25
ディスプレイの説明	26
音声をミュートする	27
送信出力を切り替える	27
スクロールのレベルを調節する	28
マニュアルでステップを切り替える	28
マニュアルでモードを切り替える	29
状態が変わらないようにロックする	29
オールリセットをする	29
レピーク運用/WIRES運用	30
レピークで交信する	30
WIRFSで交信する	31
メモリーを使う	38
多彩なメモリー機能	38
メモリーに書き込む	39
スプリットメモリー	39
メモリーを呼び出す	40
ホームチャンネルを呼び出す	40
ホームチャンネルの周波数を変更する	40
メモリーチャンネルの内容を一時的に変える(メモリーチューン機能)	41
メモリーを消す	41
消したメモリーを復活する	41
メモリータグを使う	42
メモリーに名前をつける	42
メモリータグを表示する	43
メモリーバンクを使う	44
メモリーバンクに登録する	44
メモリーバンクを呼び出す	45
メモリーバンクへの登録を解除する	46
メモリーバンクに名前をつける	46

便利なスペシャルバンク	48
スペシャルバンクのTV専用メモリーでTV放送を聴く	49
スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く	50
スペシャルバンクを呼び出して国営NH(マリン)無線を聴く	52
スペシャルバンクを呼び出して世界各地の放送 AM/FMラジオ, TV放送を聴く	53
スペシャルバンクを呼び出して特定1電力無線を聴く	54
スペシャルバンクを呼び出してワイヤレスマイクを聴く	55
スペシャルバンクを呼び出して緊急無線/消防無線を聴く	56
スキャンを使う	58
VFOスキャン	58
スキップしたくない周波数をスキップする(スキップサーチメモリー)	59
スキャンストップ時の受信方法を設定する	59
メモリースキャン	60
スキップメモリー/指定メモリーを設定する	61
指定メモリーを設定したメモリーチャンネルのみをスキャンする	61
メモリーバンクスキャン	62
メモリーバンクリンクスキャン	63
プログラマブルメモリースキャン(PMS)	64
プログラマブルメモリーに書き込む	64
プログラマブルメモリースキャンをする	64
Bluetooth®機能を使う	65
Bluetooth®ヘッドセットを使う(オプションのユニット「BU-2」を使用)	65
Bluetooth®ユニット「BU-2」の取り付け	65
Bluetooth®ヘッドセットの充電方法(充電時間:約3時間)	66
Bluetooth®ヘッドセットで運用できる	66
時間の目安(内蔵電池の運用時間)	66
Bluetooth®の初期設定(ペアリング操作)	67
Bluetooth®ヘッドセットの使いかた	68
Bluetooth®ヘッドセットの送信切り替え方法の設定	69
GPS機能を使う	70
GPSアンテナユニットの取り付け	70
防水型スピーカーマイク「MH-74A7A」による取り付け方法	70
GPSアンテナ接続アダプター「CT-136」による取り付け方法	71
GPS機能を使う(オプションのGPSアンテナユニット「GPS-2」が必要です)	72
GPSとは?	72
GPSの測定方法	72
GPS画面の説明と操作	73
APRS®機能を使う	74
APRS®の初期設定	74
APRS®運用の初期設定の流れ	74
GPSアンテナユニットを接続してAPRS®を運用する場合	75
GPSアンテナユニットを接続せずAPRS®を運用する場合	75
時計の設定	75
位置情報の設定	76
自身のコールサインを設定する	77
APRS®ボーレートの設定	78
自身のシンボルを設定する	79
シンボル文字の直接入力(USERモード)	80
APRS®ビーコンを受信する	82
ビーコンを受信する	82
APRS®ビーコン/画面とキー操作の説明	82
ビーコン局をリストから削除する	93
RAW/バケットデータの表示	94
APRS®ビーコンを送信する	96
ビーコンを手動で送信する	96
ビーコンの手動送信/自動送信の切り替え	96
ビーコンの自動送信間隔を設定	97
Smar tBeaconing™を設定する	98
ステータステキストの入力	99
ポジションコメントの選択	100
デジビータールトの設定	101

目次

APRS*メッセージを受信する	102
APRS MESSAG 画面とキー説明	102
受信/送信 詳細画面とキー説明	102
編集 画面とキー説明	103
メッセージを受信する	104
受信メッセージのフィルタ設定	105
メッセージをリストから削除する	106
APRS*メッセージを送信する	107
メッセージの作成と送信	107
1文字づつ入力して送信する	107
定型文から作成して送信する	108
返信機能	108
定型メッセージの登録	109
メッセージの受信確認データ(AOK)	110
APRS*/GPSセットモード番号順一覧表	111
APRS*/GPSセットモード動作一覧表	112
APRS*ベル音リスト	120
各種の便利な機能	121
ラジオ放送を聞きながら他の周波数を同時受信をする(AF-DUAL機能)	121
AF-DUAL受信機能でラジオを聴く	121
ラジオ受信の再開時間の設定	122
ラジオアンテナの切り替え	123
自分の行方を仲間探索してもらおう(EAI機能)	124
EAI機能の設定の流れ	125
個別コードを設定する	125
EAI用周波数を変更したい場合	125
EAI機能を動作させる	126
呼び出したい相手のEAIコードを設定する	127
緊急を知らせる(Eマージンジー機能)	128
周波数を調べる(チャンネルカウンター)	129
サーチ幅を変更する	129
受信信号の周波数を一時的に記憶する(スマートサーチ)	130
指定した周波数の範囲をスマートサーチする	131
盗聴器を探し出す(盗聴器発見機能サーチ)	132
VX-80の電源電圧で信号を探す(スワトラムスコープ機能)	133
VX-80の電源電圧を表示する(電源電圧表示機能)	133
VX-80内部の温度を表示する(温度表示機能)	134
受信信号/変調信号の波形を表示する(受信信号/変調信号の波形表示機能)	134
気圧を表示する(気圧表示機能)	135
高度を表示する(高度表示機能)	135
仲間にメッセージを送る(メッセージ機能)	136
メッセージ機能の設定の流れ	136
メンバーIDの登録	136
MY IDの設定	137
メッセージ登録	138
メッセージの送信	139
メッセージの受信	139
デュアルレシーブ(DW)機能	140
ダイアルデュアルレシーブ	140
メモリーデュアルレシーブ	140
HOMEチャンネルデュアルレシーブ	141
プライオリティリポート	141
DTMF機能	142
DTMFコードを登録する	142
入力したDTMFコードを音で確認する	143
登録したDTMFコードを送出する	144
マニュアルでDTMFコードを送出する	144
自分のコールサインを自動に送出する(CW ID機能)	145
相手局と交信可能かチェックする(ARIS機能)	146
設定以上の信号を受信したときのみ音声を出力させる (メモータススケルチ機能)	147

特定の相手局との交信	148
トーンスケルチ機能/DOS機能	148
トーンの周波数を設定する	149
相手局が使用しているトーンスケルチの周波数がわからないとき	149
DOSコードを設定する	150
相手局が使用しているDOSコードがわからないとき	150
相手からの呼び出しをベルで知らせる(ベル機能)	152
ベル音の回数を変更する	152
好みのベル音をつくる	153
特定の局だけを呼び出しすることができる(新ページャー機能)	154
ページャー機能の操作の流れ	154
自局のコードを設定する	154
新ページャー機能を動作させる	155
特定の局を呼び出す	155
相手から呼ばれる(待ち受け時の動作)	156
必要に応じて使う機能	157
パスワード機能	157
照明の点灯条件を変更する	158
ストロボをライトとして使用する	158
BUSYインジケータをOFFにする	158
操作音の音量を設定する	159
操作音がならないようにする	159
音量の設定方法を変更する	159
電池の電圧を表示する(電源電圧表示機能)	160
温度・気圧・高度3種類を表示する(温度・気圧・高度表示機能)	160
指定した時間に電源をオンにする(オンタイマー機能)	161
指定した時間に電源をオフにする(オフタイマー機能)	161
自動的に電源をオフする(APO機能)	162
連続送信時間を制限する(TOT機能)	162
何も受信していないときに受信セーブをする(受信セーブ機能)	163
相手局の信号強度がフルスケールの場合も送信出力を下げる (送信セーブ機能)	163
受信中に誤って送信しないようにする(BLO機能)	164
マイク感度を調節する(マイクゲイン)	164
音声で自動送信する(VOX機能)	165
受信感度を下げる(ATT)	166
電源を入れたときの表示を変える(オープニングメッセージ)	166
S/P0メーターの表示を変更する	167
メモリーした周波数だけで運用する(メモリーオンリーモード機能)	167
自分がよく使用するバンドだけを表示する(マイバンド機能)	168
インターネットキーの動作をマイキーに変更する	169
マイキーの登録を変更する	169
CW学習機能	170
CWトレーニング機能	172
セットモード番号順一覧表	174
セットモード項目別一覧表	178
セットモードの動作一覧表	180
セットモードリセット	180
セットモードの非表示設定	180
パケット通信に使う	196
クローン操作	197
付録	198
プリセットされている放送局周波数一覧表	198
TVチャンネル/周波数一覧表	202
JR鉄道無線周波数一覧表	203
文字コード一覧表	204
周波数の使用区分	209
アマチュア無線免許申請書類の書きかた	210
オプション	212
故障かな?と思ったら	213
索引	214
定格	217
キー操作早見表	219

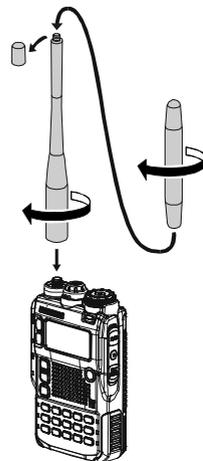
準備しよう

アンテナを取り付ける

アンテナのコネクターに近い太い部分を持って、時計方向に回しながら取り付けます。

50MHz帯で送受信する場合や、AMラジオや短波帯の放送を受信する場合は、キャップを外して延長エレメントを取り付けます。

- アンテナの取り付け/取り外し時には、アンテナの上部を持って回さないでください。アンテナの内部で断線する場合があります。
- アンテナを取り付けない状態で送信しないでください。送信回路が損傷する場合があります。
- 付属以外のアンテナを使用する場合や、外部のアンテナを接続する場合には、SWRが1.5以下に調整されたものを使用してください。
- 延長エレメントを取り付けた時に先端のキャップを無くさないように保管してください。延長エレメントを外したときは、必ずキャップを取り付けてください。キャップはアンテナの一部で、外したまま送信するとアンテナとのマッチングが取れず、故障の原因になります。
- 延長エレメントを取り付けた状態でも、144MHz/430MHz帯での送受信やTV放送などの受信をすることができます。



かんたん操作

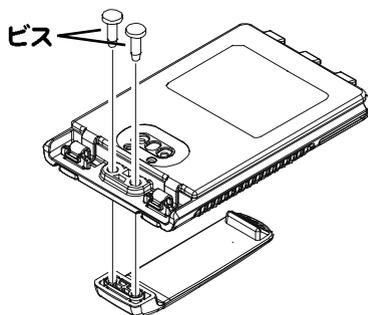
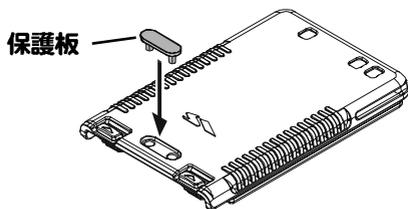
ベルトクリップまたは保護板を取り付ける (付属品)

◎保護板の取り付け

付属品の保護板を電池パックのベルトクリップ取り付け穴へ(丸穴2箇所)押し込んで取り付けます。

◎ベルトクリップの取り付け

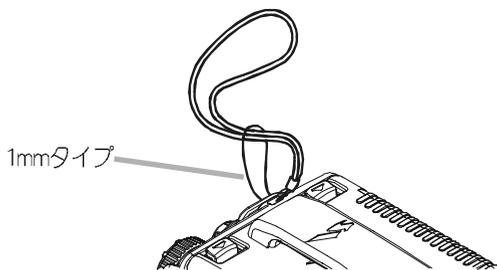
電池パックを裏面にし、付属のビス2本でベルトクリップを取り付けます。



- ベルトクリップの固定には、必ず付属のビスを使用してください。他のビスを使用すると、しっかり固定できなったり、本機の内部に損傷を与える場合があります。
- ベルトクリップを使用しないときは、電池パックに保護板を取り付けてください。

市販のハンドストラップを取り付ける

取り付けひもが1mmタイプのストラップを取り付けてください。

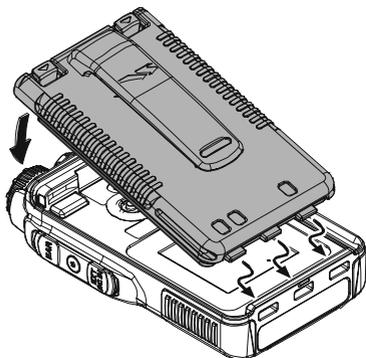


電池パックを取り付ける/取り外す

お買い上げ直後または長期間使用していない電池パックは、充電してからお使いください。
ご注意: ロックを外すときには、指や爪などを傷めないよう、十分注意してください。

◎ 取り付ける

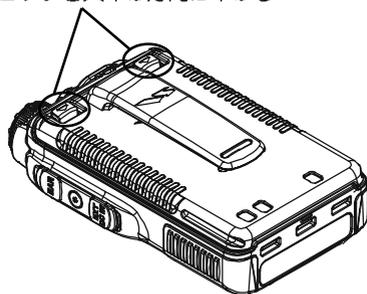
1. 本機の背面下部にある凹み部分に電池パックの突起部分を差し込みます。
2. 電池パックの上面にある左右のロックを「カチッ」と音がするまで押しこみます。



◎ 取り外す

電池パックの上部左右にあるロックを矢印の方向に下げながら、電池パックを外します。

ロックを矢印の方向に下げる



電池パックを充電する

電池パック (リチウムイオン電池)について

- 電池パックは、繰り返し使用できる充電可能なリチウムイオン電池を使用しております。
- 電池パックには、付属のFNB-101LI (7.4V, 1100mAh)とオプションのFNB-102LI (7.4V, 1800mAh)の2種類の電池パックがあります。
- 電池パックを充電すると規定値 (7.4V) より高い電圧 (約8V) になりますが、故障ではありません。
- 電池パックは、約300回の充放電が可能ですが、過充電や過放電などの無理な条件が重なると寿命が短くなります。
- 電池パックは消耗品です。充放電を繰り返すと使用できる時間が徐々に短くなります。
- VX-8Dに電池パックを取り付けた状態で長期間放置すると電池パックの劣化を早める原因になります。
- 長期間放置/保管するときは、必ずVX-8Dから電池パックを外してください。また、過放電を防止するために、半年に1回程度の充電 (50%程度) を行ってください。
- 高温の場所で保管すると、劣化の進行を早めることがあります。なるべく低温状態で保管してください。
- 電池パックを落としたり衝撃を与えると、破損の原因になります。

1. VX-8Dに電池パックを取り付けます。
2. VX-8Dの  を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
3. 付属のバッテリーチャージャー (PA-48A) を、VX-8Dの EXT DC IN端子に接続して充電します。

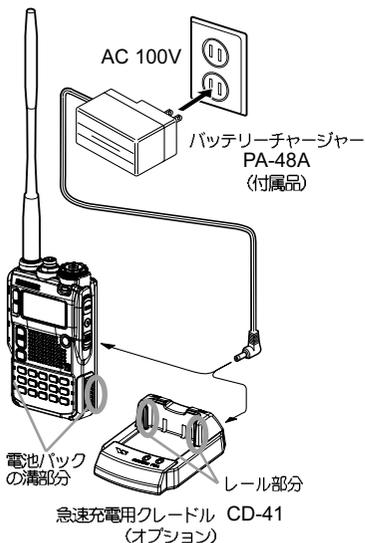
充電中は  が赤色に点灯し、ディスプレイに「充電中」の文字が表示され棒グラフでチャージ量が表示されます。充電が終わると表示が「充電完了」に変わり、 が緑色に点灯します。

4. 約5時間 (オプションのFNB-102LIは約8時間) で充電は完了します。

オプションの急速充電器 (CD-41) を使うと、約2時間半 (オプションのFNB-102LIは約4時間) で充電できます。電池パックの溝をCD-41のレールに合わせてVX-8Dを差し込みます。

このときには「充電中」や「充電完了」、棒グラフでのチャージ量は表示されませんが、CD-41のランプで充電状態を知ることができます (充電中:赤色に点灯→速い点滅→遅い点滅 → 充電完了:緑色に点灯)。

5. 充電が終了したらVX-8Dからバッテリーチャージャーを外してください。



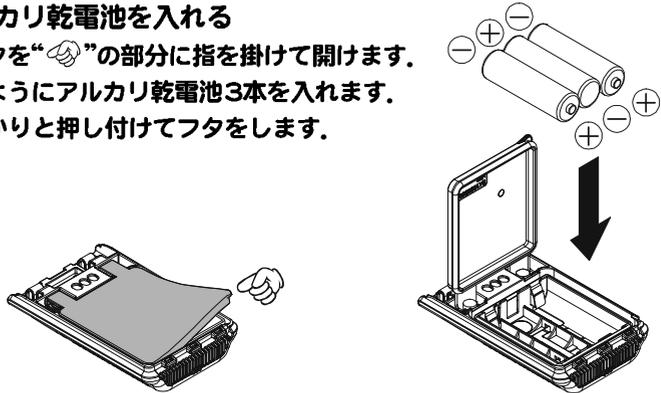
- 使用中にバッテリーチャージャーが発熱する場合がありますが故障ではありません。
- 充電は、周囲の温度が+5℃~+35℃の場所で行ってください。
- 電池パックが消耗すると“”が点滅します。すみやかに充電してください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、充電専用です。受信や送信をすることはできません。
- 充電中にテレビやラジオにノイズが入ることがありますので、できるだけ離して充電してください。
- 「バッテリー未装着」が表示され、11時間経過しても充電が完了しない場合は、充電を止めてください。再度、電池パックを充電しても警告が出るようでしたら、電池パックの寿命または不良かもしれません。新しい電池パックに交換してください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

乾電池ケース“FBA-39”の使いかた - オプション -

オプションの乾電池ケース“FBA-39”を用意しておくと、単三形アルカリ乾電池3本で運用することができます。なお、アルカリ乾電池を使用した場合の送信出力は、ローパワー(L2): 1W, ローパワー(L1): 0.05Wが選択することができます。ハイパワーとローパワー(L3)に切り替えることはできません。

乾電池ケースにアルカリ乾電池を入れる

1. 乾電池ケースのフタを“☞”の部分に指を掛けて開けます。
2. 極性を間違えないようにアルカリ乾電池3本を入れます。
3. フタの四隅をしっかりと押し付けてフタをします。



かんたん操作

- 乾電池が消耗すると、ディスプレイの“L”が点灯し、さらに消耗すると点滅します。
- 使用できる乾電池はアルカリ乾電池だけです。マンガン乾電池は使用できません。また、単三形の二次電池(充電電池)も使用できません。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用すると、乾電池の寿命を短くすることがあります。
- 長時間使用しない場合は、乾電池ケース“FBA-39”から乾電池を取り外しておいてください。
- 乾電池の場合は、AMで送信しているときに電池が消耗してくると過変調になり、了解度が悪くなる場合があります。
- とくどき乾電池ケース“FBA-39”の端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく使用できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

使用時間の目安と残量表示

満充電した電池パックおよび、単三形アルカリ乾電池で使用できる時間の目安は次のとおりです。

使用バンド	電池パック		乾電池	アイコン表示	
	FNB-101Li	FNB-102Li	FBA-39		
アマチュアバンド	50MHz帯	約5.5時間	約9.0時間	約20時間	■■■■：十分使えます。 ■■■：まだ使えます。 ■■■：残りわずかです。 ■■：空になりました。 ■：充電してください (点滅) ■：すぐに充電してください
	144MHz帯	約5.0時間	約8.5時間	約17時間	
	430MHz帯	約5.0時間	約8.0時間	約16時間	
AMラジオ放送帯, FMラジオ放送帯		約13時間	約20時間	約20時間	

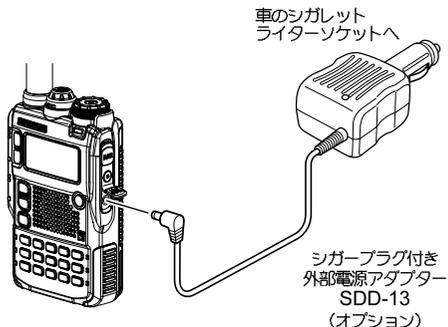
上記の目安は次の使いかたの場合です。

- アマチュアバンド：ハイパワーで送信6秒、受信6秒、待ち受け48秒の繰り返し
- その他のバンド：連続受信
- 上記の使用時間は目安です。実際に使用できる時間は、使いかたや温度などによって異なります。

車載用外部電源“SDD-13”を接続する - オプション -

オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター (SDD-13) を使用すると、車から運用することができます。

1. VX-8Dの $\text{\textcircled{I}}$ を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
2. オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター (SDD-13) の無線機側のプラグを、VX-8DのEXT DC IN端子に接続します。
3. シガープラグ付き外部電源アダプターのシガープラグを、車のシガレットライターソケットに接続します。



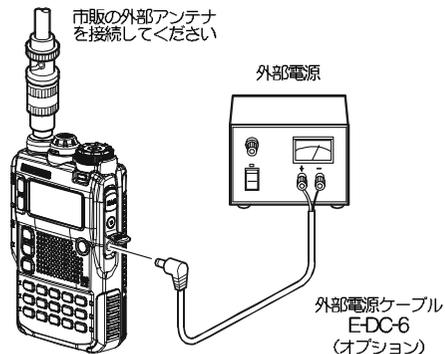
- 電池パックを取り付けて外部電源を使用すると、電池パックを充電することができます。充電時間は約5時間(オプションのFNB-102Lは約8時間)です。なおVX-8Dの電源をオンにして充電すると、充電時間は多少長くなります。
- シガープラグ付き外部電源アダプター (SDD-13) を使用すると、充電中に送信することもできます。
- 電池パックが満充電になると、過充電保護回路が働き充電は終了します。
- 乾電池ケースを装着した場合でも、外部電源を使用することができます。
- SDD-13はDC12Vのシガレットライターソケットに対応していますので、DC24Vのシガレットライターソケットには接続しないでください。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえることができます。
- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。
- 長時間 (7時間以上) 使用するときは電池パックを外し、オプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することをお勧めします。
- VX-8Dの電源をオフの状態 で外部電源を接続すると、ディスプレイに「外部電源接続」と表示され、約20秒後「バッテリー未装着」と表示されます。
- 満充電の状態 で繰り返し充電を行うと、電池パックの寿命を短くすることがありますので、外部電源で運用するときは、十分ご注意ください。
- 周囲の温度が+5℃~+35℃の場所で充電を行なってください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- とくどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく充電できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

電源ケーブル“E-DC-6”で外部電源に接続する - オプション -

外部電源を接続して、運用することができます。

ご注意： 電池パックが満充電になっても充電を続けると、過充電になりますので、電池パックを外してオプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することを勧めます。

1. VX-8Dの⑤を1秒以上押して電源を“オフ”にします。
2. オプションの外部電源ケーブル(E-DC-6)の赤黒線または白黒線を外部電源のプラス(+)端子、黒線を(-)端子に接続します。
外部電源の電圧は12~14V以内に設定し、運用してください。
3. 外部電源ケーブルのプラグを、VX-8DのEXT DC IN端子に接続します。



- 電池パックを取り付けて外部電源を使用すると、電池パックを充電することができます。電源電圧が12Vの時、充電時間は約5時間(オプションのFNB-102は約8時間)です。なおVX-8Dの電源をオンにして充電すると、充電時間は多少長くなります。
- 乾電池ケースを装着した場合でも、外部電源を使用することができます。この場合「バッテリー未装着」とVX-8DのLCDに表示されますが、電池パックが未装着であることをメッセージとして表示していますので、乾電池ケースを装着した状態で問題なく使用することができます。
- 外部電源に外部電源ケーブル(E-DC-6)を接続して使用する場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ 電源電圧が12V~14Vの範囲であること(14Vを超えると高電圧プロテクトが動作し、ハイパワーで送信できなくなります。自動的にL3(2.5W)になり、パワーが下がります)。また電源電圧が16Vを超えるとVX-8Dの電源回路が破損し、故障の原因になりますのでご注意ください。
 - ・ 外部電源ケーブル(E-DC-6)の赤黒線または白黒線をプラス(+), 黒線を(-)に接続すること。
 - ・ 電流量に十分余裕のあるもの(3A以上)をご使用ください。
 - ・ 付属のアンテナを接続して使用すると、安定化電源が誤動作を起こし故障の原因になります。外部アンテナを接続して、VX-8Dを外部電源から十分な距離をおいてください。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえることができます。
- 長時間の連続送信はしないでください。本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。
- 満充電の状態から長時間(7時間以上)使用するときは電池パックを外し、オプションの乾電池ケース“FBA-39”を装着して、運用することをお勧めします。
- VX-8Dの電源をオフの状態では外部電源を接続すると、ディスプレイに「外部電源接続」と表示され、約20秒後「バッテリー未装着」と表示されます。
- 満充電の状態でも繰り返し充電を行うと、電池パックの寿命を短くすることがありますので、外部電源で運用するときは、十分ご注意ください。
- 周囲の温度が+5℃~+35℃の場所で充電を行なってください。
- EXT DC IN端子を使用しているときは防水効果はありません。
- ときどき端子や電極を乾いた布や綿棒で拭いてください。端子や電極が汚れていると、接触不良になって正しく充電できないばかりではなく、発熱・破裂などの原因になります。

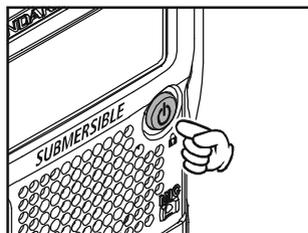
交信してみよう

1. 電源を入れる

Ⓞを1秒以上押すと電源がオンになります。

電源をオンにするとオープニング画面が表示され、2つの周波数を同時に表示して受信します。

工場出荷時には、上段側(A/バンド)に145.000MHz、下段側(B/バンド)に433.000MHzの周波数が設定されています。



もう一度、Ⓞを1秒以上押すと電源がオフになります。

セットモードの『65 OPENING MESSAGE』により、電源を入れたときに表示する電源電圧やコールサインなどを変更することができます。また、オープニングメッセージを表示せずに、すぐに受信周波数を表示することもできます(※p. 65)。

かんたん操作

2. 音量を調節する(Aバンド, Bバンド個別に音量調節ができます)

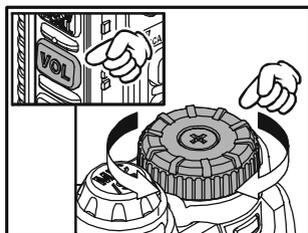
1. 音量を調節したいバンドを操作バンドに設定します。

Aバンドの音量を調節する場合は **A**  を押します。

Bバンドの音量を調節する場合は **B**  を押します。

2. **VOL** を押しながらDIALツマミをまわして、受信音を調節します。

音量によってディスプレイの音量ボリューム棒グラフが点滅しながら振れ、さらに“SP VOLUME #”(*:0~32までの数字)が表示されます。



3. **VOL** を離すと音量調節は解除されます。



音量ボリューム棒グラフが点滅

SP VOLUME 0 ~ SP VOLUME 32が表示

○ **DIALツマミ**を音量ツマミ専用として使用することができます。

[BW]を押してから**[VOL]**を押し(A/バンドB/バンド両方の音量ボリューム棒グラフが点滅) **DIALツマミ**をまわすと、受信音を調節することもできます。もう一度 **[BW]**を押してから**[VOL]**を押すと音量調節は解除されます。

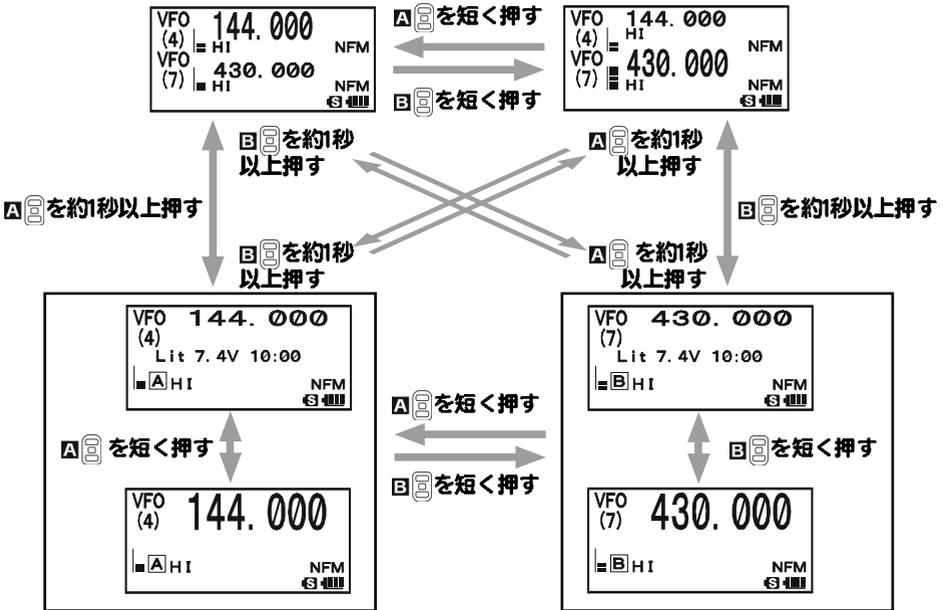
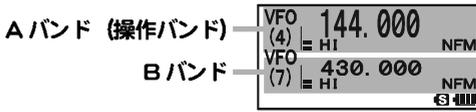
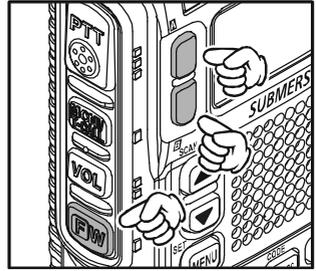
○ 側面のEAF端子に市販のステレオイヤホンを接続すると、左側からA/バンド、右側からB/バンドの音声が出力されます。また、個別に音量調節をすることができます(ディスプレイに“**HP VOLUME #**”(*:0~32までの数字)が表示)。音量を調節したいバンドを操作バンドにして音量を調節してください。

○ プラグの形状によっては、使用できないステレオイヤホンがあります。あらかじめご確認ください。

○ 音量を調節するときにスピーカーから何も聞こえていない場合は、**[MONI]**を押して「ザー」という雑音を聞きながら音量を調節してください。

3. 操作バンドを選択する

大きな文字で表示している周波数を“操作/バンド”といい、“周波数の変更操作”や“送信操作”などが行えます。上段側(A/バンド)または下段側(B/バンド)キーを押して操作/バンドを選びます。



かんたん操作

- A/バンドは50MHz帯、144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線 (HAM BAND) の周波数帯でNFM(50MHz帯はAMも可能)が送受信することができます。送受信が行なえる他に、中波ラジオ放送帯、短波ラジオ放送帯、FMラジオ放送帯、VHFテレビ、UHFテレビ、航空無線帯、情報無線(1)、情報無線(2)などの受信機としても使える機能が搭載されています。
- B/バンドは50MHz帯、144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線 (HAM BAND) の周波数帯でNFM(50MHz帯はAMも可能)の送受信をすることができます。送受信が行なえる他に、航空無線帯、情報無線(1)の受信機能が搭載されています。
- 現在、どの周波数帯を選択しているかディスプレイの左側に[1]~[9]の番号が表示されます(各周波数帯の番号は右記参照)。
- A/バンドとB/バンドを同時受信できますので、ラジオを聞きながらアマチュア無線を受信したり、同じ周波数帯のアマチュア無線を2波同時に受信することができます(V+V/U+U: 2波同一バンド受信)。
- 周波数帯と受信周波数の関係は58ページを参照してください。

A/バンド、B/バンド周波数帯表

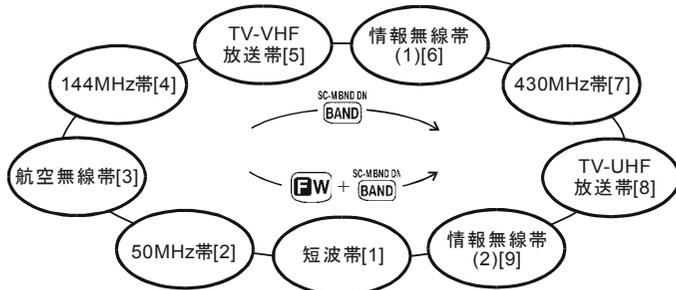
周波数帯番号	A/バンド	B/バンド
[1]	短波ラジオ放送帯	--
[2]	50MHz帯HAM	50MHz帯HAM
[3]	航空無線帯	航空無線帯
[4]	144MHz帯HAM	144MHz帯HAM
[5]	VHF TV4~12CH	174~222MHz帯*
[6]	情報無線帯(1)	情報無線帯(1)
[7]	430MHz帯HAM	430MHz帯HAM
[8]	UHF TV放送帯	470~580MHz帯*
[9]	情報無線帯(2)	--
[A]	中波ラジオ放送帯	--
[F]	FMラジオ放送帯	--
[T]	VHF TV1~3CH	--

※: WFM(ワイドFM)モードに設定できません
 h.u.

4. 周波数帯 (BAND) を選ぶ

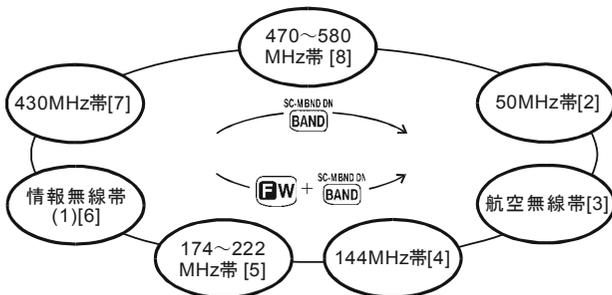
◎ Aバンドを選択した場合

- A** を押してから ^{SC-MBND ON} (BAND) を押して、周波数帯を選択します。
FW を押した後 ^{SC-MBND ON} (BAND) を押すと、反対方向に切り替わります。



◎ Bバンドを選択した場合

- B** を押してから ^{SC-MBND ON} (BAND) を押して、周波数帯を選択します。
FW を押した後 ^{SC-MBND ON} (BAND) を押すと、反対方向に切り替わります。



- 現在、どの周波数帯を選択しているかディスプレイの左側に [1]~[9]の番号が表示されます(各周波数帯の番号は上記参照)。
- 工場出荷時のA/Bバンドは145.000MHzの周波数帯、B/Bバンドは433.000MHzの周波数帯を表示します。
- 周波数帯と受信周波数の関係表は58ページを参照してください。
- B/BバンドはWFM(ワイドFM)モードに設定できません。
- ^{EMG R/H} (FM/RV) を押すと、周波数帯のホームチャンネルが呼び出されます(※p.40)。
- 自動的に周波数帯に適したモードに切り替わる“AUTO (オートモード)”に設定されていますが、^{SPS SQ TV} (MODE) を押すたびにマニュアルでAUTO、NFM、AM、WFMに設定することができます(※p.29)。

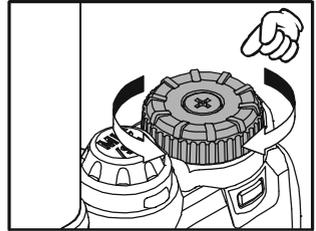
5. 周波数をあわせる

「DIALツマミで周波数あわせる」、「テンキーで直接周波数を入力する」2種類の方法があります。

1) DIALツマミで周波数をあわせる

DIALツマミを右にまわすと周波数は高くなり、左にまわすと低くなります。

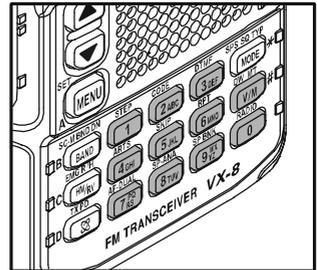
また、**[V/M]**を押した後DIALツマミをまわすと、1MHz単位で変化します。



2) テンキーで直接周波数を入力する

[DW MT/V/M]を押してVFOモードにします。

入力方法は例として下記のように行います。



145.520 MHz の場合は **[STEP 1]** → **[ARTS 4GHI]** → **[SKIP 5JKL]** → **[SKIP 5JKL]** → **[CODE 2ABC]**

15.255 MHz の場合は **[RADIO 0]** → **[STEP 1]** → **[SKIP 5JKL]** → **[CODE 2ABC]** → **[SKIP 5JKL]** → **[SKIP 5JKL]**

1.242 MHz (1242 kHz) の場合は **[RADIO 0]** → **[RADIO 0]** → **[STEP 1]** → **[CODE 2ABC]** → **[ARTS 4GHI]** → **[CODE 2ABC]**

0.954 MHz (954 kHz) の場合は **[RADIO 0]** → **[RADIO 0]** → **[RADIO 0]** → **[SP BNK 9 1/2]** → **[SKIP 5JKL]** → **[ARTS 4GHI]**

430.000MHz の場合は **[ARTS 4GHI]** → **[DTMF 3DEF]** → **[DW MT V/M]**

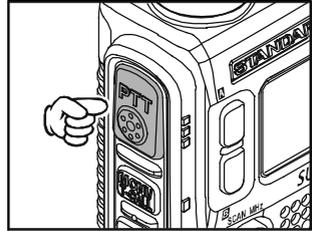
- DIALツマミで周波数を直接選択できる状態をVFOモードといいます。
- 自動的に受信周波数に応じた最適なステップに切り替わる“AUTO(オートステップ)”に設定されていますが、**[V/M]**を押した後に**[STEP 1]**を押すと、DIALツマミをまわして周波数ステップを切り替えることができます(※p. 28)。
- テンキーで周波数を入力中、入力をキャンセルしたいときはPTTスイッチを押してください。
- セットモードの『105 VFO MODE』により、周波数帯のエッジに達してさらにDIALツマミをまわすと、現在の周波数帯の他端になるように設定することもできます。
- **[▲]**を押すと周波数を1ステップUP、**[▼]**を押すと1ステップDWNすることができます。
- **[V/M]**を押した後**[▲]**を押すとMHzのUP、**[V/M]**を押した後**[▼]**を押すとMHzのDWNをすることができます。
- **[▲]**を1秒以上押すと周波数をUP方向にスキャン、**[▼]**を1秒以上押すと周波数をDWN方向にスキャンすることができます。

6. 送信する

1. PTTスイッチを押しながら、マイクに向かって話します。

マイクと口元の間隔は5cm位が適当で、普通の声で話します。

2. PTTスイッチを離すと受信に戻ります。



- 50MHz帯、144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線バンドで送信することができます。
50MHz帯のアマチュア無線バンドで送信できるモードはNFMモードとAMモードで、WFMモードで受信していても、PTTを押すとNFMモードで送信します。
144MHz帯、430MHz帯のアマチュア無線バンドで送信できるモードはNFMモードのみで、WFMモードおよびAMモードで受信していても、PTTを押すとNFMモードで送信します。
- 送信出力を変更する場合は、**[GW]**を押してから**[TXPO]**を押します。
ディスプレイに“**G**”が点灯中**[TXPO]**を押すたびに、送信出力が切り替わり、送信出力に応じたアイコンとPOメーターがディスプレイに表示され、さらに周波数が表示されている部分に約2秒間現在のパワー(表示例: HIGH POWER)を表示します。電池パックや乾電池ケースでの使用では送信出力が異なります。詳細は27ページの「送信出力を切り替える」を参照してください。
- アマチュア無線バンド以外でPTTを押したときは、ディスプレイに“ERROR”が表示され「ピピッ」と警告音が鳴り送信できません。
- セットモードの『80 SAVE TX』により、相手局の信号強度に合わせて送信出力が自動的に下がりバッテリーをセーブすることができます。
- セットモードの『9 BQLO』により、信号を受信中に送信しようとするすると送信を禁止することができます。
- 必要最小限の送信出力で運用してください。最小限の使用で本体の発熱をおさえるだけでなく、電池の消耗をおさえ使用時間が長くなります。
- 長時間の連続送信はできるだけ避けてください。本体の温度が上昇して、発熱などの原因で故障ややけどの原因になります。
- 長時間送信し続けると本体が高温になり過熱防止保護機能が働いて、送信出力が自動的にローパワーになります。また、過熱防止保護機能が働いているときにさらに送信を続けると、強制的に受信状態に戻ります。過熱防止保護機能が働いた直後に本機を触れるとやけどの原因になることがありますので、セット内部の温度を十分下げてから送信してください。
- アンテナを取り付けない状態で送信しないでください。送信回路が損傷する場合があります。

ラジオを聴いてみよう

AM放送, FM放送, TV放送(1チャンネル~3チャンネル)を聴いてみる

VX-8Dは、Aバンドにおいて、ラジオ専用キー（**W**）を押してから（**0**）を押すと簡単にAM放送（中波帯）、FM放送またはTV放送（1チャンネル~3チャンネル）を受信することができます。AM放送（中波帯）は専用のバーアンテナが内蔵されていますのでVX-8Dの向きを変えて、明瞭度が一番良くなる方向へ向けて受信してください。

FM放送は側面のEAR端子に市販のステレオイヤホンを接続すると、ステレオ放送で聴くことができます。また、ステレオイヤホンをイヤホンアンテナとして使用することができますので、設定方法は123ページの「FMアンテナの切り替え」を参照してください。



EAR端子に市販のステレオイヤホンを接続する

プラグの形状によっては、使用できないステレオイヤホンがあります。あらかじめご確認ください。

かんたん操作

本機で受信できるTV放送（音声）は、アナログテレビ放送の音声で、デジタル放送の音声を聴くことはできません。アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了しましたので、テレビ音声を聴くことはできません。

1. **W**を押してAバンドを操作バンドにします。

デュアルバンドのときはAバンドの周波数表示を大きく表示させて操作バンドにします。

または、**W**を1秒以上押してAバンドのモノバンド表示にします。

2. **W**を押してから（**0**）を押すとラジオ機能になります。

3. **SC-MEND ON BAND**を押すたびにラジオ放送が切り替わります。

AM放送（中波帯） [A] ⇔ FM放送 [F] ⇔ TV放送 [T] ⇔
⇔（AM放送に戻る）

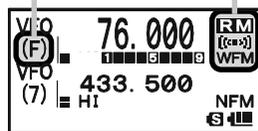
4. DIALツマミをまわして放送局の周波数に合わせます。

ラジオ機能を終了するには**W**を押してから（**0**）を押します。

ラジオ機能に入る前の状態に戻ります。

“**RM**”はラジオモードのアイコン
“(F)”はステレオ放送のアイコン
“AM”はAM放送時の表示
“WFM”はFM放送、TV放送時に表示

AM放送（中波帯）は（**A**）を表示
FM放送は（**F**）を表示
TV放送は（**T**）を表示



○ TV放送はチャンネル表示ではなく、周波数を表示します。音声周波数は下記を参照してください。

1チャンネル：95.75MHz、2チャンネル：101.75MHz、3チャンネル：107.75MHz

○ よく聴く放送局の周波数をメモリーすることができます（**33**p. 39）。

○ ラジオバンド内をスキャンしたい時は、Aバンドを操作バンドにし（**SC-MEND ON BAND**）を1秒以上押します。

スキャン中に信号を受信するとピープ音が鳴り停止して受信し、5秒間停止した後、再びスキャンを開始します。

スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが減滅します。

○ ラジオを常時聴きながらアマチュアバンドの周波数またはメモリーチャンネルを常に監視（モニター）し、信号が入ったときだけラジオの音が消えて交信することができる“AF-DUAL機能”で待ち受けすることができます（**33**p. 121）。

● EAR端子はステレオイヤホン専用です。モノラルイヤホンを接続すると故障の原因になります。

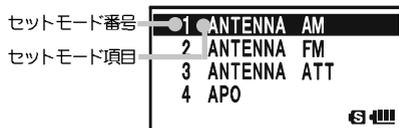
● EAR端子を使用しているときは防水効果はありませんので、ご注意ください。

セットモードとは

セットモードとは、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能や動作などの設定を行なう状態をいい、110種類の設定を行なうことができます。

なお、セットモードの詳細は180ページを参照してください。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして設定したいセットモードを選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして設定する項目を選択します。
5. **MENU**を短く押します。
6. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。



時計をセットしよう

VX-8Dは時計を内蔵しております。“時計表示”以外に“指定時刻に電源をオン/オフするタイマー機能”も搭載しておりますので、VX-8Dの機能を100%活用していただくためにも、お早めに現在の時刻にセットすることをお勧めします。

1. **MENU**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『98 TIME SET』を選択します。

3. **MENU**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして「年」を設定します。

5. **MODE**を押して「月」にカーソルを移動します。

6. **DIAL**ツマミをまわして「月」を設定します。

7. **MODE**を押して「日」にカーソルを移動します。

8. **DIAL**ツマミをまわして「日」を設定します。

9. **MODE**を押して「曜日」にカーソルを移動します。

10. **DIAL**ツマミをまわして「曜日」を設定します。

11. **MODE**を押して「時」にカーソルを移動します。

12. **DIAL**ツマミをまわして「時」を設定します。

24時間表示で設定します。

13. **MODE**を押して「分」にカーソルを移動します。

14. **DIAL**ツマミをまわして「分」を設定します。

15. **MODE**を押して「—」にカーソルを移動します。

16. **DIAL**ツマミをまわして、毎時00分に鳴る時報を設定します。時報が必要な場合は、「時報」を選択します。

“時報”を選択すると、毎時00分に「ピピッ」と時報が鳴ります。

時報が必要な場合は、“—”のままにします。

17. **MODE**を押して「設定」にカーソルを移動します。

18. **MENU**を短く押して確定します。

19. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。

バンドをモノバンド受信に切り替えているときに、ディスプレイへ現在の時刻を表示します。



かんたん操作

- 時計の精度は常温で月差30秒です。温度変化などの使用条件により精度が異なる場合があります。
- 時計専用の充電可能なりチウム電池を内蔵しております。普段は付属の電池パックから電源を供給しますが、電池パックを外す(容量がなくなる)とリチウム電池に切り換わり、約2ヶ月間動作します。
- はじめてお使いになるときや、長期間電池パックを外しておいたVX-8Dを使用した場合、まれに時計の進み方に異常を生じることがあります。このような場合には、一度電池パックを取り外し、再度電池パックを取り付けた後に時刻を合わせ直してください。
- バンドをモノバンド受信に切り替えると、ディスプレイに時刻を表示することができます。
- モノバンドの倍角表示とデュアル表示の場合は、ディスプレイに時刻は表示されません。
- カレンダーは、西暦2000年1月1日～西暦2099年12月31日に対応しています。
- 指定した時刻に電源をオフにすることができます(161ページ参照)。
- 指定した時刻に電源をオンにすることができます(161ページ参照)。

お使いになる前に

安全上のご注意 (必ずお読みください)

本機を安全に正しくお使いいただくために、必ずお読みください。

お客様または第三者の方が、この製品の誤使用・使用中に生じた故障・その他の不具合あるいはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

マークの種類と意味

	危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物的障害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の種類と意味

	本機を安全にお使いになるために、行ってはならない禁止事項です。 たとえば、Ⓣ は分解禁止を示しています。
	本機を安全にお使いになるために、必ず守っていただきたい注意事項です。 たとえば、Ⓜ は電源プラグを外すを示しています。

お
使
い
に
な
る
前
に

⚠ 危険

 病院内や航空機内などの“使用を禁止された区域または機内や車両内”では使用しないでください。
電子機器や医療機器に影響を与える場合があります。

 自動車やバイク等を運転しながら使用しないでください。事故の原因になります。
運転者が使用するときは、必ず安全な場所に車を止めてから使用してください。

 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着されている方は、携行した状態では送信しないでください。送信する場合は、外部アンテナを使用し、できるだけアンテナから離れて送信してください。
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

 引火性ガスの発生する場所での運用やバッテリーチャージャーを使用しないでください。
火災、爆発の原因になります。

 心臓ペースメーカー等の医療機器を装着している方に配慮し、混雑した場所では送信しないでください。
本機からの電波が医療機器に影響を及ぼし、誤動作による事故の原因になることがあります。

 電池パックから漏れている液などに素手で触れないでください。
皮膚に付着したり、目に入ると化学火傷を起こすおそれがあります。この場合、直ちに医師の診断を受けてください。

 電池パックの端子をハンダ付けしたり、ショートさせたりしないでください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。また、ネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運ばないでください。ショートするおそれがあります。

 外部アンテナを接続しているときに雷が鳴り出したら、速やかに本機の電源を切り、外部アンテナを本機から外してください。
火災・感電・故障などの原因になります。

安全上のご注意(必ずお読みください)

警告



指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



電池パックを指定機器以外の用途で使用しないでください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



本機は“IPX7(旧JIS保護等級7防浸形相当)”の防浸構造になっておりますが、もし濡れた場合は、そのまま放置せず乾いた布などで拭いてください。
濡れたまま放置すると、性能や寿命を低下させたり、故障や感電などの原因になります。



長時間の連続送信はしないでください。
本体の温度が上昇し、発熱などの原因で故障ややけどの原因になることがあります。



無線機、電池パックおよびバッテリーチャージャーから煙が出ていたり、変な臭いがするときは、電源をオフにして、電池パックを取り外し、電源コードをコンセントから抜いてください。
火災・漏液・発熱・破損・発火・故障の原因になります。お買い上げの販売店または当社カスタマーサポートにご連絡ください。



分解や改造をしないでください。
ケガ・漏液・感電・火災・故障の原因になります。



濡れた手で電池パックや充電機器の取り扱いをしないでください。また、電源プラグの抜き差しも行わないでください。
ケガ・感電・故障の原因になります。



外傷、変形の著しい電池パックを使用しないでください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



当社指定以外のバッテリーチャージャーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。



電池パックの端子はいつもきれいにしておいてください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。



電池パックの充電が所定の時間を超過しても完了しない場合には、直ちにバッテリーチャージャーをコンセントから抜いてください。
火災・漏液・発熱・破裂・発火などの原因になります。

注意



アンテナを持って、本体を振り回したり投げたりしないでください。
本人や他人に当たり、ケガの原因になります。また、本体の故障や破損の原因にもなります。



人の多い場所では使用しないでください。
アンテナが他人に当たり、ケガの原因になります。



本機や電池パックを直射日光の当たる場所や熱器具の付近に置かないでください。
変形・変色などの原因になります。



本機や電池パックを湿気やホコリの多い場所に置かないでください。
火災や故障の原因になります。



送信中は、できるだけ身体からアンテナを離してください。
長時間身体に電磁波を受けると、身体に影響を及ぼす場合があります。



シンナーやベンジンなどでケースを拭かないでください。
ケースの汚れは乾いたやわらかい布で拭き取ってください。



長期間ご使用にならない場合には、安全のため電源をオフにし、電池パックを抜いてください。



強い衝撃を加えたり、投げつけたりしないでください。
故障の原因になります。



磁気カードやビデオテープなどは本機に近づけないでください。
キャッシュカードやビデオテープなどの内容が、消去される場合があります。



イヤピースマイクロホン、イヤホン、ヘッドホンなどを使用するときは、音量を小さくしないでください。
聴力障害の原因になります。



小さなお子さまの手の届かない場所に保管してください。
ケガなどの原因になります。



ハンドストラップやベルトクリップの取り付けは確実に行ってください。
間違った取り付けかたは、落下によるケガや本体の破損などの原因になります。

安全上のご注意 (必ずお読みください)

⚠ 注意

-  電池パックは5℃~35℃の温度範囲内で充電してください。
この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池の性能や寿命を低下させる原因になります。
-  付属のバッテリーチャージャーで当社指定の電池パック以外は充電しないでください。
火災や故障の原因になります。
-  使用済みの電池パックは、端子にテープなどを貼って絶縁してから破棄してください。
-  テレビやラジオの近くでは送信しないでください。
電波障害を与えたり、受けたりする原因になることがあります。
-  当社指定のオプション以外の製品は使用しないでください。
故障の原因になることがあります。

-  バッテリーチャージャーを使用しないときは、コンセントから抜いてください。
-  バッテリーチャージャーの電源コードの上に重い物を載せないでください。
電源コードが傷つき、火災や感電の原因になります。
-  バッテリーチャージャーをコンセントから外すときは、必ずバッテリーチャージャー本体を持ってください。
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因になります。
-  ハイブリッドカーや省燃費タイプの自動車で使用する場合は、必ず自動車メーカー等に確認のうえ運用してください。
車に搭載されている電装機器（インバーター等）からノイズの影響を受けて正常に受信できないことがあります。

防水 IPX7 (I8JIS保護等級7種防浸形) 相当について

本機の防水性能は、付属のアンテナと電池パックを取り付け、さらにMIC/SP端子、EAR端子、EXT DC IN端子のラバーキャップをしっかりと取り付けた状態で、水深1mの水没に30分間耐えることができます。

この防水性能を永く確保していただくために、必ずご使用になる前に下記の項目をご確認ください。

◎キズ、劣化、汚れなどの確認

キーやスイッチのラバー、MC/SP端子、EAR端子、EXT DC IN端子のラバーキャップ、電池パック接合部分。

◎お手入れのしかた

海水・砂・泥などがついたときは真水でやや弱めの水流で洗い流し、すぐに乾いた布で拭き取ってください。

◎オーバーホールのお奨め

お買い上げから1年経過した後、オーバーホールを行って1年経過した後、またはキズ、劣化等が確認されたときはオーバーホールをお奨めます。なお、オーバーホール代金は有償となりますのであらかじめご承知ください。

◎下記の中に浸さないでください

海水・プール・温泉の中・石けんや洗剤、入浴剤の入った水・アルコールや薬品

◎下記の場所での長時間放置はさけてください

お風呂・台所・湿気の多い場所

◎その他の注意

完全防水ではありませんので、水中での使用はできません。

電波を発射する前に

アマチュア局は、自局の発射する電波が、テレビやラジオの受信に障害を与えたり、障害を受けているとの連絡を受けた場合は、ただちに電波の発射を中止して障害の有無や程度を確認してください。

《参考》無線局運用規則 第8章 アマチュア局の運用

第258条 アマチュア局は、自局の発射する電波が他の無線局の運用又は放送の受信に支障を与え、若くは、与える虞があるときは、すみやかに当該周波数による電波の発射を中止しなければならない。(以下省略)

障害が自局の電波によるものと確認された場合、無線機、アンテナ系を点検し障害に応じてお買い上げの販売店または、当社カスタマーサポート(電話:0120-456-220)に相談するなどして、適切な処置を行ってください。

受信側に原因がある場合、障害対策は単に技術的な問題に止まらず、ご近所付き合いなどで、おぼつかしい場合もあります。

一般社団法人 日本アマチュア無線連盟(JARL)では、電波障害の対策と防止についての相談窓口を開設しておりますので、対策にお困りの場合はご相談ください。

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 (JARL)

〒170-8073 東京都豊島区南大塚 3-43-1 大塚HTビル6階
TEL 03-3988-8754

特長

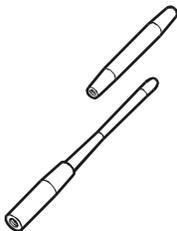
- ◎ Bluetooth®ハンズフリー運用が可能..... 65
Bluetooth®ユニットBU-2, Bluetooth®ステレオヘッドセットBH-1A(イヤホンFEP-4 を接続時), Bluetooth®モノラルヘッドセットBH-2Aの各オプションが必要です。
- ◎ GPSアンテナFGPS-2を搭載して自局の位置や移動情報を表示可能(オプション) .. 70
VX-8D本体へ接続する場合は、オプションの接続アダプターCT-136が必要になります。オプションのスピーカーマイクMH-74A7Aを使用する場合はFGPS-2をMH-74A7Aに搭載してください。
- ◎ 世界標準1200/9600bps AX25モデムによるAPRS®通信に対応(Bバンドのみ) .. 74
- ◎ 水深1m30分の防水設計(IPX7対応) 20
- ◎ 温度、気圧センサー内蔵 160
- ◎ 異なる2バンド+同一バンド2波同時受信対応(V+V/U+U) 11
- ◎ 広帯域受信機能搭載 11
- ◎ 独立したFM放送+バーアンテナ付きAM放送専用受信機内蔵 15
- ◎ FMやAM放送を聴きながらアマチュアバンドを
2波同時受信できるAF DUAL機能 121
- ◎ 見やすいドットマトリックス表示 26
- ◎ 最大16文字(全角表示は最大8文字)漢字対応のメモリータグ表示 42
- ◎ ±50チャンネルの高解像度スペクトラムスコープ機能搭載 133
- ◎ 受信・送信音声波形表示機能搭載 134
- ◎ トーンスケルチ(CTCSS)、DCS機能など多彩な個別呼出機能 148
- ◎ WiRES-II接続対応(64チャンネルのWiRES-IIアクセスメモリーを搭載) 31
- ◎ 白色LEDの点滅とビーブ音で緊急を知らせるエマージェンシー機能 128
- ◎ フィールドで便利な白色LEDによる照明機能 158
- ◎ スペシャルバンクで簡単受信 48
あらかじめ周波数をプリセットしており、世界各地の放送、AM/FMラジオ、TV放送、鉄道無線、特定小電力無線、国際VHF(マリン)無線、救急/消防無線、ワイヤレスマイクなどを簡単に受信することができます。
- ◎ 新ページャー機能で特定の局だけを呼び出すことが可能 154
- ◎ 盗聴器発見機能サーチを搭載 132
- ◎ CW学習機能、CWトレーニング機能を搭載 170, 172

同梱品を確認する

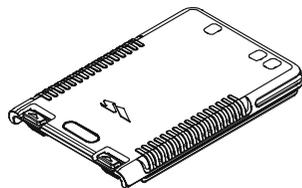
本体



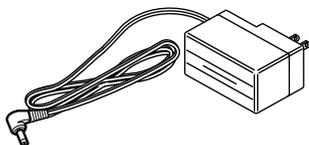
アンテナ



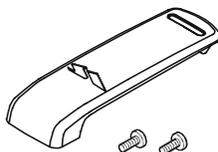
電池パック (FNB-101L)



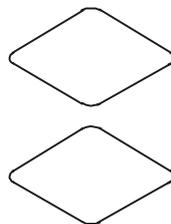
バッテリーチャージャー
(PA-48A)



ベルトクリップ



防水シート (2枚)



Bluetooth®取り付け用
コネクター



オプションのBluetoothコネクターBU-2を接続するときに使用します。大切に保管してください。

電池パック用保護板



オプションのBluetoothコネクターBU-2を取り付けたときに使用します。大切に保管してください。

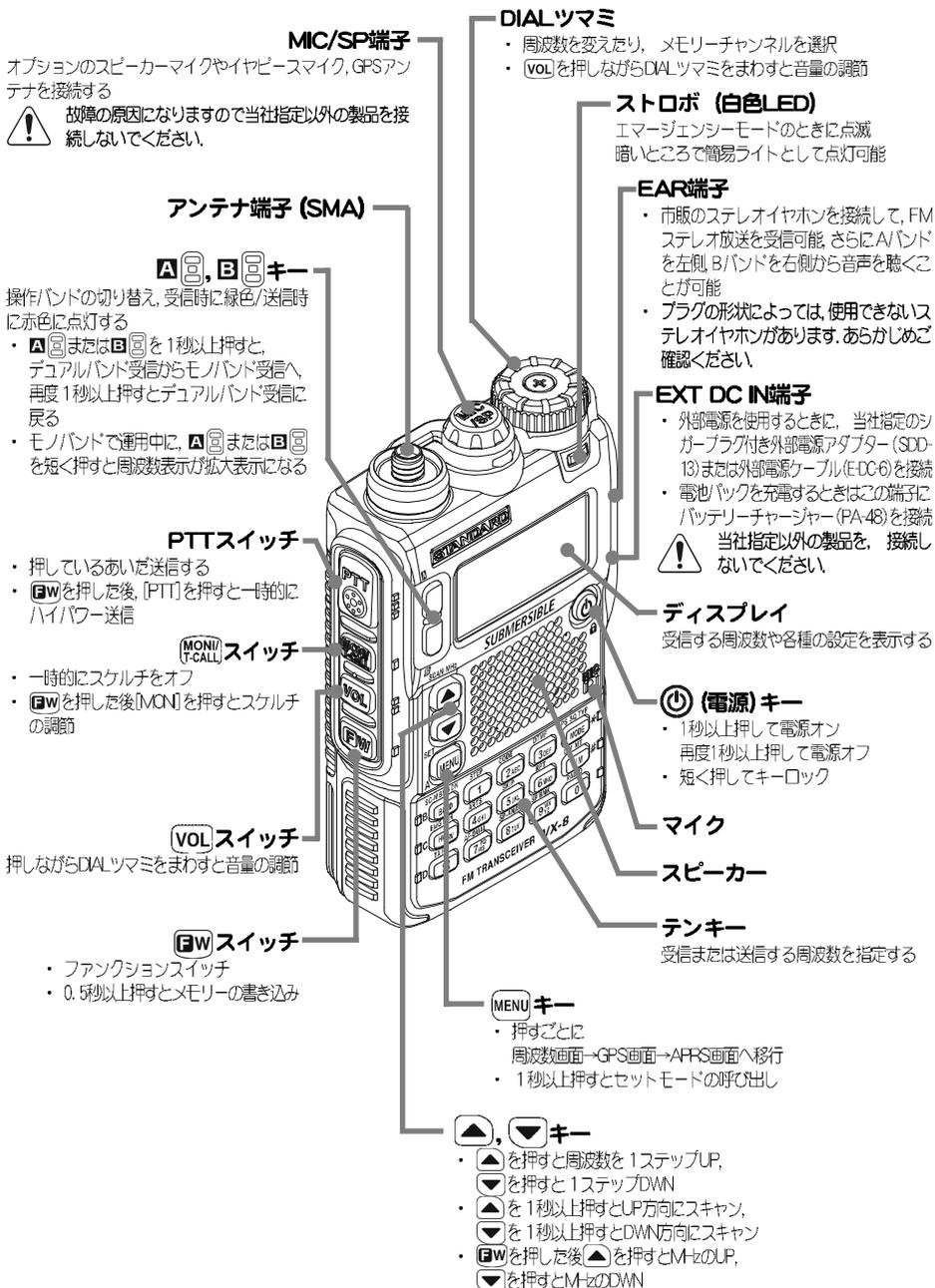
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書

お使いになる前に

-
- 保証書に、お買い上げの販売店名とお買い上げ日が記入されていることをご確認ください。
 - 不足品がある場合には、お買い上げの販売店にお申し出ください。
-

各部の名称と操作

各部の名前と働き



MIC/SP端子
オプションのスピーカーマイクやイヤピースマイク、GPSアンテナを接続する

⚠ 故障の原因になりますので当社指定以外の製品を接続しないでください。

アンテナ端子 (SMA)

A/Bキー

操作/バンドの切り替え、受信時に緑色/送信時に赤色に点灯する

- ・ A/BまたはB/Aを1秒以上押すと、デュアルバンド受信からモノバンド受信へ、再度1秒以上押すとデュアルバンド受信に戻る
- ・ モノバンドで運用中に、A/BまたはB/Aを短く押すと周波数表示が拡大表示になる

PTTスイッチ

- ・ 押し続けているあいだ送信する
- ・ [F/W]を押した後、[PTT]を押すと一時的にハイパワー送信

MONI/T-CALLスイッチ

- ・ 一時的にスケルチをオフ
- ・ [F/W]を押した後[MONI]を押すとスケルチの調節

VOLスイッチ

押しながらDIALツマミをまわすと音量の調節

[F/W]スイッチ

- ・ ファンクションスイッチ
- ・ 0.5秒以上押すとメモリーの書き込み

DIALツマミ

- ・ 周波数を変えたり、メモリーチャンネルを選択
- ・ [VOL]を押しながらDIALツマミをまわすと音量の調節

ストロボ (白色LED)

エマージェンシーモードのときに点滅、暗いところで簡易ライトとして点灯可能

EAR端子

- ・ 市販のステレオイヤホンを接続して、FMステレオ放送を受信可能、さらにA/Bバンドを左側、B/Aバンドを右側から音声を聴くことが可能
- ・ プラグの形状によっては、使用できないステレオイヤホンがあります。あらかじめご確認ください

EXT DC IN端子

- ・ 外部電源を使用するときに、当社指定のシガープラグ付き外部電源アダプター (SDD-13) または外部電源ケーブル (E-DC-6) を接続
 - ・ 電池パックを充電するときはこの端子に、バッテリーチャージャー (PA-48) を接続
- ⚠ 当社指定以外の製品を、接続しないでください

ディスプレイ

受信する周波数や各種の設定を表示する

(電源)キー

- ・ 1秒以上押して電源オン
- ・ 再度1秒以上押して電源オフ
- ・ 短く押してキーロック

マイク

スピーカー

テンキー

受信または送信する周波数を指定する

MENUキー

- ・ 押すごとに
周波数画面→GPS画面→APRS画面へ移行
- ・ 1秒以上押すとセットモードの呼び出し

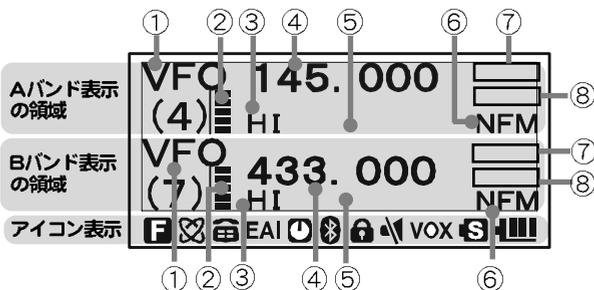
▲, ▼キー

- ・ ▲を押すと周波数を1ステップUP、▼を押すと1ステップDOWN
- ・ ▲を1秒以上押すとUP方向にスキャン、▼を1秒以上押すとDOWN方向にスキャン
- ・ [F/W]を押した後▲を押すとMHzのUP、▼を押すとMHzのDOWN

テンキーの説明

キー	短く押したとき		約1秒長く押したとき	[W]を押した後キーを押したとき
	周波数入力時	タグ入力時		
SC-MEND (BAND)	周波数帯をUP方向に切り替えます (※p.13, 24)	カーソルが左に移動します	スキャンモードを選択します (※p.58, 60, 61, 62, 63)	周波数帯をDWN方向に切り替えます (※p.13, 24)
EMG R/H (HM/RV)	ホームチャンネルに移行します (※p.40)	—	2秒以上押してエマージェンシー機能を選択します (※p.128)	シフト設定されている周波数でリバース動作になります (※p.30)
TX PQ (S)	WIRES運用時に使用するインターネットキーとして動作します。 (※p.31) セットモードの切り替えて、よく使うセットモードを呼び出すマイキーが動作します (工場出荷時: [25 DC VOLTAGE] (※p.169))	—	—	送信出力を切り替えます (※p.27)
STEP (1)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「1」を入力します	数字の「1」、かなの「あ行」を入力します	—	ステップ(STEP)を切り替えます (※p.28)
CODE (2 ABC)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「2」を入力します	数字の「2」、欧文「A」「B」「C」の大文字小文字、かなの「か行」を入力します	—	トーン周波数、DCSコード、ページャーコード、メッセージを切り替えます
DTMF (3 DEF)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「3」を入力します	数字の「3」、欧文「D」「E」「F」の大文字小文字、かなの「さ行」を入力します	—	DTMFメモリーを選択します (※p.144)
ARTS (4 GHI)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「4」を入力します	数字の「4」、欧文「G」「H」「I」の大文字小文字、かなの「た行」を入力します	—	アーツ(ARTS)機能を選択します (※p.146)
SKIP (5 JKL)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「5」を入力します	数字の「5」、欧文「J」「K」「L」の大文字小文字、かなの「な行」を入力します	—	スキップオンリー(SKIP)機能を選択します (※p.61)
RPT (6 MNO)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「6」を入力します	数字の「6」、欧文「M」「N」「O」の大文字小文字、かなの「は行」を入力します	—	レピーターシフト(RPT)機能を選択します (※p.30)
AF-DUAL (7 PQRS)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「7」を入力します	数字の「7」、欧文「P」「Q」「R」「S」の大文字小文字、かなの「ま行」を入力します	—	エイフデュアル(AF DUAL)機能を選択します (※p.121)
SP-ANA (8 TUV)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「8」を入力します	数字の「8」、欧文「T」「U」「V」の大文字小文字、かなの「や行」を入力します	—	スペクトラムスコープ(SP-ANA)機能を選択します (※p.133)
SP-BNK (9 WXYZ)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「9」を入力します	数字の「9」、欧文「W」「X」「Y」「Z」の大文字小文字、かなの「ら行」を入力します	—	スペシャルバンク(SP-BNK)機能を選択します (※p.48)
RADIO (0)	周波数の入力やメモリーチャンネル呼び出し時に、数字の「0」を入力します	数字の「0」、かなの「わ、を、ん」を入力します	—	ラジオ(RADIO)機能を選択します (※p.15)
SPS SQ TYP (MODE)	電波型式を切り替えます AUTO/NFM/WFM/AM (工場出荷時: AUTO)	カーソルが右に移動します	スペシャルサーチ機能を選択します (※p.129)	スケルチタイプを切り替えます (※p.148)
DW-MT (V/M)	VFOモードとメモリーモードを切り替えます (※p.40) (VFOモードとは、DIALツマミで周波数を直接選択できる状態をいいます)	—	デュアルレシープ機能を選択します (※p.140)	メモリー運用時に一時的に周波数を変更するメモリーチューンとして動作します (※p.41)

ディスプレイの説明



① VFOモード/メモリーモードを表示します。

② 音量ボリューム棒グラフを表示します。

③ 送信出力のアイコンを表示します。

④ 周波数を表示します。

⑤ S/POメーターを表示します。

・ Sメーター:電波の強さを9段階で表示します。

・ POメーター:送信出力を4段階で表示します。

HI :ハイパワー(5W)

L3 :LOW3(2.5W)

L2 :LOW2(1W)

L1 :LOW1(0.05W)

⑥ 運用モード(電波型式)を表示します。

⑦ ・ スケルチタイプを表示します (p.148)。

TN :トーンエンコーダーがオンの時に点灯

TSQ :トーンスケルチがオンの時に点灯

DCS :DCSがオンの時に点灯

RTN :リバーストーンの時に点灯

JR :JR空線スケルチがオンの時に点灯

PR :空線スケルチがオンの時に点灯

PAG :ページャーがオンの時に点灯

MSG :メッセージ機能がオンの時に点灯

・ APRSボーレートを表示します (p.78)。

・ ラジオモードのときに **IRM** を表示します (p.15,121)。

⑧ ・ レピーター運用時にシフト方向を表示します (p.30)。

: マイナスシフト

: プラスシフト

: スプリット運用

・ ラジオモードでステレオ放送の時に を表示します (p.15)。

・ ベル機能がオンのときに を表示します (p.152)。

・ ATT機能がオンのときに を表示します (p.166)。

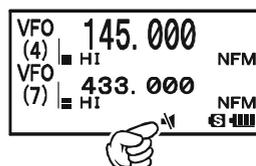
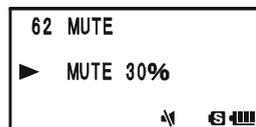
アイコンの説明

アイコン	動作説明	アイコン	動作説明
	ファンクションキーを押したときに点灯します。	HI	送信出力を表示します (p.27)。 HI :HIGH POWER(5W) L3 :LOW3 POWER(2.5W) L2 :LOW2 POWER(1W) L1 :LOW1 POWER(0.05W)
	WIFESなどのインターネット通信時に点灯します (p.31)。		
	DTM機能がオンのときに点灯します (p.36, 144)。		
	EAI機能がオンのときに点灯します (p.124)。		
	APC機能が動作しているときに点灯します (p.162)。		バッテリーの状態を表示します。 : 十分使えます。 : まだ使えます。 : 残りわずかです。 : 空になりました。充電してください。 : すぐに充電してください。(点滅)
	Bluetooth®機能がオンのときに点灯します (p.65)。		
	LOCK機能が動作しているときに点灯します (p.137, 157)。		
	ミュートがオンのときに点灯します (p.27)。		
	VOX機能がオンのときに点灯します (p.165)。		
	バッテリーセーブ機能が動作中(セーブ中)に点滅します (p.163)。		

音声をミュートする

デュアル受信の時に、AバンドとBバンドの音声重複して聞きづらいときは、操作バンド以外のバンドの音声をミュートすることができます。

- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- MENU**を短く押します。
- DIALツマミ**をまわして『62 MUTE』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- DIALツマミ**をまわしてミュートを選択します。
MUTE 30%, MUTE 50%, MUTE 100%, OFFを選択することができ操作バンド以外のバンドの音声を数字が大きくなるほどミュートします。
- MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。
ミュートを解除するには、手順5.の項目を「OFF」にします。



- ミュート機能がオンでも操作バンドに信号がないときには、ミュートしません。
- ミュート機能がオンのときには“”が表示されます。

送信出力を切り替える

VX-8Dの送信出力は最大5W(50MHzのAMは1W)ですが、距離の近い相手と交信するときや、バッテリーの消耗を抑えるときには、送信出力を下げるすることができます。

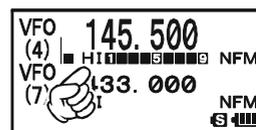
電源の種類ごとの送信出力は右のとおりです。

電池の種類	HI (ハイパワー)	L3	L2	L1
電池パック	5W	2.5W	1W	0.05W
外部電源(DC13.8V) 乾電池ケース (アルカリ乾電池)				

※ AMは1W固定です。

Wを押してから^{TX PO}**W**を押します。

ディスプレイに“**W**”が点灯中^{TX PO}**W**を押すたびに、送信出力が切り替わり、送信出力に応じたアイコンとPOメーターがディスプレイに表示され、さらに周波数が表示されている部分に約2秒間現在のパワー(表示例: HIGH POWER)を表示します。



- [A]バンドと[B]バンドを個別に送信出力を設定することができます。
- バッテリーの消耗を抑えるためにも、必要最低限の送信出力で使用してください。
- 送信出力を下けているときでも、**W**を押した後、PTTスイッチを押すとハイパワーで送信できます(一時ハイパワー送信)。
- 乾電池でAMを運用する場合は、送信出力を1Wに設定しても1W出ない場合があります。
- お買い上げ時の状態では「ハイパワー」に設定されています。

スケルチのレベルを調節する

信号が入感していないときに出る、耳障りなノイズを消すことができます。

AバンドまたはBバンド独立してスケルチを調節することができます。

NFM/AM用と、WFM用の2種類のスケルチがあり、受信しているモードのスケルチを調節することができます。

スケルチレベルを上げるとノイズは消えやすくなりますが、弱い電波が入感しなくなることがありますので、必要に応じて調節してください。

1. スケルチレベルを調節したいバンドを操作バンドに設定します。

Aバンドのスケルチを調節する場合は **[A]**  を押します。

Bバンドのスケルチを調節する場合は **[B]**  を押します。



2. **[W]**を押した後に **[MONI]**を押します。

スケルチのレベルを表示します。

3. DIALツマミをまわしてレベルを調節します。

NFM/AMのときには、“レベル 0”～“レベル 15”まで調節できます(工場出荷時:レベル 1)。

WFMのときには、“レベル 0”～“レベル 8”まで調節できます(工場出荷時:レベル 2)。

4. **[MONI]**を押して完了します。

- セットモードの『92 SQL LEVEL』でも、NFM/AMのスケルチレベルとWFMのスケルチレベルを個別に設定することができます。
- **[MONI]**を押している間、Aバンド、Bバンド両方のスケルチをオフの状態にすることができます。
- AバンドとBバンドを個別に設定することができます。

マニュアルでステップを切り替える

自動的に受信周波数に応じた最適なステップに切り替わる“AUTO(ステップ)”に設定されていますが、マニュアルで周波数ステップを切り替えることができます。

1. **[W]**を押した後に **[STEP 1]**を押します。

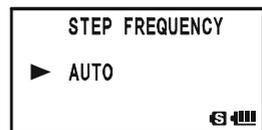
2. DIALツマミをまわして希望のステップを選択します。

AUTO/5/6.25/(8.33)/(9)/10/12.5/15/20/25/50/100 kHz

のステップから選択できます。

通常は、AUTOに設定しておくことをおすすめします。

3. **[STEP 1]**を押して完了します。



- セットモードの『96 STEP FREQUENCY』により、ステップを切り替えることもできます。
- 0.5～1.8MHzは“9kHz”または“10kHz”のみ選択できます。
- 108MHz～136.991MHzのAirバンド周波数は、8.33kHzステップも選択できます。
- 250MHz～300MHzと580MHz以上の周波数は、5kHz、6.25kHzと15kHzのステップ設定をすることはできません。

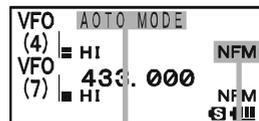
マニュアルでモードを切り替える

自動的にバンド(周波数帯)に適したモードに切り替わる“AUTO”(オートモード)に設定されていますが、マニュアルでモード(電波型式)を切り替えることができます。

SPS SQTYP
(MODE) を短く押すたびにモードが切り替わります。

AUTOのときは周波数表示部分に“AUTO MODE”を約1秒表示します。

通常は、AUTOに設定しておくことをおすすめします。



約1秒間表示します

モードを表示します

表示	動作状態
AUTO	自動的に周波数帯に適したモードに切り替えます
NFM	現在選択しているバンドのみ、NFM(ナローFM)モードに切り替えます
WFM	現在選択しているバンドのみ、WFM(ワイドFM)モードに切り替えます
AM	現在選択しているバンドのみ、AMモードに切り替えます

○ セットモードの『F78 RX MODE』により、モードを切り替えることもできます。

○ 144MHz帯、430MHz帯のアマチュアバンドでWFMやAMのモードに選択してあっても、FMモードで送信されます。

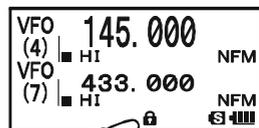
状態が変わらないようにロックする

誤って周波数などが変わってしまったりしないように、PTTスイッチ以外のキーまたはスイッチとDIALをロックします。

🔒 を短く押します。

ロックを解除するときはもう一度 🔒 を短く押します。

ロックされているときには、「🔒」がディスプレイに表示されます。



○ セットモードの『F51 LOCK』により、DIALやPTTスイッチをロックするように設定することができます。

オールリセットをする

すべての設定やメモリーをクリアしてお買い上げ時の状態に戻すことができます(オールリセット)。

1. SC-MEN/DN BAND, EMG R/H, TX PO の3つのキーを押しながら 🔒 を押して電源をオンにします。

「ピッポッパッ」とピーブ音が鳴ると同時に、キーから指を放してください。

2. “ALL RESET PUSH F KEY!”の表示が出ましたら、🔒 を押します。

「ピッポッパッ」とピーブ音が鳴ります。

🔒 以外のキーまたはスイッチを押すと、リセットを中止することができます。



オールリセットを行うと、メモリーした内容は全て消去されます。
メモリー内容は必ず紙などに控えておくようしてください。

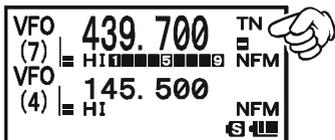
セットモードの設定値だけを一度に工場出荷時の値に戻すことができます(🔒 p.180)。

レピータ運用 / WiRES 運用

レピータで交信する

ARS (Automatic Repeater Shift) 機能により、受信周波数をレピータの周波数 (439.000~440.000MHz) に合わせるだけで、自動的にレピータを使った交信ができます。

1. 受信周波数をレピータの周波数に合わせます。
ディスプレイの右下部に“TN”の表示が点灯します。

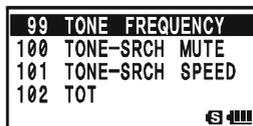


2. PTTスイッチを押しながら送信します。

送信時は88.5Hzのトーン信号を伴いながら受信周波数より5MHz低い周波数で電波が発射されます。

88.5Hz以外のトーン信号を使用しているレピータで交信する

1. 受信周波数をレピータの周波数に合わせます。
2. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
3. **DIAL**ツマミをまわして『99 TONE FREQUENCY』を選択します。
4. **[MENU]**を短く押します。
5. **DIAL**ツマミをまわして希望のトーン周波数を選択します。
6. **[MENU]**を1秒以上押します。



7. PTTスイッチを押しながら送信します。

送信時は設定したトーン信号を伴いながら受信周波数より5MHz低い周波数で電波が発射されます。

- 手順2. ~ 4. の代わりに、**[Fw]**を押した後^{CODE}**[2ABC]**を押すことでも、トーン周波数を呼び出すことができます (『99 TONE FREQUENCY』のショートカットになります)。
- メモリーに登録することができます (メモリーに書き込む: p.39)。

- **[Fw]**を押した後^{EMG R/H}**[HM/RV]**を押すと“リバース”になり、送信と受信の周波数を一時的に反転しく**[■]**が点滅する、相手局と直接交信できるかを確認することができます。
リバースを解除するには、**[Fw]**を押した後^{EMG R/H}**[HM/RV]**を押します。
- セットモードの『74 RPT ARS』により、ARS機能の動作をオフにすることができます。
- セットモードの『75 RPT SHIFT』により、レピータのシフト方向を設定することができます。
セットモードの『75 RPT SHIFT』は、**[Fw]**を押した後^{RPT}**[6MND]**を押すことでも呼び出すことができます。
- セットモードの『76 RPT SHIFT FREQ』により、レピータのシフト幅を変更することができます。

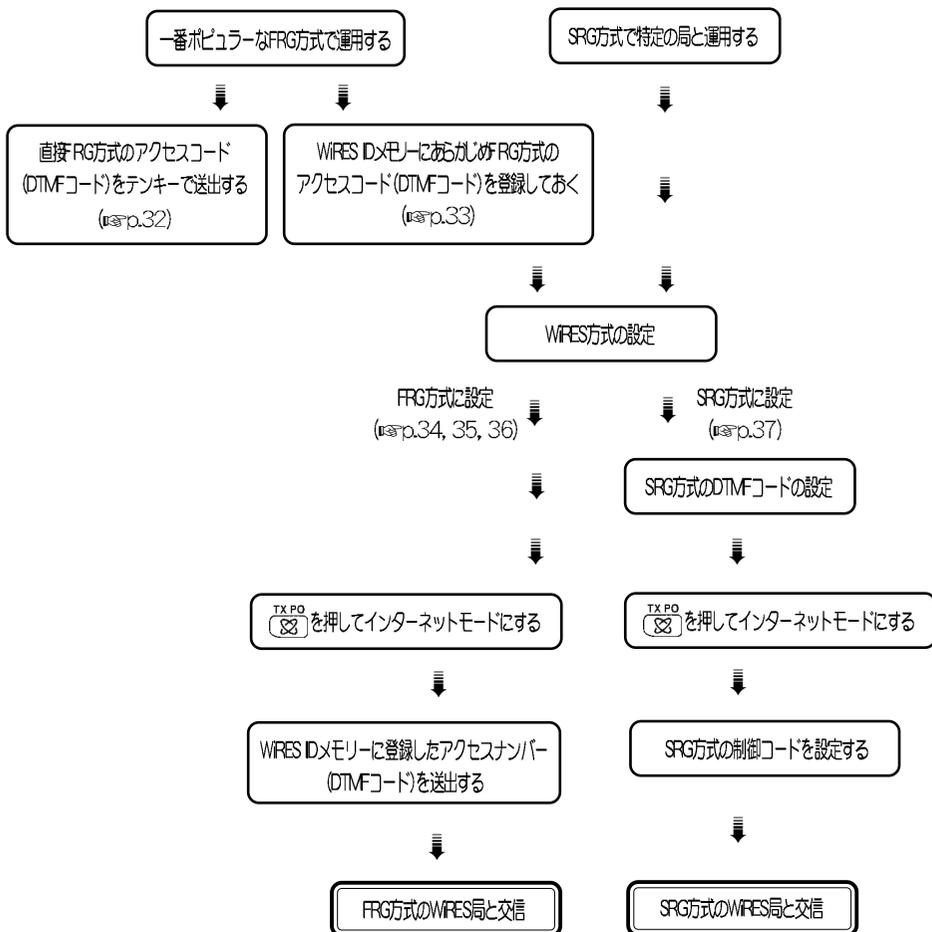
WiRESで交信する

以下の操作方法で、簡単にWiRES局を利用したインターネット通信を行なうことができます。ローカルQSOと同じようにVX-8Dを使用して、北海道から沖縄、そして海外にいるアマチュア無線の仲間と、インターネットを通じて通信することができます。

あらかじめ、お近くのWiRES局のアクセスコードや周波数を、八重洲無線のホームページ (<http://www.yaesu.com/jp/wiresinfo/index.html>) などをご確認ください。

なおWiRESには、不特定多数の相手と交信を行う“FRG方式”と、特定の相手局と通信を行う“SRG方式”があります。

■WiRESでの交信操作の流れ



WiRESで交信する(つづき)

VX-8DIは以下の操作方法で、簡単にWiRES局を利用したインターネット通信を行なうことができます。あらかじめお近くのWiRES局のアクセスコードや周波数を八重洲無線のホームページ(<http://www.yaesu.com/jp/wiresinfo/index.html>)等でご確認ください。

■FRG方式のWiRES局を手動でアクセス

FRG方式のWiRES局をアクセスするには、ローカルのWiRES局に対して、インターネットを介して接続したいWiRES局のアクセスコード(6桁のDTMF信号)を送出することでアクセスすることができます。アクセスコードは八重洲無線のホームページ(<http://www.yaesu.com/jp/wiresinfo/index.html>)等で一般利用者向けに「WiRES ID リスト」として公開されております。WiRESを運用する前に、周波数とアクセスコードを確認してください。

1. **アクセスコードを確認後、よく使用するアクセスコードをPTTスイッチを押しながらテンキーで直接DTMFコードを送出してWiRESをアクセスします。**

例) #0510Dを送出する場合



2. **WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押しのままマイクに向かって話します。**
3. **交信を終了するときは、PTTスイッチを押しながらテンキーで切断コード(#99999または#9999D)を送出します。**

送出する前に下記の設定を確認してください。

1. **[MENU]を1秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIALツマミをまわして『40 INT MANUAL/AUTO』を選択します。**
3. **[MENU]を短く押します。**
4. **DIALツマミをまわして、「手動」に設定します。**
工場出荷時:手動
5. **[MENU]を1秒以上押します。**



■FRG方式のWiRES局を自動でアクセス

よく使用するアクセスコードを登録しておく、自動でアクセスコードを送出することができます。アクセスコード以外にWiRES局のコールサインやコード名を入力することができますので、スムーズに運用することができます。

登録しておくことをおすすめします。

FRG方式にはWiRES局をアクセスする方法として、3種類の方法があります。

- ① **[TX PO]を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択する方法(※p.34)**
- ② **[TX PO]を押した後にDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択する方法(※p.35)**
- ③ **直接テンキー([STEP] (1) (1) ~ [RADIO] (0) (10))を押してアクセスコード(WiRES IDメモリー1~WiRES IDメモリー10)を選択する方法(※p.36)**

WiRESで交信する(つづき)

WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録

あらかじめアクセスコードと切断コード(#9999Dまたは#99999)をWiRES IDメモリーに登録しておきます。WiRES IDメモリーは64メモリー(F0~F63)登録することができ、メモリーできるDTMFコードは数字、英文字(A, B, C, D), 記号(*, #)です。

- アクセスコードのDTMFコードは最大8文字、アクセスコードの名前は最大8文字登録することができます。
- DTMFコードに“ ”を入れると一文字分のスペースを入れることができます。
- アクセスコードと名前はテンキーでも入力可能です。
- アクセスコードの名前に登録できる文字は138ページの“文字一覧表”を参照してください。
- アクセスコードは A, B, C, D, *, #, -, 0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 の文字が入力可能です。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『45 INTERNET SELECT』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. DIALツマミをまわして、WiRES IDメモリー番号を選択します。

WiRES IDメモリー番号(1~64)の上に“▼”のカーソルが点灯します。

5. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押します。

“▼”のカーソルが右へ移動します。

アクセスコードに名前を付けない場合は**[SPS SQ TYP MODE]**を短く押します。

6. DIALツマミをまわしてアクセスコードの名前を入力します。

7. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押して次の桁へ“▼”のカーソルを移動します。

[SC-MEMO ON BAND]を押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます

8. 手順6.~7.を繰り返して、名前を入力します(最大8文字)。

9. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押します。

“▼”のカーソルが右へ移動します。

10. DIALツマミをまわして(テンキーでも入力可能)DTMFのアクセスコードを入力します。

11. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押して次の桁へカーソルを移動します。

[SC-MEMO ON BAND]を押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます。

12. 手順10.~11.を繰り返して、アクセスコードを入力します(最大8文字)。

13. **[MENU]**を1秒以上押すとアクセスコードの名前とアクセスコードが登録されセットモードを終了します。



アクセスコードの名前を入力
DTMFアクセスコードを入力



- アクセスコードを登録後、上記の手順1~手順4の操作を行い**[W]**短く押すとDTMF音で確認することができます。
- アクセスコードや名前を入力中に**[EM-R/N]**を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

WiRESで交信する(つづき)

① ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

セットモードの『45 INTERNET SELECT』で登録したWiRES IDメモリーを送出する方法を設定します。を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択します。

1. あらかじめアクセスコードと切断コードをWiRES IDメモリーに登録しておきます。

WiRES IDメモリーの登録方法は、33ページの「WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録」を参照してください。

2. を1秒以上押します。

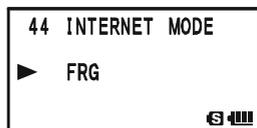
各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『44 INTERNET MODE』を選択します。



4. を短く押します。

5. DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。 (工場出荷時:FRG)



6. を短く押します。

7. DIALツマミをまわして『43 INTERNET KEY』を選択します。

8. を短く押します。

9. DIALツマミをまわして「インターネット」を選択します。 (工場出荷時:インターネット)。



10. を短く押します。

11. DIALツマミをまわして『41 INTERNET』を選択します。

12. を短く押します。

13. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。 (工場出荷時:OFF)



ディスプレイの左下に“”が表示します。

14. を1秒以上押してセットモードを終了します。

15. ローカルのWiRES Node局の周波数に合わせます。

16. を押したままでDIALツマミをまわして、送りたいアクセスコードを選択します。

○ 希望のWiRES IDメモリー番号(1~64)を選択してください。

○ を押すと、周波数表示に戻ります。

17. PTTスイッチを押すと選択したアクセスコードが送出されます。



18. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。

インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。

19. 交信を終了するときは、を押したままDIALツマミをまわし、切断コード(#99999または#9999D)を選択した後、PTTスイッチを押して切断コードを送出します。

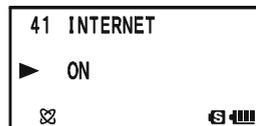
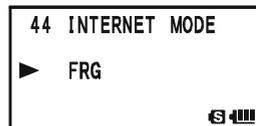


WiRESで交信する(つづき)

② ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

「インターネット」と「インターネットCH」の大きな違いは、「インターネット」は^{TX PO}(☒)を押しながらDIALツマミをまわしてアクセスコードを選択しますが、「インターネットCH」は^{TX PO}(☒)を押しした後DIALツマミをまわしてアクセスコードを選択します。

1. あらかじめアクセスコードと切断コードをWiRES IDメモリーに登録しておきます。
WiRES IDメモリーの登録方法は、33ページの「WiRESのFRG方式で使用するアクセスコードの登録」を参照してください。
2. ^{MENU}(MENU)を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『44 INTERNET MODE』を選択します。
4. ^{MENU}(MENU)を短く押します。
5. DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。
(工場出荷時:FRG)
6. ^{MENU}(MENU)を短く押します。
7. DIALツマミをまわして『43 INTERNET KEY』を選択します。
8. ^{MENU}(MENU)を短く押します。
9. DIALツマミをまわして「インターネットCH」を選択します
(工場出荷時:インターネット)。
10. ^{MENU}(MENU)を短く押します。
11. DIALツマミをまわして『41 INTERNET』を選択します。
12. ^{MENU}(MENU)を短く押します。
13. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。
(工場出荷時:OFF)
ディスプレイの左下に“☒”が表示します。
14. ^{MENU}(MENU)を1秒以上押ししてセットモードを終了します。
15. ローカルのWiRES局の周波数に合わせます。
16. ^{TX PO}(☒)を短く押した後、アクセスコードが表示されます。
17. DIALツマミをまわして送出したいアクセスコードを選択します。
○ 希望のチャンネル(F0~F63)を選択してください。
○ ^{TX PO}(☒)を短く押すと、周波数表示に戻ります。
18. PTTスイッチを押すと選択したアクセスコードが送出されます。
19. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。
インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。
20. 交信を終了するときは、^{TX PO}(☒)を短く押した後、DIALツマミをまわして、切断コード(#99999または#9999D)を選択し、PTTスイッチを押すと切断コードを送出します。



WiRESで交信する(つづき)

③ ローカルのWiRES局をアクセスする (FRG方式)

よく使用するWiRES IDメモリーをWiRES IDメモリー1～WiRES IDメモリー10に登録しておき、直接テンキー(1)～(10)を押してアクセスコードを送出することができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。

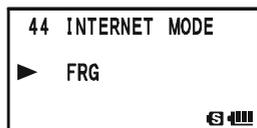
各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『44 INTERNET MODE』を選択します。



3. **MENU**を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「FRG」を選択します。
(工場出荷時:FRG)



5. **MENU**を短く押します。

6. DIALツマミをまわして『40 INT MANUAL/AUTO』を選択します。



7. **MENU**を短く押します。

8. DIALツマミをまわして、「自動」に設定します。

工場出荷時:手動

ディスプレイの左下に“”が点灯します。



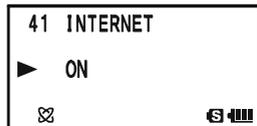
9. **MENU**を短く押します。

10. DIALツマミをまわして『41 INTERNET』を選択します。



11. **MENU**を短く押します。

12. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。
(工場出荷時:OFF)



ディスプレイの左下に“”が表示します。

13. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。

14. ローカルのWiRES局の周波数に合わせます。

15. PTTスイッチを押しながらテンキーを短く押した後、アクセスコードが送出されます。

希望のチャンネル(1)～(10)を選択してください。

16. WiRESが接続されたら、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。

インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができますので、あとは、一般の交信と同様に行ないます。

17. 交信を終了するときは、PTTスイッチを押しながら、切断

コード(#99999または#99990)を登録してあるテンキーを押して切断します。

■SRG方式のWiRES局をアクセスする

SRG方式のWiRES局をアクセスするには、ローカルのWiRES局に対して、インターネットを介して接続したいWiRES局のアクセスコード（1桁のDTMF信号）を送出することでアクセスすることができます。あらかじめ、WiRES局に周波数とアクセスコードを確認してください。

ローカルのWiRES局をアクセスする (SRG方式)

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『44 INTERNET MODE』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「SRG」を選択します。
(工場出荷時:FRG)
5. **MENU**を短く押します。
6. DIALツマミをまわして『43 INTERNET KEY』を選択します。
7. **MENU**を短く押します。
8. DIALツマミをまわして「インターネット」を選択します
(工場出荷時:インターネット)。
9. **MENU**を短く押します。
10. DIALツマミで『42 INTERNET CODE』を選択します。
11. **MENU**を短く押します。
12. DIALツマミで送りたいアクセスコード (DTMFコード “DTMF 0~9”, “DTMF A~D”, “DTMF *”, “DTMF #”)を表示させます。
13. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。
14. **TX PO**  を短く押しWiRESモードにします。
ディスプレイの左下に“”が表示します。
15. ローカルのWiRES局の周波数にあわせませす。
16. PTTスイッチを押してアクセスコードを送出後、PTTスイッチを押したままマイクに向かって話します。
PTTスイッチを押すと、自動的にアクセスコードが送られます。
17. PTTスイッチを押すたびに、手順12.でセットしたアクセスコードが送られ、インターネットを介してWiRES局をアクセスすることができます。

インターネットモードをオフにするには **TX PO**  を押します。

44	INTERNET MODE
45	INTERNET SELECT
46	LAMP
47	LANGUAGE

44	INTERNET MODE
▶	SRG

43	INTERNET KEY
44	INTERNET MODE
45	INTERNET SELECT
46	LAMP

43	INTERNET KEY
▶	インターネット

42	INTERNET CODE
43	INTERNET KEY
44	INTERNET MODE
45	INTERNET SELECT

42	INTERNET CODE
▶	DTMF 1

メモリーを使う

多彩なメモリー機能

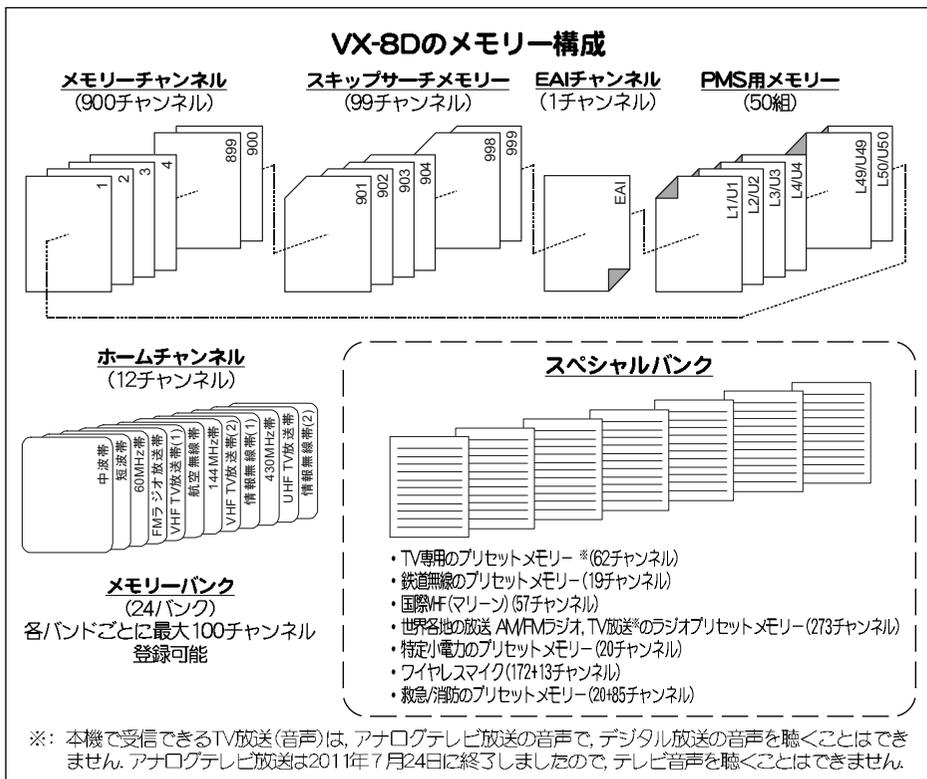
VX-8Dには、通常のメモリー900チャンネル(メモリー番号1~900)の他に、

- ◎ 各周波数帯ごとに独立した、ワンタッチ呼び出し可能な“ホームチャンネル” (図p. 40)
 - ◎ 各地域に合わせてチャンネルを選択できるTV専用メモリー (62チャンネル)、鉄道無線 (19チャンネル)、国際VHF (マリーン) 無線 (57チャンネル)、世界各地の放送、AM/FMラジオ、TV放送 (273チャンネル) 特定小電力無線 (20チャンネル)、ワイヤレスマイク (172+13チャンネル)、救急/消防無線 (20+85チャンネル) などの“スペシャルバンク” (図p. 48 ~ p. 57)
 - ◎ 受信したくない周波数をVFOスキャン中にスキップさせる99 (901~999) チャンネルの“スキップサーチメモリー” (図p. 59)
 - ◎ 50組 (L01/L01~L50/L50) の“プログラマブルメモリスキャン (PMS) 用メモリーチャンネル” (図p. 64)
 - ◎ 自分の行方を仲間に検索してもらうための“EAI専用メモリー” (図p. 125)
- を搭載しております。

なお、通常のメモリーチャンネルとホームチャンネルおよびPMSメモリーチャンネルには、各チャンネルごとに個別に、運用周波数の他に、運用モード(電波型式)やその他の運用情報などのデータも同時にメモリーすることができます。

- メモリースキップ情報
- 運用周波数
- メモリータグ
- トーン情報
- 空線スケルチ情報
- 送信出力
- 運用モード
- レピータ情報
- DCS情報

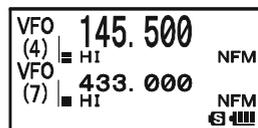
上記で紹介しましたメモリーを使用目的ごとのバンクに分けて整理することができます。VX-8Dでは24種類のメモリーバンクに分けておくことができ、1つのメモリーバンクには最大100個のメモリーチャンネルを登録することができます。また、メモリーバンクに半角の場合最大16文字の名前を付けることができます(図p. 44)。



メモリーに書き込む

VX-8Dには900チャンネル(メモリー番号1~900)のメモリーがあります。

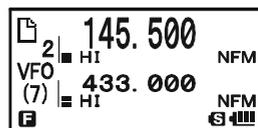
1. VFOモードにします(メモリーモードの時は^{DW MT}(V/M)を押します)。



2. メモリーする周波数をDIALツマミで選択します。

3. **[W]**を1秒以上押します。

- 書き込みモードになり、以前書き込んだメモリー番号の次のメモリー番号がディスプレイに点滅します。
- PTTスイッチを押すと、書き込みモードをキャンセルすることができます。



4. メモリーチャンネルを指定して書き込む場合は、DIALツマミをまわして希望するメモリーチャンネルを選択します。

- 未登録のメモリーチャンネルは左側に \square が点灯し、メモリーチャンネルが点滅します。
- すでに登録してあるメモリーチャンネルには、メモリーチャンネルの左側に \square が点灯します。登録してあるメモリーチャンネルに上書きしようとする時、ディスプレイに“上書きOK?”が表示され、上書きしてよいか警告が表示されます。よい場合は**[W]**短く押してください。
- **[MENU]**を押すたびに100チャンネルステップで早送りすることができます。

5. **[W]**を短く押してメモリー書き込みを完了します(もとの周波数表示に戻ります)。

- メモリーチャンネル1にあらがじめ145.000MHzが登録されています。上書きすることはできません。
- すでに登録されているメモリーチャンネルに再度書き込み操作を行うと、新しい周波数に書き替えることができます。また、次回メモリーの書き込みをするときは、何も登録されていないメモリーチャンネルが呼び出されます。
- **[W]**を短く押した後^{RADIO}(R)を押してラジオを受信中に、ラジオの周波数をメモリーすることができます。メモリー方法は上記の手順3~手順5を行います。
- セットモードの『56 MEMORY WRITE』により、メモリー書き込み時に何もメモリーされていない最も小さい番号のメモリー番号を表示することができます。
- セットモードの『54 MEMORY PROTECT』により、すべてのメモリーを書き込み禁止にすることができます。

⚠ 注意 ⚠

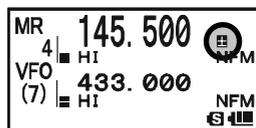
メモリーした内容は、誤操作や静電気または電氣的雑音を受けたときに消失する場合があります。また、故障や修理の際にも消失する場合がありますので、メモリーした内容は、必ず紙などに控えておくようにしてください。

— スプリットメモリー —

1つのメモリーチャンネルに異なる受信周波数と送信周波数を登録することができます。

1. 上記の“メモリーを書き込む”に従い、受信周波数をメモリーします。
2. VFOモードで送信周波数を選択します。
3. **[W]**を1秒以上押します。
4. DIALツマミをまわして、受信周波数をメモリーしたチャンネル番号を選択します。
5. PTTスイッチを押しながら**[W]**を短く押します。

異なる受信周波数と送信周波数を登録したメモリーチャンネルは、メモリーを呼び出したとき、ディスプレイに“ \square ”が表示されます。

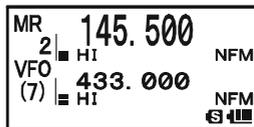


メモリーを呼び出す

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は $\frac{DW}{V/M}$ を押します)。

最後に使用したメモリーチャンネルが呼び出されます。

2. DIALツマミをまわして呼び出すメモリーチャンネルを選択します。



$\frac{DW}{V/M}$ を短く押しした後に DIAL ツマミをまわすと、10チャンネルづつ早送りすることができます (工場出荷時)。

セッティングモードの『52 MEMORY FAST』により、早送りのチャンネルを変更することができます。

$\frac{DW}{V/M}$ を押すと、VFOモードに戻り、メモリーモードに移行する前に選択していた周波数になります。

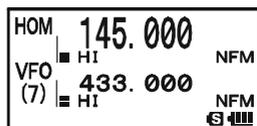
テンキーでメモリーチャンネル番号を入力し、 $\frac{DW}{V/M}$ を押すことで呼び出すこともできます。(例: STEP 1 SKIP $\frac{DW}{V/M}$)

- DIAL ツマミをまわしたときは、周波数書き込まれていないメモリーチャンネルはスキップされます。
- VFO-A でラジオを受信中に $\frac{DW}{V/M}$ を短く押すと、ディスプレイにラジオ周波数のメモリーチャンネル (AM 放送, FM 放送, TV (1チャンネル〜3チャンネル) 放送) だけが呼び出されます。メモリーされていない場合は、“NO MEMORY” が1秒間点灯します。
- 工場出荷時では、メモリーチャンネル1にデュアルレシーブの優先チャンネルとして使用されるプライオリティメモリーチャンネルが設定されています。メモリー番号の右上に“P”の表示が点灯します (※p. 140)。
- $\frac{DW}{V/M}$ を1秒押しした後に $\frac{DW}{V/M}$ を押すと、“上書きOK?” がディスプレイに表示され、 $\frac{DW}{V/M}$ を押すとメモリーチャンネルの内容を操作バンドのVFOに転送します (メモリー→VFO転送)。
- メモリーモードだけで運用することもできます。 $\frac{DW}{V/M}$ を押しながら $\frac{DW}{V/M}$ を押して電源をオンにすると、メモリーチャンネルだけを使える状態 (メモリーオンリーモード) になります。もう一度 $\frac{DW}{V/M}$ を押しながら $\frac{DW}{V/M}$ を押して電源をオンにすると、メモリーオンリーモードは解除されます (※p. 167)。

ホームチャンネルを呼び出す

$\frac{EMG}{R/H}$ を短く押します。

- $\frac{EMG}{R/H}$ を押したときに選択されている周波数帯のホームチャンネル (下表) が呼び出されます。
- DIAL ツマミをまわして周波数を選択するとVFOモードに戻ります。



もう一度 $\frac{EMG}{R/H}$ を押すと、ホームチャンネルを呼び出す前に選択していた周波数になります。

周波数帯	周波数	周波数帯	周波数	周波数帯	周波数
144MHz帯 [4]	145.000MHz	TV-UHF放送帯 [8]	481.750MHz	50MHz帯 [2]	51.000MHz
TV-VHF放送帯(2) [5]	175.750MHz	情報無線帯(2) [9]	859.000MHz	FMラジオ放送帯 [F]	76.000MHz
情報無線帯(1) [6]	379.000MHz	AMラジオ放送帯(中波) [A]	540kHz	TV-VHF放送帯(1) [1]	95.750MHz
430MHz帯 [7]	433.000MHz	短波帯 [1]	1.800MHz	航空無線帯 [3]	108.000MHz

ホームチャンネルの周波数を変更する

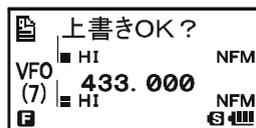
ホームチャンネルの周波数を変更することができます。

1. VFOモードにします。
2. 変更したい周波数をDIALツマミで選択します。
3. $\frac{EMG}{R/H}$ を1秒以上押しして書き込みモードにします。
4. $\frac{EMG}{R/H}$ を短く押します。

ディスプレイに約1秒間“上書きOK?”が表示されます。

5. 再度 $\frac{EMG}{R/H}$ を短く押しして書き込みが終了します。

変更した周波数の周波数帯におけるホームチャンネルが変更されます。



メモリーチューン機能 -メモリーチャンネルの内容を一時的に変える-

呼び出したメモリーチャンネルの内容を一時的に変更することができます。

- メモリーモードで、**[QW]**を短く押した後に^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、メモリーチューン機能が動作し、ディスプレイに“TUN”が表示されます。
- DIALツマミをまわして、一時的に周波数を変更することができます。
- [QW]**を短く押した後に^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、メモリーチューン機能が動作する前のチャンネルに戻ります。



- メモリーチューンのときに^{DW MT}**[QW]**を1秒以上押した後^{DW MT}**[V/M]**を短く押すと、“上書きOK?”がディスプレイに表示され、^{DW MT}**[V/M]**を押すと一時的に変更している周波数が操作/バンドのVFOに転送され、VFOモードで運用することができます。
- メモリーチューン機能はメモリーチャンネル“901~999”と“EA”では、動作しません。

メモリーを消す

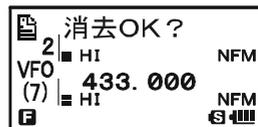
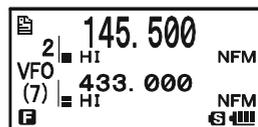
- メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW MT}**[V/M]**を押します)。
- [QW]**を1秒以上押します。
- DIALツマミをまわして、消したいメモリーチャンネルを選択します。
- ^{TX PO}**[X]**を短く押します。
- 消してよければ^{TX PO}**[X]**を短く押します。

ディスプレイに約3秒間“消去OK?”の警告が表示されます。

[QW]を押すとメモリーの消去をキャンセルすることができます。

消去は完了します。

続けて他のメモリーを消すには、手順2から手順5を繰り返します。



メモリーを使う

- メモリーチャンネル1は消去できません。

消したメモリーを復活する

消した直前のメモリーを復活することができます。

- メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW MT}**[V/M]**を押します)。
最後に使用したメモリーチャンネルが呼び出されます。
- [QW]**を1秒以上押した後、DIALツマミをまわして復活したいメモリーチャンネルを選択します。
- ^{TX PO}**[X]**を短く押します。
メモリーチャンネルが復活します。

メモリータグを使う

■ メモリーに名前をつける

メモリーチャンネル、ホームチャンネルなどにコールサインや放送局名などの名前(メモリータグ)を半角の場合最大16文字(全角8文字)つけることができます。

入力できる文字(文字種)は、英字(大文字 全角/半角, 小文字 全角/半角), 数字(全角/半角), 記号, ひらがな(全角/半角, 濁点/半濁点), カタカナ(全角/半角, 濁点/半濁点), 漢字(約6000文字)があります。

入力方法として, “音読み”または“文字コード”(ディスプレイに表示)で漢字を選択します。さらに漢字以外にも全角文字は“文字コード”が表示され, 英数字, ひらがな, カタカナ, 記号を選択することができます。

「文字コード一覧表」は204ページを参照してください。

入力例は下記を参照してください。

<<例>>「東京クラブ2」を入力する場合

1. メモリーモードにします(VFOモードの時は $\frac{DW}{V/M}$ を押します)。

2. 名前をつけるメモリーチャンネルを呼び出します。

3. MENU を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

4. DIALツマミをまわして『53 MEMORY NAME』を選択します。

5. MENU を短く押します。

ディスプレイに“▼”のカーソルが点灯します。

6. $\frac{DW}{V/M}$ を5回押して「漢字」を選択します。

押すごとに下記のように選択できます。

英数字半角(A, 0)⇔カタカナ半角(ア)⇔英数字全角(A, 0)⇔

⇔カタカナ全角(ア)⇔ひらがな(あ)⇔漢字⇔英数字半角(A, 0)に戻る

7. $\frac{ARTS}{4GH}$ を5回押して「宍(0AC6)」を選択します。

た行の漢字が音読み順に表示されます。

8. DIALツマミをまわして「東(0AEC)」を選択します。

9. $\frac{SPS}{MODE}$ を押して次の桁へカーソルを移動します。

10. $\frac{CODE}{2ABC}$ を2回押して「企(026B)」を選択します。

か行の漢字が音読み順に表示されます。

11. DIALツマミをまわして「京(02FE)」を選択します。

12. $\frac{SPS}{MODE}$ を押して次の桁へカーソルを移動します。

13. $\frac{DW}{V/M}$ を4回押して「カタカナ全角(カ)」を選択します。

14. $\frac{CODE}{2ABC}$ を3回押して文字を「ク」に指定します。

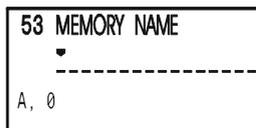
$\frac{CODE}{2ABC}$ を押すごとに カ→キ→ク→ケ→コ→カへ戻ります。

15. $\frac{SPS}{MODE}$ を押して次の桁へカーソルを移動します。

16. $\frac{SP}{WX/YZ}$ を1回押して文字を「ラ」に指定します。

$\frac{SP}{WX/YZ}$ を押すごとに ラ→リ→ル→レ→ロ→ラへ戻ります。

17. $\frac{SPS}{MODE}$ を押して次の桁へカーソルを移動します。



文字コード



メモリータグを使う (つづき)

18. ^{RPT} **6 MNO** を3回押して文字を「フ」に指定します。
^{RPT} **6 MNO** を押すごとに ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ→ハへ戻ります。
19. DIALツマミを右へ1回まわして「ブ」を選択します。
20. ^{SPS SQ TYP} **(MODE)** を押して次の桁へカーソルを移動します。
21. ^{DW. MT} **(V/M)** を5回押して「英数字全角 (A, 0)」を選択します。
22. ^{CODE} **2 ABC** を7回押して文字を「2」に指定します。
^{CODE} **2 ABC** を押すごとに A→B→C→a→b→c→2→Aへ戻ります。
23. **(MENU)** を1秒以上押して完了します。
 メモリーチャンネルにメモリータグが書き込まれ、セットモードを終了します。

53 MEMORY NAME
東京クラブ
ア 0A95

53 MEMORY NAME
東京クラブ
ア 0A96

53 MEMORY NAME
東京クラブ ²
A,0 0592

- 文字を修正したいときは、^{SC BAND IN} **(BAND)** (左方向へ移動)または^{SPS SQ TYP} **(MODE)** (右方向へ移動)を押して修正したい桁に合わせ、DIALツマミをまわして文字を選択します。
- 文字を入力中に^{EMG R/H} **(M/RV)**を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- ^{DW. MT} **(V/M)** : 文字種を変更します。
- “ひらがな”、“カタカナ”及び“漢字” (音読み)は、^{STEP} **1** あり、^{CODE} **2 ABC** あり、^{DTMF} **3 DEF** あり、^{ARTS} **4 GHI** あり、^{SKIP} **5 JKL** あり、^{RPT} **6 MNO** あり、^{AF-DUAL} **7 RS** あり、^{SP-ANA} **8 TUV** あり、^{SP-BNK} **9 WXYZ** あり、^{RADIO} **0** ありで呼び出すことができます。
- 半角で濁点/半濁点の文字、句点、読点、小文字などの文字を入力するときは、DIALツマミをまわすといろいろな文字が選択できます。
- 全角または半角の英数字(A, 0)のときに^{RADIO} **0**を押すと、0、(スペース)、-、?、!、.、:、#、/を選択することができます。
- 漢字選択時、表示される漢字は文字コード順に出てくるため、目的の漢字の間に記号やアイコンなどが表示される場合があります。
- 同一グループ文字を続けて入力する場合は、^{SPS SQ TYP} **(MODE)**を押してカーソルを移動します。
- ホームチャンネルに名前をつける場合は、あらかじめ手順1.で名前をつけたいホームチャンネルを呼び出しておきます。

メモリーを使う

■ メモリータグを表示する (モノバンド表示のみ)

メモリーチャンネルやホームチャンネルなどにタグ(名前)を表示するには下記のように行います。

1. 操作バンドをメモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW. MT} **(V/M)**を押します)。
2. デュアルバンド表示のときは、操作バンドの^{MR} **MR** または^{MR} **MR** を1秒以上押してモノバンド表示にします。
 周波数の下にタグ(名前)を表示します。
 倍角表示のときも周波数の下にタグ(名前)を表示します。

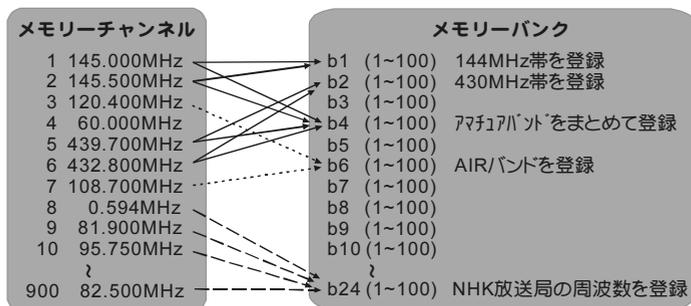
MR	145.500
2	東京クラブ ²
Lit	7.5V 13:30
A	NFM

タグ (名前) 表示

メモリーバンクを使う

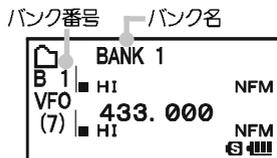
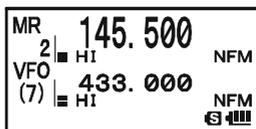
メモリーチャンネルを使用目的ごとのバンクに分けて整理することができます。VX-8Dでは24種類のメモリーバンクに分けることができ、1つのメモリーバンクには最大100個のメモリーチャンネルを登録できます。

また、メモリーチャンネルを複数のメモリーバンクに登録することもできます。メモリーバンクに登録したメモリーチャンネルを変更または更新すると、メモリーバンク内のメモリーチャンネルの内容も変更されます。



■メモリーバンクに登録する

1. メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW MT}(V/M)を押します)。
2. メモリーバンクに登録するメモリーチャンネルを呼び出します。
DIALツマミでメモリーチャンネルを選択します。
3. **[V]**を1秒以上押すと、メモリーの書き込みモードになります。
4. DIALツマミをまわしてメモリーバンクの番号 (B 1~B 24) を指定します。



—メモリーバンク選択時の注意—

メモリーバンクを選択時にメモリーチャンネル、スキップサーチメモリーチャンネル、プログラムブルメモリーチャンネルも表示されます。表示される順序はDIALツマミをまわすと“1⇔2⇔3⇔...⇔L50⇔U50⇔BANK1⇔BANK2...⇔BANK24⇔1...”と表示され、太文字がメモリーバンクになります (メモリーチャンネルが“1”に近ければDIALツマミを左へ、またメモリーチャンネルが“U50”に近ければ右にまわすとメモリーバンクが表れます。また、**[MENU]**を短く押すと100桁ずつ早送りすることができます (メモリーバンク名を変更している場合は、変更したバンク名を表示します)。

メモリーバンクに何も登録されていない場合は“□”が表示され、登録されている場合は“■”が表示されます。

5. **[V]**を短く押して登録が完了します。

○ スペシャルバンクのプリセットメモリーをメモリーバンクに登録する場合は53ページの「聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する」を参照してください。

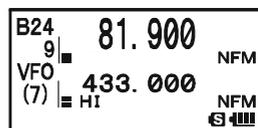
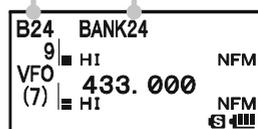
メモリーバンクを使う(つづき)

■メモリーバンクを呼び出す

- メモリーモードにします(VFOモードの時は^{DW MT}**[V/M]**を押します)。
- ^{SC-MBND DA}**[BAND]**を押し、メモリーバンクを選択します。
^{SC-MBND DA}**[BAND]**を押すたびに“メモリー番号”⇔“BANK(番号)”が切り替わります。
- 他のメモリーバンク番号にするときは、**[BANK]**を押した後^{SC-MBND DA}**[BAND]**を押します。
- DIALツマミをまわしてメモリーバンク(BANK 1～BANK 24)を選択します。
- ^{SC-MBND DA}**[BAND]**を短く押して確定します。
- DIALツマミをまわしてバンク内のメモリーを選択します。
他のメモリーバンクを選択するときは、手順3～手順6を行ないます。
- 通常のメモリーモードに戻すときは、^{SC-MBND DA}**[BAND]**を短く押します。
通常のメモリーモードに戻ります。



バンク番号 バンク名



[BANK]を短く押した後^{RADIO}**[0]**でラジオを受信中に、^{DW MT}**[V/M]**を短く押してメモリーを呼び出し、さらに^{SC-MBND DA}**[BAND]**を短く押してメモリーバンクを呼び出すと、メモリーバンク内のメモリーチャンネルに書き込んだラジオ周波数のメモリーチャンネル(AM放送、FM放送、TV(1チャンネル～3チャンネル)放送)だけが呼び出されます。

メモリーバンクを使う(つづき)

■メモリーバンクへの登録を解除する

1. “メモリーバンクを呼び出す”を参考に、登録を解除したいメモリーチャンネルが登録されているメモリーバンクを呼び出します。
2. DIALツマミで、登録を解除したいメモリーチャンネルを選びます。
3. **[W]**を1秒以上押した後、**[TX PO]**を押します。

メモリーバンクへの登録が解除され、手順1. で呼び出したメモリーバンクの状態に戻ります。
なお、登録を解除したことにより、メモリーバンクが“空”になる場合は、バンク番号の最も小さなメモリーバンクに戻ります。

■メモリーバンクに名前を付ける

メモリーバンクに最大16文字の名前をつけることができます。

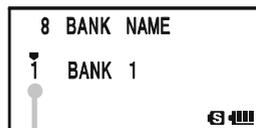
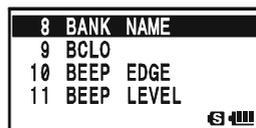
入力できる文字(文字種)は、英字(大文字 全角/半角, 小文字 全角/半角), 数字(全角/半角), 記号, ひらがな(全角/半角, 濁点/半濁点), カタカナ(全角/半角, 濁点/半濁点), 漢字(約6000文字)があります。

入力方法として、“音読み”または“文字コード”(ディスプレイに表示)で漢字を選択します。さらに漢字以外にも全角文字は“文字コード”が表示され、英数字, ひらがな, カタカナ, 記号を選択することができます。

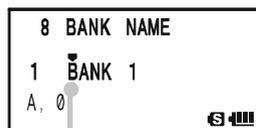
「文字コード一覧表」は204ページを参照してください。

入力例は下記を参照してください。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『8 BANK NAME』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして、名前を付けたいメモリーバンク番号を表示させます。
5. **[SPS SQ TRF MODE]**を押します。
カーソルがバンク名の1桁目に移動します。



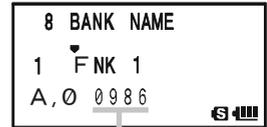
バンク番号



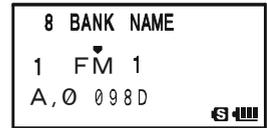
バンク名を変更します
名前入力 (1桁目)

メモリーバンクを使う(つづき)

6. ^{DW/MT}_(V/M) を2回押して「英数字全角(A, 0)」を選択します。
 押すごとに下記のように選択できます。
 英数字半角(A, 0)⇨カタカナ半角(ア)⇨英数字全角(A, 0)⇨
 ⇨カタカナ全角(ア)⇨ひらがな(あ)⇨漢字⇨英数字半角(A, 0)に戻る
7. ^{DTMF}_(3 DEF) を3回押して文字を「F」に指定します。
^{DTMF}_(3 DEF) を押すごとに D⇨E⇨F⇨d⇨e⇨f⇨3⇨Dへ戻ります。
8. ^{RPT}_(6 MNO) を1回押して文字を「M」に指定します。
^{RPT}_(6 MNO) を押すごとに M⇨N⇨O⇨m⇨n⇨o⇨6⇨Mへ戻ります。
9. ^{DW/MT}_(V/M) を3回押して「漢字」を選択します。
10. ^{ARTS}_(4 GHI) を5回押して「保(005D)」を選択します。
 は行の漢字が音読み順に表示されます。
11. DIALツマミをまわして「放(007C)」を選択します。
12. ^{SPS SQ TYP}_(MODE) を押して次の桁へカーソルを移動します。
13. ^{DTMF}_(3 DEF) を5回押して「贈(08B9)」を選択します。
14. DIALツマミをまわして「送(08F7)」を選択します。
15. ^{CODE}_(2 ABC) を2回押して「企(026B)」を選択します。
16. DIALツマミをまわして「局(0349)」を選択します。
17. ^(MENU) を1秒以上押して完了します。
 メモリーバンク名「BANK 1」が「FM放送局」に変更され、セットモードを終了します。



文字コード



- 文字を修正したいときは、^{SC-MBND DN}_(BAND) (左方向へ移動)または^{SPS SQ TYP}_(MODE) (右方向へ移動)を押して修正したい桁にあわせ、DIALツマミをまわして文字を選択します。
- 文字を入力中に^{DW/MT}_(V/M)を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- ^{DW/MT}_(V/M) : 文字種を変更します。
- “ひらがな”、“カタカナ”及び“漢字”(音読み)は、^{STEP}₍₁₎ 4行、^{CODE}_(2 ABC) 6行、^{DTMF}_(3 DEF) 8行、^{ARTS}_(4 GHI) 10行、^{SKIP}_(5 JKL) 12行、^{RPT}_(6 MNO) 14行、^{AF-DUAL}_(7 PQ) 16行、^{SP-ANA}_(8 TUV) 18行、^{SP-BNK}_(9 WX) 20行、^{RADIO}₍₀₎ 21行で呼び出すことができます。
- 全角または半角の英数字(A, 0)のときに^{RADIO}₍₀₎を押すと、0、(スペース)、-、?、!、.、:、#、/を選択することができます。
- 半角で濁点/半濁点の文字、句点、読点、小文字などの文字を入力するときは、DIALツマミをまわすといろいろな文字が選択できます。
- 漢字選択時、表示される漢字は文字コード順に出てくるため、目的の漢字の間に記号やアイコンなどが表示される場合があります。
- メモリーバンク内のメモリーチャンネルに名前をつける場合は、“メモリーバンクを呼び出す”を参照し、メモリーチャンネルを呼び出しておき、手順1から操作します。

便利なスペシャルバンク

各地域に合わせてチャンネルを選択できる 62 チャンネルの TV 専用メモリー、主要な JR 鉄道無線 (19 チャンネル)、国際 VHF (マリン) 無線 (57 チャンネル)、世界各地の放送 / AM・FM ラジオ / TV 放送 (273 チャンネル)、特定小電力無線 (20 チャンネル)、ワイヤレスマイク (172 + 13 チャンネル)、救急 / 消防無線 (20+85 チャンネル) などのアクションバンドをあらかじめプリセットしてあるスペシャルバンクメモリーです。

TV 専用プリセットメモリー “SP1 TV 放送” 49 ページ

TV 専用メモリーを呼び出すと TV 放送の音声を簡単な操作で聴くことができます。また、現在いる場所で受信できる TV 放送だけを選択できるようになります。

JR 鉄道無線プリセットメモリー “SP2 鉄道無線” 50 ページ

主要な JR 鉄道無線のチャンネルがあらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。また設定により、2280Hz の空線信号の音を消して、待ち受け受信をすることができます。

国際 VHF (マリン) 無線プリセットメモリー “SP3 国際 VHF” 52 ページ

国際 VHF (マリン) 無線で使われている周波数 (57 チャンネル) が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

世界各地の放送 / AM・FM ラジオ / TV 放送プリセットメモリー “SP4 ラジオ” 53 ページ

世界各地の主な放送、AM/FM ラジオ放送、TV 放送を聴くことができます。全部で 273 チャンネルで専用のスペシャルバンクに登録されています。

特定小電力無線プリセットメモリー “SP5 特定小電力” 54 ページ

特定小電力カトランシーバーで使われている周波数 (20 チャンネル) が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

ワイヤレスマイクプリセットメモリー “SP6 ワイヤレス A” “SP7 ワイヤレス C” 55 ページ

主要なワイヤレスマイクロホンで使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

救急無線プリセットメモリー “SP8 救急無線” 56 ページ

救急アナログ無線 (20 チャンネル) で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

消防無線プリセットメモリー “SP9 消防無線” 56 ページ

消防アナログ無線 (85 チャンネル) で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

スペシャルバンクのTV専用メモリーでTV放送を聴く

TV専用メモリーを呼び出すとTV放送の音声を簡単な操作で聴くことができます。ディスプレイにはTV放送の周波数とチャンネルが同時に表示されますので簡単に選択できます。また、現在いる場所で受信できるTV放送だけを自動的にスキャンし、選択することができます。

本機で受信できるTV放送(音声)は、アナログテレビ放送の音声で、デジタル放送の音声を聴くことはできません。アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了しましたので、テレビ音声を聴くことはできません。

■ TV放送をチャンネル番号で選択する

1. **A** を押して操作バンドをAバンドにします。
RM が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **W** を押した後に **SP BNK** を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. **SC-MEND ON BAND** を数回押して「TV放送」を選択します。
 選択後プリセットされているTVチャンネルと周波数を表示します。
4. DIALツマミをまわし、聴きたいTVチャンネルを選択します。
5. TV放送の受信を終了するときには、**W** を押した後に **SP BNK** を押します。



■ 現在いる場所で受信できるTVチャンネルを選択する

次の操作を行うと、現在いる場所で受信できるTV放送だけを選択できるようになります。

1. **A** を押して操作バンドをAバンドにします。
RM が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **W** を押した後に **SP BNK** を押します (SP BNK)。スペシャルバンクになります。
3. **SC-MEND ON BAND** を数回押して「TV放送」を選択します。
4. **SC-MEND ON BAND** を1秒以上押して放すとスキャンを開始します。
 TV放送のすべてのチャンネルをスキャンした後自動的にスキャンは停止し、受信信号のなかったチャンネルは表示しないように設定されます。
5. 上記の方法でTV放送の選択を行うと、受信できるTV放送だけを選択することができます。



- 全チャンネル受信できる状態(工場出荷時と同じ状態)に戻すには、**W** を押した後 **MR** を押して、スケルチレベルを“0”にセットしてからスキャンをしてください。
- 放送のないチャンネルが表示される場合は、スケルチレベルを上げてからもう一度上記の操作を行ってください。
- 受信する地域が変わった場合は、上記の操作を繰り返して設定しなおしてください。
- TV放送のチャンネルを選択しているときに、**W** を1秒以上押した後 **TXPO** を押すと、そのチャンネルをスキップさせることができます。また、チャンネルを復活させる場合は、**W** を1秒以上押した後、DIALツマミでスキップさせたTVチャンネルに合わせ、**TXPO** を押すともどに戻ります。
- 登録されている各TVチャンネル(62チャンネル)の音声周波数は202ページの“TVチャンネル/周波数一覧表”を参照してください。
- よく聴くTV放送局をメモリーバンクに登録することができます(「聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する」を参照：p. 53)。

ーメモリーバンク選択時の注意ー

メモリーバンク以外にTVチャンネルも表示されます。表示される順序はDIALツマミをまわすと、「1⇔2⇔3⇔…62⇔B1⇔B2⇔B24⇔1…」と表示され、太文字がメモリーバンクになります。TVチャンネルが1に近ければDIALツマミを左へ、またTVチャンネルが62に近ければ右にまわすとメモリーバンクが表れます。また、誤ってTVチャンネル1〜62に登録しようとしても、「MW ERROR」メッセージが表示され登録されません。

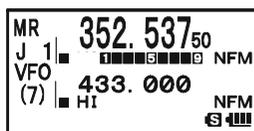
スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く

主要なJR鉄道無線のチャンネルがあらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。よく聴くJR鉄道無線のチャンネルを普通のメモリーに書き込むことができます。また、2280Hzの空線信号の音を消して、待ち受け受信をすることができます。

デジタル通信に移行している地域では、受信することができません。

■JR鉄道無線のチャンネルを選ぶ

1. **[A]**を押して操作バンドをAバンドにします。
[RM]が点灯している場合は、RADIO機能またはAF DUAL機能をオフにしてください。
2. **[W]**を押した後に^{SP BNK}**[9/17]**を押します (SP BNK)。
 スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-MBND DA}**[BAND]**を数回押して「鉄道無線」を選択します。
 選択後、プリセットされているJR鉄道無線の周波数を表示します。
[A]を長く押ししてモノバンド運用にすると、通信局名も表示します。
4. DIALツマミをまわして希望のJR鉄道無線の周波数を選択します(下表参照)。
5. 鉄道無線の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9/17]**を押します。



スペシャルバンクに登録されているJR鉄道無線の周波数

チャンネル番号	周波数 (MHz)						
J1	352.5375 列車無線1基地局	J6	336.0625 列車無線3移動局	J11	352.6000 列車無線6基地局	J16	336.1250 列車無線8移動局
J2	336.0375 列車無線1移動局	J7	352.5750 列車無線4基地局	J12	336.1000 列車無線6移動局	J17	414.4250 Cタイプ入換波
J3	352.5500 列車無線2基地局	J8	336.0750 列車無線4移動局	J13	352.6125 列車無線7基地局	J18	414.5500 Cタイプ上り波
J4	336.0500 列車無線2移動局	J9	352.5875 列車無線5基地局	J14	336.1125 列車無線7移動局	J19	415.2000 Cタイプ下り波
J5	352.5625 列車無線3基地局	J10	336.0875 列車無線5移動局	J15	352.6250 列車無線8基地局	-	-

- スペシャルバンクは、他の周波数のデータに書き換えることはできません。
- **[▲]**または**[▼]**を1秒以上押し続けて離すとスペシャルバンクに登録されているJR鉄道無線のチャンネルをスキャンします。
 スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。
 スキャンが停止したときの動作を設定することができます。「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照：(p.59)。
- よく聴くJR鉄道無線をメモリーバンクに登録することができます。「聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する」を参照：(p.53)。

⚠ 注意 ⚠

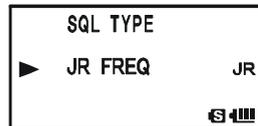
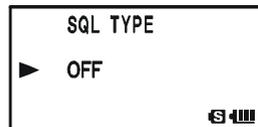
電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く(つづき)

■JRの空線信号音を消す (空線スケルチ機能)

通話が行なわれていないときに聴こえる、「ピー」という2280Hzの空線信号音を消すことができます。

1. スペシャルバンクにより、聴きたいJR鉄道無線の周波数を選択します。
2. **[W]**を短く押した後 **[MODE]**を短く押します (SQ TYP)。
セットモード『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「JR FREQ」を選択します。
ディスプレイの右側に「JR」が点灯します。
4. **[MODE]**を短く押して設定を終了します。
空線スケルチを解除するには、上記の操作を繰り返し、手順3.の項目で「OFF」を選択します。

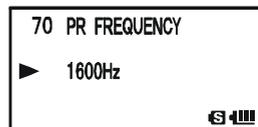
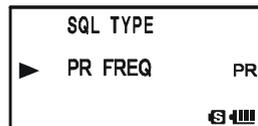
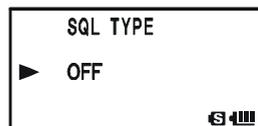


- 2280Hzの空線信号を受信すると、スケルチが動作し空線信号音を消します。
また、2280Hzの空線信号がなくなるとスケルチが解除されます。
- 信号が弱いときやノイズが多いときなどは、動作しないことがあります。

■JR以外の空線信号音を消す (可変型空線スケルチ機能)

300Hz～3000Hzの空線スケルチの周波数を100Hzステップで設定することができます。

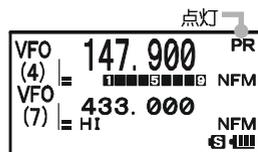
1. VFOモードまたはメモリーモードにより、聴きたい鉄道無線の周波数を選択します。
2. **[W]**を短く押した後 **[MODE]**を短く押します (SQ TYP)。
セットモード『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「PR FRQ」を選択します。
ディスプレイの右側に「PR」が点灯します。
4. **[MODE]**を短く押して設定を終了します。
5. **[MENU]**を1秒以上押してセットモードにします。
6. DIALツマミをまわして『70 PR FREQUENCY』を選択します。
7. **[MENU]**を短く押します。
8. DIALツマミをまわして空線信号が消える周波数に選択します。



300Hz～3000Hzの空線スケルチの周波数を100Hzステップで設定することができます(工場出荷時: 1600Hz)。

9. **[MENU]**を1秒以上押します。
空線スケルチを解除するには、上記の操作を繰り返し、手順3.の項目で「OFF」を選択します。

- 設定した周波数の空線信号を受信すると、スケルチが動作し空線信号音を消します。
また、設定した周波数の空線信号がなくなるとスケルチが解除されます。
- 信号が弱いときやノイズが多いときなどは、動作しないことがあります。



メモリーを使う

スペシャルバンクを呼び出して国際VHF (マリン) 無線を聴く

国際VHF (マリン) 無線で使われている周波数 (57チャンネル) が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

- [A]** を押して操作バンドをAバンドにします。
[RM] が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
- [BW]** を押した後に **[9]** を押します (SP BNK)。
 スペシャルバンクになります。
- [BAND]** を数回押して「国際VHF」を選択します。
- DIALツマミをまわして希望のチャンネルを選択します (下表参照)。
- 国際VHF (マリン) 無線の受信を中止するときは、**[9]** を押します。



スペシャルバンクに登録されている国際VHF (マリン) 無線の周波数

予約 番	周波数 (MHz)		予約 番	周波数 (MHz)		予約 番	周波数 (MHz)			
1	156.050	160.650*	15	156.750	60	156.025	160.625*	74	156.725	
2	156.100	160.700*	16	156.800	61	156.075	160.675*	75	156.775	
3	156.150	160.750*	17	156.850	62	156.125	160.725*	76	156.825	
4	156.200	160.800*	18	156.900	161.500*	63	156.175	160.775*	77	156.875
5	156.250	160.850*	19	156.950	161.550*	64	156.225	160.825*	78	156.925
6	156.300		20	157.000	161.600*	65	156.275	160.875*	79	156.975
7	156.350	160.950*	21	157.050	161.650*	66	156.325	160.925*	80	157.025
8	156.400		22	157.100	161.700*	67	156.375		81	157.075
9	156.450		23	157.150	161.750*	68	156.425		82	157.125
10	156.500		24	157.200	161.800*	69	156.475		83	157.175
11	156.550		25	157.250	161.850*	70	156.525		84	157.225
12	156.600		26	157.300	161.900*	71	156.575		85	157.275
13	156.650		27	157.350	161.950*	72	156.625		86	157.325
14	156.700		28	157.400	162.000*	73	156.675		87	157.375
									88	157.425
										162.025*

- スペシャルバンクは他の周波数のデータに書き換えることはできません。
- ※は基地局の周波数です。例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数 160.650MHzが表示されて **[■]** が点灯します。 **[BW]** を短く押した後に **[FMG]** を短く押すと船舶局の周波数 156.050MHzが表示されて **[■]** が点滅します。基地局の周波数からマイナス4.6MHzの周波数が船舶局の周波数になり、複信運用となります。
- **[▲]** または **[▼]** を1秒以上押すとスペシャルバンクに登録されているチャンネルをスキャンします。スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。スキャンが停止したときの動作を設定することができます (「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: 59p. 59)
- 希望のチャンネルをメモリーバンクに登録することができます (聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する: 53p. 53)。

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して世界各地の放送、AM/FMラジオ、TV放送を聴く

放送局専用のスペシャルバンクから世界各地の主な放送、AM/FMラジオ放送、TV放送を聴くことができます。全部で273チャンネルあります。

よく聴く放送局を普通のメモリーに書き込むことができます。周波数だけでなく放送局名もメモリーします。

スペシャルバンクに登録されている周波数は、「プリセットされている放送局周波数一覧表」を参照してください(198ページ参照)。

本機で受信できるTV放送(音声)は、アナログテレビ放送の音声で、デジタル放送の音声を聴くことはできません。アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了しましたので、テレビ音声を聴くことはできません。

■ 聴きたい放送局を選択する

1. **[A]**を押して操作バンドをAバンドにします。

[RM]が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。

2. **[W]**を押した後に^{SP BNK}**[9]**を押します (SP BNK)。

スペシャルバンクになります

3. ^{SC-MEMO DA}**[BAND]**を数回押して「ラジオ」を選択します。

選択後、登録されている放送局のリストチャンネルを表示します。

[A]を長く押ししてモノバンド運用にすると、放送局名も表示します。

4. **DIALツマミ**をまわして聴きたい放送局を選択します。

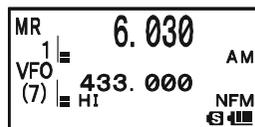
5. 放送局の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9]**を押します。

- スペシャルバンクは他の周波数のデータに書き換えることはできません。
- **[▲]**または**[▼]**を1秒以上押しすとスペシャルバンクに登録されている放送局のチャンネルをスキャンします。

スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。

スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: 198p. 59)。

- 短波放送のバンドを受信するときは、市販の外部アンテナの取り付けをおすすめします。
- 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは、受信できない場合があります。
- 各放送局は198ページに示す一覧表以外にも受信できる周波数があります。詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください。



メモリーを使う

■ 聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する

よく聴く放送局を24種類のメモリーバンクに登録することができます。

1. **DIALツマミ**をまわして聴きたい放送局を選択します。

2. **[W]**を1秒以上押します。

書き込みモードになり、ディスプレイに「**[W]**」が点滅します。

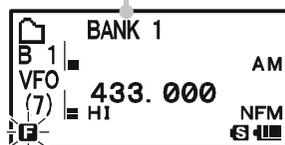
PTTスイッチを押すと、登録をキャンセルすることができます。

3. **DIALツマミ**をまわして希望するメモリーバンク番号を選択します。

4. **[W]**を短く押ししてメモリー書き込みを完了します。

選択していた周波数表示に戻ります。

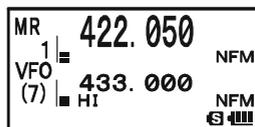
メモリーバンク番号



スペシャルバンクを呼び出して特定小電力無線を聴く

特定小電力トランシーバーで使われている周波数(20チャンネル)が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

1. を押して操作バンドをAバンドにします。
RMが点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. を押した後に^{SP BNK}を押します (SP BNK)。
スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-BAND DA}を数回押して「特定小電力」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望のチャンネルを選択します (下表参照)。



MR1~MR11のチャンネルは、主に業務用として使用されており、MR12~MR20のチャンネルは、主にレジャー用として使用されています。

5. 特定小電力トランシーバーの受信を中止するときは、^{SP BNK}を押します。

スペシャルバンクに登録されている特定小電力無線の周波数

チャンネル	周波数 (MHz)						
1	422.0500	6	422.1125	11	422.1750	16	422.2500
2	422.0625	7	422.1250	12	422.2000	17	422.2625
3	422.0750	8	422.1375	13	422.2125	18	422.2750
4	422.0875	9	422.1500	14	422.2250	19	422.2875
5	422.1000	10	422.1625	15	422.2375	20	422.3000

- を長く押ししてモノバンド運用にすると、周波数の下にチャンネル名が表示されます。
- 希望のチャンネルをメモリーバンクに登録することができます(聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する: 53p. 53)。



チャンネル名を表示

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

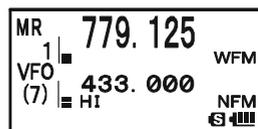
スペシャルバンクを呼び出してワイヤレスマイクを聴く

主要なワイヤレスマイクロホンで使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

■ ワイヤレスマイク(ワイヤレスA)の周波数を聴く

ワイヤレスAは、779.125MHz~809.750MHzの周波数を12.5kHzステップで172チャンネル登録されています。

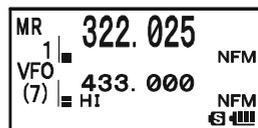
1. **A**  を押して操作バンドをAバンドにします。
RM が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **W**  を押した後に **(9 1/2)** ^{SP BNK} を押します (SP BNK)。
スペシャルバンクになります。
3. **BAND** ^{SC-MEMO ON} を数回押して「ワイヤレスA」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します。
5. ワイヤレスマイクの受信を中止するときは、**(9 1/2)** ^{SP BNK} を押し
ます。



■ ワイヤレスマイク(ワイヤレスC)の周波数を聴く

ワイヤレスCは、322.025MHz~322.400MHzの周波数を25kHzステップで13チャンネル登録されています。

1. **A**  を押して操作バンドをAバンドにします。
RM が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **W**  を押した後に **(9 1/2)** ^{SP BNK} を押します (SP BNK)。
スペシャルバンクになります。
3. **BAND** ^{SC-MEMO ON} を数回押して「ワイヤレスC」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します。
5. ワイヤレスマイクの受信を中止するときは、**(9 1/2)** ^{SP BNK} を押し
ます。



- 希望の周波数をメモリーバンクに登録することができます(聴きたい放送局をメモリーバンクに登録する：p. 53)。
- 付属のアンテナは、144MHz帯と430MHz帯での使用を前提に調節されており、さらにワイヤレスマイクの電波は非常に弱いため、距離や周りの状況などにより、良好に受信できない場合があります。良好に受信できない場合は、上記の周波数に対応した市販のアンテナを使用してください。

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して救急無線/消防無線を聴く

救急アナログ無線(20チャンネル)や消防アナログ無線(85チャンネル)で使われている周波数が、あらかじめ専用のスペシャルバンクに登録されています。

デジタル通信に移行している地域では、受信することができません。

■ 救急無線を聴く

1. **[A]**を押して操作バンドをAバンドにします。
[RM]が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **[W]**を押した後に^{SP BNK}**[9 WX]**を押します (SP BNK)。
 スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-MBND D1}**[BAND]**を数回押して「救急無線」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します (周波数表は次ページ参照)。

MR	救急無線	
SP 8	■	NFM
VFO	■	
(7)	433.000	NFM
	HI	

MR	146.040	■ NFM
1	■	
VFO	■	
(7)	433.000	NFM
	HI	

救急無線は、基地局の周波数が表示されます。

例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数146.040MHzが表示されて**[M]**が点灯します。

基地局の周波数からマイナス4MHzの周波数が移動局の周波数になります。

移動局の周波数を受信したい場合は、**[W]**を短く押した後に^{EMG R/H}**[FM/RV]**を短く押すと、移動局の周波数142.040MHzが表示され、**[M]**が点滅し受信することができます。

基地局の周波数に戻りたい場合は、**[W]**を短く押した後に^{EMG R/H}**[FM/RV]**を短く押します。

5. 救急無線の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9 WX]**を押します。

■ 消防無線を聴く

1. **[A]**を押して操作バンドをAバンドにします。
[RM]が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. **[W]**を押した後に^{SP BNK}**[9 WX]**を押します (SP BNK)。
 スペシャルバンクになります。
3. ^{SC-MBND D1}**[BAND]**を数回押して「消防無線」を選択します。
4. DIALツマミをまわして希望の周波数を選択します (周波数表は次ページ参照)。

MR	消防無線	
SP 9	■	NFM
VFO	■	
(7)	433.000	NFM
	HI	

MR	150.730	■ NFM
FC 1	■	
VFO	■	
(7)	433.000	NFM
	HI	

消防無線の場合は、全国共通周波数(FC1~FC3)、都道府県内共通周波数(Ft1~Ft7)、消防団専用周波数(Fda)、消防署活系周波数(F1~F17)、市町村周波数(1~57)の周波数が表示されます。

5. 消防無線の受信を中止するときは、^{SP BNK}**[9 WX]**を押します。

希望の周波数をメモリーバンクに登録することができます (聴きたい放送局メモリーバンクに登録する : p. 53) .

⚠ 注意 ⚠

電波法第59条で「特定の相手方に対して行われる無線通信を傍受して、その存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない」と定められています。他人の会話を聞いて、これを漏らしたり窃用することは法律で禁止されていますのでご注意ください。

スペシャルバンクを呼び出して救急無線/消防無線を聴く(つづき)

救急無線の周波数

チャンネル番号	周波数 (MHz)		チャンネル番号	周波数 (MHz)	
	基地局*	移動局		基地局*	移動局
1	146.040	142.040	11	147.420	143.420
2	146.080	142.080	12	147.440	143.440
3	146.760	142.760	13	147.460	143.460
4	146.780	142.780	14	147.480	143.480
5	146.800	142.800	15	147.500	143.500
6	146.820	142.820	16	147.740	143.740
7	146.840	142.840	17	147.760	143.760
8	146.860	142.860	18	147.780	143.780
9	146.880	142.880	19	152.030	148.030
10	147.400	143.400	20	153.110	149.110

※は基地局の周波数です。

例えば1チャンネルを選択すると基地局の周波数146.040MHzが表示されてが点灯します。

移動局の周波数を受信したい場合は、を短く押した後にを短く押します。

移動局の周波数142.040MHzが表示されてが点滅します。

基地局の周波数に戻りたい場合は、を短く押した後にを短く押します。

消防無線の周波数

チャンネル番号	周波数 (MHz)						
1	148.010	23	151.210	45	153.430	FT7*2	153.530
2	149.130	24	151.230	46	153.510	FDG*3	153.350
3	149.150	25	151.270	47	153.550	F1*4	466.3500
4	149.610	26	151.310	48	153.590	F2*4	466.3625
5	149.630	27	151.430	49	153.710	F3*4	466.3750
6	149.710	28	151.550	50	153.750	F4*4	466.3875
7	149.730	29	151.570	51	153.830	F5*4	466.4000
8	149.750	30	151.590	52	153.850	F6*4	466.4125
9	150.070	31	151.630	53	153.870	F7*4	466.4250
10	150.170	32	151.670	54	154.070	F8*4	466.4375
11	150.190	33	151.690	55	154.190	F9*4	466.4500
12	150.270	34	151.710	56	154.290	F10*4	466.4625
13	150.290	35	151.750	57	154.310	F11*4	466.4750
14	150.310	36	151.810	FC1*1	150.730	F12*4	466.4875
15	150.330	37	152.010	FC2*1	148.750	F13*4	466.5000
16	150.350	38	152.070	FC3*1	154.150	F14*4	466.5125
17	150.450	39	152.090	FT1*2	148.210	F15*4	466.5250
18	150.470	40	152.230	FT2*2	148.290	F16*4	466.5375
19	150.750	41	152.270	FT3*2	149.690	F17*4	466.5500
20	151.110	42	152.570	FT4*2	152.770		
21	151.150	43	152.790	FT5*2	152.810		
22	151.190	44	153.310	FT6*2	153.010		

消防無線の詳細は、下記のようになります。

市町村周波数 57チャンネル(1~57)

※1:全国共通周波数 3チャンネル(FC1~FC3)

※2:都道府県内共通周波数 7チャンネル(FT1~FT7)

※3:消防団専用周波数 1チャンネル(FDG)

※4:消防署活系周波数 17チャンネル(F1~F17)

スキャンを使う

VX-8Diは、“VFOスキャン”、“プログラマブルメモリスキャン”、“メモリスキャン”、“指定メモリーチャンネルスキャン”の4つのスキャンを行うことができます。

VFOスキャン

1. VFOモードにし、スキャンするバンドを選択します。
2. **[SC-MBND DA BAND]** を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表示※	動作状態
ALL	現在の周波数から1.8MHz～999MHz内の全バンドをスキャンします (AM中波放送, FM放送, TV放送 (1ch～3ch)の周波数を除く)。
(FMS番号)	FMSスキャンのショートカット (46ページの手順1.～手順2. をショートカット) です。あらかじめFMSメモリーが登録してある場合のみ、FMSメモリー番号を表示します。DIALツマミをまわしてスキャンしたいFMSメモリーを指定し、FMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
±1MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド (下表参照) 内を±1MHzの範囲でスキャンします。
±2MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド (下表参照) 内を±2MHzの範囲でスキャンします。
±5MHz	現在の周波数を中心にスタートした周波数のバンド (下表参照) 内を±5MHzの範囲をスキャンします。
BAND	現在の周波数からスキャンし、スタートした周波数のバンド (下表参照) 内をスキャンします。

3. **[SC-MBND DA BAND]** を離すと周波数が高い方向にスキャン (SCAN) が開始されます。

DIALツマミを右方向にまわすと周波数が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすと周波数が低くなる方向に変わります。

スキャン中に信号を受信するとピープ音 (ピポツ) が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。

スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイの照明が点灯します。

5秒経過すると、スキャンを再開します。

※: **[SC-MBND DA BAND]** を押ししている間スキャン範囲を表示



信号を受信するとデシマルポイントが点滅

4. スキャンを中止するときは、**[▲]**、**[▼]** (またはPTTスイッチ) を短く押します。

もう一度、**[▲]** を1秒以上押すと周波数が高くなる方向に、**[▼]** を1秒以上押すと周波数が低くなる方向にスキャンが再開されます。

- スキャン中に、**[GW]** を押した後**[MCALL]** を押し、DIALツマミをまわすと、スケルチを調節することができます。スケルチの調節を終了するには、**[GW]** を押した後**[MCALL]** を押します。

- 周波数帯と受信周波数の関係は次のようになります。

周波数帯	受信周波数	周波数帯	受信周波数
AMラジオ放送帯 (中波) [A]	0.504～1.8MHz	144MHz帯 [4]	137～174MHz
短波帯 [1]	1.8～30MHz	TV-VHF放送帯 (2) [5]	174～222MHz
50MHz帯 [2]	30～76MHz	情報無線帯 (1) [6]	222～420MHz
FMラジオ放送帯 [F]	76～90MHz	430MHz帯 [7]	420～470MHz
TV-VHF放送帯 (1) [1]	90～108MHz	TV-UHF放送帯 [8]	470～770MHz
航空無線帯 [3]	108～137MHz	情報無線帯 (2) [9]	770～999MHz

- スキャンが停止したときの動作を設定することができます (「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: p. 59)。
- 周波数帯のエッジに達したときには「ピピツ」とピープ音が鳴って隣の周波数帯に移り、その周波数帯をスキャンします。
- セットモードの『10 BEEP EDGE』により、スキャン中に隣の周波数帯に移ったときに「ピピツ」と鳴るピープ音をオフにすることができます。
- セットモードの『13 BEEP SELECT』により、スキャンストップ時に鳴るピープ音を消すことができます。
- セットモードの『81 SCAN LAMP』により、スキャンストップ時の照明点灯をオフにすることができます。
- FMSは下限周波数と上限周波数との間を、必ず100kHz以上空けるようにしてください。

VFOスキャン (つづき)

■ スキャンしたくない周波数をスキップする(スキップサーチメモリー)

スキャンをしているとき、受信したくない周波数でもスキャンが止まることがあります。このような周波数はあらかじめ設定しておくことで、スキャン中にその周波数を受信しないことが可能となります。この設定するメモリーを“スキップサーチメモリー”といい、99チャンネル(メモリーチャンネル901~999)あります。

スキャンしたくない周波数を設定する

1. VFOスキャンを開始します (58ページ参照)。
2. スキャン中、受信したくない周波数で停止したら、**[QW]**を0.5秒以上押します。
何も書き込まれていない最も小さい番号のスキップサーチメモリーチャンネルが点滅します。DIALツマミをまわしてスキップサーチメモリーチャンネルを指定することもできます。
3. **[QW]**を押します。
スキップサーチメモリーへの書き込みが完了し、スキャンが再開します。
あらかじめスキャンしたくない周波数をスキップサーチメモリーへ書き込んでおくこともできます。この場合、手順1. のかわりにVFOモードで周波数をあわせ、手順2, 手順3. を行います。
4. スキャンを中止するときは、**[▲]**、**[▼]** (またはPTTスイッチ) を短く押します。

スキップサーチメモリーを消す

スキップサーチメモリーは、下記の操作を行うことにより消すことができます。スキップサーチメモリーに設定してあった周波数は、再びスキャンするようになります。

1. メモリーモードにします。
2. **[QW]**を1秒以上押します。
3. DIALツマミをまわして消したいスキップサーチメモリーを選択します。
メモリーチャンネル901~999のスキップサーチメモリーから選択します。
スキップサーチメモリー番号を選択中に**[MENU]**を押すと、メモリーチャンネル番号の百の位を早送りすることができます。
4. **[TX PO]**を押します (ディスプレイに“消去OK?”が表示されます)。
5. **[TX PO]**を押して消去を完了します (スキップサーチメモリーの内容が消去されます)。
続けて他のスキップメモリーを消すには、手順2 から手順4. を繰り返します。

消したスキップサーチメモリーチャンネルに周波数などを新たに書き込む前であれば、上記のメモリー消去の操作をもう一度行うことによって消去した内容を復活できます。

スキャンストップ時の受信方法を設定する

スキャンが停止したときの動作を設定できます。

- 設定した時間を受信しスキャンを再開します (2秒~10秒設定可能 (0.5秒単位))。
- 信号がなくなるまで受信し、信号がなくなってから2秒後にスキャンを再開する (選択時の表示は“BUSY”)。
- スキャンを中止し、その周波数を受信する (選択時の表示は“HOLD”)。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. DIALツマミをまわして『83 SCAN RESUME』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして使用する受信方法を“2秒~10秒(0.5秒ステップ)”, “BUSY”, “HOLD”のいずれから選択します。
5. **[MENU]**を1秒以上押して完了します (もとの周波数表示に戻ります)。

- この設定は、VFOスキャン、プログラマブルメモリスキャン、メモリスキャン、デュアルレシーブに共通です。
- セットモードの『82 SCAN RE-START』により、BUSYスキャンの再開開始時間を変更することができます。

83	SCAN RESUME
84	SENSOR DISPLAY
85	SENSOR INFO
86	SET MODE CSR

83	SCAN RESUME
▶	5.0 秒

メモリスキャン

メモリーされている周波数をメモリーチャンネル番号順にスキャンします。

- メモリーモードにし、メモリーチャンネルを呼び出します。
- SC-MEMO DA **[BAND]** を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表示※	動作状態
ALL CH	現在指定しているメモリーから、すべてのメモリーチャンネル(1~900)をスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします。61ページ参照)
(FMS番号)	FMSスキャンのショートカット(64ページの手順1.~手順2.をショートカット)です。 あらかじめFMSメモリーが登録してある場合のみ、FMSメモリー番号を表示します。 DIALツマミをまわしてスキャンしたいFMSメモリーを指定し、FMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目と同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。61ページ参照)

*: 周波数帯と受信周波数の関係は58ページの下表を参照してください。

- SC-MEMO DA **[BAND]** を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン(SCAN)を開始します。

DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。

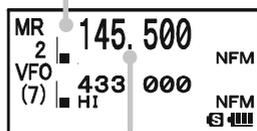
スキャン中に信号を受信するとピープ音(ピポツ)が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。
スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。
5秒経過すると、スキャンが再開されます。

- スキャンを中止するときは、**[▲]**、**[▼]** (またはPTTスイッチ)を短く押します。

[▲]を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が大きい方向に、**[▼]**を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が小さい方向にスキャンを再開します。

- スキャン中にDIALツマミをまわすと、スキャンの方向を変更できます。
- スキャン中に、**[FMS]**を押した後**[MEMO]**を押すと、スケルチを調節することができます。
- スキャンするメモリーチャンネルは通常のメモリー番号 1~900をスキャンします。
- メモリーバンクを呼び出しているときは、メモリーバンク内のメモリーチャンネルのみをスキャンします。
- スキャンが停止したときの動作を設定することができます(「スキャンストップ時の受信方法を設定する」を参照: 59ページ)。
- セットモードの『10 BEEP EDGE』により、スキャン中にメモリー1を通過したときには「ピピツ」とピープ音が鳴るように設定することができます。
- セットモードの『13 BEEP SELECT』により、スキャンストップ時に鳴るピープ音を消すことができます。
- セットモードの『81 SCAN LAMP』により、スキャンストップ時の照明明点灯をオフにすることができます。
- FMSは下限周波数と上限周波数との間を、必ず100kHz以上空けるようにしてください。

SC-MEMO DA
※: **[BAND]** を押している間
スキャン範囲を表示



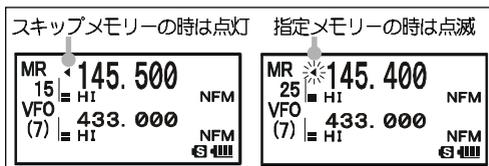
信号を受信すると
デシマルポイントが点滅

メモリスキャン(つづき)

メモリスキャン時にスキャンする必要のないメモリーチャンネルにはスキップメモリーを、指定のメモリーチャンネルのみをスキャンしたいときには指定メモリーを設定しておく、指定のメモリーチャンネルのみをスキャンできます。

■スキップメモリー/指定メモリーを設定する

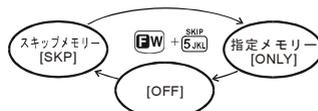
1. メモリーモードにし、スキップメモリーまたは指定メモリーを設定するメモリーチャンネルを呼び出します。



2. **[W]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押します。

セットモード『55 MEMORY SKIP』のショートカットキーです。

スキップメモリー (SKIP) が設定されます。

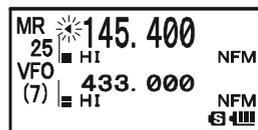


もう一度**[W]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押すと指定メモリー (ONLY) が設定されます。

スキップメモリー/指定メモリーを解除するには、**[W]**を短く押した後に^{SKIP}**[5JKL]**を押して◀を消灯し“OFF”にします。

■指定メモリーを設定したメモリーチャンネルのみをスキャンする

1. メモリーモードにし、“指定メモリー”が設定されているメモリーチャンネルを呼び出します。
2. ^{SC-MEND ON}**[BAND]**を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。



表示	動作状態
ALL CH	現在指定している指定メモリーから、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします。
(PMS番号)	PMSスキャンのショートカット (64ページの手順 1~手順2をショートカット) です。あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、PMSメモリー番号を表示します。DIALツマミをまわしてスキャンしたいPMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けた指定メモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用している指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けた指定メモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用している指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします。

*: 周波数帯と受信周波数の関係は58ページの下表を参照してください。

3. ^{SC-MEND ON}**[BAND]**を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン (SCAN) を開始します。

指定メモリーが設定されているメモリーチャンネルのみをメモリスキャンします。

スキャン中に信号を受信するとピープ音(ピポッ)が鳴り、スキャンは5秒間停止して、その周波数を受信します。スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。

5秒経過すると、スキャンが再開されます。

4. スキャンを中止するときは、**[▲]**、**[▼]** (またはPTTスイッチ) を短く押します。

[▲]を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が大きい方向に、**[▼]**を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が小さい方向にスキャンを再開します。

メモリーバンクスキャン

呼び出したメモリーバンクに登録されているメモリーだけをスキャンします。

1. **メモリーモードにします (VFOモードの時は^{DW}/_{V/M}を押します)。**
2. ^{SC-MBND DN}**(BAND)** を短く押し、メモリーバンクを呼び出します。
^{SC-MBND DN}**(BAND)** を短く押すたびに“メモリー番号”⇔“BANK(番号)”が切り替わります。
3. **他のメモリーバンク番号にするときは、^(DW)を短く押した後^{SC-MBND DN}(BAND)を短く押します。**
4. **DIALツマミをまわしてメモリーバンク (BANK 1~BANK 24) を選択します。**
5. ^{SC-MBND DN}**(BAND)** を短く押して確定します。
6. ^{SC-MBND DN}**(BAND)** を押しながら、DIALツマミをまわしてスキャンする範囲を設定します。

表示	動作状態
ALL CH	選択しているメモリーバンク内のすべてのメモリーチャンネルをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします:61ページ参照)
(PMS番号)	PMSスキャンのショートカット (64ページの手順1.~手順2.をショートカット)です。 選択しているメモリーバンク内で、あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、PMSメモリー番号を表示します。DIALツマミをまわしてスキャンしたいPMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	選択しているメモリーバンク内で、名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	選択しているメモリーバンク内で名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目と同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	選択しているメモリーバンク内の選択しているメモリーと、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯* 内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします:61ページ参照)

*: 周波数帯と受信周波数の関係は58ページの下表を参照してください。

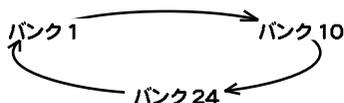
7. ^{SC-MBND DN}**(BAND)** を離すとメモリーチャンネル番号が高い方向にスキャン (SCAN) を開始します。
DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。
スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。
スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。
5秒経過すると、スキャンが再開されます。
8. **スキャンを中止するときは、^(▲)、^(▼) (またはPTTスイッチ) を短く押します。**
^(▲)を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が大きい方向に、^(▼)を1秒以上押すとメモリーチャンネル番号が小さい方向にスキャンを再開します。

メモリーバンクスキャン (つづき)

■メモリーバンクリンクスキャン

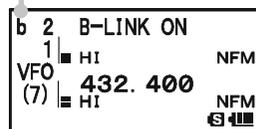
通常のメモリーバンクスキャンは、呼び出したメモリーバンクに登録されているメモリーチャンネルだけをスキャンしますが、メモリーバンクリンクスキャンはあらかじめ指定したバンクを続けてスキャンをします。

◀例▶ バンク1, バンク10, バンク24をバンクリンクスキャンをした場合のイメージ図



- メモリーモードで **SC-MBAND DA** (BAND) を押し、メモリーバンクを呼び出します。
- ⓑ** を短く押した後 **SC-MBAND DA** (BAND) を短く押して、DIALツマミをまわしてバンクリンクスキャンをしたいメモリーバンクを選択します。
- DW-MT** (V/M) を短く押してバンクリンクを指定します。
メモリーバンク番号の“b”が“b”に変わります。
- 手順2～手順3を繰り返し、他のメモリーバンクを指定します。
- SC-MBAND DA** (BAND) を短く押して確定します。
- SC-MBAND DA** (BAND) を押したままの状態、DIALツマミで希望のスキャン動作を選び、**SC-MBAND DA** (BAND) を離すと確定します。

Bがbに変わる



表示	動作状態
ALL CH	現在指定しているメモリーから、すべてのメモリーチャンネル(1~900)をスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、すべての指定メモリーチャンネルをスキャンします: 61ページ参照)
(PMS番号)	FMSスキャンのショートカット(64ページの手順1.~手順2.をショートカット)です。 あらかじめPMSメモリーが登録してある場合のみ、FMSメモリー番号を表示します。 DIALツマミをまわしてスキャンしたいFMSメモリーを指定し、PMSの下限と上限の範囲をスキャンします。
TAG1	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
TAG2	名前を付けたメモリーチャンネルを呼び出してからスキャンを開始すると、1文字目と2文字目に同じ文字を使用しているメモリーチャンネルだけをスキャンします。
BAND	現在指定しているメモリーと、同じ周波数帯内の周波数が書き込まれているメモリーチャンネルだけをスキャンします。 (指定メモリーを指定している場合は、同じ周波数帯内の周波数が書き込まれている指定メモリーチャンネルだけをスキャンします: 61ページ参照)

- ▲** または **▼** を約1秒以上押すと、選択された条件でスキャンを開始します。
スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し、その周波数を受信します。
スキャンが停止しているときには、デシマルポイントが点滅し、ディスプレイが点灯します。
5秒経過すると、スキャンが再開されます。
- スキャンの方向を変える場合はDIALツマミまわします。
DIALツマミを右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に、DIALツマミを左方向にまわすとメモリーチャンネル番号が低くなる方向に変わります。
- スキャンを中止するときは、**▲**、**▼** またはPTTスイッチを押します。
バンクリンクスキャンを設定を解除するには、バンクリンクを指定したバンクを呼び出し、手順3.で **DW-MT** (V/M) を短く押してメモリーバンク番号の“b”を“B”に変えます。

プログラマブルメモリスキャン (PMS)

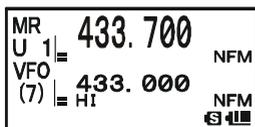
■プログラマブルメモリーに書き込む

スキャンしたい周波数範囲の下限周波数をメモリーチャンネルの“L*”，上限周波数を“U*”（*は1～50の任意の数字で，下限のメモリーと上限のメモリーは同じ番号にしてください）に登録します。

39ページを参照し，下限周波数と上限周波数をメモリーチャンネルに登録します。

下限周波数／上限周波数メモリー（プログラマブルメモリーチャンネル）は50組（L1/U1～L50/U50）あります。プログラマブルメモリーチャンネルは，メモリーチャンネルの最後の方にありますので，メモリーチャンネルが一桁の場合はDIALツマミを左にまわすと早く選択できます。また，**[MENU]**を押すと10桁ずつ早送りすることもできます。

＜＜例＞＞ 下限周波数に433.200MHz，上限周波数に433.700MHzをメモリーします。



■プログラマブルメモリスキャンをする

同一周波数帯内の指定した周波数範囲内をDIALツマミで選択したり，スキャンをすることができます。

1. メモリーモードにし，下限周波数または上限周波数のメモリーを呼び出します。

2. **[W]**を押した後^{DW MT}**[V/M]**を押します。

“L 1”（または“U 1”）が消え，“P 1”が表示されます。

“P 1”が表示中に，**[W]**を押した後^{DW MT}**[V/M]**を押すと“L 1”（または“U 1”）の表示に戻ります。

DIALツマミをまわすと，下限と上限の周波数範囲を選択することができます。

3. **[▲]**または**[▼]**を約1秒以上押すと，選択された条件でスキャンを開始します。

スキャン中に信号を受信するとスキャンは5秒間停止し，その周波数を受信します。スキャンが停止しているときには，デシマルポイントが点滅し，ディスプレイの照明が点灯します。5秒経過すると，スキャンを再開します。

^{SCANNING ON}**[BAND]**を1秒以上押しながらDIALツマミをまわすと，他のPMSメモリーを選択することができます。

4. スキャンの方向を変える場合はDIALツマミまわします。

右方向にまわすとメモリーチャンネル番号が高くなる方向に，左方向にまわすと低くなる方向に変わります。

5. スキャンを中止するときは，**[▲]**，**[▼]**（またはPTTスイッチ）を短く押します。

○すでにL1/U1～L50/U50に登録されている場合は，58ページのVFOスキャン（または60ページのメモリスキャン）の操作によりPMS番号を選択するだけで，上記の手順1～手順2の操作をショートカットして簡単にPMSスキャンを行うことができます。

○“L*”，“U*”にスキップメモリー（P**）が指定されている場合や下限周波数／上限周波数が正しく設定されていない場合は，メモリーチューン動作（“TUN”）になります。

○スキャン中にDIALツマミをまわすと，スキャンの方向を変更できます。

○セットモードの「10 BEEP EDGE」により，スキャン範囲の上限または下限に達したときに「ピピッ」とピーブ音が鳴るように設定することができます。

○スキャン中に，**[W]**を押した後モニタースイッチを押し，DIALツマミをまわすと，スケルチを調節することができます。

○セットモードの「81 SCAN LAMP」により，スキャンストップ時の照明点灯をオフにすることができます。

● 下限周波数と上限周波数との間は，必ず100kHz以上空けるようにしてください。



デシマルポイントが点滅

Bluetooth® ヘッドセットを使う (オプションの Bluetooth® ユニット “BU-2” を使用)

オプションの Bluetooth® ユニット “BU-2” を VX-8D に搭載して、オプションの Bluetooth® ヘッドセット “BH-1A” または “BH-2A” を使用するとワイヤレスでのハンズフリー運用を行うことができます。

“BH-1A” はオプションのイヤホンを FEP-4 を取り付けることにより FM 放送などのステレオ受信が可能になります。さらに A バンドを左側、B バンドを右側から音声を聴くことができます。

“BH-2A” はモノラル専用です。BH+2 側にマイクゲインのスイッチを設けることにより、マイク感度の調節を簡単に設定することができます。

当社のオプション以外の Bluetooth® ヘッドセットも使用することができますが、全ての機能が正常に動作する保証はできません。

■ Bluetooth® ユニット “BU-2” の取り付け

1. 電池パックを取り外し、防水シートを剥がします。

剥がしにくい場合は、ピンセット等を使用して剥がしてください。
糊カスが残っていると防水効果が得られないのできれいに剥がしてください。

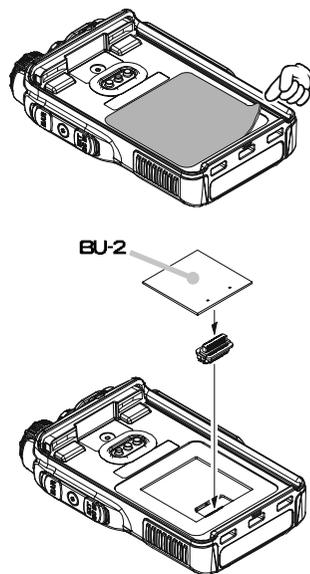
2. 付属の BU-2 取り付け用延長コネクタを VX-8D の拡張コネクタに差し込みます。
3. 延長コネクタを取り付けた部分に Bluetooth® ユニットの BU-2 を差し込みます。

4. VX-8D に電池パックを取り付けて、電源を入れます。ディスプレイに約 2 秒間 “

“BU-2” が正常に動作していることを確認することができます。

5. 電池パックを外し、VX-8D に付属の新しい防水シートを貼り付けて終了です。

防水シートのまわりを指で押し付けて確実に貼り付けてください。



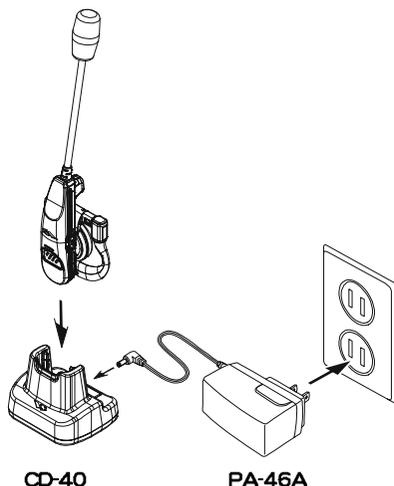
Bluetooth® ヘッドセットを使う

■ Bluetooth® ヘッドセットの充電方法 (充電時間：約3時間)

充電用クレードル“CD-40”にバッテリーチャージャー“PA-46A”を接続して充電を行います。

1. Bluetooth® ヘッドセット“BH-2A”(または“BH-1A”)の電源を切ります。
2. BH-2A(またはBH-1A)をCD-40に差し込みます。
3. 充電が開始されBH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが赤色に点灯します。
4. 充電が終了するとBH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが青色に点灯します。
充電時間は内部電池の残容量により異なりますが、最長約3時間で充電を完了します。

Bluetooth® ヘッドセット“BH-2A”
(または“BH-1A”)



■ Bluetooth® ヘッドセットで運用できる時間の目安 (内蔵電池の運用時間)

Bluetooth® ヘッドセット“BH-2A”(または“BH-1A”)の内蔵電池で使用できる時間の目安は次のとおりです。

使用バンド	使用できる時間
AM/FMラジオ	連続受信時 BH-2A：約6時間 BH-1A：約3時間
アマチュア無線運用時 1：1：8G送信：受信：待ち受け)	バッテリーセーブ“ON”時 BH-2A：約20時間 BH-1A：約10時間 バッテリーセーブ“OFF”時 BH-2A/BH-1A：約3時間

上記の使用時間は目安です。

実際に使用できる時間は、使いかたや温度などによって異なります。

- 内蔵電池はリチウムイオンポリマー電池(3.7V, 150mAh)を使用しています。正しく充電すると約300回使用することができます。
- Bluetooth® ヘッドセットを長期保存する場合は、高温多湿以外の場所で保管してください。また、内蔵電池の過放電を防止するために、半年に1回程度の充電(50%程度)を行ってください。

Bluetooth® ヘッドセットを使う

■ Bluetooth® の初期設定(ペアリング操作)

初めて Bluetooth® を使用する際は、本機に Bluetooth® ヘッドセットを認識させるための操作(ペアリング操作)が必要です。VX-8Dに Bluetooth® ユニット“BU-2”が装着されていることを確認してください。確認方法は、VX-8Dの電源を入れたときにディスプレイに“”アイコンが約2秒間点灯します。

複数の Bluetooth® ヘッドセットをお使いになる場合は、ペアリングを行わない Bluetooth® ヘッドセットの電源は、必ず“OFF”にしてください。

“BU-2”には、最大8台分の Bluetooth® ヘッドセットのペアリング情報を保存することができます。複数のペアリング情報を保存させたい場合は、使用する Bluetooth® ヘッドセットごとにペアリング操作を行ってください(複数の Bluetooth® ヘッドセットを同時にペアリングすることはできません)。

- 8つのペアリング情報が保存された状態で新たにペアリング操作を行うと、一番古いペアリング情報が消去されます。
- 複数のペアリング情報が保存されていても、複数の Bluetooth® ヘッドセットを同時に使用することはできません。

1. を1秒以上押します。

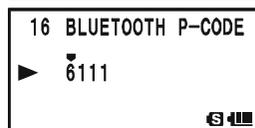
各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIAL ツマミをまわして『16 BLUETOOTH P-CODE』を選択します。



3. を短く押します。

- 現在設定してあるPINコードが表示されます。
- 当社オプションの Bluetooth® ヘッドセット“BH+2A”(または“BH+1A”)を使用する際は、操作4に進んでください。
- “BH+2A”(または“BH+1A”)以外の Bluetooth® ヘッドセットをお使いになる場合は、その製品に付属の取扱説明書などでPINコードを確認し、下記の操作でPINコードを変更してください。
- PINコードを変更する場合は、DIAL ツマミをまわして1桁目のコードを入力し、を短く押してカーソルを2桁目に移動させます。同様な方法で4桁まで入力します。



4. を短く押す。

5. “BH+2A”(または“BH+1A”)の電源スイッチを、“BH+2A”(または“BH+1A”)のLEDが赤と青の点滅になるまで押し続けます。

- “BH+2A”(または“BH+1A”)を認識中のときはVX-8Dのディスプレイに“ペアリング実行中”が表示されます。
- ペアリングが失敗すると“BH+2A”(または“BH+1A”)本体のLEDが常に赤に点滅し、VX-8Dのディスプレイに“ペアリングエラー”が表示されます。もう一度手順4. からペアリング操作を行ってください。

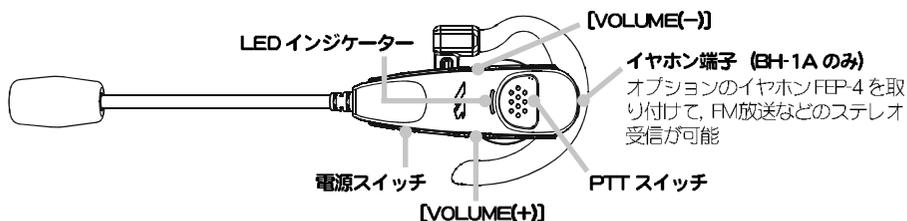
6. Bluetooth® の認識が正常に行われるとVX-8Dのディスプレイに“ペアリング完了”が表示され、さらに“”アイコンも表示されます。

- “BH+2A”(または“BH+1A”)が正しく認識されているときは、“BH+2A”(または“BH+1A”)本体のLEDが常に青く点滅し、VX-8Dのディスプレイに“ペアリング完了”が表示されます。
- “BH+2A”(または“BH+1A”)とVX-8D間の通信が途絶えると、“BH+2A”(または“BH+1A”)本体のLEDが赤く点滅します。

7. を1秒以上押して、セットモードを終了します。

Bluetooth® ヘッドセットを使う

■ Bluetooth® ヘッドセットの使い方



1. VX-8Dの電源を入れておき、BH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが赤く点灯するまで、電源スイッチを約3秒間押し続け電源を入れます(ピーッと音がします)。
 - Bluetooth® ヘッドセットを、ペアリング済のBH-2A(またはBH-1A)に変更するときは、BH-2A(またはBH-1A)の電源を入れてからVX-8Dの電源を入れ、BH-2A(またはBH-1A)のPTTスイッチを1回押してください。
2. BH-2A(またはBH-1A)がVX-8Dに正しく認識されると、VX-8Dのディスプレイに“”アイコンが表示され、BH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが青色に点滅します。
 - BH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが赤く点滅したり、VX-8Dのディスプレイに“”アイコンが点灯していないときは、ペアリング操作をしてください。
3. BH-2A(またはBH-1A)の[VOLUME(+)]を押すと音量が大きくなり、[VOLUME(-)]を押すと音量が小さくなります。
4. 送信するときはBH-2A(またはBH-1A)のPTTスイッチを押しながら話します。PTTスイッチを離すと受信します。
 - BH-2A(またはBH-1A)とVX-8Dの間の交信距離はおよそ1mです。
 - 圏外になると、VX-8Dのディスプレイの“”アイコンが消灯して知らせます。圏内に戻ると、BH-2A(またはBH-1A)からビープ音で知らせ、VX-8Dのディスプレイの“”アイコンが表示されて知らせます。
 - メニューモードの『17 BLUETOOTH SET』でSAVEを“ON”にすると、BH-2A(またはBH-1A)を約20秒以上の間、何も操作を行わなかったり、話をしなかったり、相手の信号を受信しなかった場合は、バッテリーセーブ機能が動作して一時的に休止状態にすることができます。相手からの信号を受信したり、BH-2A(またはBH-1A)のPTTスイッチを押すことで、休止状態を解除することができます。
 - BH-2AとBH-1Aはメニューモードの『60 MIC GAIN』でマイクレベルを調節することができます(※p.164)。またBH-2Aの場合は、ヘッドセットのPTTスイッチを押しながら[VOLUME(+)]を押すと5段階でマイクのレベルを大きくすることができ、[VOLUME(-)]を押すと5段階でマイクのレベルを小さくすることができます(マイクの利得が最大または最小限に達したとき、BH-2Aのヘッドセットからビープ音で知らせます)。
5. BH-2A(またはBH-1A)の内部電池の容量が低くなると、BH-2A(またはBH-1A)のLEDインジケーターが紫色に点滅してビープ音が鳴り、VX-8Dのディスプレイの“”アイコンが点滅しますので、速やかに充電してください。

BH-2A(またはBH-1A)の充電方法は66ページの“Bluetooth®ヘッドセットの充電方法”を参照してください。
6. BH-2A(またはBH-1A)の電源を切るときは、LEDインジケーターが赤色に点灯するまで、電源スイッチを押し続けます(ポツという音の後ピーッと音がします)。

Bluetooth® ヘッドセットを使う

■ Bluetooth® ヘッドセットの送信切り替え方法の設定

Bluetooth®を使用して交信を行う際の、送信切り換え方法の設定を行うことができます。この設定は、一度設定すると次回からは設定する必要ありません。設定を変更したいときのみ設定してください。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『17 BLUETOOTH SET』を選択します。
3. **MENU**を短く押し、VOXの設定を行います。
4. DIAL ツマミをまわして動作を選択します（工場出荷時：PTT）。
5. **▼**を押し、MODEの設定を行います。
6. DIAL ツマミをまわして動作を選択します（工場出荷時：MONO）。
7. **▼**を押し、SAVEの設定を行います。
8. DIAL ツマミをまわして動作を選択します（工場出荷時：OFF）。
9. **▼**を押し、POWRの設定を行います。
10. DIAL ツマミをまわして動作を選択します（工場出荷時：ON）。



選択 / 動作項目	動作説明
VOX	PTT※1 <i>Bluetooth</i> ®ヘッドセット「BH+2A」または「BH+1A」のPTTスイッチで送受信の切り替えを行います。※3
	VOX HIGH VOX※2 運用に切り替わります。 <i>Bluetooth</i> ®ヘッドセットのVOX感度を「HIGH（高感度）で動作させます。※3
	VOX LOW VOX※2 運用に切り替わります。 <i>Bluetooth</i> ®ヘッドセットのVOX感度を「LOW（低感度）で動作させます。※3
	OFF 「BH+2A」または「BH+1A」のPTTスイッチが「OFF」になり、VX-8D本体のPTTスイッチ（または接続したマイクホンのPTTスイッチ）で送受信の切り替えを行います。
MODE	MONO※1 「BH+2A」を使用する場合、または「BH+1A」をモノラルで使用する場合に切り替えます。※4
	STEREO 「BH+1A」に「FEP-4」を接続してステレオで使用する場合に切り替えます。※4
SAVE	OFF※1 「BH+2A」または「BH+1A」のバッテリーセーブ機能を「OFF」にします。
	ON 約20秒間以上、何も操作を行わなかったり、話をしなかったり、相手の信号を受信しなかった場合は、バッテリーセーブ機能が動作します。
POWR	OFF <i>Bluetooth</i> ®ユニット「BU-2」を使用しないときは電源を「OFF」にします。
	ON※1 <i>Bluetooth</i> ®ユニット「BU-2」を使用するときは電源を「ON」にします。

- ※1：動作項目のアンダーラインはデフォルト（工場出荷時）の設定です。
 ※2：VOXとはPTTスイッチを押さずに、音声により送受信を自動で切り替える機能です。
 ※3：VX-8DのマイクはOFFになりますが、PTTスイッチは有効です（オプションのスピーカーマイクM-74ATAを接続している場合も同様）
 ※4：モノラルに設定した場合はAバンド、Bバンドを混合されて音声が入ります。
 また、ステレオに設定した場合はAバンドを左側、Bバンドを右側から音声が入ります。

11. **MENU**を1秒以上押して、セオモードを終了します。
操作を行う前の状態（VFOモードまたはメモリーモード）に戻ります。

- VOX機能は、周囲のノイズで動作してしまうことがあります。
- BH+1Aをステレオで動作しているときは、VOX機能は動作しません。PTTスイッチで送信操作をしてください。また、送信から受信に戻ったときに音声出力は遅れますが、故障ではありません。
- VX-8D本体と*Bluetooth*®ヘッドセットの位置によっては音声が入りやすくなりますので、VX-8D本体を途切れない位置で使用してください。
- *Bluetooth*®ユニットを装着するとVX-8D本体のバッテリーが通常より消耗しますので、*Bluetooth*®ユニットを使用しないときは上記手順10.でPOWRを「OFF」にしてください。

GPS 機能を使う

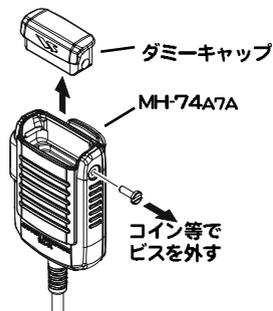
GPS アンテナユニットの取り付け

オプションのGPS アンテナユニット “FGPS-2” を VX-8D に接続すると、GPS を利用して自分の現在地（緯度、経度表示）、走行速度、高度を表示したり、正確な時刻情報を VX-8D に表示することができます。

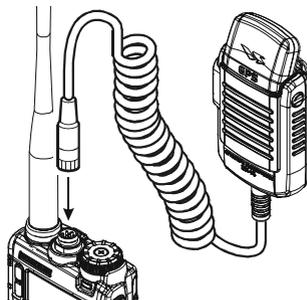
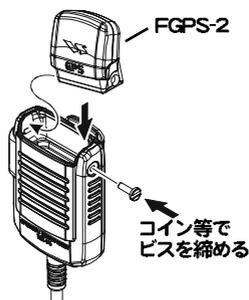
オプションのGPS アンテナユニット “FGPS-2” の取り付けは、各オプションにより簡単に取り付けることができます。「GPS アンテナ接続アダプター “CT-136” により VX-8D のマイクコネクタに接続する方法」または、「スピーカーマイク “MH-74A7A” に搭載する方法」の2種類があります。

■ スピーカマイク “MH-74A7A” による取り付け方法

1. MH-74A7A の右横にあるビスを外し、
ダミーキャップを外します。
3. MH-74A7A のコネクタを VX-8D の
マイク端子に接続し、コネクタのネジを確実に締め付けて、作業は終了です。



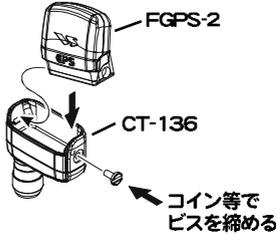
2. MH-74A7A に GPS アンテナユニット “FGPS-2” を左側から差し込み、外したビスで FGPS-2 を固定します。



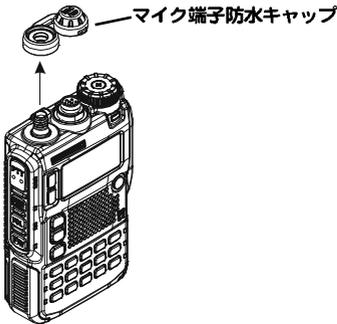
GPS アンテナユニットの取り付け (つづき)

■ GPS アンテナ接続アダプター “CT-136” による取り付け方法

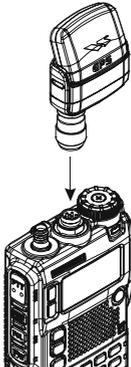
1. GPS アンテナ接続アダプター “CT-136” に GPS アンテナユニット “FGPS-2” を左側から差し込み、CT-136 の付属のビスで FGPS-2 を固定します。



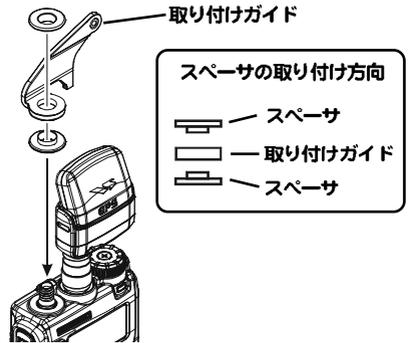
2. VX-8D からアンテナを外し、マイク端子の防水キャップを外します。



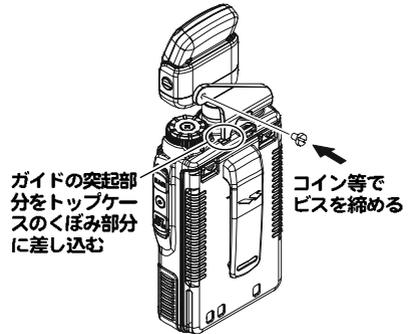
3. CT-136 を VX-8D のマイク端子へ接続し、コネクターのネジを確実に締め付けます。



4. CT-136 の取り付けガイドにスペーサ 2 枚を取り付け、VX-8D のアンテナ端子に合わせて差し込みます。



5. 取り付けガイドの突起部分をトップケースのくぼみ部分に差し込み、付属のビス 1 本で取り付けガイドを CT-136 に締め付けます。



6. VX-8D にアンテナを取り付けて作業は終了です。



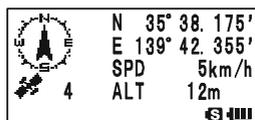
GPS 機能を使う (オプションのGPS アンテナユニットが必要です)

■ GPS とは？

GPS (Global Positioning System) とは全地球測位システムとも言い、地球上の現在位置を調べるための人工衛星による測位システムです。アメリカ国防省により軍用に開発されたシステムで、GPS 衛星は高度が約 20000km で約 30 個の GPS 衛星のうち、上空にある 3 個以上の衛星から信号を受け取ると、数 m の誤差で現在の位置 (緯度・経度・高度など) を知ることができます。また、GPS 衛星に搭載された原子時計から正確な時刻を知ることができます。

■ GPS の測位方法

1. GPS アンテナユニットを接続して電源を入れます。
2. 通常の周波数表示の状態から **[MENU]** を 1 回短く押すと GPS 画面になります。



[MENU] を押すごとに下記の順序で表示画面が変わります。

通常の周波数表示 → **GPS 表示** → STATION LIST 表示 →
→ APRS MESSAGE 表示 → 通常の周波数表示に戻る

方位 (自局の移動方向)、測位、衛星、緯度、経度、高度が表示されます。

- GPS 衛星のデーターを捕捉する前の場合は、方位矢印 (自局の移動方向) が無表示、緯度 / 経度の表示は点滅します。
 - GPS 衛星のデーターを捕捉して測位すると方位矢印 (自局の移動方向) は表示され、緯度 / 経度は点滅から点灯に変わり現在の位置を表示します。
 - 建物やトンネルなどの障害物により測位できなくなったときは、方位矢印 (自局の移動方向) のみ無表示になります。
3. **[▼]** を押して画面をスクロールします。
 - [▼]** を押すと最後の行が 1 行移動し時刻が表示されます。
 - [▲]** を押すと 1 行戻り元の表示に戻ります。

GPS 測位について

測位とは、衛星の軌道情報と電波の伝播時間のデーターから自分の位置を計算することをいいます。測位するには衛星が 3 個以上捕捉されている必要があります。測位がうまくできない場合は、なるべく建物から離れ障害物の少ない天空の開けた場所に移動してください。

◎誤差について

測位する周辺の環境により数百 m の誤差が生じることがあります。測位する条件によっては 3 個の衛星でも測位できますが、下記の条件で精度が悪くなったり測位できなくなったりすることがあります。

- 高層ビルの間、● 建物の中の狭い道路、● 室内やビルの陰、● 高圧線の下や高架の下
- 森や林など樹木の間、● トンネルの中や地下、● 熱線反射ガラス越しでの使用
- 強い磁気を発生する場所

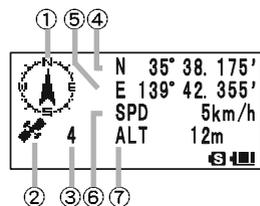
◎その日に初めて使用する場合

VX-8D にはじめて GPS アンテナユニット FGPS-2 を取り付けて使用する場合は、その日初めて使用する場合は、衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。また、一度電源を切り数時間後再び使用する場合も、衛星をサーチするため測位時間が数分かかります。

GPS機能を使う (オプションのGPSアンテナユニットが必要です)

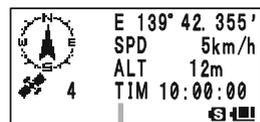
■ GPS画面の説明と操作

GPSアンテナユニットを接続するとディスプレイに下記の情報が表示されます。



② ③ ⑥ ⑦

▼を押して画面をスクロールすると時刻が表示されます



⑧

① **方位**: North-UP: 常に“北”が上になるように表示します。

Heading-UP: ^{SPS SQTYP}(MODE)を押すと常に進行方向が上になるように表示します。矢印が白色に変わり方位計の右下に“H”が表示されます。



② **測位**: 衛星を3個以上捕捉すると が表示します。

3個以上捕捉できない場合は は表示されません。

③ **衛星**: 捕捉している衛星の数を表示します。

④ **緯度**: 現在の位置をN(北緯)またはS(南緯)として表示します。

X DD° MM. MMM と表示します。

X: X=N:北緯, X=S:南緯

DD: Degree (角度)

MM. MMM: :Minute (分)

例: N 35° 38. 250 (北緯35度38分15秒)

⑤ **経度**: 現在の位置をE(東経)またはW(西経)として表示します。

X DDD° MM. MMM と表示します。

X: X=E:東経, X=W:西経

DDD: Degree (角度)

MM. MMM: :Minute (分)

例: E 139° 42. 500 (東経139度42分30秒)

⑥ **速度**: 現在走行中の速度を表示します。

SPD aaakm/h と表示します。

例: SPD 5km/h (速度5km/h)

⑦ **高度**: 現在の位置の高度を表示します。

ALT aaaaaam と表示します。

例: ALT 20m (高度20メートル)

⑧ **時刻**: GPSからの時刻を表示します。

aa (時): bb (分): cc (秒) と表示します。

例: 23 : 59 : 59 (23時59分59秒)

- APRS/GPSセットモード『18 GPS UNIT』により、GPSデータの単位を変更することができます。
- GPSアンテナユニットFGPS-2を接続することによりGPSから時刻データ(日付、時間)を受け取り24時間表示で正確な時刻を表示します。またこの時刻データはGPS画面やAPRS画面の時刻データにも反映されます。ただし曜日のデータは自動的に取り込まれませんので、17ページの「時計をセットしよう」を参考に曜日のみ設定してください。
- APRS/GPSセットモード『16 GPS DATUM』により、測地系を変更することができますが、APRSではWGS-84の測地系を使用しますので変更しないことをお勧めします。
- APRS/GPSセットモード『24 TIME ZONE』により、タイムゾーンを30分単位で設定することができます。
- GPSユニットを接続すると消費電流が40mA程度増えますので、バッテリーの持ち時間は通常の使用時間に比較して約20%程度短くなります。

APRS® 機能を使う

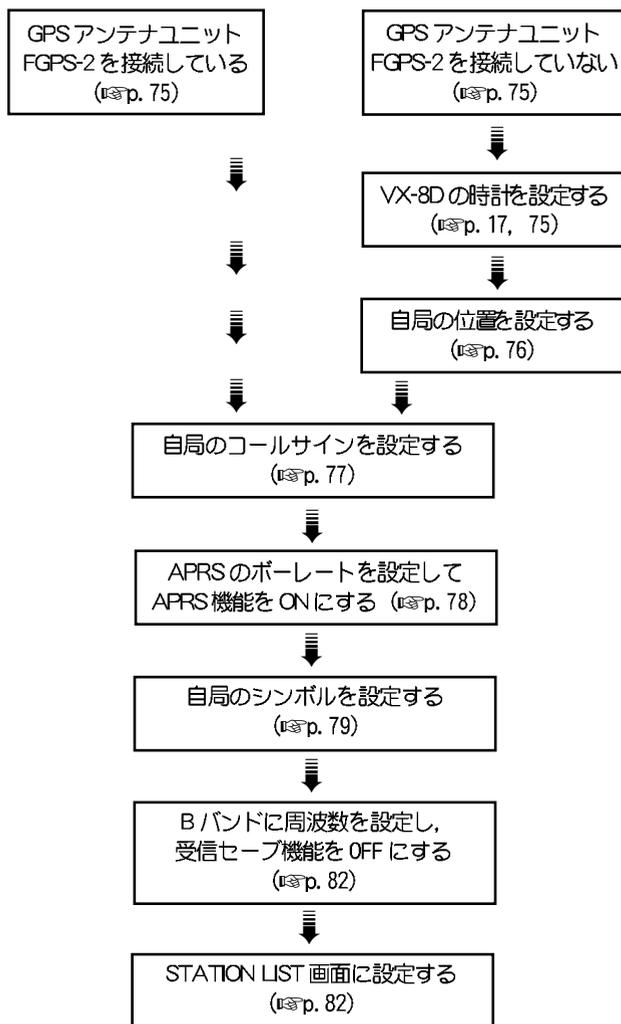
APRS® の初期設定

APRS (Automatic Packet Reporting System) とは、WB4APR Bob Bruninga 氏が提唱するシステムで、オプションの GPS アンテナユニット “FGPS-2” を VX-8D に接続して、自局位置やメッセージ等のデータ通信を行うことができます。“FGPS-2” を接続しなくてもあらかじめ位置データを入力しておくことで、同様な通信を行うこともできます。

相手局から APRS 信号を受信するとディスプレイに下記のようなデータを表示します。

- ◎自局から見た相手局の方向、距離、速度等を表示します。
- ◎相手局から送ってきたメッセージを表示することができます。
- ◎特定の相手局を指定してメッセージを送受信することができます。

■ APRS 運用の初期設定の流れ



APRS®の初期設定 (つづき)

■ GPS アンテナユニットを接続して APRS を運用する場合

VX-8DにオプションのGPS アンテナユニット“FGPS-2”を取り付けると、VX-8Dの内部時計の設定※や自局の位置設定はGPSのデータから自動的に取り込まれます。

“FGPS-2”を取り付けると自局の位置を自動的に取り込むため、移動運用として使用する場合はお勧めします。

取り付け方法は「GPS アンテナ接続アダプター“CT-136”によりVX-8Dのマイクコネクターに接続する方法」または、「スピーカーマイク“MH74ATA”に搭載して接続する方法」の2種類があります。取り付け方法は70ページを参照してください。

APRSの運用でGPSからのデータをそのまま自局の位置情報として利用する場合には、APRSセットモード『21 MY POSITION』の設定を“GPS”にしておく必要があります。GPS以外の設定(Lat/LonやP1~P10)のときは、GPSデータを捕捉していてもGPSデータは無効となり、設定したLat/LonやP1~P10の位置情報が送信されます。

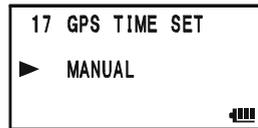
※：曜日のデータは自動的に取り込みません。17ページを参考に曜日を設定してください。

- GPSによる自局位置情報を10個のメモリー(P1~P10)に登録することができます。また、登録した位置情報を自局位置として設定することができます(※p.117)。
- GPSアンテナユニットを接続する場合は、必ずAPRSセットモード『21 MY POSITION』の設定が“GPS”になっているか確認してください。

■ GPS アンテナユニットを接続せずに APRS を運用する場合 時計の設定

VX-8Dの内部時計を設定しておくこと、APRS画面の時刻表示に反映されます。時刻の設定方法は17ページの「時計をセットしよう」を参考にし、下記の設定を行ってください。

1. **[MENU]**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『17 GPS TIME SET』を選択します。
4. **[MENU]**を短く押します。
5. DIALツマミをまわして「MANUAL」を選択します。
6. **[MENU]**を1秒以上押してセットモードを終了します。
マニュアルに設定され、もとの表示に戻ります。



- GPSユニットを接続すると消費電流が40mA程度増えますので、バッテリーの持ち時間は通常の使用時間に比較して約20%程度短くなります。
- GPSユニットを起動しながらデュアル受信を行っているときに、GPSユニットからのノイズにより弱い信号が聞き取れない場合がありますが、故障ではありません。
- パソコンを接続してI-GATE運用やデジピーター運用をすることはできません。
- APRS/GPSセットモード『10 APRS UNIT』により、APRSデータの単位を変更することができます。
- VX-8Dの内蔵時計をマニュアルで設定してあっても、GPSアンテナユニットFGPS-2を接続することによりGPSから時刻データを受け取り正確な時刻を表示します。またこの機能をAPRSセットモード『17 GPS TIME SET』によりOFF(MANUAL)に設定することができます。

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

位置情報の設定 (測地系: WGS-84)

マニュアルで自局の位置情報を入力します。

1. **[MENU]**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『21 MY POSITION』を選択します。
4. **[MENU]**を短く押すと「GPS」の設定項目が現れます。
5. DIALツマミをまわして「Lat」を選択します。
6. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを緯度の設定項目に移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
7. DIALツマミをまわして「N(北緯)」または「S(南緯)」を設定します。
8. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
9. DIALツマミをまわして「度」を入力します。
10. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
11. DIALツマミをまわして「分」を入力します。
12. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
13. DIALツマミをまわして「1/100分」を入力します。
カッコの部分は秒表示です。
14. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
15. DIALツマミをまわして「Lon」の設定項目にします。
16. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを経度の設定項目に移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
17. DIALツマミをまわして「E(東経)」または「W(西経)」を設定します。
18. **[SPS SQ TYP MODE]**を押してカーソルを移動します。
[SC-MBND DA BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
19. 手順8. ~手順12.と同様に「度」「分」「1/100分」を入力します。
20. **[MENU]**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
マニュアルで自局位置が設定され、もとの表示に戻ります。

21 MY POSITION
22 MY SYMBOL
23 POSITION COMMENT
24 SmartBeaconing

21 MY POSITION
GPS

21 MY POSITION
Lat N 0° 00. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lat N 0° 00. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lat N 35° 00. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lat N 35° 38. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lat N 35° 38. 17'
(' 10")

21 MY POSITION
Lon E 0° 00. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lon E 0° 00. 00'
(' 00")

21 MY POSITION
Lon E 139° 42. 33'
(' 20")

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ 自局のコールサインを設定する

APRSでビーコンの送信及びメッセージの送受信を行うための自局のコールサインを登録します。コールサインは“JA1ZRL-A”のように入力し、“-A”はSSID (Secondary Station Identifier) というもので、SSIDなしを含めて16種類あります。APRSでは下表のようなSSIDが一般的に使用されています。

SSID	説明	SSID	説明
なし	固定局, 固定局のIGate運用	- 8	船舶での運用
- 1	デジピーター, その他の固定局運用	- 9	FTM-350などのモービルでの運用
- 2	デジピーター, その他の固定局運用	- 10	インターネット経由のみでの運用
- 3	デジピーター, その他の固定局運用	- 11	APRS touchtoneユーザー (または気球局など)
- 4	HFからVHFへのゲートウェイでの運用	- 12	ラップトップのような移動機器での運用
- 5	固定局以外のIGate運用	- 13	一般的に使用されていません
- 6	サテライト経由での運用	- 14	トラックでの運用
- 7	VX-8Dなどのハンディー機での運用	- 15	HFでの運用

- MENU**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面, APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
- DIALツマミをまわして『20 MY CALLSIGN』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- DIALツマミをまわしてコールサインを入力します。
テンキー入力も可能です。
下記の手順はDIALツマミでの入力方法です。
- SPS SQ TYP
MODEを押してカーソルを移動します。
SC-MENU ON
BANDを押すとカーソルの位置を1桁前に戻すことができます。
- 手順5, 6. を繰り返しコールサインを入力します (最大6文字)。
6桁のコールサインが入力できます。
- SSIDを設定しない場合は, **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。
SSIDを設定する場合は, 手順9. へ進み設定します。
- SPS SQ TYP
MODEを押してカーソルを移動します。
- DIALツマミをまわしてSSIDを設定します。
コールサインの後にSSIDの“-”が表示されます。
VX-8Dでは“-”に設定することを推奨します。
- MENU**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
コールサインが設定され, もとの表示に戻ります。

コールサイン字を入力中に^{EMG R/H}**REV**を1秒以上押すとカーソル以降を削除します (SSIDを除く)。また, カーソルが1桁目の場合はSSIDを含めて削除します。

```

20 MY CALLSIGN
21 MY POSITION
22 MY SYMBOL
23 POSITION COMMENT
    
```

```

20 MY CALLSIGN
  .
  -----
    
```

```

20 MY CALLSIGN
  .
  J
    
```

```

20 MY CALLSIGN
  .
  J
    
```

```

20 MY CALLSIGN
  .
  JA1ZRL
    
```

```

20 MY CALLSIGN
  .
  JA1ZRL-7
    
```

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ APRS ボーレートの設定

APRSのボーレートの設定を行います。1200bpsまたは9600bpsを選択するとAPRS機能がONになります。OFFを選択するとAPRS機能はOFFになります。

1200bpsに設定するとAFSK 1200bps/パケットによるAPRS運用が可能になります。

また、9600bpsに設定するとGMSK 9600bps/パケットによるAPRS運用が可能になります。

設定方法は下記のように行います。

1. **[MENU]**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面, APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『4 APRS MODEM』を選択します。

4. **[MENU]**を短く押します。

5. DIALツマミをまわして希望のAPRSボーレートに設定します。

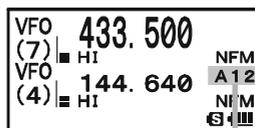
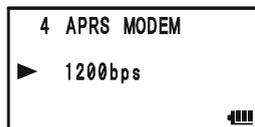
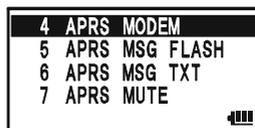
工場出荷時: OFF

OFF / 1200bps / 9600bps が設定可能です。

6. **[MENU]**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

APRSボーレートが設定され、もとの表示に戻ります。

Bバンドの周波数右側部分にA12(またはA96)が表示されます。



A12または
A96が表示

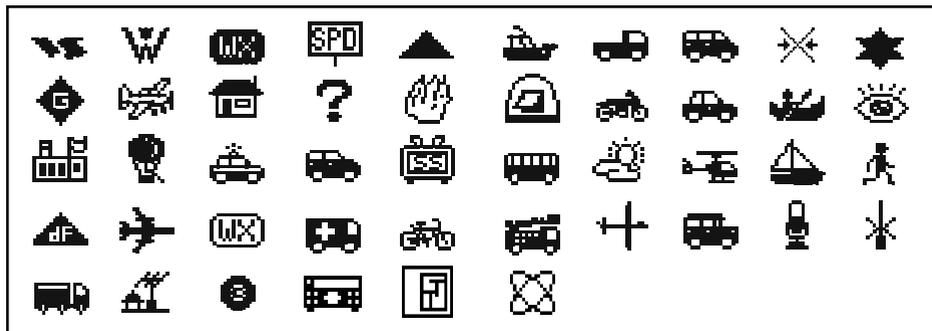
APRS運用を行わないときは、上記の手順5.で「OFF」の設定にしてください。

APRS/GPSセットモードの『7 APRS MUTE』を「ON」に設定すると[B]バンドの受信音量(ピーコンや音声など)がミュートされ、「A12」または「A96」の表示が点滅します。

APRS® 機能の初期設定 (つづき)

■ 自局のシンボルを設定する

送信する自局のシンボルを設定します。46種類のシンボルを設定することができます。工場出荷時は“”が設定されています。



1. **MENU** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

2. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『22 MY SYMBOL』を選択します。

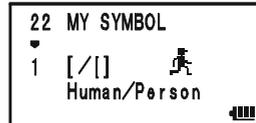
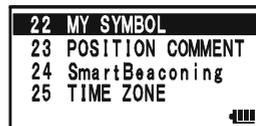
4. **MENU** を短く押すとMY SYMBOL 1が表示されます。

SPS SET TYP **MODE** (または SC-MEMO ON **BAND**) を押すと  が  に変わりMY SYMBOL 1をよく使用するシンボルに変更することができます。

5. DIALツマミをまわすと、MY SYMBOL 1以外に、MY SYMBOL 2、MY SYMBOL 3、MY SYMBOL 4を選択することができます(下表参照)。

MY SYMBOL 1と同様、よく使用するシンボルに変更しておくと、簡単にシンボルを呼び出すことができます。

MY SYMBOL 4はシンボル文字の直接入力をすることができます。入力方法は次ページを参照してください。



MY SYMBOL	コード	シンボル
1	[/ []	 Human/Person
2	[/ b]	 Bicycle
3	[/ >]	 Car
4	[YY]	User

各シンボルの初期値は下記のようになります。

6. **MENU** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。シンボルが設定され、もとの表示に戻ります。

シンボル文字の直接入力 (User モード)

シンボルが無い場合はシンボルの文字を直接入力することができます。入力方法は下記のように行います。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を STATION LIST 画面, APRS MESSAGE 画面または GPS 画面にします。

2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえる APRS/GPS セットモードになります。

3. DIAL ツマミをまわして『22 MY SYMBOL』を選択します。

4. **[MENU]** を短く押すと MY SYMBOL 1 が表示されます。

5. DIAL ツマミをまわして MY SYMBOL 4 を選択します。

6. **[MODE]** を押すと **4** が **▶** に変わります。

SPS SQ TYP

SC-MBND DN

SPS SQ TYP

SPS SQ TYP

SPS SQ TYP

[BAND] を押すと **▶** を **4** に戻すことができます。

7. **[MODE]** を押すと Symbol Table ID の設定項目にカーソルが移動します。

SC-MBND DN

[BAND]

[BAND] を押すとカーソルを **▶** に戻すことができます。

8. DIAL ツマミをまわして文字を入力します。

9. **[MODE]** を押すと Symbol Code の設定項目にカーソルが移動します。

SPS SQ TYP

SC-MBND DN

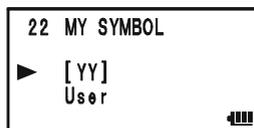
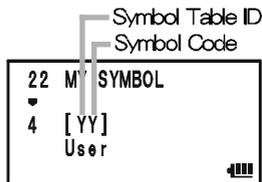
[BAND]

[BAND] を押すとカーソルを位置を Symbol Table ID に戻すことができます。

10. DIAL ツマミをまわして文字を入力します。

11. **[MENU]** を1秒以上押して APRS/GPS セットモードを終了します。

シンボルが設定され、もとの表示に戻ります。



- 最新のシンボル表は「<http://aprs.org/symbols/symbolsX.txt>」, 「<http://aprs.org/symbols/symbols-new.txt>」を参照してください。

APRS® ビーコンを受信する

ビーコンを受信する前に下記の設定を行ってください。

◎ APRS の運用周波数を設定する

地域や国によって周波数は異なるようですが、国内では 144.64MHz または 144.66MHz で運用されていますので、どちらかの周波数に設定することを推奨します（2009年12月現在）。

1. 操作バンドを回(🔄)を押してBバンドに設定します。

APRS運用はBバンドのみ動作します。Bバンドの周波数右側部分にA12（またはA96）が表示されていることを確認してください（☞p.78）。

2. 運用周波数を設定します。

運用周波数を設定後、操作バンドをAバンドに切り替えてもビーコンを送信することができます。

◎ 受信セーブ機能をOFFにする

受信セーブ機能が動作していると、ビーコンやメッセージを確実に受信できない場合がありますので、APRSを運用するときは、セットモードの『79 SAVE RX』を「OFF」に設定してください。

■ ビーコンを受信する

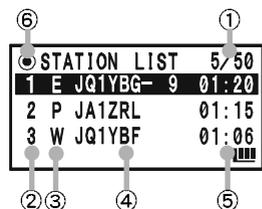
周波数表示から(MENU)を短く2回押して“STATION LIST”画面を表示します。

周波数表示⇒GPS表示⇒STATION LIST表示⇒APRS MESSAGE表示⇒周波数表示へ戻る

ビーコンを受信すると「ピンポーン(🔔)」とベル音がなり下図のような画面が表示されます。

■ APRS ビーコン画面とキー操作の説明

“STATION LIST”画面とキー操作の説明



①局数/トータル数：ビーコンの数を最大50件まで表示します。

②番号：受信ビーコンを最新順に表示します。

③キャラクター：ステーションリストキャラクターを表示します。詳細は次ページを参照してください。

④ステーション名：受信ビーコンのコールサインまたは Object 名 / Item 名を表示します。

⑤時刻または日付：時刻 (HH時:MM分) または日付 (MM月/DD日) を表示します。翌日になると時刻表示が日付に変わります。

⑥ビーコン種/手動送信アイコン：消灯時 (MANUAL)、●が点灯時 (AUTO) (☞p.96)、○が点灯時 (SMART) (☞p.98)

、DIALツマミ…画面のスクロール / STEP 1…STATION LISTの先頭にカーソルを移動

…選択したビーコン局をディスプレイから削除 (☞p.93)

…“STATION LIST”詳細画面へ移動 (☞p.84～p.92)

…メッセージの編集画面へ移動 (☞p.107)

…APRS MESSAGE画面へ移動 (☞p.102)

(1秒以上押す)…APRS/GPSセットモード (☞p.112)

…ビーコンの手動送信 (☞p.96) / …ビーコン手動送信/自動送信の切り替え (☞p.96)

- APRS/GPSセットモード『3 APRS FILTER』により、APRSフィルターで「ON」に設定したビーコンを取り込み表示します。「OFF」を選択すると、「ピーツ(🔔)」とベル音がなりビーコンを取り込みません。
- APRS/GPSセットモード『7 APRS MUTE』により、APRSを運用している[B]バンドの受信音（ビーコンや音声など）をミュートします。
- APRS/GPSセットモード『9 APRS RINGER BOON』により、APRSのビーコンが着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。「OFF」を選択すると、着信時のベル音は鳴りません。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

ステーションリストキャラクターの説明

ステーションリストキャラクターの表示例として14種類説明しています、詳細画面の表示例は下記表の記載ページを参照してください。

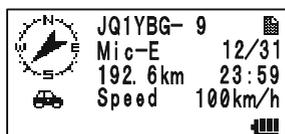
◎ STATION LIST 5/50		
1	E	JQ1YBG- 9 01:20
2	P	JA1ZRL 01:15
3	W	JQ1YBF 01:06

表示	説明	ページ
E	Mic-E: マイクエンコーダー局のビーコンを受信すると表示します	84
P	Position: 固定局(FIXED)/移動局(MOVING)のビーコンを受信すると表示します	85~87
p	Position: 固定局(fixed)/移動局(moving)ビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	88
W	Weather report: 気象局のビーコンを受信すると表示します	89
w	Weather report: 気象局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	89
O	Object: オブジェクト局のビーコンを受信すると表示します	90
o	Object: オブジェクト局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	90
I	Item: アイテム局のビーコンを受信すると表示します	90
i	Item: アイテム局のビーコンを受信すると表示します 圧縮タイプ)	90
K	Killed Object/Item: 削除されたオブジェクト局/アイテム局を受信すると表示します	90
k	Killed Object/Item: 削除されたオブジェクト局/アイテム局を受信すると表示します 圧縮タイプ)	90
S	Status: ステータス局のビーコンを受信すると表示します	91
?	Other: 解読できなかったビーコンを受信すると表示します	92
Emg	Mic-E局からのEmergency信号を受信すると表示します	96

- VX-8Dの電源を入れ、GPSを捕捉前の状態のときに詳細画面を表示すると、方位矢印と距離は無表示になります。
- 建物やトンネルなどの障害物により測位できないときは、測位できていた時点の位置情報(方位矢印、緯度/経度、距離)を表示し、測位できる位置に移動すると再び正確な位置情報を表示します。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

E (Mic-E) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



“STATION LIST”画面で、▲▼を押すまたはDIALツマミをまわして“E”の局を選択し、^{SCMBND ON}BANDを押して確定するとE (Mic-E) の詳細画面になります。

ディスプレイに4行まで表示しますが、▲▼を押すまたはDIALツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

▲▼, DIALツマミ…画面のスクロール

^{BAND}+▲▼, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え

^{SCMBND ON}BAND …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)

^{EMG R/H}H/M/RV …メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)

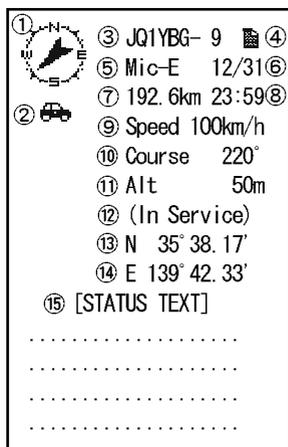
MENU …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)

MENU (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)

^{SPS SQ TYP}MODE …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)

^{TX PO}☒ …ビーコンの送信 (p. 96)

画面の詳細



①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。

②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。

③コールサイン : 受信コールサインを表示します。

④メッセージ表示 : STATUS TEXT が含まれているビーコンを受信するとのマークを表示します。

⑤タイプコード : 相手局が使用しているタイプコードを表示します (Mic-E, McE-Trk, McE-Msg や無線機の機種名等)。

⑥日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑦距離 : 相手局との距離を表示します。

⑧時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。

⑨速度 : 相手局の移動速度を表示します。

⑩方向 : 相手局の移動方向を表示します。

⑪高度 : 相手局の高度を表示します。

⑫ポジションコメント : 相手局のポジションコメントを表示します。Emergencyを受信すると (Emergency!) と表示され「ブーツ (≡X12)」と12回繰り返しベル音をならします。

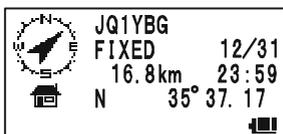
⑬緯度 : 現在の位置をN (北緯) またはS (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。

⑭経度 : 現在の位置をE (東経) またはW (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDDD度MM分SS秒)。

⑮STATUS TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

P (Position:固定局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



“STATION LIST” 画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “P” の局を選択し、 を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることが出来ます。



, DIAL ツマミ…画面のスクロール

+ , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え

…“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)

…メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)

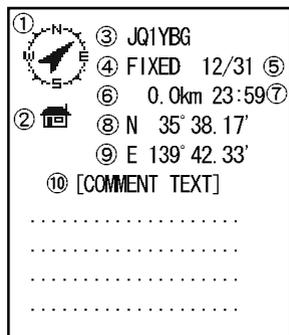
…APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)

(1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)

…RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)

…ビーコンの送信 (p. 96)

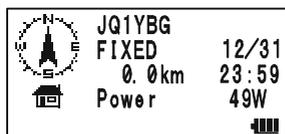
画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 固定局 (FIXED) 情報を表示します。
- ⑤日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑧緯度 : 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD度 MM. MM分または DD度 MM分 SS秒)。
- ⑨経度 : 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD度 MM. MM分または DD度 MM分 SS秒)。
- ⑩COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

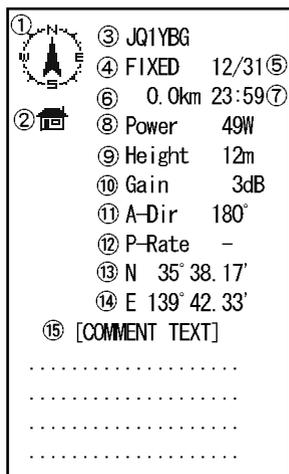
P (Position:固定局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



“STATION LIST”画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “P” の局を選択し、 を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。Positionには PHG コードとよばれる詳細情報を含む場合があります。このデータは下記のように表示します。ディスプレイに 4 行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

- , DIAL ツマミ…画面のスクロール
- , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え
- …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)
- …メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)
- …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)
- (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)
- …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)
- …ビーコンの送信 (p. 96)

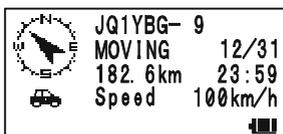
画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 固定局 (FIXED) 情報を表示します。
- ⑤日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑧送信出力 : 相手局の送信出力を表示します。
- ⑨アンテナ地上高 : 相手局のアンテナ地上高を表示します。
- ⑩アンテナゲイン : 相手局のアンテナゲインを表示します。
- ⑪アンテナ方向 : 相手局のアンテナ方向を表示します。
- ⑫送信回数 : 相手局の送信回数を表示します。
- ⑬緯度 : 相手局の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑭経度 : 相手局の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑮COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

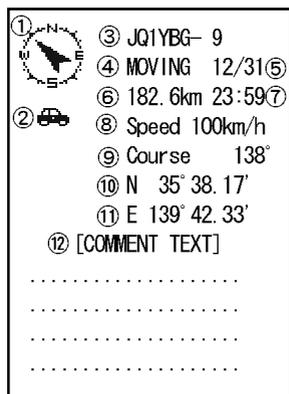
P (Position:移動局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明




 または
 DIALツマミ



画面の詳細



“STATION LIST”画面で、 を押すまたはDIALツマミをまわして“P”の局を選択し、を押して確定するとP (Position) の詳細画面になります。移動に関する情報 (Speed, Course) を含む場合は下記のように表示します。

ディスプレイに4行まで表示しますが、 を押すまたはDIALツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

 , DIALツマミ…画面のスクロール

  , DIALツマミ…ビーコン局の切り替え

 …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)

 …メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)

 …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)

 (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)

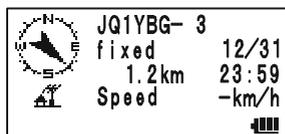
 …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)

 …ビーコンの送信 (p. 96)

- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 移動局 (MOVING) 情報を表示します。
- ⑤日付 : 日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑧速度 : 相手局の移動速度を表示します。
- ⑨方向 : 相手局の移動方向を表示します。
- ⑩緯度 : 現在の位置をN (北緯) またはS (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑪経度 : 現在の位置をE (東経) またはW (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑫COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

p (Compressed type: 固定局/移動局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明

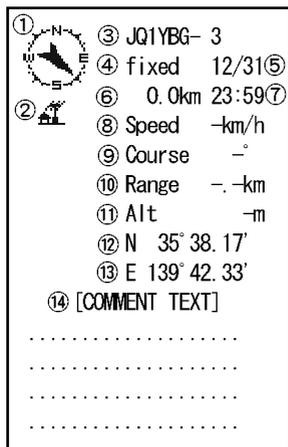


“STATION LIST”画面で、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして “p” (Position Compressed type*) の局を選択し、 を押して確定すると P (Position) の詳細画面になります。

ディスプレイに4行まで表示しますが、 を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

- , DIALツマミ…画面のスクロール
- , DIALツマミ…ビーコン局の切り替え
- …“STATION LIST”画面へ移動 (☞ p. 82)
- …メッセージの編集画面へ移動 (☞ p. 107)
- …APRS MESSAGE画面へ移動 (☞ p. 102)
- (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (☞ p. 112)
- …RAWデータ表示画面へ移動 (☞ p. 94)
- …ビーコンの送信 (☞ p. 96)

画面の詳細

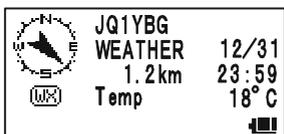


- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 固定局 (fixed) または移動局 (moving) 情報を表示します。Compressed typeは小文字で表示されます。
- ⑤日付 : 日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑧速度 : 相手局の移動速度を表示します。
- ⑨方向 : 相手局の移動方向を表示します。
- ⑩電波到達範囲 : 相手局の電波到達範囲の情報を表示します。
- ⑪高度 : 相手局の高度を表示します。
- ⑫緯度 : 現在の位置をN (北緯) またはS (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑬経度 : 現在の位置をE (東経) またはW (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑭COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

※ : Compressed typeのビーコンは一部の情報が圧縮された形式で送信されるビーコンです。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

W または w (Weather report:気象局) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明

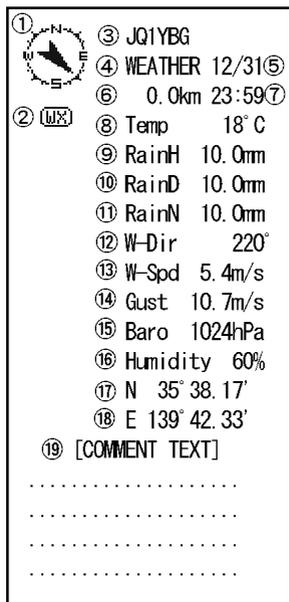


“STATION LIST” 画面で, を押すまたは DIAL ツマミをまわして “W” (Weather report) または “w” (Weather report Compressed type*) の局を選択し, を押して確定すると W または w (Weather report) の詳細画面になります。

ディスプレイに 4 行まで表示しますが, を押すまたは DIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

- , DIAL ツマミ…画面のスクロール
- , DIAL ツマミ…ビーコン局の切り替え
- …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)
- …メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)
- …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)
- (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)
- …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)
- …ビーコンの送信 (p. 96)

画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : のシンボルを表示します。
- ③コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ④相手局情報 : 気象局情報 (WEATHER) を表示します。Compressed typeは小文字で表示されます。
- ⑤日付 : 日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑦時刻 : ビーコンを受信した時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑧温度 : 温度情報を表示します。
- ⑨雨量 : 1時間当たりの雨量情報を表示します。
- ⑩雨量 : 24時間当たりの雨量情報を表示します。
- ⑪雨量 : 夜半からの雨量情報を表示します。
- ⑫風向き : 風向きの情報を表示します。
- ⑬風速 : 風速情報を表示します。
- ⑭最大風速 : 最大風速の情報を表示します。
- ⑮気圧 : 気圧の情報を表示します。
- ⑯湿度 : 湿度の情報を表示します。
- ⑰緯度 : 現在の位置を N (北緯) または S (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑱経度 : 現在の位置を E (東経) または W (西経) として表示します (DDD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑲COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

※ : Compressed typeのビーコンは一部の情報が圧縮された形式で送信されるビーコンです。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

O (Object) または I (Item) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明



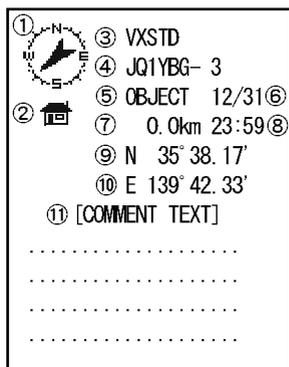
▲ ▼
または
DIALツマミ

“STATION LIST”画面で、▲▼を押すまたはDIALツマミをまわして“O” (Object) または“I” (Item) の局を選択し、^{SC-BAND ON} BANDを押して確定するとO (Object) またはI (Item) の詳細画面になります。

ディスプレイに4行まで表示しますが、▲▼を押すまたはDIALツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

- ▲ ▼, DIALツマミ…画面のスクロール
- ▲ ▼, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え
- ^{SC-BAND ON} BAND …“STATION LIST”画面へ移動 (☞ p. 82)
- ^{EMG R/H} FM/RV …メッセージの編集画面へ移動 (☞ p. 107)
- MENU …APRS MESSAGE画面へ移動 (☞ p. 102)
- MENU (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (☞ p. 112)
- ^{SPS SQ TYP} MODE …RAWデータ表示画面へ移動 (☞ p. 94)
- ^{TX PO} ☒ …ビーコンの送信 (☞ p. 96)

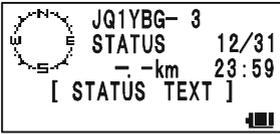
画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 自局から見た相手局の方向を表示します。
- ②シンボル : 無線局のシンボルを表示します。
- ③名称 : ObjectまたはItem名を表示します。
- ④コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ⑤相手局情報 : ObjectまたはItem局情報を表示します。ステーションリストキャラクターに“K”または“k”を表示された場合はKillビーコンを受信した場合で、「KILLJOB」または「KILLJM」と表示します。KillはObject局またはItem局が削除されたことを示すビーコンです。Compressedタイプは小文字で表示されます。
- ⑥日付 : ビーコン受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑦距離 : 相手局との距離を表示します。
- ⑧時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑨緯度 : 現在の位置をN (北緯) またはS (南緯) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑩経度 : 現在の位置をE (東経) またはW (西経) として表示します (DD度MM.MM分またはDD度MM分SS秒)。
- ⑪COMMENT TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

S (Status) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明

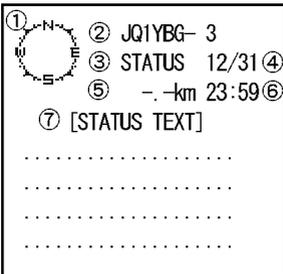


“STATION LIST”画面で、▲▼を押すまたはDIAL ツマミをまわして“S” (Status) の局を選択し、^{SC-MEND DA} BANDを押して確定するとS (Status) の詳細画面になります。ディスプレイに4行まで表示しますが、▲▼を押すまたはDIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。



- ▲▼, DIALツマミ…画面のスクロール
- ^{FW+} ▲▼, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え
- ^{SC-MEND DA} BAND …“STATION LIST”画面へ移動 (p. 82)
- ^{EMG R/H} FM/RV …メッセージの編集画面へ移動 (p. 107)
- MENU …APRS MESSAGE画面へ移動 (p. 102)
- MENU (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (p. 112)
- ^{SPS SQ TYP} MODE …RAWデータ表示画面へ移動 (p. 94)
- ^{TX PO} ☒ …ビーコンの送信 (p. 96)

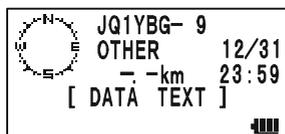
画面の詳細



- ①コンパス (方位) : 位置情報は表示されません。
- ②コールサイン : 受信コールサインを表示します。
- ③相手局情報 : Status 情報を表示します。
- ④日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑤距離 : 相手局との距離は表示しません。
- ⑥時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。
- ⑦STATUS TEXT : コメント情報を表示することができます。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

? (Other) のステーションリスト詳細表示例とキー操作の説明





 または
 DIALツマミ

“STATION LIST”画面で、を押すまたはDIAL ツマミをまわして“?” (Other) の局を選択し、^{SC-MEND DA}を押して確定すると? (Other) の詳細画面になります。

APRSのビーコンとして解読できなかったパケットを受信したときに表示されます。

ディスプレイに4行まで表示しますが、を押すまたはDIAL ツマミをまわして画面をスクロールするとすべての情報を見ることができます。

, DIALツマミ…画面のスクロール

, DIALツマミ…ビーコン局の切り替え

^{SC-MEND DA}…“STATION LIST”画面へ移動 (☞ p. 82)

^{EMG R/H}…メッセージの編集画面へ移動 (☞ p. 107)

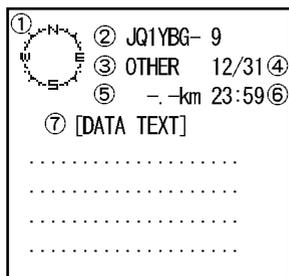
…APRS MESSAGE画面へ移動 (☞ p. 102)

 (1秒以上押す)…APRS/GPSセットモード (☞ p. 112)

^{SPS SQ TYP}…RAWデータ表示画面へ移動 (☞ p. 94)

^{TX PO}…ビーコンの送信 (☞ p. 96)

画面の詳細



①コンパス (方位) : 位置情報は表示されません。

②コールサイン : 受信コールサインを表示します。

③相手局情報 : Other packet 情報を表示します。

④日付 : ビーコンを受信した日付 (MM月/DD日) を表示します。

⑤距離 : 相手局との距離は表示しません。

⑥時刻 : ビーコン受信時の時刻 (HH時:MM分) を表示します。

⑦DATA TEXT : APRSのビーコンとして解読できなかったパケットデータをそのまま表示します。

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

■ ビーコン局をリストから削除する

“STATION LIST” 画面から必要としないビーコン局を選択してリストから削除することができます。

1.  を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST 画面にします。
2.   を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、削除したいコールサインを選択します。
3. ^{DW MT} を押すとディスプレイに“DELETE?”と確認メッセージが表示されます。
^{DW MT} 以外のキーを押すとキャンセルします。
4. ^{DW MT} を押すと消去されます。

STATION LIST		5/50
2	P JA1ZRL	01:15
3	W JQ1YBF	01:08
4	E JQ1YBG- 9	01:06

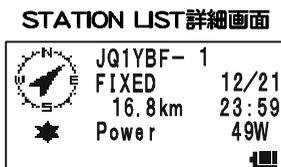
STATION LIST		5/50
2	DELETE?	
3	W JQ1YBF	01:08
4	E JQ1YBG- 9	01:06

APRS® ビーコンを受信する (つづき)

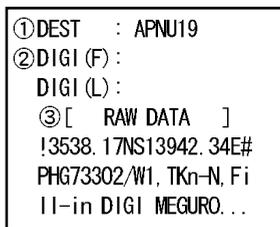
■ RAW パケットデータの表示

“STATION LIST” 詳細画面から相手局のパケットデータ（生データ）を表示することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面にします。
2. **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわしてRAWパケットデータを見たいビーコン局を選択します。
3. **[SCHEM D1]** **[BAND]** を押してディスプレイの表示をSTATION LIST詳細画面にします。
4. **[SPS SQ TYP]** **[MODE]** を押すとディスプレイにRAWパケットデータが表示されます。
5. **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールすることができます。
[QW] を表示中、**[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわすと表示中のビーコン局を切り替えることができます。
6. **[SPS SQ TYP]** **[MODE]** を押すとSTATION LIST詳細画面に戻ります。



RAWパケットデータ表示画面の詳細



- ① **Destination 情報:** AX.25 パケットの Destination Address 情報を表示
- ② **Digipeater 情報:** 中継局 (Digipeater) の情報を表示
- ③ **RAW TEXT:** 生データのテキストを表示

-
- 送信メッセージの場合は、Digipeater 情報が保存されないためDIG(First)とDIG(Last)の情報は表示されません (“-” が表示されます)。
 - 3rd Party Header Beacon (I-Gate 等からの BEACON) を受信した場合は、AX.25 のパケット信号から得られる情報ではなく、3rd Party Header Beacon のテキストに含まれているルート情報を表示します。
-

APRS® ビーコンを送信する

■ ビーコンを手動で送信する

を押します。

ビーコンを自動送信したい場合は、下記の「ビーコンの手動送信/自動送信の切り替え」で「AUTO」または「SMART」に設定してください。

- デジピーターに中継された自局ビーコンを受信したとき「ピポポーツ (再手)」とベル音がなります。
- GPS アンテナユニットを接続する場合は、必ずAPRSセットモード『21 MY POSITION』の設定が“GPS”になっているか確認してください。また、GPS データが捕捉できない場合は、ビーコンを送信できません。

■ ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替え

APRS ビーコンを手動送信するまたは自動送信するかを設定することができます。

1. を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. を短く押すごとに「MANUAL」、「AUTO」または「SMART」に切り替わります。セットモードの『14 BEACON TX』のショートカットキーです。

- が消灯 (MANUAL): を押したときのみ自局のAPRSビーコンを送出することができます (工場出荷時)。
- が点灯 (AUTO): 自局のAPRSビーコンを5分間隔で自動送信をします。^{※1}
- が点灯 (SMART): SmartBeaconing™機能により自動送信をします。^{※2}

消灯時 (MANUAL)
● が点灯時 (AUTO)
○ が点灯時 (SMART)

◎ STATION LIST	5/50
1 E JQ1YBG- 9	01:20
2 P JA1ZRL	01:15
3 W JQ1YBF	01:06

※ 1: APRS/GPS セットモード『12 BEACON INTERVAL』でビーコン送信の間隔を変更することができます。

※ 2: ・ SmartBeaconing™機能の詳細は98ページを参照してください。

- ・ APRS/GPS セットモード『24 SmartBeaconing』のSTATUS設定がTYPE1～TYPE3で、さらにAPRS/GPS セットモード『21 MY POSITION』がGPSの場合にのみ、この設定が選べます。

APRS/GPS セットモード『11 APRS TX DELAY』で、データ送信ディレイタイムを変更することができます。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ ビーコンの自動送信間隔設定

APRSビーコンを自動的に送出する時間間隔を設定します。

ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替えを「**●**AUTO」に設定してください。

1. **MENU**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。



2. **MENU**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『12 BEACON INTERVAL』を選択します。

4. **MENU**を短く押します。



5. DIALツマミをまわして希望の自動送信間隔時間を選択します。

工場出荷時:5min

30sec / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 15min / 20min / 30min / 60min から設定可能です。

6. **MENU**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

送信間隔時間が設定され、もとの表示に戻ります。

- APRSビーコンを自動送信に切り替えておき、ビーコンの自動送信間隔設定をした時点でタイマーがリセットされ、この時点からビーコンの自動送信間隔時間のカウントが始まり、設定した時間が経つと初回のビーコンが送出されます。
- 自動 (AUTO) 送信動作中も TXPO を押すと、強制的にビーコンを送信することができます。強制的にビーコンを送信すると、自動送信タイマーがリセットされます。
- 指定された時間が経過し、自動的にビーコンを送出しようとしたときにスケルチが開いているときは、送出動作を保留します。スケルチが閉じるとビーコンを送出します。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ SmartBeaconing™ を設定する

SmartBeaconing™ 機能とは、GPS アンテナユニットからのデータ（移動速度や進行方向など）にもとづき、効率的に自局位置情報のビーコンを送信する機能です。

VX-8D では、SmartBeaconing™ 機能による自動送信機能に対応しています。

VX-8D の SmartBeaconing™ 機能には、3 種類 (TYPE1 ~ TYPE3) の異なる設定が用意されており、下記運用を想定した初期値があらかじめプリセットされています。

- TYPE1 : 自動車などの高速移動を想定
- TYPE2 : 自転車などの中低速移動を想定
- TYPE3 : 徒歩などの低速移動を想定

TYPE2とTYPE3の設定(特にTYPE3)では、比較的遅めの移動速度であっても短時間に多数のビーコンが送信されてしまう為、これらの設定のまま自動車等の高速移動中に運用すると、ビーコンが多数送信され周波数混雑の要因となります。

高速移動する可能性がある場合には、必ずTYPE1の設定に戻す様にしてください。

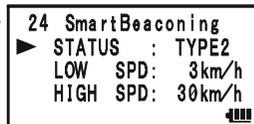
異なるタイミングでの運用を試したい場合、TYPE1~TYPE3の設定パラメータ自体を変更する事もできます。パラメータを変更する際も、適切にビーコンが送信されるようにSmartBeaconing™ のパラメータやDIGI PATH設定などを調整し、周波数混雑を起こさないような運用を心がけましょう。

この機能を使う為には、下記のような操作を行います。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押しします。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
3. DIALツマミをまわして『24 SmartBeaconing』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押しします。
5. DIALツマミをまわして希望の「TYPE」を選択します。
OFF : SmartBeaconing機能をOFFにします。
TYPE1 : 自動車などの高速移動を想定した設定になっています。
TYPE2 : 自転車などの中低速移動を想定した設定になっています。
TYPE3 : 徒歩などの低速移動を想定した設定になっています。
6. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。



```
24 SmartBeaconing
25 TIME ZONE
1 APRS AF DUAL
2 APRS DESTINATION
```



```
24 SmartBeaconing
▶ STATUS : TYPE2
LOW SPD: 3km/h
HIGH SPD: 30km/h
```



```
○ STATION LIST 5/50
1 E JQ1YBG- 9 01:20
2 P JA1ZRL 01:15
3 W JQ1YBF 01:06
```

7. **[MODE]** を数回押してディスプレイの左上に“O”を点灯させます。
APRS/GPSセットモード「14 BEACON TX」のショートカットキーです。
ディスプレイの左上に“O”が点灯するとSmartBeaconing™が設定されます。

○ APRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』でSMARTを選んだ場合、BEACON INTERVALの設定は無視されます。

○ APRS/GPSセットモード『24 SmartBeaconing』のSTATUS設定がTYPE1~TYPE3で、さらにAPRS/GPSセットモード『21 MY POSITION』がGPSの場合のみ、この設定が選べます。

※ SmartBeaconing™ は、HamHUD Nichetronix 社から提供されています。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ ステータステキストの入力

最大 60 文字までのステータステキストを 5 種類登録することができます。

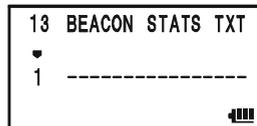
1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を **STATION LIST** 画面、**APRS MESSAGE** 画面または **GPS** 画面にします。



2. **[MENU]** を 1 秒以上押します。

各種の設定を行なえる **APRS/GPS** セットモードになります。

3. **DIAL** ツマミをまわして『13 BEACON STATS TXT』を選択します。

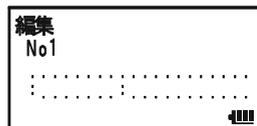


4. **[MENU]** を短く押します。

5. **DIAL** ツマミをまわして登録したいステータステキストの番号を選択します。

あらかじめテキストが入力されている場合は、テキスト内容の先頭 16 文字が表示されます。

6. **[MODE]** を押すと編集画面になります。



[BAND] を押すと 1 つ前の状態に戻ります。

7. **DIAL** ツマミをまわして文字を入力します (文字は下表参照)。

テンキー入力も可能です。

- カーソル以降のクリアーは、**[▲▼]** を押して「CLEAR」を選択後 **[DW MT/V/M]** を押してください。
- カーソル位置の 1 文字クリアーは、**[▲▼]** を押して「DELETE」を選択後 **[DW MT/V/M]** を押してください。
- 文章中 1 文字追加は、**[▲▼]** を押して「INSERT」を選択後 **[DW MT/V/M]** を押してください。
- 全消去方法は、**[▲▼]** を押して「ALL CLEAR」を選択後 **[DW MT/V/M]** を押してください。

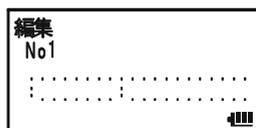
8. 手順 6, 7. を繰り返し文字を入力します。

9. **[MENU]** を短く押して確定します。

10. **[MENU]** を 1 秒以上押して **APRS/GPS** セットモードを終了します。

ステータステキストの登録を終了し、もとの表示に戻ります。
最後に登録したステータステキストが送出されます。

21文字目、29文字目及び43文字目に:(コロン)が表示されます。このコロンの位置を超える長いテキストを入力すると、一部の機種で受信表示できない場合があります。なるべくコロンの位置より短い長さのテキストで入力することを推奨します。



ステータステキスト入力文字一覧表

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U				
V	W	X	Y	Z	[\]	^ _ `	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r
s	t	u	v	w	x	y	z	{ }	~ (スペース)	!	”	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	@								

テンキーで英数字が入力可能です。また、メッセージ入力では、**[RADIO 0]** を押すと 0 以外に スペース - % / ? ! . : # を入力することができます。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ ポジションコメントの選択

自局ビーコン中に盛り込むポジションコメント (定型メッセージ) を選択します。

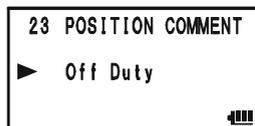
1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。



2. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして「23 POSITION COMMENT」を選択します。



4. **[MENU]** を短く押します。

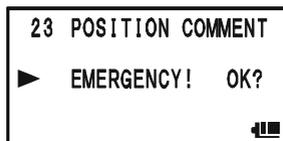
5. DIALツマミをまわして希望のポジションコメントを選択します。

工場出荷時: Off Duty

Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed /

Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY! から設定可能です。

「EMERGENCY!」を選択したときのみ手順 6. で**[MENU]** を1秒以上押すと「OK?」の確認メッセージが表示され「プープープーツ (🔊 × 3)」とベル音がなります。



キャンセルをする場合はDIALツマミをまわして他のポジションコメントを選択してください。

表示後もう一度**[MENU]** を1秒以上押して終了します。

6. **[MENU]** を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

ポジションコメントが設定され、もとの表示に戻ります。



事故や災害など本当に緊急の救助が必要な場合以外は絶対に「EMERGENCY!」を選択しないでください。

APRS® ビーコンを送信する (つづき)

■ デジピータールートの設定

デジピーターとは、ビーコンなどのパケットを中継する局を言います。利用するデジピーターのコールサインやエイリアス (ALIAS) を選択します。

VX-8Dでは、あらかじめ「WIDE1-1」(1ヶ所の中継設定)、「WIDE1-1, WIDE2-1」(2ヶ所の中継設定)がプリセットされています。「WIDE1-1, WIDE2-1」の場合は、最初にWIDE1-1指定により1ヶ所目のデジピーター局が中継行い、次のWIDE2-1指定により2ヶ所目のデジピーター局が中継を行います。この設定では、2ヶ所のデジピーター局により中継が行われます。

2009年現在では、APRSで使われているデジピーター局は、New-N Paradigm方式*による運用が推奨されており、また対応デジピーター局も最も多いことからVX-8DではNew-N Paradigm方式のデジピーター局を想定した初期値を設定してあります。

他の中継方式等を利用する場合は、P4～P8のどれかを選び、CALLSIGNやエイリアス (ALIAS) を入力しておく必要があります (入力方法は下記手順にて設定してください)。

※ New-N Paradigm方式に関しては、下記サイトに記載があります。
<http://aprs.org/fix14439.html> (2009年12月現在)

中継段数を多く設定すると、同一局が送信したビーコンが何回も中継されチャンネルの混雑を招くので、設定を変更せずに運用されることをお勧めします。

- 1.** **[MENU]**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
- 2.** **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRS/GPSセットモードになります。
- 3.** **DIAL**ツマミをまわして『15 DIGI PATH』を選択します。
- 4.** **[MENU]**を短く押します。
- 5.** **DIAL**ツマミをまわしてDIGI PATH (P1～P8) を選択します。
P1(OFF), P2(WIDE1-1)及びP3(1:WIDE1-1/2:WIDE2-1)は固定値で、P4～P8は中継方式等を入力することができます。
- 6.** P1～P3を設定する場合は手順13.へ、P4～P8を設定する場合は手順7.へ進みます。
- 7.** **[MODE]**を押してカーソルを移動します。
SPS SQ TYP
SC-MEND DA
[BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
- 8.** **DIAL**ツマミをまわしてアドレス(1, 2)を選択します。
P8のみ8個アドレスを設定可能です。
- 9.** **[MODE]**を押してカーソルを移動します。
SPS SQ TYP
SC-MEND DA
[BAND]を押すとカーソルの位置を1つ前に戻すことができます。
- 10.** **DIAL**ツマミをまわして文字を入力します。
テンキー入力も可能です。
○ **[EMG R/H
FM/RV]**を1秒以上押すとSSDを除きカーソル以降を削除、カーソルが1桁目の場合はSSDを含め削除
- 11.** 手順8., 9.を繰り返し文字(コールサイン)とSSIDをします。
- 12.** 次のアドレスを入力したい場合は、手順6.～10.を繰り返し入力してください。
- 13.** **[MENU]**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
デジピータールートが設定され、もとの表示に戻ります。

15 DIGI PATH	
16	GPS DATUM
17	GPS TIME SET
18	GPS UNIT

15 DIGI PATH	
(FIXED)	
P3 (2)	1 WIDE1 - 1
	2 WIDE2 - 1

15 DIGI PATH	
P4 (2)	1 -----
	2 -----

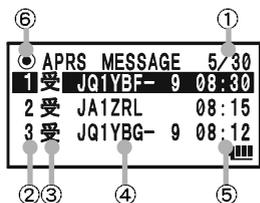
APRS® メッセージを受信する

■ “APRS MESSAGE” 画面とキー説明

周波数表示から **[MENU]** を 3 回短く押すと “APRS MESSAGE” 画面が表示されます。

周波数表示⇒GPS 表示⇒STATION LIST 表示⇒APRS MESSAGE 表示⇒周波数表示へ戻る

“APRS MESSAGE” 画面は受信及び送信したメッセージを最大 30 件メモリーすることができリスト形式で表示します。一番上の桁が最新の情報になります。



- ①局数/トータル数：メッセージの数を表示します。
- ②番号：受信または送信のメッセージ番号です。
- ③受信/送信：受信すると“受”送信すると“送”が表示されます。
- ④コールサイン：受信または送信したコールサインを表示します。
- ⑤時刻または日付：受信または送信した時刻 (HH時:MM分) または日付 (MM月/DD日) を表示します。
- ⑥ビーコン/自動送信アイコン：アイコン表示がないとビーコン手動送信、アイコンが●表示のときはビーコン自動送信で、アイコンが○表示のときは SmartBeaconing™の自動送信です。

[▲] **[▼]**, DIAL ツマミ…画面のスクロール

[STEP 1] …APRS MESSAGE LIST の先頭にカーソルを移動

[DW_MT] …選択したビーコン局をディスプレイから削除 (☞p. 93)

[V/M] …MESSAGE “受信/送信” 詳細画面へ移動 (☞p. 84～p. 92)

[SC-MBND ON] **[BAND]** …MESSAGE “受信/送信” 詳細画面へ移動 (☞p. 84～p. 92)

[EMG R/H] …メッセージの編集画面へ移動 (☞p. 107)

[FM/RV] …メッセージの編集画面へ移動 (☞p. 107)

[MENU] …周波数表示画面へ移動 (☞p. 102)

[MENU] (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (☞p. 112)

[SPS SQ TYP] **[MODE]** …ビーコン手動送信/自動送信の切り替え (☞p. 96)

■ “受信/送信” 詳細画面とキー説明

“APRS MESSAGE” 画面から詳細を見たい局を **[▲]** **[▼]** または DIAL で選択し、**[SC-MBND ON]** **[BAND]** を押すと “受信/送信” メッセージの詳細画面が表示されます。“受信/送信” 詳細画面は “APRS MESSAGE” 画面で受信 (受) したメッセージの詳細や、送信 (送) したメッセージの詳細を見ることができます。



- ①受信/送信：“受信”の時は受信の詳細を“送信”のときは送信の詳細を表示します。
- ②コールサイン：受信/送信したコールサインを表示します。
- ③受信/送信の日付：受信した日付を表示します。
- ④メッセージ番号：受信時は相手局が付与したメッセージ番号、送信時は、編集時に自局が付与したメッセージ番号を表示します。ブレンやグループメッセージの時は「GRP: (グループ)」、「BLN: (番号/ブレン名)」を表示します。
- ⑤メッセージ：受信したメッセージの内容を表示します。
- ⑥受信/送信の時刻：時刻 (HH時:MM分) または日付 (MM月/DD日) を表示します。

[▲] **[▼]**, DIAL ツマミ…画面のスクロール / **[G/W+]** **[▲]** **[▼]**, DIAL ツマミ…メッセージの切り替え

[SC-MBND ON] **[BAND]** …APRS MESSAGE画面へ移動 (☞p. 82) / **[EMG R/H]** **[FM/RV]** …メッセージの編集画面へ移動 (☞p. 107)

[MENU] …周波数表示へ移動 (☞p. 102) / **[MENU]** (1秒以上押す) …APRS/GPSセットモード (☞p. 112)

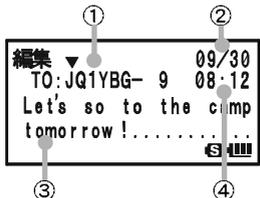
[SPS SQ TYP] **[MODE]** …RAWデータ表示画面へ移動 (☞p. 94)

APRS®メッセージを受信する(つづき)

■ “編集”画面とキー説明

“APRS MESSAGE”画面または“受信/送信”詳細画面から  を押すと“編集”画面が表示されます。

“編集”画面は受信または送信したメッセージを編集して送信することができます。



- ① **コールサイン**：あて先のコールサインを表示します。
- ② **日付**：現在の日付が表示されます。
- ③ **メッセージ**：送信するメッセージを入力します。最大67文字まで入力可能です。
- ④ **時刻**：現在の時刻が表示されます。

  ...「CLEAR」, 「INSERT」, 「ALL CLEAR」, 「DELETE」, 「MSG TXT1」～「MSG TXT7」などの編集操作 (▶p. 107)

テンキー, DIALツマミ...文字入力

SC-MBND DA

 ...カーソルを左へ移動

SPS SQ TYP

 ...カーソルを右へ移動

EMGR/H

 ...APRS MESSAGE画面へ移動* (▶p. 102)

MENU

 ...周波数表示へ移動

MENU

(1秒以上押す) ...APRS/GPSセットモード (▶p. 112)

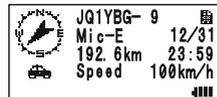
TX PO

 ...メッセージの送信 (▶p. 107)

下記の操作画面から  を押すと編集画面に移り, それぞれの動作を行うことができます。



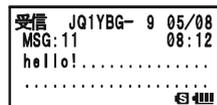
→ 編集用バッファに入っている情報から編集再開



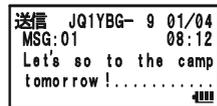
→ コールサインのみコピーされた編集画面(リプライ機能)



→ 編集用バッファに入っている情報から編集再開



→ コールサインと本文をコピーされた編集画面(リプライ機能)



→ コールサインと本文をコピーされた編集画面(再編集機能)

※：編集画面の内容は, ALL CLEARを実行するか電源を切るまでは編集用バッファに保存されます。

APRS®メッセージを受信する (つづき)

■ メッセージを受信する

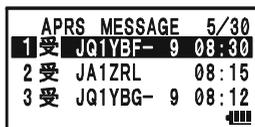
周波数表示から[MENU]を3回短く押してAPRS MESSAGE画面を表示します。

周波数表示⇒GPS表示⇒STATION LIST表示⇒APRS MESSAGE表示⇒周波数表示へ戻る

メッセージを受信すると「ピポピポーン (≡≡≡)」のベル音とストロボ (白色LED) が点滅して、下図のような画面が表示されます。

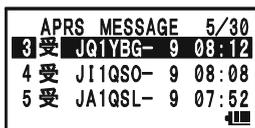
操作は下記のように行います

1. ▲▼を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、受信した(受)メッセージを選択します。
2. ^{SC-MEMO DA} BANDを押して“受信”詳細画面にし、メッセージを見ることができます。
 - ^{EMG R/H} FM/RVを押すと“APRS MESSAGE”編集画面へ移動します (p. 107)。
 - MENUを押すと“周波数表示”画面へ戻ります。
3. ^{SC-MEMO DA} BANDを押すと“APRS MESSAGE”画面に戻ります。

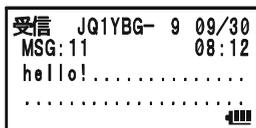


▲▼を押す

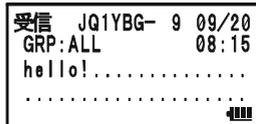
またはDIAL ツマミをまわす



^{SC-MEMO DA} BANDを押す ↓ ↑ ^{SC-MEMO DA} BANDを押す



- グループ/ プレテンメッセージを受信すると「ピポピポピポーン (≡≡≡)」とベル音がなり、図のようにコールサインを表示します。
- メッセージACKを受信すると「ピーツ (≡≡)」とベル音がなります。
- メッセージREJ (リジェクト)を受信すると「ピーツ (≡≡)」とベル音がなります。
- ストロボ (白色LED) 表示は、APRS/GPSセットモード『APRS MSG FLASH』の設定により変更することができます。



APRS® メッセージを受信する (つづき)

受信メッセージのフィルター設定

特定のグループコード (ALL, CQ, QST, YAESUなど) のメッセージやブレンメッセージを受信するためのグループフィルターを設定します。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示を **STATION LIST** 画面, **APRS MESSAGE** 画面または **GPS** 画面にします。
2. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRSセットモードになります。
3. **DIAL** ツマミをまわして『19 MSG GROUP』を選択します。
4. **[MENU]** を短く押します。
5. **DIAL** ツマミをまわしてグループフィルターを設定します。

- グループコードの場合はG1 ALL, G2 CQ, G3 QST, G4 YAESU, G5(任意)が設定可能です。ブレンの場合はB1~B3を設定します。
- 文字入力中に **EMG R/H** (HW/RV) を1秒以上押すと、カーソル以降を削除します。
6. **[MODE]** を短く押します。
 7. **DIAL** ツマミをまわして文字を選択します。
テンキー入力も可能です。
 8. **[MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。
 9. 上記の手順7, 8を繰り返し文字を入力(最大9文字)します。
ブレンの場合は最大5文字まで入力できます。
 10. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。
受信すると下記のような画面が表示されます。

ALL, CQ, QST, YAESUなどの
グループ名を表示

自分宛メッセージ画面

ブレン番号
ブレン名を表示

グループメッセージ受信画面

ブレン番号
ブレン名を表示

ブレン受信画面

- APRS/GPSセットモード『1 APRS AF DUAL』によりAF DUALでラジオを受信中に、APRSも[B]バンドで受信しているときは、APRSのビーコンやメッセージを着信してもラジオ受信を中断せずラジオの音声が続く、APRS画面にすると着信したビーコン情報やAPRSメッセージなどを見ることが出来ます。
- APRS/GPSセットモード『5 APRS MSG FLASH』によりメッセージ (MSG)、グループ (GRP) またはブレン (BLN) を着信したときにストロボ (白色LED) が点滅します。
- APRS/GPSセットモード『7 APRS MUTE』によりAPRSを運用している[B]バンドの受信音 (ビーコンや音声など) をミュートすることが出来ます。
- APRS/GPSセットモード『8 APRS RINGER MSG』によりAPRSの自局あてメッセージ/グループメッセージ/ブレンメッセージなどを着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。「OFF」を選択すると、ベル音を鳴らさず、ディスプレイに表示のみ行います。
- 自局のコールサインのSSIDだけ異なったメッセージも受信することが出来ます。ただし、ACKデータの返信は、SSIDを含めてすべてが一致したときのみ行います。
- APRS/GPSセットモード『19 MSG GROUP』により特定のグループコード (ALL や CQ など) をもつメッセージやブレンメッセージを受信するためのフィルターを設定します。

APRS®メッセージを受信する (つづき)

■ メッセージをリストから削除する

“APRS MESSAGE” 画面から必要としないメッセージを選択してリストから削除することができます。

1. **[MENU]** を短く押してディスプレイの表示をAPRS MESSAGE画面にします。
2. **[▲]** **[▼]** を押すまたはDIALツマミをまわして画面を上下にスクロールし、削除したいコールサインを選択します。
3. ^{DW MT}**[V/M]** を押すとディスプレイに“DELETE?”と確認メッセージが表示されます。
^{DW MT}**[V/M]** 以外のキーを押すとキャンセルします。
4. ^{DW MT}**[V/M]** を押すと消去されます。

APRS MESSAGE 5/30	
1 受	JQ1YBF- 9 08:30
2 送	JA1ZRL 08:15
3 受	JQ1YBG- 9 08:12
▲■■■	

APRS MESSAGE 5/30	
3	DELETE?
4 受	J11QSO- 9 08:08
5 受	JA1QSL- 9 07:52
▲■■■	

APRS MESSAGE 4/30	
1 受	JQ1YBF- 9 08:30
2 送	JA1ZRL 08:15
3 受	J11QSO- 9 08:08
▲■■■	

APRS®メッセージを送信する (つづき)

定型文から作成して送信する

1. 周波数表示から **[MENU]** を3回短く押してAPRS MESSAGE画面にします。

2. **[EMG R/H / FM/RV]** を押してAPRS MESSAGE編集画面にします。

以前メッセージを作成/編集していた場合は、作成/編集したメッセージが表示されますので画面の内容を消去してください。消去方法は、**[SC-BAND D]** を押してカーソルをメッセージの桁へ移動させ、**[▲ ▼]** を押して「CLEAR」を選択後 **[DW MT / V/M]** を押してください。「ALL CLEAR」はコールサインを含めて全て削除します。

3. DIALツマミをまわして1桁目の宛先コールサインを入力します。テンキー入力も可能です。

下記手順はDIALツマミでの入力方法を説明します。

4. **[SPS SQ TYP / MODE]** を押して次の桁へカーソルを移動します。

5. 上記の手順3, 4. を繰り返しコールサイン (最大6桁) を入力します。

6. **[SPS SQ TYP / MODE]** を押して7桁目にカーソルを移動し、DIALツマミをまわしてSSID (1~15) を入力します。

SSIDがいない場合は、入力する必要ありません。

7. **[SPS SQ TYP / MODE]** を押すとメッセージの桁へカーソルが移動し、カーソル (.) が点滅します。

8. **[▲ ▼]** を押してあらかじめ作成してある定型文 (MSG TXT 1~MSG TXT7) を選択します。

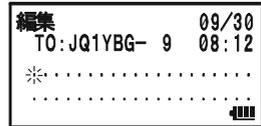
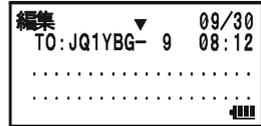
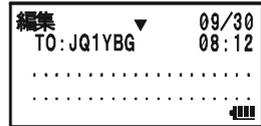
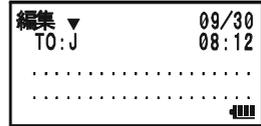
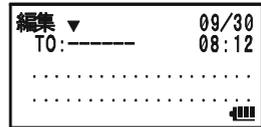
9. **[DW MT / V/M]** を押して確定します。

- 選択すると定型文が編集内容に反映され、文字を追加や削除など編集作業を行うことができます。
- 定型文を呼び出した後も、引き続き編集を行うことができます。
- テンキー入力も可能です。
- カーソル以降をクリアーは、**[▲ ▼]** を押して「CLEAR」を選択後 **[DW MT / V/M]** を押してください。
- カーソル位置の1文字削除は、**[▲ ▼]** を押して「DELETE」を選択後 **[DW MT / V/M]** を押してください。
- 文章中1文字追加は、**[▲ ▼]** を押して「INSERT」を選択後 **[DW MT / V/M]** を押してください。
- 全消去方法は、**[▲ ▼]** を押して「ALL CLEAR」を選択後 **[DW MT / V/M]** を押してください。

10. 定型文を連続して貼り付けることもできます。

11. **[TX PD]** を押してメッセージを送信します。

送信後、自動でAPRS MESSAGE画面に戻ります。



返信機能

APRSメッセージを受信した局に返信するときは、APRS MESSAGE (LIST) 画面上で、返信相手局を **[▲ ▼]** を押すかDIALツマミをまわして選択し、**[SC-BAND D]** を押して受信詳細画面に入り、その画面で **[EMG R/H / FM/RV]** を押すと、右図のような編集画面が表示されます。「1」文字づつ入力して送信する (p. 107) または「定型文から作成して送信する (p. 108)」の手順 8 からの操作と同様にメッセージを入力し、送信 (返信) することができます。

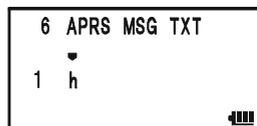
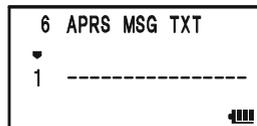


APRS® メッセージを送信する (つづき)

■ 定型メッセージの登録

最大16文字までの定型メッセージを7種類登録することができます。メッセージ編集画面で定型メッセージを貼り付けて送出することができます。

- MENU**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。
- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるAPRSセットモードになります。
- DIALツマミをまわして『6 APRS MSG TXT』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- DIALツマミをまわして登録したいメッセージの番号を選択します。
- SPS SQ TYP
MODEを短く押します。
カーソルが1桁目に移動します。
- DIALツマミをまわして1桁目の文字を選択します。
テンキー入力も可能です。
下記手順はDIALツマミでの入力方法を説明します。
- SPS SQ TYP
MODEを押して次の桁へカーソルを移動します。
SC-MEND DA
BANDを押すと前の桁に戻り、修正したい場合はDIALツマミをまわして文字を選択します。
メッセージを入力中にFMG R/H
(M/R)を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- 上記の手順7, 8を繰り返し文字を入力(最大16文字)します。
- MENU**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。
定型メッセージの登録が終了し、もとの表示に戻ります。



メッセージ入力文字一覧表																											
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U							
V	W	X	Y	Z	[\]	^ _ `	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r			
s	t	u	v	w	x	y	z	}	(スペース)	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	@															

テンキーで英数字が入力可能です。また、メッセージ入力では、RADIO
0を押すと0以外にスペース - % / ? ! . : # を入力することができます。

APRS®メッセージを送信する (つづき)

■ メッセージの受信確認データ (ACK)

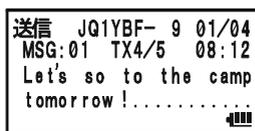
相手局を指定したメッセージを送信すると、相手局から受信したことを通知するACKデータ(受信確認データ)が返ってきます。相手局からACKデータが返ってくると受信確認音が鳴り、そこで送信処理が完了となります。相手局からACKデータが1分間返ってこないときには、同じメッセージを再送信します。5回送信してもACKデータが返ってこないときはTX OUTの状態になります。ACKの残送信回数は下記のようにディスプレイに表示されます。また、SC-MEMO ON **[BAND]** を押して送信詳細画面に切り替えても残送信回数を確認することができます。

残送信の回数を表示



APRS MESSAGE画面
(残送信が4回残っている場合)

残回数表示例

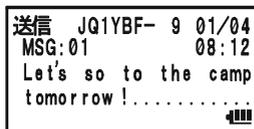


送信詳細画面
(残送信が4回残っている場合)

ACK受信時“*”を表示



APRS MESSAGE画面
(ACK受信時の表示)

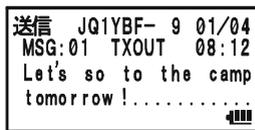


送信詳細画面
(ACK受信時の表示)

TX OUT受信時“.”を表示



APRS MESSAGE画面
(TX OUT時の表示)



送信詳細画面
(TX OUT時の表示)

メッセージのリストは最大30件登録することができますが、受信と送信を兼用しているため30件を超えると、一番古いメッセージから自動的に消去されます。このため、新着メッセージの受信により、5回の再送信が完了していないメッセージが消去されることがあります。

APRS®/GPSセットモード番号順一覧表

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
1 APRS AF DUAL	AF DUAL 中の音声切り替えの許可/禁止	ON / OFF
2 APRS DESTINATION	モデルコードの表示	[APY008]
3 APRS FILTER	フィルター機能の選択	MicE : ON/OFF / POSITION : ON/OFF / WEATHER : ON/OFF / OBJECT : ON/OFF / ITEM : ON/OFF / STATUS : ON/OFF / OTHER : ON/OFF
4 APRS MODEM	APRS ボーレートの選択	OFF / 1200bps / 9600bps
5 APRS MSG FLASH	メッセージ着信時のストロボ点滅設定	MSG: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS / EVERY 2s - 10s (1sec 間隔) / EVERY 10s - EVERY 50s (10sec 間隔) / EVERY 1m - EVERY 10m (1min 間隔) / GRP: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS / BLN: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec 間隔) / 20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS
6 APRS MSG TXT	定型メッセージのテキスト入力	最大 16 文字 7 種類のメッセージを入力可能
7 APRS MUTE	APRS 設定時 B/バンド AF MUTE の ON/OFF	ON / OFF
8 APRS RINGER MSG	メッセージ着信時に鳴るベル音の ON/OFF	ON / OFF
9 APRS RINGER BCN	ビーコン着信時に鳴るベル音の ON/OFF	ON / OFF
10 APRS UNIT	APRS 表示の単位設定	Position : MM , MM' / MM SS" Distance : km / mile Speed : km/h / knot / mph Altitude : m / ft Temp : °C / °F Rain : mm / inch Wind : m/s / mph
11 APRS TX DELAY	データ送出ディレイタイムの設定	100ms / 150ms / 200ms / 250ms / 300ms / 400ms / 500ms / 750ms / 1000ms
12 BEACON INTERVAL	ビーコンの自動送信間隔設定	30sec / 1min / 2min / 3min / 5min / 10min / 15min / 20min / 30min / 60min
13 BEACON STATS TXT	ステータステキストの入力	最大 60 文字 5 種類のステータステキスト入力可能
14 BEACON TX	ビーコンの自動送信/手動送信の切り替え	MANUAL / ● AUTO / ○ SMART
15 DIGI PATH	デジビータールートの設定	P1 OFF P2 1 WIDE1 - 1 P3 1 WIDE1 - 1 / 2 WIDE2 - 1 P4 1 / 2 P5 1 / 2 P6 1 / 2 P7 1 / 2 P8 1 ~8
16 GPS DATUM	測位系の選択	WGS-84 / Tokyo Mean / Tokyo Japan / Tokyo Korea / Tokyo Okinawa
17 GPS TIME SET	GPS 時刻データ自動修正の ON/OFF	AUTO / MANUAL
18 GPS UNIT	GPS 表示の単位設定	Position : MMM / 'SS" Speed : km/h / knot / mph Altitude : m / ft
19 MSG GROUP	受信メッセージのグループフィルター設定	G1 ALL* G2 CQ* G3 CST* G4 YAES* G5 (任意) B1 BLN* (任意) B3 BLN* (任意) B3 BLN* (任意)
20 MY CALLSIGN	自局のコールサイン設定	*-NN (*: Callsign-NN(SSID): 数字)
21 MY POSITION	自局位置の設定	GPS / Lat / Lon / P 1 ~ P10
22 MY SYMBOL	自局シンボルの設定	(79 ページ参照)
23 POSITION COMMENT	ポジションコメントの設定	Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY!
24 SmartBeaconing	スマートビーコンングの設定	OFF / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3
25 TIME ZONE	タイムゾーンの設定	- 13 ~ 0 ~ +9 ~ +13 時間 (30分単位)

APRS®/GPSセットモード動作一覧表

APRS®セットモードでは、APRS®機能を運用する際に必要な25種類の設定を行なうことができます。また、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能です。

1. **MENU**を短く押してディスプレイの表示をSTATION LIST画面、APRS MESSAGE画面またはGPS画面にします。

MENUを短く押すごとに

周波数画面⇒GPS画面⇒STATION LIST画面⇒
⇒APRS MESSAGE画面⇒周波数画面に戻ります

1	APRS AF DUAL
2	APRS DESTINATION
3	APRS FILTER
4	APRS MODEM

2. **MENU**を1秒以上押します。

APRS/GPSの各種設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして設定したいAPRS/GPSセットモードを選択します。

4. **MENU**を短く押します。

5. DIALツマミをまわして設定項目を選択します。

6. **MENU**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。

1	APRS AF DUAL
▶	OFF

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

1 APRS AF DUAL

AF DUAL中の音声切り替えの許可/禁止

設定項目: ON(禁止)/OFF(許可)

工場出荷時: OFF(許可)

解説:

[ON](禁止)を選択すると、AF DUALでラジオを受信中に、APRSもB/Vバンドで受信しているときは、APRSのビーコンやメッセージを着信してもラジオ受信を中断せずラジオの音声が続きます。[MENU]を押してAPRS画面にすると着信したビーコン情報やAPRSメッセージなどを見ることが出来ます。

APRS/GPSセットモード『8 APRS RINGER MSG』や『9 APRS RINGER BCON』を“ON”に設定してあると、ラジオを聴きながらビーコンやメッセージを着信するとベル音で知らせてくれます。

[OFF](許可)を選択すると、APRSのビーコンやメッセージを着信したときはラジオ受信を中断します。APRSのビーコンやメッセージを受け取った後は再びラジオ受信に復帰します。

2 APRS DESTINATION

モデルコードの表示

設定項目: [APY008]

工場出荷時: [APY008]

解説:

モデルコードを表示します。表示のみで設定変更することはできません。

3 APRS FILTER

フィルター機能の選択

設定項目: Mic-E / POSITION / WEATHER /
OBJECT / ITEM / STATUS / OTHER

工場出荷時: Mic-E: ON / POSITION: ON /
WEATHER: ON / OBJECT: ON /
ITEM: ON / STATUS: ON /
OTHER: OFF

解説:

各種ビーコンを取り込むためのON/OFF設定をします。ONのときはビーコンを取り込み、OFFときはビーコンを取り込みません。

Mic-E: マイクエンコーダービーコンを取り込み表示します。

POSITION: ポジションビーコンを取り込み表示します。

WEATHER: 気象ビーコンを取り込み表示します。

OBJECT: オブジェクトビーコンを取り込み表示します。

ITEM: アイテムビーコンを取り込み表示します。

STATUS: ステータスビーコンを取り込み表示します。

OTHER: 解析できなかったAPRS以外のパケットを取り込み表示します。

4 APRS MODEM

APRSボーレートの選択

設定項目: OFF / 1200bps / 9600bps

工場出荷時: OFF

解説:

OFF: APRS機能を「OFF」にします。

1200bps: AFSK 1200bps / パケットによるAPRS運用を設定します。

9600bps: GMSK 9600bps / パケットによるAPRS運用を設定します。

5 APRS MSG FLASH

メッセージ着信時のストロボ点滅設定

設定項目:

MSG: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) /
20sec / 30sec / 60sec / CONTINUOUS /
EVERY 2s - 10s (1sec間隔) /
EVERY 10s - EVERY 50s (10sec間隔) /
EVERY 1m - EVERY 10m (1min間隔)

GRP: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) / 20sec /
30sec / 60sec / CONTINUOUS

BLN: OFF / 2 - 4 - 10 (2sec間隔) / 20sec /
30sec / 60sec / CONTINUOUS

工場出荷時:

MSG: 4sec / GRP: 4sec / BLN: 4sec

解説:

[MSG]を選択すると、メッセージが着信したとき、[GRP]を選択すると、グループメッセージが着信したとき、[BLN]を選択すると、ブレンメッセージが着信したときにストロボ(白色LED)を設定した時間間隔で点滅します。また、CONTINUOUSは連続で点滅します。

[MSG]においてEVERYは下表のように点滅します。

2sec - 5sec	指定した時間間隔で1回フラッシュ
6sec - 9sec	指定した時間間隔で2回フラッシュ
10sec - 50sec	指定した時間間隔で3回フラッシュ
1min - 5min	指定した時間間隔で4回フラッシュ
6min - 10min	指定した時間間隔で5回フラッシュ

[OFF]を選択すると、着信してもストロボは点滅しません。

[MSG]において、EVERYを選択し、メッセージを受信してストロボが点滅中に(GRP:グループ)または(BLN:ブレン)メッセージを受信すると、一時的にグループまたはブレンのストロボ点滅動作を行い、終了後、メッセージのストロボ動作に戻ります。

6 APRS MSG TXT

定型メッセージのテキスト入力

解説:

最大16字までの定型メッセージを作成して7種類登録することができ、メッセージ編集画面から定型メッセージを貼り付けて送出することができます。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

7 APRS MUTE

APRS設定時BバンドAF MUTEのON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説:

APRSセットモード「[4 APRS MODEM]」を1200bpsまたは9600bpsに設定したときに「ON」を選択すると、[B]バンドの受信音量(ビーコンや音声など)をミュートします。また、ディスプレイに表示されている“A12”または“A96”が点滅します。

「OFF」を選択すると、Bバンドの音量ボリュームの設定に合わせて受信音が聞こえるようになります。

8 APRS RINGER MSG

メッセージ着信時に鳴るベル音のON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: ON

解説:

「ON」を選択すると、APRSの自局あてメッセージやグループ/プレテンメッセージを着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。

「OFF」を選択すると、ベル音を鳴らさず、ディスプレイに表示のみ行います。

9 APRS RINGER BCON

ビーコン着信時に鳴るベル音のON/OFF

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: ON

解説:

「ON」を選択すると、APRSのビーコンを着信したとき、ベルを鳴らして知らせます。

「OFF」を選択すると、着信時のベル音は鳴りません。

10 APRS UNIT

APRS表示の単位設定

設定項目:

Position: MM.MM / MM.SS"

Distance: km / mile

Speed: km/h / knot / mph

Altitude: m / ft

Temp: °C / °F

Rain: mm / inch

Wind: m/s / mph

工場出荷時:

Position: MM.MM

Distance: km

Speed: km/h

Altitude: m

Temp: °C

Rain: mm

Wind: m/s

解説:

緯度/経度(Position)、距離(Distance)、速度(Speed)、高度(Altitude)、温度(Temp)、雨量(Rain)、風速(Wind)の単位を設定します。

Position: 緯度/経度(DD°MM.MM)の分以下の表示単位を変更することができます。

MM.MM は1/100分型式でMM.SS"は分秒型式で表示されます。

Distance: 「km」または「mile」から単位を選択することができます。

Speed: 「km/h」、「knot」、「mph」から単位を選択することができます。

Altitude: 「m」または「ft」から単位を選択することができます。

Temp: 「°C」または「°F」から単位を選択することができます。

Rain: 「mm」または「inch」から単位を選択することができます。

Wind: 「m/s」または「mph」から単位を選択することができます。

11 APRS TX DELAY

データ送出ディレイタイムの設定

設定項目: 100ms / 150ms / 200ms / 250ms /

300ms / 400ms / 500ms /

750ms / 1000ms

工場出荷時: 300ms

解説:

APRSデーターの送信時の下記プリアンブル(データー送出ディレイタイム)を設定することができます。



APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

12 BEACON INTERVAL

ビーコンの自動送信間隔設定

設定項目: 30sec / 1min / 2min / 3min /
5min / 10min / 15min / 20min /
30min / 60min

工場出荷時: 5min

解説:

APRSビーコンを自動的に送出する時間間隔を設定します。

- APRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』を“**AUTO**”に設定してAPRSビーコンを自動送信に切り替えておき、ビーコンの自動送信間隔設定をした時点でタイマーがリセットされ、この時点からビーコンの自動送信間隔時間のカウントが始まり、設定した時間が経つと初回のビーコンが送出されます。
- 指定された時間が経過し、自動的にビーコンを送出しようとしたときにスケルチが開いているときは、送出動作を保留します。スケルチが閉じるとビーコンを送出します。
- APRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』でSMARTを選んだ場合、BEACON INTERVALの設定は無視されます。

13 BEACON STATS TXT

ステータステキストの入力

解説:

APRSビーコンを送出時に送るステータステキストを最大60文字5種類まで入力することができます。

14 BEACON TX

ビーコンの自動送信/手動送信の切り替え

設定項目: MANUAL / ●AUTO / ○SMART

工場出荷時: MANUAL

解説:

BEACONの自動送信の方式を選択します。

GPS SATITE
MODEでも状態を変更する事が出来ます。

- 「MANUAL」…手動で TX PO を押したときのみ APRS BEACONを送信します。
- 「●AUTO」… 自局のAPRS BEACONを自動的に送信します。本体左上に●が点灯します。送信間隔はBEACON INTERVAL設定に従います。
- 「○SMART」… SmartBeaconing™ 機能による自動送信を行います。本体左上に○が点灯します。APRS/GPSセットモード『25 SmartBeaconing』のSTATUS設定がTYPE1～TYPE3で、さらにAPRS/GPSセットモード『21 MY POSITION SET』がGPSの場合にのみ、この設定が選べます。

15 DIGI PATH

デジピータールートの設定

設定項目: P1: OFF / P2: WIDE1-1(固定値) /
P3: WIDE1-1,WIDE2-1(固定値) /
P4～P7:最大2アドレスまで任意に入力可能
P8:最大8アドレスまで任意に入力可能

工場出荷時:

P3: WIDE1-1,WIDE2-1(固定値)

解説:

デジピーターとは、ビーコンなどのパケットを中継する局を言います。利用するデジピーターのコールサインやエイリアス(ALIAS)を選択します。VX-8Dでは、あらかじめ「WIDE1-1」、「WIDE1-1,WIDE2-1」がプリセットされています。「WIDE1-1,WIDE2-1」の場合、最初にWIDE1-1指定により1ヶ所目のデジピーター局が中継行い、次のWIDE2-1指定により2ヶ所目のデジピーター局が中継を行います。この設定では、2ヶ所のデジピーター局により中継が行われます。

2009年現在では、APRSで使われているデジピーター局は、New-N Paradigm方式による運用が推奨されており、また対応デジピーター局も最も多いことからVX-8DではNew-N Paradigm方式のデジピーター局を想定した初期値を設定してあります。

他の中継方式等を利用する場合は、P4～P8のどれかを選び、デジピーターのCALLSIGNやエイリアス(ALIAS)を入力することができます。入力方法は101ページを参照してください。

※ New-N Paradigm方式に関しては、下記サイトに記載があります。

<http://aprs.org/fix14439.html>

(2009年12月現在)

16 GPS DATUM

測地系の選択

設定項目: WGS-84/ Tokyo Mean / Tokyo Japan /
Tokyo Korea / Tokyo Okinawa

工場出荷時: WGS-84

解説:

APRSではWGS-84の測地系を使用しますので通常は変更する必要ありません。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

17 GPS TIME SET

GPS時刻データ自動修正のON/OFF

設定項目: AUTO / MANUAL

工場出荷時: AUTO

解説:

AUTO: オプションのGPSアンテナユニット“F-GPS-2”を接続するとGPSの時刻データをVX-8Dの内部時計へ自動的に取り込みます。

MANUAL: VX-8Dの内部時計を設定した時刻が優先されます(内部時計の設定方法は17ページの「時計をセットしよう」を参考にしてください。

18 GPS UNIT

GPS表示の単位設定

設定項目:

Position: .MMM / 'SS"

Speed: km/h / mph / knot

Altitude: m / ft

工場出荷時:

Position: .MMM

Speed: km/h

Altitude: m

解説:

高度(Altitude), 速度(Speed), 緯度経度(Position)の単位を設定します。

Position: 緯度/経度 (DDD° MM MMM) の表示の単位を変更することができます。

MMMは1/1000分型式

MMMの部分かSSの場合は分秒型式で表示されます。

Speed: 「km/h」, 「mph」, 「knot」から単位を選択することができます。

Altitude: 「m」または「ft」の単位を選択することができます。

19 MSG GROUP

受信メッセージのグループフィルター設定

設定項目:

特定のグループコード(ALL や CQ)をもつメッセージを受信するためのフィルターを設定します。

G1: ALL*:*:*:*

G2: CQ*:*:*:*

G3: QST*:*:*:*

G4: YAESU*:*:*

G5:

B1: BLN?*:*:*

B2: BLN?

B3: BLN?

工場出荷時:

G1: ALL*:*:*:*

G2: CQ*:*:*:*

G3: QST*:*:*:*

G4: YAESU*:*:*

G5:

B1: BLN?*:*:*

B2: BLN?

B3: BLN?

解説:

特定のグループコードをもつメッセージを受信するためのフィルターを設定します(初期値でALL, CQ, QST, YAESUが指定されています)。

“*”: どの文字がきても一致判定をするワイルドカードです。

20 MY CALLSIGN

自局のコールサイン設定

解説:

APRS通信に必要な自局のコールサインを登録します。自局コールサインを登録しないとAPRSデータの送信はできませんので必ず登録してください。

コールサインは下記の条件で登録してください

*****-NN

*: コールサイン(最大6文字)

NN: 数字(1~15の数字もしくはSSID無し)

一般的にハンディで使用する場合は、コールサインの次に“-A”を入力することを推奨します。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

21 MY POSITION

自局位置の設定

設定項目:GPS / Lat / Lon / P 1~P10

工場出荷時:GPS

解説:

自局の位置情報をGPSから取得するか、マニュアルで位置情報を入力するかを設定します

GPS: 自局位置をGPSから自動的に取得します。

Lat / Lon: 自局位置をマニュアルで設定します。

P 1~P10: GPSから得られる位置情報を10個あるメモリー(P1~P10)のいずれかに登録することができます。また、登録した位置情報をAPRSビーコンの自局位置情報として送信することもできます。

メモリー方法は下記のように行います。

1. GPSアンテナユニットFGPS-2を接続した状態で自局の位置を捕捉します。
2. **(MENU)**を短く押してディスプレイの表示をGPS画面、STATION LIST画面またはAPRS MESSAGE画面にします。
3. **(MENU)**を1秒以上押します
4. DIALツマミをまわしてAPRS/GPS セットモードの『21 MY POSITION』を選択します。
5. **(MENU)**を短く押します。
6. DIALツマミをまわしてP 1~P10のいずれかを選択します。
7. **(EMRG/RTN)**を1秒以上押してメモリーします。
8. メモリーした位置情報をAPRSの自局位置情報として送信する場合には**(MENU)**を1秒以上押します。または、自局位置をGPSから自動的に取得する場合には、DIALツマミをまわして“GPS”に選択してから**(MENU)**を1秒以上押してAPRS/GPSセットモードを終了します。



通常のAPRS運用では、自局位置をGPSから自動的に取得します。P1~P10へ位置をメモリーしたら、メモリーした位置情報を送信したい場合を除き、必ず“GPS”の設定に戻してください。戻し忘れると意図しない位置情報を送信してしまうことになる場合があります。

22 MY SYMBOL

自局のシンボル設定

設定項目:シンボル

工場出荷時:

MY SYMBOL 1: Human/Person (人)

MY SYMBOL 2: Bicycle (自転車)

MY SYMBOL 3: Car (車)

MY SYMBOL 4: User (YY)

解説:

送信する自局のシンボルを設定します。

46種類のシンボルから選ぶことができます。

工場出荷時はMY SYMBOL 1 “人 (Human/Person)” が設定されています (p. 79)。

23 POSITION COMMENT

ポジションコメントの選択

設定項目: Off Duty / En Route / In Service / Returning / Committed / Special / Priority / Custom 0 ~ Custom 6 / EMERGENCY!

工場出荷時:Off Duty

解説:

自局ビーコン中に盛り込むポジションコメント (定型メッセージ) を選択します。

「Off Duty」、「En Route」、「In Service」、「Returning」、

「Committed」、「Special」、「Priority」、「Custom 0 ~

Custom 6」、「EMERGENCY!」のいずれかを選択します。



事故や災害など本当に緊急の救助が必要な場合以外は絶対に「EMERGENCY!」を選択しないでください。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

24 SmartBeaconing

スマートビーコニングの設定

設定項目:

STATUS: OFF / TYPE1 / TYPE2 / TYPE3

LOW SPD: 2 ~ 30

HIGH SPD: 3 ~ 70

SLOW RATE: 1 min ~ 100 min

FAST RATE: 10 sec ~ 180 sec

TURN ANGL: 5° ~ 90°

TURN SLOP: 1 ~ 255

TURN TIME: 5sec ~ 180sec

工場出荷時:

STATUS: OFF

STATUS	TYPE1	TYPE2	TYPE3
LOW SPD	5km/h	3km/h	2km/h
HIGH SPD	70km/h	30km/h	12km/h
SLOW RATE	30 min	30 min	30 min
FAST RATE	120 sec	120 sec	120 sec
TURN ANGL	28°	28°	28°
TURN SLOP	26	11	7
TURN TIME	30sec	30sec	30sec

解説:

SmartBeaconing™とは、GPSアンテナユニットからのデータ(移動速度や進行方向など)にもとづき、効率的に自局位置情報のビーコンを送信する機能です。STATUS設定をTYPE1~TYPE3のいずれかに設定し、APRS/GPSセットモード『21 MY POSITION』を「GPS」に設定し、さらにAPRS/GPSセットモード『14 BEACON TX』を「SMART」に設定すると、SmartBeaconing™機能による運用状態となります(STATION LIST表示画面またはMESSAGE表示画面で^{999 999}MODEを押しても状態を変える事ができます。この場合、画面左上に O 表示が出ていれば、SmartBeaconing™の運用状態となります)。

各設定項目の詳細は下記ようになります。

STATUS: 「TYPE1 / TYPE2 / TYPE3」に設定したときのみ、SmartBeaconing™の動作を有効とします。使用しないときはOFFにします。

LOW SPD: 設定速度よりも下回った場合は、「SLOW RATE」で設定された時間間隔でビーコンを送信します。速度の単位は、APRS/GPSセットモード『10 APRS UNT』の設定値に従います。

HIGH SPD: 設定速度を超えた場合は、「FAST RATE」で設定された時間間隔でビーコンを送信します。速度の単位は、APRS/GPSセットモード『10 APRS UNT』の設定値に従います。

SLOW RATE: 「LOW SPD」で設定された速度を下回ったときの、ビーコン送信時間間隔を設定します。

FAST RATE: 「HIGH SPD」で設定された速度を超えたときの、ビーコン送信時間間隔を設定します。

TURN ANGL: 進行方向が変化したと判断する角度の最小値を設定します。

TURN SLOP: 移動速度に応じて、進行方向の変化を判定する角度を動的に可変させる為の係数を設定します。係数の値が大きくなると、低速時の半定角度が大きくなります。

1~255(X10°) /速度

(回転傾斜の設定単位が実数の10分の1になっているのは、HamHUD Nichetronix社のHamHUDシリーズの設定単位と同様です)。

TURN TIME: 時間(Variable Rate Beaconing)や進行方向の変化(Corner Pedding)検出によるBEACON送信後、次のBEACON送信が可能になるまでの制限時間を設定します。

VX-8DのSmartBeaconing™機能には、3種類(TYPE1~TYPE3)の異なる設定が用意されており、下記運用を想定した初期値があらかじめプリセットされています。

TYPE1: 自動車などの高速移動を想定

TYPE2: 自転車などの中低速移動を想定

TYPE3: 徒歩などの低速移動を想定

TYPE2とTYPE3の設定(特にTYPE3)では、比較的遅めの移動速度であっても短時間に多数のBEACONが送信されてしまう為、これらの設定のまま自動車等の高速移動中に運用すると、BEACONが多数送信され周波数混雑の要因となります。高速移動する可能性がある場合には、必ずTYPE1の設定に戻す様にしてください。

異なるタイミングでの運用を試したい場合、TYPE1~TYPE3の設定/パラメータ自体を変更することもできます。パラメータを変更する際も、適切にBEACONが送信される様に、SmartBeaconing™のパラメータやDIGI PATH設定などを調整し、周波数混雑を起こさないような運用を心がけましょう。

※ SmartBeaconing™は、HamHUD Nichetronix社から提供されています。

APRS®/GPS セットモードの動作一覧 (つづき)

25 TIME_ZONE

タイムゾーンの設定

設定項目: ±13.0 時間

工場出荷時: UTC+9 時間

解説:

タイムゾーンを30分単位で設定することができます。GPSからの時刻データは協定世界時(UTC)で送られてきます。日本の場合はUTCより9時間進んでおりますので+9時間に設定します(あらかじめ+9時間に設定してありますので、再度設定する必要はありません)。

旅行等で日本以外の国(地域)で使用する場合は、各国(地域)によってUTCとの差が違いますので設定してください。

APRS® ベル音リスト

APRS ベル音リスト

ビーコンを受信したとき (APRSフィルタ:ON)	メッセージを受信したとき
 (ピンポーン)	 (ピポピポーン)
ビーコンを受信したとき (APRSフィルタ:OFF)	グループ/ブレンメッセージを受信したとき
 (ピーツ)	 (ピポピポピポーン)
デジピーターに中継された自局ビーコンを受信したとき	メッセージACKを受信したとき
 (ピポポツ)	 (ピーツ)
“EMERGENCY!”を受信したとき	メッセージREJを受信したとき
 x 12回 (ブーツを12回)	 (ピーツ)
ポジションコメントの“EMERGENCY!”を設定しようとしたとき	
 x 3回 (ブーツブーツブーツ)	

ラジオ放送を聴きながら他の周波数を同時受信をする -AF-DUAL機能-

“AF-DUAL受信機能”はラジオ放送を受信中、同時にAバンドとBバンドの周波数(またはメモリーチャンネル)を待ち受け受信を行うことができます。待ち受け受信中音声は聴こえませんが、信号を受信したときだけラジオ受信を中断して音声は聴こえます。なお、従来の機能でデュアルレシーブ(※p.140)機能がありますが、ラジオを受信中、約5秒間に一度指定したメモリーチャンネルに信号があるかを確認するため聴きづらく不便ですが、AF-DUAL受信機能は相手から呼ばれたときだけラジオ受信を中断しますので煩わしくなく受信できますので大変便利な機能です。

AF-DUAL 受信機能でラジオを聴く

1. あらかじめラジオと待ち受け受信をしたいAバンドまたはBバンドの周波数(またはメモリーチャンネルやHOMEチャンネル)を設定しておきます。

- 待ち受け受信をしている周波数をスキャンしながらラジオを聴くことができます。
- 待ち受け受信をしている周波数をデュアルレシーブしながらラジオを聴くことができます。

2. を押して操作バンドをAバンドにします。
3. を短く押した後、を短く押すとAF-DUAL機能が動作します。

4. を短く押してAM放送、FM放送、TV放送(1CH~3CH)を選択します。

を押してから を押すと、反対方向に切り替わります。

AM放送(中波帯) [A] ⇄ FM放送 [F] ⇄ TV放送 [T] ⇄ (AM放送に戻る)

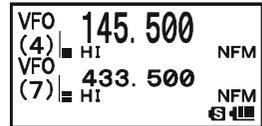
ディスプレイにAM放送は[A]、FM放送は[F]、TV放送は[T]を表示します。

5. DIALツマミをまわして放送局の周波数にあわせます。

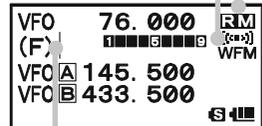
- TV放送はチャンネル表示ではなく、周波数を表示します。音声周波数は下記を参照してください。
1チャンネル:95.75MHz、2チャンネル:101.75MHz、3チャンネル:107.75MHz
- 放送局の周波数は“プリセットされている放送局周波数一覧表(※p.198)”または市販の周波数帳を参照してください。
- ラジオの周波数をメモリーすることができます(※p.39)。
- AM/FM放送のスケルチ感度を調整することができます(※p.28)。
- ラジオを受信中に を押すと待ち受け受信側の周波数を受信します。
- AF-DUAL機能は、ラジオを聴きながら同時にAバンドまたはBバンドでAM放送(中波)、FM放送、TV放送(1チャンネル~3チャンネル)の周波数をメモリーして待ち受け受信をすることはできません。

AF-DUAL機能を終了するには、を短く押した後、を短く押します。

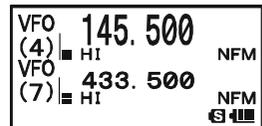
待ち受け受信していた周波数(メモリーチャンネル)が表示されます。



ラジオモードの時に点灯します
ステレオ放送の時に点灯します



AM放送(中波帯)は[A]を表示
FM放送は[F]を表示
TV放送は[T]を表示



本機で受信できるTV放送(音声)は、アナログテレビ放送の音声で、デジタル放送の音声を聴くことはできません。アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了しましたので、テレビ音声を聴くことはできません。

ラジオ放送を聴きながら他の周波数を同時受信をする -AF-DUAL機能- (つづき)

ラジオ受信の再開時間の設定

ラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い、“受信信号が無くなった後”あるいは“送信を終了後”にラジオ受信を再開する時間を設定することができます。

1. **MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『77 RX AF DUAL』を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. DIALツマミをまわしてラジオ受信の再開時間を設定します(工場出荷時:送受信2秒)。
5. **MENU** を1秒以上押します。

77 RX AF DUAL
78 RX MODE
79 SAVE RX
80 SAVE TX

77 RX AF DUAL
▶ 送受信 2秒

表示	動作
送受信 1秒～10秒	“AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い、“受信信号が無くなった後”あるいは“送信を終了後”にラジオ受信を再開する時間を設定します。例えば5秒に設定すると、受信(または送信)が終了してから5秒後にラジオ受信を再開します。
固定	“AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い、信号を受信するとその周波数を受信し続けます。
送信 1秒～10秒	“AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い相手と交信して、送信が終了後相手局がない場合、先に送信すると設定した時間でラジオ受信に戻ります。先に信号を受信したときは、“AF-DUAL 受信機能”を解除してその周波数を受信し続けます。

ラジオ放送を聴きながら他の周波数を同時受信する -AF-DUAL機能- (つづき)

ラジオアンテナの切り替え

ラジオを聴きながらアンテナの切り替えを行うことができます。

使用条件によってアンテナを切り替えてください。

通常使用する場合はとくに設定する必要ありません。

AMアンテナの切り替え

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『1 ANTENNA AM』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALツマミをまわしてアンテナの条件を切り替えます
(工場出荷時:パ- & 外部アンテナ)。
パ- & 外部アンテナ:ホイップアンテナと内蔵パ-アンテナ
パ-アンテナ:内蔵パ-アンテナのみ
5. **MENU**を1秒以上押します。

1	ANTENNA AM
2	ANTENNA FM
3	ANTENNA ATT
4	APO

1	ANTENNA AM
▶	パ- & 外部 アンテナ

FMアンテナの切り替え

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『2 ANTENNA FM』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALツマミをまわしてアンテナの条件を切り替えます
(工場出荷時:外部アンテナ)。
外部アンテナ:ホイップアンテナ
イヤホンアンテナ:イヤホンアンテナ(EAR端子にステレオイヤホン
を接続)
5. **MENU**を1秒以上押します。

2	ANTENNA FM
3	ANTENNA ATT
4	APO
5	ARTS BEEP

2	ANTENNA FM
▶	外部アンテナ

- セットモードの『90 SPEAKER OUT』により、イヤホンアンテナを使用時にステレオイヤホンから音を出さず
にスピーカから音声を出力することができます。
- セットモードの『97 STEREO』により、FMラジオをステレオまたはモノラル受信に切り替えることができ
ます。
- アンテナの設定をイヤホンアンテナにしてあるときは、イヤホンを取り付けていないときでも自動的にホイ
ップアンテナへ接続されます。

自分の行方を仲間に探索してもらう -EAI(エマージェンシーオートマチックID)機能-

仲間との登山やハイキングの時、不慮の事故で自分の意識が無くなったり、動けなくなった場合などに、自分の行方を仲間に探索してもらうための機能です。各自が、個別にコードを登録することをおすすめしますが、工場出荷時の状態のまま、簡単にEAI機能を使用することもできます。なお、EAI機能はAバンドのみで動作します。



Aさん

Bさん

Cさん

工場出荷時の状態のまま、簡単に運用する場合

基本的な運用方法

3人共、個別コードを設定する。

EAI機能をオンにします(セットモード『32 EAI』を「ON」にします)。その後は、EAI周波数(433.300MHz)以外の周波数で通常の交信を行う。



Bさんが事故!

AさんまたはCさんは、メモリーモードにして(DW/MT)押ししてからDIALツマミをまわす)EAIメモリーを呼び出し、5秒以上送信します。

※工場出荷時の状態は、全員が同じコードに設定されていますので、全員の無線機が反応してしまいます。送信する人以外は、EAI機能をOFFにしてください。

AさんまたはCさんは、メモリーモードにして(DW/MT)押ししてからDIALツマミをまわす)EAIメモリーを呼び出し、コードをBさんの個別コードにあわせて5秒以上送信します。

信号を受信すると自動的に“ピー”音を5分間(変更可能)間欠送信



自分の行方を仲間に探索してもらう -EAI機能- (つづき)

■ EAI 機能の設定の流れ

個別コードを設定する

EAI機能を動作させる

呼び出したい相手のEAIコードを設定する

■ 個別コードを設定する



この機能は、不慮の事故が発生した際に、捜索活動を補助するための機能です。

この機能を使用しても、必ずしも発見に至るとは限りません。また、相手が電波の届かない場所にいる場合、本機能は動作いたしません。なお、本機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

EAI 機能時に使用する“個別コード”を仲間同士で決めておき、各個人毎に設定します。
(例:Aさんは“05 02”, Bさんは“03 04”, Cさんは“05 06”など)

工場出荷時は、あらかじめ“05 47”が設定されていますので、簡単にEAI 機能を使用したい場合は、個別コードを設定する必要はありません。

1. **MENU**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『67 PAGER CODE-RX』を選択します。

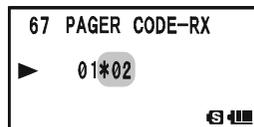
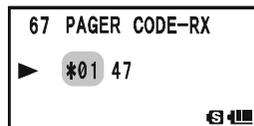
3. **MENU**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして1つ目のコード(Aさんの場合は“01”)にあわせませす。

5. **SPS 99 TYP MODE**を短く押した後(※が移動します), **DIAL**ツマミで2つ目のコード(Aさんの場合は“02”)にあわせませす。

6. **MENU**を1秒以上押して設定は終了です。

- “01 01”のように、同じコードを設定することはできません。
- “01 02”と“02 01”などの場合、順番が違っていても、同じコードとみなします。



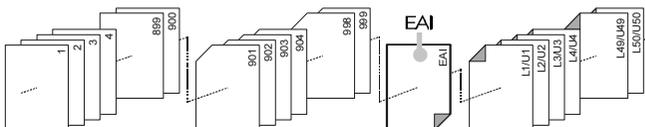
各種の便利な機能

■ EAI 用周波数を変更したい場合

EAI機能を動作させるためのメモリーチャンネル“EAI”には、あらかじめ433.300MHzがメモリーされていますが、この周波数を変更することができます。

1. 変更したい周波数にあわせませす。

2. **W**を1秒以上押して、**DIAL**ツマミをまわして“EAI”にあわせませす。



EAIメモリーはメモリーチャンネル999とL1の間にあります。

MENUを押すたびに100チャンネルステップで早送りすることができます。

3. **W**を短く押すと“上書きOK?”が表示されます。

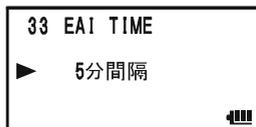
4. **W**を押すと周波数が変更されます(もとの周波数表示に戻ります)。

仲間全員が、メモリーチャンネル“EAI”を同じ周波数に設定しないと、EAI 機能は動作しません。

自分の行方を仲間に探索してもらう -EAI機能- (つづき)

■ EAI 機能を動作させる

1. **DW MT** (V/M) を短く押してメモリーモードにします。
2. DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル“EAI”を呼び出します。
3. **MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
4. DIALツマミをまわして『33 EAI TIME』を選択します。
5. **MENU** を短く押します。
6. DIALツマミをまわして“EAI機能動作時の間欠送信時間”をあわせませう。



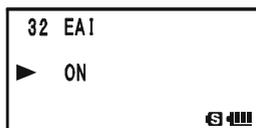
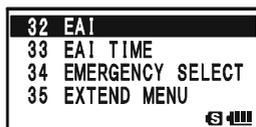
1～10分間隔(1分単位)/15/20/30/40/50分間隔から選択が可能です。

例：“10分”にあわせただけの場合、EAI 機能が動作すると「10分間」ビープ音を間欠的に送信し続けます。



…10分間繰り返す

7. **MENU** を短く押します。
8. DIALツマミをまわして『32 EAI』を選択します。
9. **MENU** を短く押して、DIALツマミをまわして「ON」に設定します。
10. **MENU** を1秒以上押して、セットモードを終了します。



以下の機能が動作しているときには、EAI機能は動作しません。EAI機能を動作させる場合は、これらの機能を“オフ”にしてください。

また、放送などの信号を受信している時はEAI機能は動作していません。

- ・スキャン関連
- ・スマートサーチ機能
- ・ARTS機能
- ・プライオリティ機能
- ・エマージェンシー機能
- ・セットモード
- ・ファンクションモード(**DW**押し)
- ・メモリー書き込みモード(**DW**1秒以上押し)
- ・AF-DUAL機能

- EAI 機能が動作中は、VX-8Dが自動的に“EAI 用周波数”を監視(受信)しますので、特別な操作などは必要ありません。EAI 機能が動作中も、“EAI 用周波数”以外の周波数で、通常と同じ交信を行うことができます。
- 1分経過毎に、CWでコールサインなどのD(CWID)を送出することができます(参p. 145)。

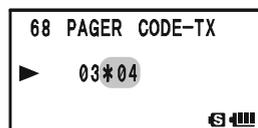
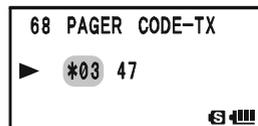
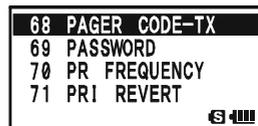
自分の行方を仲間に探索してもらう —EAI機能— (つづき)

■呼び出したい相手のEAIコードを設定する

工場出荷時の状態でEAI機能を動作させる場合は、手順3~手順8の操作は必要ありません。

例: 目的の相手のコードが“03 04”の場合

1. **[D/M]** を短く押してメモリーモードにします。
2. DIALツマミをまわしてメモリーチャンネル“EAI”を呼び出します。
3. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
4. DIALツマミをまわして『68 PAGER CODE-TX』を選択します。
5. **[MENU]** を短く押します。
6. 目的の相手局のコード“03 04”にあわせます。
DIALツマミをまわして1つ目のコード“03”にあわせませす。
7. **[BAND]** を短く押した後(※が移動します), DIALツマミで2つ目のコード“04”にあわせます。
8. **[MENU]** を1秒以上押して設定します。
9. PTTスイッチを押して5秒※以上送信状態にし、その後受信状態にします。
※ 相手がセーブ時間を長く設定している場合は、探索時に必要な送信時間が異なります。
10. 相手がこちらの信号を受信した場合、自動的に“LOW2”パワーで送信状態 (“ピー”音を間欠送信、マイク回路はオフになります) になりますので、その信号を手がかりに、探索 (信号が強くなる方向に向う) を行います。



[BAND] を押すたびに、下記のようにアッテネーター(受信感度を下げる回路)が動作しますので、相手との距離が近づいた時には、アッテネーターを動作させることにより、探索しやすくなる場合があります。

ATT 1 → ATT 2 → ATTOFF → (ATT 1 へ戻る)
(10dB) (50dB) (OFF) (10dB)

緊急を知らせる —エマージェンシー機能—

白色のストロボ発光とビーブ音で緊急を知らせることができます。



EMG R/H (HM/RV) を2秒以上押します(EMG)。

ディスプレイに“EMGNCY”が表示され、ストロボが白色にストロボ発光し、ビーブ音が鳴ります。

周波数は430MHz帯のホームチャンネルが自動的に選択されます。

このときにPTTスイッチを押すとエマージェンシー機能が一旦停止し、ホームチャンネルで送信することができます。送信が終了すると約5秒後に再びエマージェンシー機能が動作します。

エマージェンシー機能を解除するときは、もう一度EMG R/H (HM/RV) を2秒以上押します。

430MHz帯のホームチャンネルに戻ります。

エマージェンシーモードの設定

セットモードの『34 EMERGENCY SELECT』により、エマージェンシー機能動作時の、ストロボ発光とビーブ音の動作を変更することができます。ビーブを鳴らしながら、ストロボが白色にストロボ発光する以外に、下記の動作に変更することができます。

1. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『34 EMERGENCY SELECT』を選択します。

3. **MENU** を短く押します。

4. **DIAL** ツマミをまわしてエマージェンシー機能の設定をします。

工場出荷時:ビーブ&ストロボ

34 EMERGENCY SELECT
35 EXTEND MENU
36 FW KEY HOLD TIME
37 HALF DEVIATION

34 EMERGENCY SELECT
BEEP:STROBE

表示	動作
BEEP & STROBE	ビーブ音を鳴らしながらストロボが白色でストロボ発光します。
BEAM	ストロボが白色で点灯します。
BEEP & BEAM	ビーブ音を鳴らしながらストロボが白色で点灯します。
CW	ストロボがモールス符号で「SOS」と白色で点滅します。
BEEP & CW	ビーブ音がモールス符号で「SOS」と鳴り、さらに音に合わせてストロボが白色で点滅します。
CW-ID TX	1分毎にCWDを送信し、同時にストロボが白色で点滅します。 CWDの登録方法は137ページを参照してください。
BEEP	ビーブ音のみ鳴らします。
STROBE	ストロボが白色でストロボ発光します。

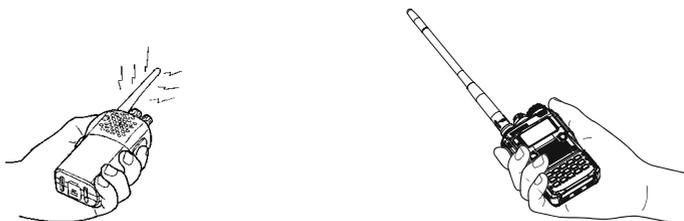
5. **MENU** を1秒以上押します。

周波数を調べる —チャンネルカウンター—

おおよその周波数しかわからないトランシーバー（たとえば特定小電力のようなチャンネル表示のトランシーバーなど）の周波数を知りたいときに、本機を送信しているトランシーバーに近づけて周波数を測定することができます。

設定した周波数から“±5MHz”の範囲内を高速でサーチし、最も強い信号を探し出して周波数を表示し、専用のチャンネルカウンターメモリへ書き込みます。

このチャンネルカウンターはあくまでも簡易的なものであり、測定した周波数は概略値です。



1. あらかじめ、**[A]** を押して操作バンドをAバンドにします。

2. おおよその周波数にあわせ、送信しているトランシーバーに本機を近づけます。

3. **[MODE]** を押したまま、DIAL ツマミをまわして『CHカウンター』を選択します。

スペシャルサーチモード (SPS) になり、チャンネルカウンター (CH COUNTER) を選択することができます。

4. **[MODE]** を離すとチャンネルカウンターが動作し、サーチを開始します。

サーチ中は“COUNT 3・COUNT2・COUNT1”とカウントします。

約50dBのアッテネーターが自動的に入り、至近距離で発射している電波のみ受信します。

サーチ終了後、周波数を表示します。

信号を探し出せなかったときは、“--- NO ---”が表示されVFOモードに戻ります。

5. チャンネルカウンターを中止するときは、**[MODE]** を短く押します。

チャンネルカウンターメモリに書き込まれた周波数は消去されます。



○ チャンネルカウンターメモリに書き込まれた周波数は、通常のメモリチャンネルに書き込むことができます。

● トランシーバーの送信出力が大きい場合は、VX-8Dが不要な電波で誤動作しないようトランシーバーとの距離を調節してください。

サーチ幅を変更する

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

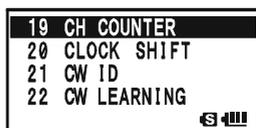
2. DIAL ツマミをまわして『19 CH COUNTER』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

4. DIAL ツマミをまわして希望のサーチ幅を選択します。
±5MHz/±10MHz/±50MHz/±100MHzから選択することができます。
(工場出荷時: ±5MHz)

サーチ幅を狭くするほど、探し出す時間は短くなります。

5. **[MENU]** を1秒以上押します。



受信信号の周波数を一時的に記憶する —スマートサーチ—

選択したバンド内をサーチし、信号を受信した周波数を一時的なメモリー（スマートメモリー）に書き込みます。スマートメモリーは、DIALツマミをまわすと選択できます。

1. あらかじめ、を押して操作バンドをAバンドにします。

2. スマートサーチを開始する周波数を選択します。

3. を押したまま、DIALツマミをまわして『スマートサーチ』を選択します。

スペシャルサーチモード（SPS）になり、スマートサーチを選択することができます。

4. を離すとスマートサーチのモードになります。

5. を1秒以上押して離すと、サーチを開始します。

バンド内を1回サーチするとスマートサーチは終了します。

ただし、バンド内を1回サーチする前にスマートメモリーが一杯になると、スマートサーチは終了します。

6. DIALツマミをまわして、スマートメモリーを呼び出します。

スマートサーチを開始した周波数に“CNT”、開始した周波数より高い周波数には“1～15”、開始した周波数より低い周波数には“-1～-15”がディスプレイに表示されます。

7. スマートサーチを終了するときは、を押します。

スマートサーチを開始する直前の状態に戻ります。

VFO (7)	■ HI	スマートサーチ	NFM
VFO (7)	■ HI	433. 000	NFM
			

SMS CNT	■	433. 100	NFM
VFO (7)	■ HI	433. 000	NFM
			

- スマートメモリーはメモリーチャンネルとは別に31個あり、スマートサーチを開始した周波数よりも高い側/低い側用に各15個ずつ使用されます（1個はスマートサーチを開始した周波数）。
- セットモード『88 SMART SEARCH』の設定により、スマートメモリーがいっぱいになるまで、繰り返してサーチするように変更できます。
- スマートメモリーに書き込まれた周波数は次の時点で消去されます。
 - ・再度スマートサーチを開始したとき
 - ・電源をオフにしたとき
 - ・電池パックを取り外したとき
 - ・電池パックが取り付けられていないときに外部電源を取り外したとき
- スマートメモリーの周波数は、「メモリーに書き込む(39ページ)」を行うとメモリーチャンネルにメモリーできます。
- 再びスマートサーチを開始するときは、いったんVFOモードまたはメモリーモードに戻ってから行ってください。

受信信号の周波数を一時的に記憶する —スマートサーチ— (つづき)

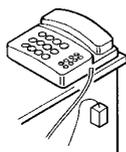
■指定した周波数の範囲をスマートサーチする

あらかじめプログラブルメモリスキャン(PMS)により、下限周波数と上限周波数を登録しておきます (64ページ参照)。

1. メモリーモードにし、下限周波数または上限周波数のプログラブルメモリーを呼び出します。
2. **[W]**を押した後^{DW, MT}**[V/M]**を押します。
DIALツマミをまわして、スマートサーチを開始する周波数に選択します。
3. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押したまま、DIALツマミをまわして『スマートサーチ』を選択します。
4. ^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を離すとスマートサーチのモードになります。
5. ^{SC-MEND DA}**[BAND]**を1秒以上押して離すと、サーチを開始します。
指定した周波数内を1回サーチするとスマートサーチは終了します。
ただし、指定した周波数内を1回サーチする前にスマートメモリーが一杯になると、スマートサーチは終了します。
6. DIALツマミをまわして、スマートメモリーを呼び出します。
7. スマートサーチを終了するときは、^{SPS SQ TYP}**[MODE]**を押します。
スマートサーチを開始する直前の状態に戻ります。

盗聴器を探し出す — 盗聴器発見機能サーチ —

「盗聴器が仕掛けられているかも知れない」と困っている人がいるような場合、手助けをする機能です。盗聴で使用されていると思われる電波を自動的に探し出し、ビープ音の変化（4段階）でおおよその設置場所を発見することができます。



1. あらかじめ、 を押して操作バンドをAバンドにします。
2. を押したまま、DIALツマミをまわして「盗聴波サーチ」を選択します。

スペシャルサーチモード（SPS）になり、盗聴器発見機能サーチ（TAP）を選択することができます。

3. を離すと盗聴器発見機能サーチのモードになり、盗聴周波数を表示しながらサーチします。

◎盗聴波と思われる電波を発見したとき

最大20チャンネルある盗聴器発見機能サーチメモリーに、一番強い信号から順番に周波数を書き込み、一番強い信号の周波数を表示してサーチが止まります。サーチが終了後、DIALツマミを右にまわすと盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれている周波数を、信号の強かった順で呼び出すことができます。

◎盗聴波と思われる電波がなかったとき

ディスプレイに“--- NO ---”が表示されVFOモードに戻ります。プライバシーを侵害する盗聴器は無いと思われます。

- ◎ 盗聴波と思われる電波を探し出すことができたなら、次は盗聴器が設置されている場所を探し出します。

4. を押します。

アッテネーター（ATT1:約10dB）とビープ機能が自動的に“オン”になります。

を押すごとに ATT2→OFF→ATT1へ戻ると切り替わります。

5. ビープ音が「ピー、ピー、ピー…」と高い音で鳴る場所を探し出します。

「ブツ、ブツ、ブツ…」と低い音で鳴る場合は、盗聴器が設置されている場所から離れていることを示し、さらに離れると、「ブツ、ブツ、ブツ…」と短い音に変わります。

6. 盗聴器に近づくと、ビープのピー音が長く鳴りますので、 を押してアッテネーター（ATT2:約50dB）を動作させて受信感度を下げます。

さらにVX-8Dが盗聴器に近づくと、VX-8Dのスピーカーがハウリングをおこし、盗聴器が設置されている場所を発見することができます。

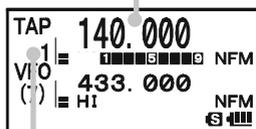
7. を押すと盗聴器発見機能は解除され、盗聴器発見機能サーチを終了します。

アッテネーターはオフになり通常の感度に戻ります。

盗聴器発見機能サーチメモリーに書き込まれた周波数は消去され、盗聴器発見機能サーチを開始する直前の状態に戻ります。

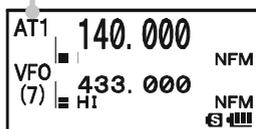


サーチした周波数を表示



盗聴器発見機能サーチのメモリー番号

ATT1はATT1を表します



この機能は、盗聴器の発見を補助するための機能で、全ての盗聴器を探し出せるわけではありません。また本機能を使用して生じたトラブルについては、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

信号強度のグラフで信号を探す —スペクトラムスコープ機能—

モノバンド受信で、VFOモードまたはメモリーチューン時に、現在の周波数を中心「▼」に設定したチャンネルの使用状態(信号の強弱)をグラフで表示します。

1. **[QW]**を短く押した後に^{SP-ANA}**[8TUV]**を押します。

現在の周波数を中心に、上下各16チャンネルの使用状態を調べ、信号強度がグラフで表示されます。



2. DIALツマミをまわして信号のある位置に▼をあわせませす。

3. ^{DW-MT}**[V/M]**を押します。

中心周波数の信号を受信することができます。再び^{DW-MT}**[V/M]**を押すとスキャンがスタートします。

4. **[QW]**を短く押した後に^{SP-ANA}**[8TUV]**を押します。

スペクトラムスコープ機能が終了します。

- **[▲]**または**[▼]**を押すと±16チャンネル以外に、スペクトラムスコープチャンネルの設定を±5, ±9, ±16, ±24, ±50のチャンネルに替えることができます。
- スペクトラムスコープチャンネルが±5チャンネルの時は、信号強度をグラフの中に数字で表示します。
- スペクトラムスコープチャンネルの間隔は、VFOの周波数ステップと同じ間隔です。
- スペクトラムスコープがスキャン中にテンキー、^{SC-MBND}**[BAND]**、^{EMG R/H}**[HM/RV]**を押しても動作しません。
- 工場出荷時の設定は、一度スキャンを行なった後に、チャンネルの使用状況をグラフで表し、中心周波数に信号があった場合は、その音声を出します。DIALツマミをまわすと再度スキャンを開始します。
- セットモードの『91 SPEC-ANALYZER』により“連続”を選択すると、繰り返しスキャンをして、最新の使用状態を表示するように変更できます。なお、繰り返しスキャンを行っているときに、^{DW-MT}**[V/M]**を押すとスキャンを停止することができます。スキャンが停止しているときに**[QW]**を押しながら^{SP-ANA}**[8TUV]**を押すとスペアナを解除することができます。
- セットモードの『91 SPEC-ANALYZER』により“フルタイム”を選択すると、スペクトラムスコープを動作させながら同時に音声を出力することができます。

ただし、下記の周波数帯では音声を出力することはできません(11, 58ページ参照)。

- ・ [A] AMラジオ帯 ・ [I] 短波帯 ・ [F] FMラジオ放送帯 ・ [T] TV-VHF放送帯(1)
- ・ [8] TV-UHF放送帯(580MHz~770MHz) ・ [9] 情報無線帯(2)

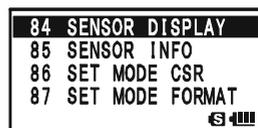
VX-8Dの電源電圧を表示する —電源電圧表示機能—

モノバンド受信時に、VX-8Dの電源電圧を表示させることができます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『84 SENSOR DISPLAY』を選択します。



3. **[MENU]**を短く押します。

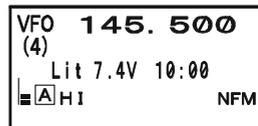
4. DIALツマミをまわして「電圧」を選択します。



5. **[MENU]**を1秒以上押すと電圧表示が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに電源電圧が表示されます。

電源電圧表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4の項目で「OFF」を選択します。



電池/パックを使用しているときは“Lit”，乾電池ケースを使用しているときは“Dry”，外部電源アダプターを使用しているときは“Ext”が表示されます。

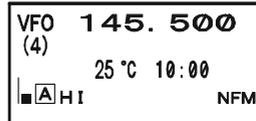
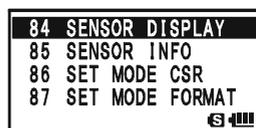
VX-8D内部の温度を表示する 一温度表示機能一

モノバンド受信時に、VX-8D内部の温度を表示させることができます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして「84 SENSOR DISPLAY」を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「温度」を選択します。
5. **[MENU]**を1秒以上押すと温度が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに温度が表示されます。

温度表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



- VX-8D内部の温度を把握する機能ですので、外気温より高く表示します。
- 温度上昇のない状況(待ち受け受信時など)では、外気温の目安とすることができます。
- セットモードの「104 UNIT SELECT」により、温度表示の単位(C: 摂氏, F: 華氏)を変更することができます。

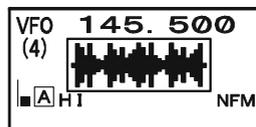
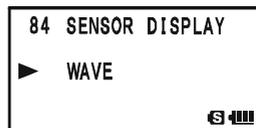
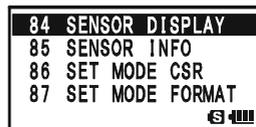
受信信号/変調信号の波形を表示する 一受信信号/変調信号の波形表示機能一

モノバンドで運用中に、受信信号の音声波形と、送信時の変調波形を表示することができます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして「84 SENSOR DISPLAY」を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「WAVE」を選択します。
5. **[MENU]**を1秒以上押すとWAVEが設定され、セットモードを終了します。

信号を受信しているときはその信号の波形が表示され、送信しているときは変調波形を表示します。

波形の表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



セットモードの「110 WAVE MONITOR」により、“受信信号の波形だけを表示する(受信信号)”か、“送信している変調信号の波形だけを表示する(送信変調)”さらに受信信号と送信変調信号の両方を表示する(ALL)を選択することができます。

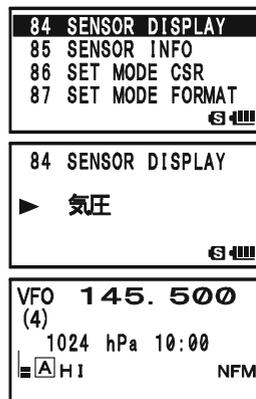
気圧を表示する ー気圧表示機能ー

モノバンド受信時に、現在の気圧を表示させることができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALつまみをまわして『84 SENSOR DISPLAY』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALつまみをまわして「気圧」を選択します。
5. **MENU**を1秒以上押すと気圧が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに気圧が表示されます。

気圧表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



- 正しい気圧が表示されるまで数秒間かかります。
- セットモードの『104 UNIT SELECT』により、気圧表示の単位を変更することができます。
- 周囲の温度により、実際の気圧と異なる場合があります。
- 表示された値が実際の気圧と違う場合は、セットモードの『103 UNIT OFFSET』で補正してください。

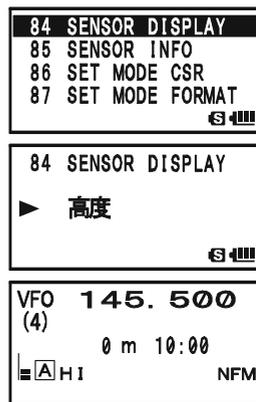
高度を表示する ー高度表示機能ー

モノバンド受信時に、現在の高度を表示させることができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALつまみをまわして『84 SENSOR DISPLAY』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALつまみをまわして「高度」を選択します。
5. **MENU**を1秒以上押すと高度が設定され、セットモードを終了します。

ディスプレイに高度が表示されます。

高度表示を消したいときは、上記の操作を繰り返し、手順4.の項目で「OFF」を選択します。



- 表示される高度は気圧が標準気圧(1013hPa)のときに高度が0mになるように表示されます。表示された値が実際の高度と違う場合は、セットモードの『103 UNIT OFFSET』で補正してください。
- 4000メートル位までの高度を測ることができます。
- GPS機能動作中の高度とは相関がありません。
- セットモードの『104 UNIT SELECT』により、高度表示の単位を変更することができます。

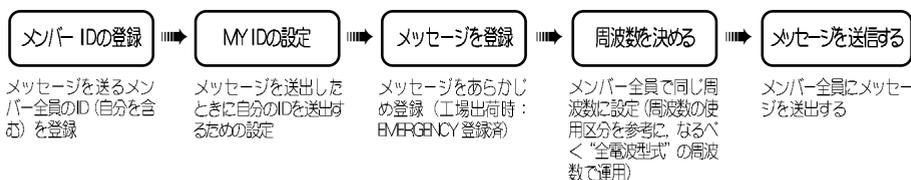
仲間にメッセージを送る —メッセージ機能—

メッセージ機能を使用する場合は、あらかじめ使用するメンバーと同じ周波数を決めておいてください。メッセージは最大16文字まで送ることができます。

メッセージは20種類まで登録することができ、その中から希望のメッセージを選択して送信することができます。メッセージを受信すると、送られてきたメッセージ内容と送信者(最大20人登録可)をディスプレイに表示します。

- メッセージ機能は当社のVX-8D以外に、VX-3、FTM-10/H/Sが動作します。対応機種については、カタログ等を参照してください。
まず始めに、あらかじめ決めておいたメンバーID、MY ID、周波数、メッセージ内容を設定し、同様にメンバー全員の無線機も同じ設定にしておきます。
- メッセージ機能を使用する場合は「周波数の使用区分」(p. 209)を参照し、なるべく「全電波型式」の周波数で運用してください。
- レピータを介してメッセージを送ることはできません。

■ メッセージ機能の設定の流れ



■ メンバーIDの登録

メッセージの送信者がわかるように、自分を含めて最大20人分のメンバーID(最大8文字)を登録することができます。メンバーIDは、あらかじめメンバー全員のIDを登録する必要があります。

なお、メンバーIDを登録しなくてもメッセージの送受信を行うことはできますが、この場合はメンバーIDではなく“MEMBER1”～“MEMBER20”の表示で送信者を知らせます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『57 MESSAGE LIST』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして登録したいメンバー番号を選択します。
5. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押します。
ディスプレイのカーソルが移動します。
6. **DIAL**ツマミをまわして1桁目に希望の文字(138ページ参照)を選択します。
テンキーでも入力が可能です。
7. **[SPS SQ TYP MODE]**を短く押して次の桁へカーソルを移動します。
[SC MEND ON BAND]を短く押すと前の桁に戻り、修正したい場合は**DIAL**ツマミをまわして文字を選択します。
メンバーIDを入力中に**[EMG R/H/RV]**を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。



仲間にメッセージを送る —メッセージ機能— (つづき)

8. 上記の手順5.~7.を繰り返し、希望の文字を設定(最大8文字)します。

9. **[MENU]**を1秒以上押すと設定されセットモードを終了します。

上記の手順1からの操作を繰り返して、メンバー全員のメンバーIDを登録します。



■ MY IDの設定

メッセージを送る際、相手局に自分のIDを表示させるための設定を行います。

メンバーIDの登録の際に設定した、自分のIDを選択してください。

MY IDを設定しないと、相手のディスプレイに、自分のIDを表示させることができません。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

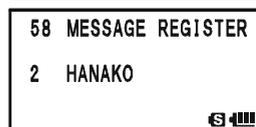
各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. DIALツマミをまわして『58 MESSAGE REGISTER』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. DIALツマミをまわして自分のIDが登録されたメンバー番号を選択します。

5. **[MENU]**を1秒以上押すとMY IDが設定され、セットモードを終了します。



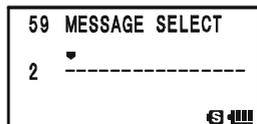
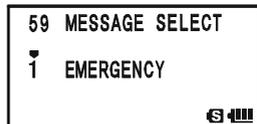
機種によっては表示できない文字があります。あらかじめメッセージを登録の際に機種を確認の上の文字入力をしてください。

仲間にメッセージを送る —メッセージ機能— (つづき)

■ メッセージ登録

アルファベット, 数字, 記号を使用して, 希望のメッセージ(最大16文字)を最大20種類登録することができます。

- 1. [MENU]を1秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- 2. DIALツマミをまわして「59 MESSAGE SELECT」を選択します。**
- 3. [MENU]を短く押します。**
- 4. DIALツマミをまわして登録したいメッセージ番号を選択します。**
メッセージ番号1には, “EMERGENCY”のメッセージがあらかじめ登録されています(変更することができます)
- 5. [MODE]を短く押します。**
ディスプレイのカーソルが移動します。
- 6. DIALツマミをまわして1桁目に希望の文字(下表参照)を選択します。**
テンキーでも入力が可能です。
- 7. [MODE]を短く押して次の桁へカーソルを移動します。**
[SC-BAND]を短く押すと前の桁に戻り, 修正したい場合はDIALツマミをまわして文字を選択します。
メッセージを入力中に[EMG RPT]を1秒以上押すと, カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- 8. 上記の手順6.~7.を繰り返し, 希望の文字を設定(最大16文字)します。**
- 9. [MENU]を1秒以上押すと設定されセットモードを終了します。**
続けて他のメッセージを登録したい場合は, 上記の操作を繰り返して, メッセージを登録します。



各種の便利な機能

文字一覧表																														
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U										
V	W	X	Y	Z	(スペース)	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u				
v	w	x	y	z	.	,	:	;	*	#	_	-	/	&	()	@	!	?	^		アイウエオカキク								
ケ	コ	サ	シ	ク	セ	リ	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ
リ	レ	ロ	ワ	ヲ	ン	”	°	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9													

仲間にメッセージを送る —メッセージ機能— (つづき)

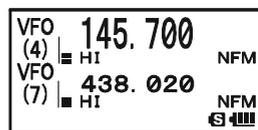
■ メッセージの送信

メンバーで決めた周波数を受信している他のメンバーに登録されたメッセージを送信することができます。

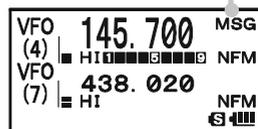
メッセージを送出する際は、自分のIDも同時に送付されますので、受信側は誰からのメッセージなのかを知ることができます。

自分のIDを相手に表示させるには、MY IDの設定が必要です (p. 136)。

1. メンバーと同じ周波数に設定します。
2. **[W]**を短く押した後に **[MODE]**を押します。
セットモード『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。セットモード『95 SQL TYPE』を呼び出して、メッセージ機能 (MESSAGE) を選択することもできます。
3. DIALツマミをまわして「MESSAGE」を選択します。
4. **[MODE]**を短く押して設定を終了します。
5. **[W]**を短く押した後に **[CODE]**を押します。
セットモード『59 MESSAGE SELECT』のショートカットキーです。セットモード『59 MESSAGE SELECT』を呼び出して、メッセージを選択することもできます。
6. DIALツマミをまわして送りたいメッセージを選択します。
7. PTTスイッチを押して設定を終了します。
ディスプレイの右上に“MSG”が表示されます。
8. PTTスイッチを押すとメッセージが送付されます。
約5秒間メッセージの送信を行い、メッセージの送信が終わると、メッセージを送る前の状態に戻ります。



MSGが表示される

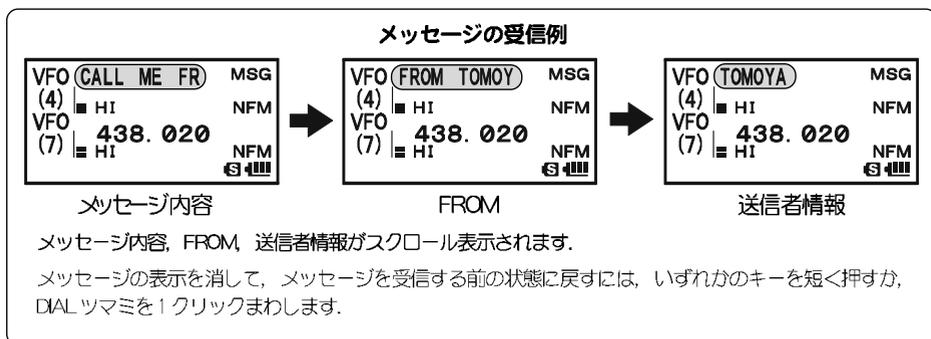


各種の便利な機能

■ メッセージの受信

メッセージを受信するためには、メンバーが受信している同じ周波数にあわせます。

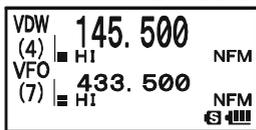
メッセージを受信するとストロボが白く点滅すると共に着信音が鳴り、ディスプレイに下記の例のような順番で繰り返し表示されます。



デュアルレシーブ (DW) 機能

デュアルレシーブ機能には、ダイヤルデュアルレシーブ、メモリーデュアルレシーブ、HOMEチャンネルデュアルレシーブの三種類があります。約5秒間に一度、指定したメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)に信号があるかを確認し、信号がある場合は、指定したメモリーチャンネルの信号を受信します。

例：“145.500MHz”を受信しながら、プライオリティメモリーチャンネル“90”を確認する場合



受信している周波数

5秒毎にプライオリティメモリーチャンネル“90”を監視します



プライオリティメモリーチャンネル“90”に信号があると



プライオリティメモリーチャンネル“90”を受信すると、デシマルポイントが点滅します。

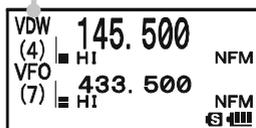
■ダイヤルデュアルレシーブ (VFOモード ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

1. メモリーモードにします。
2. **[DW]**を1秒以上押します。
書き込みモードになり、ディスプレイに“**[P]**”とチャンネル番号が点滅します。
3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)をDIALをまわして選択し、**[BAND]**を短く押します
ディスプレイに“P”が表示されます。
4. VFOモードで常時受信する周波数を選択します。
5. **[V/M]**を1秒以上押すとダイヤルデュアルレシーブが始まり、“VDW”が表示されます。
6. ダイヤルデュアルレシーブを終了するときは**[V/M]**を短く押します。

“P”が表示



“VDW”が表示



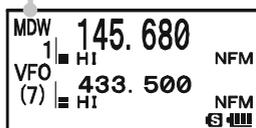
■メモリーデュアルレシーブ (メモリーチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

1. メモリーモードにします。
2. **[DW]**を1秒以上押します。
書き込みモードになり、ディスプレイに“**[P]**”とチャンネル番号が点滅します。
3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)をDIALをまわして選択し、**[BAND]**を短く押します
ディスプレイに“P”が表示されます。
4. 常時受信したいメモリーチャンネルにあわせます。
5. **[V/M]**を1秒以上押してメモリーデュアルレシーブが始まり、“MDW”が表示されます。
6. メモリーデュアルレシーブを終了するときは**[V/M]**を短く押します。

“P”が表示



“MDW”が表示



デュアルレシーブ(DW)機能(つづき)

■HOMEチャンネルデュアルレシーブ(HOMEチャンネル ⇄ プライオリティメモリーチャンネル)

1. メモリーモードにします。

2. **[MR]**を1秒以上押します。

書き込みモードになり、ディスプレイに“MR”とチャンネル番号が点滅します。

3. 優先的に受信したいメモリーチャンネル(プライオリティメモリーチャンネル)をDIALをまわして選択し、**[BAND]**を短く押します。

ディスプレイに“P”が表示されます。

4. **[EMG R/H]**を押してHOMEチャンネルを呼び出します。5. **[DW MT]**を1秒以上押すとHOMEチャンネルデュアルレシーブが始まり、“HDW”が表示されます。6. HOMEチャンネルデュアルレシーブを終了するときは**[DW MT]**を押します。

- 工場出荷時には、メモリーチャンネル1にプライオリティメモリーチャンネルが設定されています。
- セットモードの「72 PRI TIME」により、プライオリティチャンネルの監視間隔時間を変更することができます。
- 常時受信する周波数とプライオリティメモリーチャンネルの周波数の周波数帯やモードの組み合わせに制限はありません。
- プライオリティメモリーチャンネルで信号を受信すると、その周波数を2秒間受信して再びデュアルレシーブが始まります。プライオリティメモリーチャンネルを受信しているときに、PTTスイッチを押すとその周波数で送信することができデュアルレシーブ機能を終了します。
- デュアルレシーブの再開条件は、セットモードの「83 SCAN RESUME」で変更することができます。
- “P”のアイコンは移動することはできませんが、消去することはできません。

プライオリティリバート

プライオリティ受信時にPTTスイッチを押すと、プライオリティメモリーチャンネルで優先的に送信することができます。また、プライオリティメモリーチャンネルで信号を受信すると、その周波数を5秒間受信して再びデュアルレシーブが始まります。プライオリティメモリーチャンネルを受信しているときに、PTTスイッチを押すとその周波数で送信することができ交信が終了すると再びデュアルレシーブ機能が動作します。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

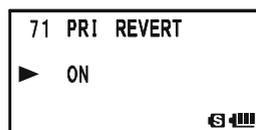
2. DIALツマミをまわして「71 PRI REVERT」を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. DIALツマミをまわして「ON」に選択します。

5. **[MENU]**を1秒以上押します。

プライオリティリバートが設定され、もとの表示に戻ります。



DTMF機能

DTMFとは“Dual Tone Multi Frequencies”の略語で、プッシュホーンの電話をかけたときに受話音から聞こえる音「ピッポッパツ」です。フォンパッチから公衆回線に接続するときに使う電話番号などを、最大16桁のDTMFコードで登録することができます(10チャンネル分)。

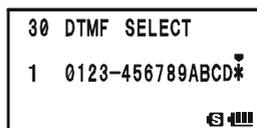
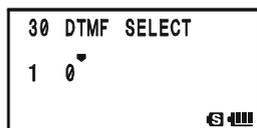
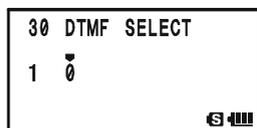
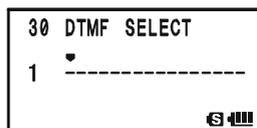
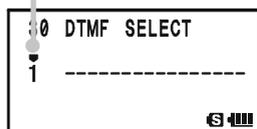
■DTMFコードを登録する

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『30 DTMF SELECT』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして登録したいチャンネルを選択します。
1ch~10chから選択することができます。
5. **SPS SQ TYP**
MODEを押します。
6. DIALツマミをまわしてDTMFコードを入力します。
テンキーでも入力が可能です。
7. **SPS SQ TYP**
MODEを押してカーソルを移動します。
8. 手順6, 7を繰り返しDTMFコードを入力します(最大16桁)。
9. 最後の桁のDTMFコードにカーソルをあわせ、**MENU**を1秒以上押します。

DTMFコードが設定され、もとの表示に戻ります。



チャンネル表示



- 手順6でDTMFコードを修正したいときは、**SPS SQ TYP**
MODE (左方向へ移動) または **SC-MENU ON**
BAND (右方向へ移動) を押して修正したい桁にあわせ、DIALツマミをまわして入力します。
- 手順6でDTMFコードを登録中に **EMG RI/H**
MM/RY を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

DTMF機能 (つづき)

入力したDTMFコードを音で確認する

1. **MENU** を1秒以上押してセットモードにします。
2. DIALツマミをまわして『30 DTMF SELECT』を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. DIALツマミをまわして登録してあるチャンネルを選択します。
5. **VIEW** を短く押すと、登録してあるDTMFコードをDTMF音で確認することができます。
6. **MENU** を1秒以上押しでセットモードを終了します。

30	DTMF SELECT
31	DTMF SPEED
32	EAI
33	EAI TIME

30	DTMF SELECT
1	0123-456789ABCD*

DTMF機能 (つづき)

■登録したDTMFコードを送出する

1. **[W]**を押した後に^{DTMF}**[3DEF]**を押します。

セットモードの『29 DTMF MANUAL/AUTO』のショートカットキーです。

2. DIALツマミをまわして「オートダイヤラ」を選択します。

ディスプレイの左下に“**[W]**”が点灯します。

3. ^{DTMF}**[3DEF]**を押して設定を終了します。

4. PTTスイッチを押したままにします。

5. ^{STEP}**[1]** (1ch) ~ ^{RADIO}**[0]** (10ch) のテンキーを押して送出したいDTMFメモリーのチャンネル選択します。

登録したDTMFコードが送出されます。また、スピーカーから送出するDTMF音が聞こえます。

6. PTTスイッチを離します。

PTTスイッチを離してもDTMF信号の送出が終了するまでは、送信を続けます。



■マニュアルでDTMFコードを送出する

マニュアルでDTMFコードを送出することもできます。

1. **[W]**を押した後に^{DTMF}**[3DEF]**を押します。

セットモードの『29 DTMF MANUAL/AUTO』のショートカットキーです。

2. DIALツマミをまわして「手動」を選択します。

3. ^{DTMF}**[3DEF]**を押して設定を終了します。

4. PTTスイッチを押したままにします。

5. テンキーを押して送出したいDTMFコードを選択します。

選択したDTMFコードが送出されます。また、スピーカーから送出するDTMF音が聞こえます。

6. PTTスイッチを離します。

PTTスイッチを離してもDTMF信号の送出が終了するまでは、送信を続けます。



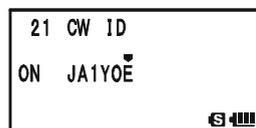
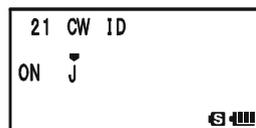
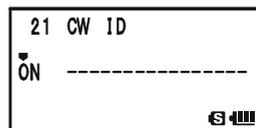
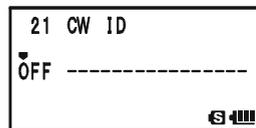
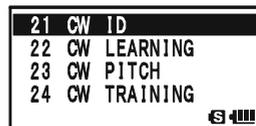
○ DTMFコードは、2つの周波数の組み合わせから成っています。

	1209Hz	1336Hz	1477Hz	1633Hz
697Hz	1	2	3	A
770Hz	4	5	6	B
852Hz	7	8	9	C
941Hz	*	0	#	D

自分のコールサインを自動的に送出する —CW ID機能—

CW IDを設定すると、ARTS/EAI/エマージェンシー機能動作時に、自分のコールサインを自動的に送出することができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『21 CW ID』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。
5. ^{SPS SQ TYP}
MODEを短く押します。
カーソルが一桁目に移動します。
6. DIALツマミをまわしてコールサインを入力します(文字は下表参照)。
テンキーでも入力が可能です。
7. ^{SPS SQ TYP}
MODEを押してカーソルを移動します。
^{SC-MEMO DA}
BANDを押すとカーソルの位置を一桁前に戻すことができます。
8. 手順6., 7.を繰り返しコールサインを入力します(最大16文字)。
9. **MENU**を1秒以上押します。
CW IDが設定され、もとの表示に戻ります。



- CW IDを送出するためには、第三級アマチュア無線技士以上の資格とF2Aの電波型式の免許が必要です。
- 文字一覧表は、下表を参照してください。

文字一覧表																									
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
(スペース)	/	?	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9													

- コールサインを入力中に ^{EMGR/H}
HWを1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。
- コールサインを入力後、手順1~手順3を行い **HW**を押すと、設定したCW IDをCW音とストロボで確認することができます。
- CW IDを送出するときには、設定したCW IDの前後に“DE”と“K”が自動的に追加されます(**DE CW ID (コールサイン) K** と送出されます)。
- CW ID送出時にはDCSコードを含みませんので、ARTS運用時には、本人同士はCW IDを聞くことはできません。

相手局と交信可能かチェックする —ARTS機能—

ARTS機能とは、相手局が交信可能範囲内にいるかどうかを調べることができる機能です。

[W]を押した後に^{ARTS}**[4GH]**を押します。

相手局が交信可能な範囲にいるときは“IN RNG”が表示されます。

ARTS機能を動作中に^{ARTS}**[4GH]**を押すと、ARTS機能を使う直前の状態に戻ります。



- 相手局が交信範囲の外にいるときは、“OUT RNG”が表示されます。
- 相手局と同じDCSコードにセットしてください。ARTS機能に使用するDCSコードは、セットモードの『26 DCS CODE』で変更できます。
- DCSコードは工場出荷時の状態で“023”に設定されています。
- ARTS機能をオンにすると、周波数を変更できなくなります。
- ARTS機能は、ARTS機能のあるトランシーバーどうして利用できます。
- ARTS機能がオンの状態のままPTTスイッチを押すことにより、相手局と交信できます。
- セットモードの『21 CW ID』の設定により、CW IDを設定するとARTS機能動作時に、自分のコールサインを自動的に、約10分間に1回CWで送出します。
- セットモードの『5 ARTS BEEP』の設定により、相手局からのDCSコードの受信を知らせるビープ音の鳴るタイミングを変更できます。
- セットモードの『6 ARTS INTERVAL』の設定により、チェックの間隔(相手局が交信可能範囲内にいるかどうかを調べる間隔)を変更できます。工場出荷時には、チェック間隔は25秒に設定されています。



設定以上の信号を受信した場合のみ、音声を出力させる —Sメータースケルチ機能—

設定以上の信号を受信した場合のみ、音声を出力させる機能です。

Aバンド、Bバンド個別にSメータースケルチを設定することができます。

1. Sメータースケルチ機能を設定したいバンドを操作バンドにします。

Aバンドに設定したい場合は **A**  を押します。

Bバンドに設定したい場合は **B**  を押します。

2. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『93 SQL S-METER』を選択します。

4. **MENU** を短く押します。

5. DIALツマミをまわして設定値を選択します (下表参照)。

6. **MENU** を1秒以上押します。

Sメータースケルチ機能が設定され、もとの表示に戻ります。



表示	Sメーターの表示	動作状態
OFF	表示なし	Sメータースケルチ機能が“OFF”になります。(工場出荷時は“OFF”に設定)
レベル1		Sメーターが“1”以上の信号の音声を出力します。
レベル2		Sメーターが“2”以上の信号の音声を出力します。
レベル3		Sメーターが“3”以上の信号の音声を出力します。
レベル4		Sメーターが“4”以上の信号の音声を出力します。
レベル5		Sメーターが“5”以上の信号の音声を出力します。
レベル6		Sメーターが“6”以上の信号の音声を出力します。
レベル7		Sメーターが“7”以上の信号の音声を出力します。
レベル8		Sメーターが“8”以上の信号の音声を出力します。
レベル9		Sメーターが“9”以上の信号の音声を出力します。

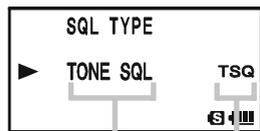
特定の相手局との交信

トーンスケルチ機能/DCS機能

トーンスケルチを使うと、こちらで設定している周波数のトーンが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。また、デジタルコードスケルチ(DCS)を使うと、こちらで設定しているDCSコードが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

これらの機能を使うと、長時間にわたって特定の局からの呼び出しを待ち受けているときに、他局の交信にわずらわされることがなくなります。

1. **[W]**を押した後に^{SPS SQL TYP}**[MODE]**を押します。
セットモードの『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。
2. **DIAL**ツマミをまわしてスケルチの種類を選択します(下参照)。
3. ^{SPS SQL TYP}**[MODE]**を押します。
スケルチの種類が設定され、もとの表示に戻ります。



スケルチタイプを表示する
ロゴを表示する

表示	動作状態
OFF	トーン送出、トーンスケルチなど各機能をOFFにします。
TONE	トーン送出のみを行います("TN"が表示)。
TONE SQL	トーンスケルチをONにします("TSQ"が表示)。
DCS	デジタルコードスケルチをONにします("DCS"が表示)。
REV TONE	リバーストーンをONにします("RTN"が表示)。 通話がないときにトーン信号が含まれ、通話を始めるとトーン信号が消えるスケルチ制御方式の通信を受信するときに使用します。
JR FREQ (p. 51)	JRの空線スケルチ機能をONにします("JR"が表示)。 通話が行われていないときに聴こえる「ピー」という2280Hzの空線信号音を消すことができます。
PR FREQ (p. 51)	JR以外の空線スケルチ機能をONにします("PR"が表示)。 300Hz~3000Hzの空線信号音の周波数を100Hzステップで設定することができます。
PAGER (p. 154)	新ページャ機能をONにします("PAG"が表示)。 仲間同士で運用時、それぞれ個別コード(2つのトーンを使用したコード)を設定することにより、特定の局を呼び出すことができます。
MESSAGE (p. 136)	メッセージ機能をONにします("MSG"が表示)。 仲間同士で運用時、あらかじめ登録してあるメッセージを仲間のVX-8シリーズのLCDに表示することができます。
D CD*	送信時のみDCSコードを送出します("DC"が表示)。
TONE-DCS*	送信時にトーン信号を送出し、受信時にDCSコードで待ち受けをします("T-D"が表示)。
D CD-TONE SQL*	送信時にDCSコードを送出し、受信時にトーン信号で待ち受けをします("D-T"が表示)。

※:セットモードの『94 SQL SPLIT』により、ONに設定するとセットモードの『95 SQL TYPE』にD CD、TONE-DCS、D CD-TONE SQLの設定項目が追加されます。送信と受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。

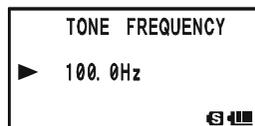
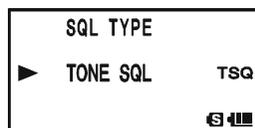
- トーンスケルチやDCSはスキャン時やスマートサーチにも有効です。トーンスケルチまたはDCSがオンの状態でスキャンすると、一致する周波数のトーンまたはDCSコードが含まれている信号を受信したときのみスキャンが停止します。
- モニタースイッチを押すと、トーンまたはDCSコードが含まれていない(または異なる)信号を聞くことができます。
- セットモードの『27 DCS INVERSION』により、位相を反転したDCSコードを受信することができます。
- セットモードの『94 SQL SPLIT』により、送受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。
- セットモードの『95 SQL TYPE』からも、スケルチタイプを設定することができます。

トーンスケルチ機能/DCS機能 (つづき)

■トーンの周波数を設定する

トーンの周波数は、67.0Hz～254.1Hzの50種類から選択できます(トーン周波数表は186ページ参照)。

1. 運用する周波数を設定します。
2. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を押します。
セットモードの『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「TONE SQL」を選択します。
4. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押します。
5. **[W]**を押した後に^{CODE}**(2 ABC)**を押します。
セットモードの『99 TONE FREQUENCY』のショートカットキーです。
6. DIALツマミをまわして希望のトーン周波数を選択します。
7. ^{CODE}**(2 ABC)**を短く押します。
トーン周波数が設定され、もとの表示に戻ります。

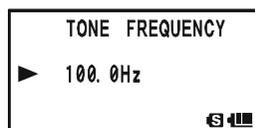
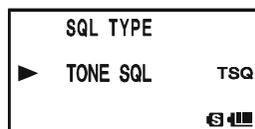


- 上記の操作で設定したトーンの周波数は、トーンの送出のみを行う場合にも有効です。
- 工場出荷時の状態では88.5Hzに設定されています。

■相手局が使用しているトーンスケルチの周波数がわからないとき

下記の操作により、トーンスケルチの周波数を探して表示することができます。

1. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を押します。
2. DIALツマミをまわしてトーンスケルチ『TONE SQL』を選択します。
3. **[W]**を押した後に^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を押すとトーンスケルチが設定されます。
4. **[W]**を押した後に^{CODE}**(2 ABC)**を押します。
5. 相手局の信号を受信し、^{SC-MBND ON}**(BAND)**を約1秒以上押しと“TONE SEARCH”と表示され、放すとトーン周波数をサーチします。
一致したトーン周波数を探し出すと「ピポッ」とピープ音が鳴りサーチを一時停止し、そのトーン周波数が点滅します。
6. サーチしたトーン周波数を設定したい場合は、^{SC-MBND ON}**(BAND)**を押し(「ピポッ」とピープ音が鳴る)、^{CODE}**(2 ABC)**を押すと、もとの表示に戻ります。



特定の相手局との交信

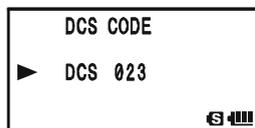
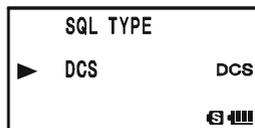
スキャンが停止したときの動作を設定することができます。59ページの“スキャンストップ時の受信方法を設定する”を参照してください。

トーンスケルチ機能/DCS機能 (つづき)

■DCSコードを設定する

DCSコードは、023～754の104種類から選択できます (DCSコード表は175ページ参照)。

1. 運用する周波数を設定します。
2. **[W]**を押した後に^{SPS SQL TYPE}**[MODE]**を押します。
セットモードの『95 SQL TYPE』のショートカットキーです。
3. DIALツマミをまわして「DCS」を選択します。
4. ^{SPS SQL TYPE}**[MODE]**を短く押します。
5. **[W]**を押した後に^{CODE}**[2 ABC]**を押します。
セットモードの『26 DCS CODE』のショートカットキーです。
6. DIALツマミをまわして希望のDCSコードを選択します。
7. ^{CODE}**[2 ABC]**を短く押します。
DCSコードが設定され、もとの表示に戻ります。

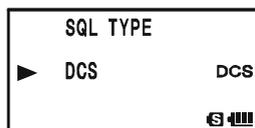


工場出荷時の状態では“023”に設定されています。

■相手局が使用しているDCSコードがわからないとき

下記の操作により、DCSコードを探して表示することができます。

1. **[W]**を押した後に^{SPS SQL TYPE}**[MODE]**を押します。
2. DIALツマミをまわしてDCSコード「DCS」を選択します。
3. **[W]**を押した後に^{SPS SQL TYPE}**[MODE]**を押すとDCSが設定されます。
4. 上記の「DCSコードを設定する」の手順1.から手順3.を行ないます。
5. 相手局の信号を受信し、^{SC-MEND ON}**[BAND]**を約1秒以上押すとDCSコードをサーチします。
一致したDCSコードを探し出すと「ピポッ」とビープ音が鳴りサーチを一時停止し、そのDCSコードを点滅します。
6. サーチしたDCSコードを設定したい場合は、^{SC-MEND ON}**[BAND]**を押し（「ピポッ」とビープ音が鳴る）、**[MENU]**を1秒以上押すとセットモードを終了して、もとの表示に戻ります。



スキャンが停止したときの動作を設定することができます。59ページの“スキャンストップ時の受信方法を設定する”を参照してください。

相手からの呼び出しをベルで知らせる —ベル機能—

相手局からの呼び出し(同じトーンまたはDCSを含む信号を受信したとき)を「ピポピポピポッ」と一回ベル音で知らせ、LCDに“”を点滅して知らせることができます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして「15 BELL SELECT」を選択します。

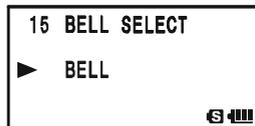
3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして「BELL」を選択します。

BELL以外にUSER BP(ユーザー1~ユーザー3)を選択することができますが、セットモードの「12 BEEP MELODY」でピープ音の登録をしないと、選択表示することはできません。

5. **[MENU]**を1秒以上押します。

ベル機能が設定され、もとの表示に戻ります。



ベル機能を終了するには、手順4.の操作で「OFF」に選択します。

● ベル機能を使用するためには、トーンスケルチまたはDCSをオンにしてください。

● ベル機能はレピータでは使用できません。

○ ベル機能がオンのときには“”が表示されます。また、相手局からの信号を受信したときには“”が点滅します。

■ベル音の回数を変更する

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして「14 BELL RINGER」を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

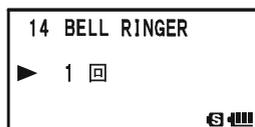
4. **DIAL**ツマミをまわしてベル音の鳴る回数を選択します。

1回~20回、連続 を選択することができます。

工場出荷時: 1回

5. **[MENU]**を1秒以上押します。

ベル音の鳴る回数が設定され、もとの表示に戻ります。

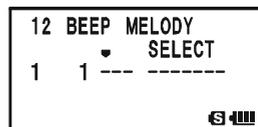
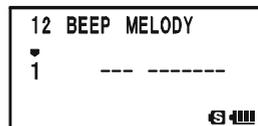
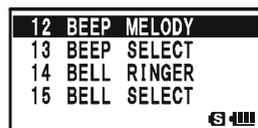


相手からの呼び出しをベルで知らせる —ベル機能— (つづき)

■好みのベル音をつくる

自分で作曲したベル音を3曲登録することができます。1曲につき、64個の音階を入力することができます。

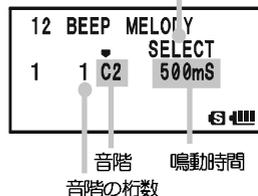
- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL**つまみをまわして『12 BEEP MELODY』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- DIAL**つまみをまわして登録したいチャンネル「1~3」のいずれかを選択します。
- MODE**を短く押すとディスプレイに“▼”のカーソルが点灯します。
- DIAL**つまみを1クリックまわします。



ディスプレイに“C2 500mS”と表示されます。
左側の“C2”は音階(下図参照)をあらわします。
また、右側の“500mS”は鳴動時間(音の長さ)をあらわします。
鳴動時間は10mS~2500mSまで設定できます。

- DW MT**
(V/M)を短く押すごとに
“DELETE”(消去)→“INSERT”(追加)→“SELECT”(設定)
に切り替わり音階編集(桁数)をすることができます。
- “DELETE”(消去)を選択した場合は、**DW MT (V/M)**を1秒以上押すと選択した桁を消去します。
 - “INSERT”(追加)を選択した場合は、**DW MT (V/M)**を1秒以上押すと選択している桁に1桁追加されます。
 - “DELETE”(消去)や“INSERT”(追加)以外に、**EMG R/H (M/W/R)**を1秒以上押すとカーソル以降の音階を消すことができます。

DW MT
(V/M)を短く押すごとに切り替わる
“DELETE”(消去)→“INSERT”(追加)→
“SELECT”(設定)



- DIAL**つまみをまわして音階を選択します。
“C1”~“B3”, “POS”(無音)まで音階を選択することができます。
- MODE**を短く押して鳴動時間の設定にします。
SC-MEND ON (BAND)を短く押すと前の音階設定に戻ります。
- DIAL**つまみをまわして鳴動時間を選択します。
- MODE**を短く押して次の音階設定画面になります。
- 上記の手順7.~手順10.を繰り返し、64個まで音階を入力することができます。
- MENU**を1秒以上押すとセットモードを終了します。

○ 手順1. ~4. を行った後に**FW**を押すと、選択したベル音をモニターすることができます。

C1#	D1#	F1#	G1#	A1#	C2#	D2#	F2#	G2#	A2#	C3#	D3#	F3#	G3#	A3#						
C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3

特定の局だけを呼び出しすることができる —新ページャー機能—

仲間同士で運用時、それぞれ個別コード（2つのCTCSSトーンを使用したコード）を設定することにより、特定の局だけを呼び出しすることができます。なお、呼び出された局は、呼び出しがあったときに無線機から離れていたとしても、ディスプレイの表示などで、呼び出しがあったことを知ることができます。



A, B, Cの3人で運用中

CさんがBさんの個別コードを送信

Bさんだけが呼び出される

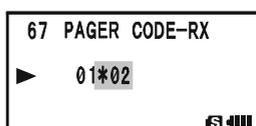
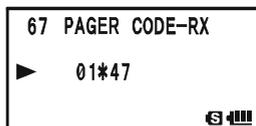
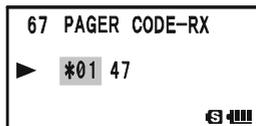
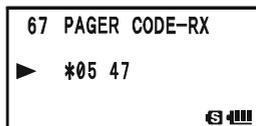
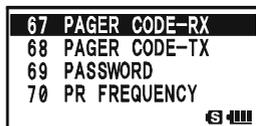
■ ページャー機能の操作の流れ



■ 自局のコードを設定する

自分が呼び出されるときの「個別コード(自分のコード)」を設定します。

- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL**ツマミをまわして『67 PAGER CODE-RX』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- DIAL**ツマミをまわして1つ目のコード(01~50から選択)をあわせませす。
- SPS SDR TYPE** **MODE**を短く押した後(*が移動します), **DIAL**ツマミで2つ目のコード(01~50から選択)をあわせませす。
1つ目と同じコードに設定することはできません。
- MENU**を1秒以上押して設定します。

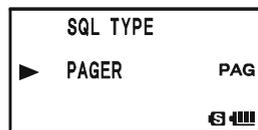


- 工場出荷時は、“05 47”が設定されています。
- 2つのコードは、“05 47”と“47 05”のように、順番が違っていても同じコードとみなします。
- 仲間同士が全員同じコードを設定すると“グループコード”として、グループ全員を一斉に呼び出すことができます。

特定の局だけを呼び出しすることができる —新ページャー機能— (つづき)

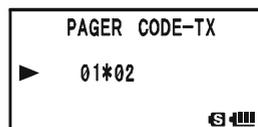
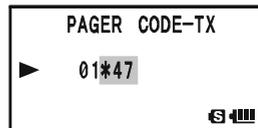
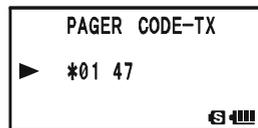
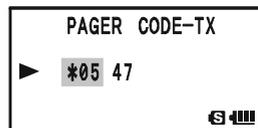
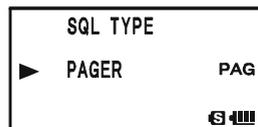
■新ページャー機能を動作させる

1. **[W]**を短く押した後に^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押します。
 セットモード『95 SQL TYPE』のショートカットです。セットモード『95 SQL TYPE』を呼び出して、ページャー機能(PAGER)を選択することもできます。
2. DIALツマミをまわして『PAGER』を選択します。
3. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押して設定を終了します。
 この状態で、新ページャー機能を使用した“呼び出し”や“待ち受け”を行うことができます。



■特定の局を呼び出す

1. **[W]**を短く押した後に^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押します。
 セットモード『95 SQL TYPE』のショートカットです。セットモード『95 SQL TYPE』を呼び出して、ページャー機能(PAGER)を選択することもできます。
2. DIALツマミをまわして『PAGER』を選択します。
3. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押して設定を終了します。
 新ページャー機能を動作させます。
4. **[W]**を短く押した後に^{CODE}**(2 ABC)**を短く押します。
 セットモード『68 PAGER CODE-TX』のショートカットです。セットモード『68 PAGER CODE-TX』を呼び出して、ページャーコード)を入力することができます。
5. DIALツマミをまわして、呼び出したい相手局の1つ目のコード(01~50から選択)にあわせます。
 必ず相手のページャーコードを登録してください。
6. ^{SPS SQ TYP}**(MODE)**を短く押した後(*が移動します)、DIALツマミをまわして、2つ目のコード(01~50から選択)にあわせます。
7. ^{CODE}**(2 ABC)**を押してコードを確定します。
8. この状態でPTTスイッチを押すと、目的の相手局を呼び出すことができます。



PAGが表示される



特定の相手局との交信

特定の局だけを呼び出しすることができる —新ページャー機能— (つづき)

■相手局から呼ばれる（待ち受け時の動作）

相手局と同じ周波数で、新ページャー機能を動作させると、呼ばれたときにディスプレイの“PAG”表示が“PIN”表示に変わり、呼び出されたことを確認することができます。また、152ページの「ベル機能」を設定すると、呼ばれたときに“PAG”と“♣”の点滅及びベル音で、呼び出されたことを確認することができます。



セットモード [66 PAGER ANS-BACK] の設定を“ON”にすると、呼び出しを受けた際、自動的に送信（約2.5秒間）状態になりますので、交信可能な状態かどうかを、相手に知らせることができます。

パスワード機能

4桁のパスワードを設定することにより、正しいパスワードを入力しないと、電源をオンにすることができませんので、第三者の無断使用などを防ぐことができます。

- MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL**つまみをまわして『69 PASSWORD』を選択します。
- MENU**を短く押します。
- SPS SQ TYP**
MODEを押した後、**DIAL**つまみでパスワードの1桁目を選びます(0~9, A~D, *, #から選択できます)。
- SPS SQ TYP**
MODEを押して次の桁に移動します。
- 手順4~5を繰り返しパスワードを4桁まで入力します。
- SPS SQ TYP**
MODEを押します。
- DIAL**つまみをまわして「ON」を選択します。
パスワード機能が「ON」になります。
「OFF」の設定ではパスワードのみ入力することができます。パスワード機能を使用する場合は、必ず「ON」にしてください。
- MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。



- パスワード機能を解除するには、上記の操作を行い、手順1~3を行い、次に**DIAL**つまみで“OFF”にあわせて、**MENU**を1秒以上押してください。
- パスワード機能は、誤入力防止のためテンキー入力はできません。
- オンタイマー機能が動作して電源がオンになるときは、パスワード機能は無効になります。

■パスワード機能動作時の電源の入れかた

- ⏻**を1秒以上押して電源を入れます。
パスワード入力画面が表示されます。
- キーでパスワードを4桁目まで入力します。
- 正しい4桁のパスワードが入力されると、電源が“オン”になります。
間違ったパスワードを入力した場合は、自動的に電源が“オフ”になります。



注 意

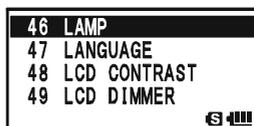
パスワードを忘れた場合は、オールリセットを行うことにより、電源を入れることができます。ただし、オールリセットを行うと、メモリーされた内容や、各種の設定値など、全ての情報がリセット(初期化)されてしまいます。
パスワードは忘れないように、紙などに控えておくようになしてください。

照明の点灯条件を変更する

ディスプレイとキーの照明が点灯する条件を、変更することができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『46 LAMP』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIALツマミで、希望の点灯条件にあわせます(下表参照)。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。

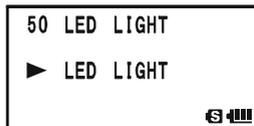
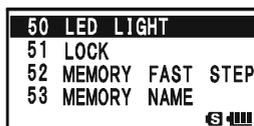
表示	点灯条件
キー2秒 ~ キー10秒	DIAL ツマミをまわすか、またはキーを押すと、設定した時間点灯します。
連続	点灯し続けます。
OFF	照明は点灯しなくなります。



ストロボをライトとして使用する

ストロボを白色に発光させ、簡易的なライトとして使用することができます。

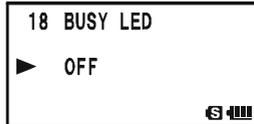
1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『50 LED LIGHT』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押すと、ストロボが白色に点灯します。
4. **[MENU]** を短く押すと、ライトが消えます。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



BUSYインジケータをOFFにする

ラジオを常時受信する場合や電池の残量が残り少なくなったときなどに、BUSYインジケータをOFFにして電池の消耗を減らすことができます。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『18 BUSY LED』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「OFF」を選択します。
BUSYインジケータの点灯がOFFになります。
5. **[MENU]** を1秒以上押してセットモードを終了します。



操作音の音量を設定する

キーを押したときや、信号を受信してスキャンが停止したときなどに出るビーブ音の音量を設定することができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『11 BEEP LEVEL』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして、希望の音量を選びます。
レベル1～レベル9の音量を選択可能(工場出荷時:レベル5)
5. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。

11 BEEP LEVEL
12 BEEP MELODY
13 BEEP SELECT
14 BELL RINGER

11 BEEP LEVEL
▶ レベル 5

操作音がならないようにする

キー操作等に発する、操作確認音(ビーブ音)をオフにすることができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『13 BEEP SELECT』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして「OFF」を選択します。

表示	動作状態
OFF	ビーブ音をOFFにすることができます。
キー&スキャン	キー操作時やスキャン停止時にビーブ音を鳴らします。
キー	キー操作時にビーブ音を鳴らします。

工場出荷時:キー&スキャン

5. **MENU**を1秒以上押してセットモードを終了します。

13 BEEP SELECT
14 BELL RINGER
15 BELL SELECT
16 BLUETOOTH P-CODE

13 BEEP SELECT
▶ OFF

音量の設定方法を変更する

VOLを押した後**DIAL**ツマミをまわし、音量を調節後、約3秒間で自動的に調節する前の状態に戻るよう設定を変更することができます。

1. **MENU**を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL**ツマミをまわして『107 VOLUME MODE』を選択します。
3. **MENU**を短く押します。
4. **DIAL**ツマミをまわして「AUTO BACK」を選択します。
工場出荷時: NORMAL
5. **MENU**を1秒以上押すと、セットモードを終了します。

107 VOLUME MODE
108 VOX
109 VOX DELAY
110 WAVE MONITOR

107 VOLUME MODE
▶ AUTO BACK

電池の電圧を表示する 一電源電圧表示機能一

電池の電圧を表示します。オプションのシガープラグ付き外部電源アダプター (SDD-13) を接続しているときは、アダプターの電源電圧を表示します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

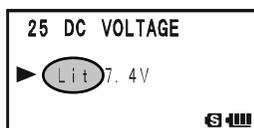
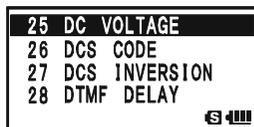
2. **DIAL** ツマミをまわして『25 DC VOLTAGE』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押します。

ディスプレイに電圧が表示されます。

電圧の表示を消したいときは、**[MENU]** を1秒以上押し**て**セットモードを終了します。

電池パックを使用しているときは“Lit”，乾電池ケースを使用しているときは“Dry”，外部電源アダプターを使用しているときは“Ext”が表示されま
す。



温度・気圧・高度3種類を表示 一温度・気圧・高度表示機能一

VX-8D内部の温度 (TEMP)，気圧 (BARO)，高度 (ALTI) を表示させることができます。

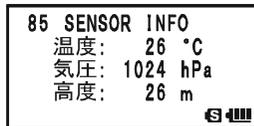
1. **[MENU]** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL** ツマミをまわして『85 SENSOR INFO』を選択します。

3. **[MENU]** を短く押すと温度 (TEMP)，気圧 (BARO)，高度 (ALTI) を表示します。

4. **[MENU]** を1秒以上押すとセットモードを終了し、表示させる前の状態に戻ります。



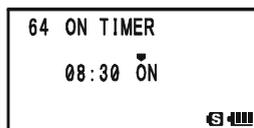
- 温度はVX-8D内部の温度を把握する機能です。
- 温度表示は温度上昇のない状況(待ち受け受信時など)で、外気温の目安とすることができます。
- 周囲の温度により実際の気圧と異なる場合があります。
- 気圧計は正しい気圧が表示されるまで数秒間かかります。
- 表示された値が実際の気圧や高度が違う場合は、セットモードの『103 UNIT OFFSET』で補正してください。
- セットモードの『104 UNIT SELECT』により、温度・気圧・高度の表示単位を変更することができます。
- 表示される高度は気圧が標準気圧(1013hPa)のときに高度が0mになるよう表示されています。
- 4000m位までの高度を測ることができます。

指定した時間に電源をオンにする —オンタイマー機能—

指定した時間に電源をオンにすることができます。

17 ページの「時計をセットしよう」を参照に時計を設定してから使用してください。

1. **MENU** を 1 秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『64 ON TIMER』を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. DIAL ツマミをまわして、電源を ON にしたい「時」を入力します。
1 時間単位で入力が可能です。
5. SPS SQ TYP
MODE を押します。
6. DIAL ツマミをまわして、「分」を入力します。
1 分単位で入力が可能です。
7. SPS SQ TYP
MODE を押します。
8. DIAL ツマミをまわして「ON」を選択します。
工場出荷時 OFF
9. **MENU** を 1 秒以上押してセットモードを終了します。

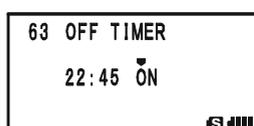
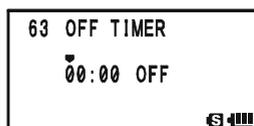


指定した時間に電源をオフにする —オフタイマー機能—

指定した時間に電源をオフにすることができます。

17 ページの「時計をセットしよう」を参照に時計を設定してから使用してください。

1. **MENU** を 1 秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIAL ツマミをまわして『63 OFF TIMER』を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. DIAL ツマミをまわして、電源を OFF にしたい「時」を入力します。
1 時間単位で入力が可能です。
5. SPS SQ TYP
MODE を押します。
6. DIAL ツマミをまわして、「分」を入力します。
1 分単位で入力が可能です。
7. SPS SQ TYP
MODE を押します。
8. DIAL ツマミをまわして「ON」を選択します。
工場出荷時 OFF
9. **MENU** を 1 秒以上押してセットモードを終了します。



必要に応じて使う機能

自動的に電源をオフする - APO機能 -

指定した時間何の操作も行わずにいると、電源スイッチの切り忘れと判断して自動的に電源をオフにします(オートパワーオフ機能)。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**つまみをまわして『4 APO』を選択します。

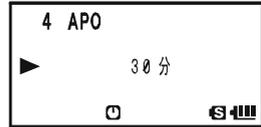
3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**つまみをまわして時間を選択します。

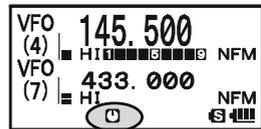
OFF/30分~12時間 30分単位で選択することができます。
工場出荷時: OFF

5. **[MENU]**を1秒以上押してセットモードを終了します。

オートパワーオフ機能が設定され、もとの表示に戻ります。
設定した時間何の操作もしないと、自動的に電源がオフになります。



- オートパワーオフ機能がオンのときには「**⏻**」が表示されます。
- 工場出荷時は「OFF」に設定されています。
- 設定した時間は、手順4.の操作で「OFF」を選択するまで、そのまま保持されます(次に電源をオンにしたときも、設定した時間何の操作もしないと、自動的に電源がオフになります)。



連続送信時間を制限する - TOT機能 -

指定した時間連続送信を行なうと、自動的に受信状態に戻るようにすることができます。誤動作による不要電波の送出やバッテリーの消耗を防ぐことができます(タイムアウトタイマー機能)。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**つまみをまわして『102 TOT』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**つまみをまわして時間を選択します。

OFF/30秒~10分 30秒単位で選択することができます。
工場出荷時: OFF

5. **[MENU]**を1秒以上押します。

タイムアウトタイマー機能が設定され、もとの表示に戻ります。



- タイムアウトタイマー機能がオンのときには、設定した時間に近づくと「ピポ、ピポ、ピポ」とピープ音が鳴り、約10秒後に受信状態に戻ります。
- 工場出荷時は「OFF」に設定されています。
- 設定した時間は、手順4.の操作で「OFF」を選択するまで、そのまま保持されます。

何も受信していないときに受信セーブをする **—受信セーブ機能—**

何も受信していないときに設定した時間の間、受信機をオフにして受信セーブ機能が動作します。受信セーブ機能がオンのときは、“S”が点滅します(信号受信中は点灯)。

1. **MENU**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『79 SAVE RX』を選択します。

3. **MENU**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして時間を選択します。

0.2秒(1:1)~1.0秒(1:5) 0.1秒単位

~1.0秒(1:5)~10秒(1:50) 0.5秒単位

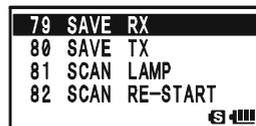
~10秒(1:50)~60秒(1:300) 5秒単位

/OFF

工場出荷時:0.2秒(1:1)

5. **MENU**を1秒以上押します。

受信セーブ機能が設定され、もとの表示に戻ります。



相手局の信号強度がフルスケールの場合は送信出力を下げる **—送信セーブ機能—**

送信セーブ機能をONにすると、相手局の信号強度がフルスケールの場合、送信出力がハイパワーのときにはLOWに下がります。

1. **MENU**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**ツマミをまわして『80 SAVE TX』を選択します。

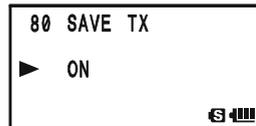
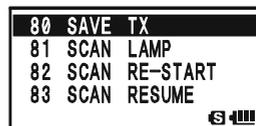
3. **MENU**を短く押します。

4. **DIAL**ツマミをまわして「ON」を選択します。

工場出荷時 OFF

5. **MENU**を1秒以上押します。

送信セーブ機能が設定され、もとの表示に戻ります。

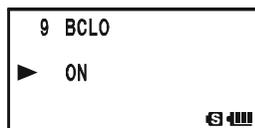
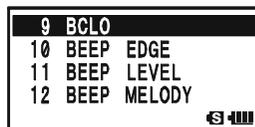


必要に応じて使う機能

受信中に誤って送信しないようにする —BCLO機能—

信号を受信中に誤って送信しないようにすることができます（ビジーチャンネルロックアウト機能）。

1. **MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして「9 BCLO」を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミをまわして「ON」を選択します。
工場出荷時: OFF
5. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。
ビジーチャンネルロックアウト機能が設定され、もとの表示に戻ります。

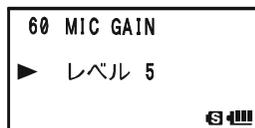


- 工場出荷時は“OFF”に設定されています。
- 設定した機能は、手順4.の操作で“OFF”を選択するまで、そのまま保持されます。

マイク感度を調節する —マイクゲイン—

内蔵マイクやオプションの外部マイクM+74A7A（BluetoothヘッドセットB+2A、B+1Aを含む）のマイク入力レベルを調節することができます。

1. **MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして「60 MIC GAIN」を選択します。
3. **MENU** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミで、希望のマイクゲインを選びます。
レベル1（感度が下がる）～レベル9（感度が上がる）から選択できます。
工場出荷時: レベル5
5. **MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。
マイクゲインが設定され、もとの表示に戻ります。



- マイクゲインを上げすぎると、音声が歪んだり周囲の音を拾いやすくなる場合があります。
- マイクを変えたときは、必ずマイクゲインの調節をしてください。
- B+2Aのマイクゲインを調節する場合は、上記の設定でレベル5に設定し、B+2A側でマイクゲインを調節することをお勧めします。上記の調節で感度を上げすぎたりまたは下げすぎたりした状態でB+2A側からマイクゲインを調節すると音声歪んだり周囲の音を拾いやすくなる場合があります。

音声で自動送信する -VOX機能-

PTTスイッチを押さなくても、音声により送信/受信を自動的に切り替えることができます。話すとき送信、話すのを止めると受信に戻ります。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**つまみをまわして『108 VOX』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**つまみをまわして「HIGH」または「LOW」を選択します。

工場出荷時 OFF

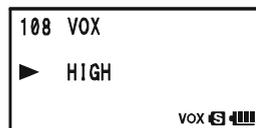
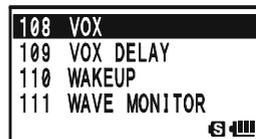
“VOX”がディスプレイの右下に表示されます。

通常は「HIGH」で使いますが、周囲の雑音で送信になってしまう場合は、「LOW」を選択してください。

5. **[MENU]**を1秒以上押してセットモードを終了します。

VOX機能が設定され、もとの表示に戻ります。

VOX機能をオフにしたい場合は、上記の操作を繰り返し、手順4の項目で「OFF」を選択します。



VOX デレイ時間の設定

VOX運用時に、送信状態から受信状態に戻るまでの復帰時間(デレイ時間)を設定します。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

2. **DIAL**つまみをまわして『109 VOX DELAY』を選択します。

3. **[MENU]**を短く押します。

4. **DIAL**つまみをまわしてデレイ時間を設定します。

0.5/1/1.5/2/2.5/3秒から選択可能です。

工場出荷時 0.5秒

5. **[MENU]**を1秒以上押してセットモードを終了します。

VOXデレイ時間が設定され、もとの表示に戻ります。



- セットモードの『60 MIC GAIN』でマイクの感度を調節することができます。
- テンキーやDIALつまみを操作した時の振動がマイクに伝わり、送信状態になることがあります。
- スピーカーから音が出ているときは、VOX機能は動作しません。
- オプションのスピーカーマイクMH-74A7Aは未対応です。
- 設定した機能は、手順4.の操作で“OFF”を選択するまで、そのまま保持されます。

受信感度を下げる —アッテネーター(ATT)機能—

信号が強すぎる時や、近くに強力な信号があり、目的の信号が聞きにくい場合、アッテネーター(ATT)を動作させると聞きやすくなる場合があります。

- 1. [MENU]を1秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- 2. DIALツマミをまわして『3 ANTENNA ATT』を選択します。**
- 3. [MENU]を短く押します。**
- 4. DIALツマミをまわして「ON」を選択します。**
ONまたはOFFを選択できます。
工場出荷時:OFF
- 5. [MENU]を1秒以上押してセットモードを終了します。**
ディスプレイのモード表示が点滅します。
アッテネーターをオフにしたいときは、上記の操作を繰り返し、手順4の項目で「OFF」を選択します。



- アッテネーター(ATT)の減衰量は約10dBです。
- FMラジオ、TV1チャンネル~TV3チャンネル、AMラジオ(中波)ではATTの設定はできません。

電源を入れたときの表示を変える —オープニングメッセージ—

電源を“オン”にしたときに表示される“STANDARD”ロゴを、電源電圧表示、最大16桁のメッセージ、表示“オブ”のいずれかに変更することができます。

- 1. [MENU]を1秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- 2. DIALツマミをまわして『65 OPENING MESSAGE』を選択します。**
- 3. [MENU]を短く押します。**
- 4. DIALツマミをまわして希望する表示を選択します。**
NORMAL: 電源オン時、STANDARDロゴを表示します。
OFF: 電源オン時、オープニングメッセージは表示せず、すぐに受信周波数等を表示します。
DC: 電源オン時、電源電圧と時刻を表示します。
MESSAGE: 電源オン時、半角の場合最大16文字のメッセージを表示します。
SC-MENU ON
[BAND]を押すとメッセージの登録画面で切り替わりますので、42ページの「メモリーに名前をつける」と同じ要領で希望するメッセージを入力します。
工場出荷時: NORMAL
- 5. [MENU]を1秒以上押してセットモードを終了します。**



メッセージを入力中に EMGR/H [MEMO] を1秒以上押すと、カーソルの文字とその文字以降を削除することができます。

自分がよく使用するバンドだけを表示する —マイバンド機能—

SC-MBND DA (BAND) を押したときに、自分がよく使用するバンドだけを表示する“マイバンド機能”を使用することができます。例えば **SC-MBND DA (BAND)** を押すごとにアマチュアバンドだけを表示することができます。

■ 登録

1. VX-8DをVFOモードにします(メモリーモードのときは **DW MT (V/M)** を押します)。

SC-MBND DA (BAND) を押して、よく使用するバンドに設定しておきます。

AMラジオ[A]、FMラジオ[F]、TV放送[T]のいずれかをスキップさせたい場合は、あらかじめ **RADIO (0)** を短く押してラジオのバンドに設定しておきます。

2. **MENU** を1秒以上押します。

各種の設定を行なえるセットモードになります。

3. DIALツマミをまわして『106 VFO SKIP』を選択します。

4. **MENU** を短く押します。

5. DIALツマミをまわして、スキップさせる(必要としない)バンド番号を選択します(バンド番号は下表参照)。

6. **SPS SQ TYP (MODE)** を押してからDIALツマミをまわして、「ON」を選択します。

“▼”のカーソルが移動し、OFFまたはONを選択することができます(工場出荷時:OFF)。マイバンドを登録中に受信しているバンドは「ON」にすることはできません。

7. もう一度 **SPS SQ TYP (MODE)** を押します。

“▼”のカーソルがバンド番号へ移動します。

8. 続いてバンドを登録する場合は、手順5.～手順7.の操作を繰り返し設定します。

9. **MENU** を1秒以上押すと、マイバンドが登録されセットモードを終了します。



バンド番号
バンド名

バンド番号	バンド名	周波数
1	SW (短波帯)	1.8 ~ 30MHz
2	50MHz (50MHz帯)	30 ~ 59MHz
3	AIR (航空無線帯)	108 ~ 137MHz
4	VHF HAM (144MHz帯)	137 ~ 174MHz
5	VHF TV (4CH ~ 12CH TV放送帯)	174 ~ 222MHz
6	INFO 1 (情報無線 (1))	222 ~ 420MHz
7	UHF HAM (430MHz帯)	420 ~ 470MHz
8	UHF TV (UHF-TV放送帯)	470 ~ 800MHz
9	INFO 2 (情報無線 (2))	803 ~ 999MHz

非表示しているバンドを表示するには、上記の手順6.の操作で「ON」にしたバンドを「OFF」にしてください。

■ 操作

SC-MBND DA (BAND) を押たびに、自分がよく使用するバンドだけを表示します。

(インターネットキー)の動作をマイキーに変更する

を押したときに、よく使うセットモードをショートカットキーとして割り付けることができます。

マイキーに変更すると、セットモードの『25 DC VOLTAGE』がショートカットキーとして設定されています。

1. を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. DIALツマミをまわして『43 INTERNET KEY』を選択します。
3. を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「セットモード」を選択します。
工場出荷時:インターネット
5. を1秒以上押してセットモードを終了します。

43 INTERNET KEY
44 INTERNET MODE
45 INTERNET SELECT
46 LAMP

43 INTERNET KEY
▶ セットモード

マイキーの登録を変更する

マイキーで呼び出せるセットモードを変更することができます。

1. を1秒以上押します。
2. DIALツマミをまわして『43 INTERNET KEY』を選択します。
3. を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「セットモード」を選択します。
5. を短く押します。
6. DIALツマミをまわしてマイキーで呼び出したいセットモードを選択します。
7. を1秒以上押すと、希望のセットモードが登録されます。
「ピーッ」とピーブ音がなります。
8. を1秒以上押してセットモードを終了します。

43 INTERNET KEY
44 INTERNET MODE
45 INTERNET SELECT
46 LAMP

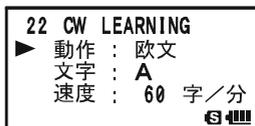
43 INTERNET KEY
▶ セットモード

50 LED LIGHT
51 LOCK
52 MEMORY FAST STEP
53 MEMORY NAME

CW学習機能

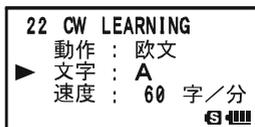
英文、数字、記号、和文のモールス符号を学習することができます。モールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてストロボが点滅します。

1. **[MENU]** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
2. **DIAL** ツマミをまわして『22 CW LEARNING』を選択します。
3. **[MENU]** を短く押します。
4. **DIAL** ツマミでモールス符号の送出条件(動作)を選択します(下表参照)。
・工場出荷時: 欧文



表示	動作
欧文	アルファベットを数回(手順参照)文字を送出して、再び [MENU] が押されるまで一時停止します。
欧文連続	「文字数設定したアルファベットを送出」を繰り返します。
数字	「文字数設定した数字を5文字送出して、再び [MENU] が押されるまで一時停止します。
数字連続	「文字数設定した数字を送出」を繰り返します。
記号	記号を5文字送出して、再び [MENU] が押されるまで一時停止します。
記号連続	「文字数設定した記号を送出」を繰り返します。
和文	カナ(和文)を5文字送出して、再び [MENU] が押されるまで一時停止します。
和文連続	「文字数設定したカナ(和文)を送出」を繰り返します。

5. **[DOWN]** を押します。
“▶”のカーソルが「文字」に移動します。
6. **DIAL** ツマミで練習したい文字を選びます。
工場出荷時: A
7. **[DOWN]** を押します。
“▶”のカーソルが「速度」に移動します。
8. **DIAL** ツマミで希望の送出スピード(モールス符号の速さ)を選びます。



工場出荷時: CPMの場合は60字/分
WPMの場合は12語/分

送出スピードは“20字/分(20CPM)~200字/分(200CPM)”まで変えることができます。また“CPM”から“WPM”に切り替えることができます。“WPM”に切り替えたときの速度は4語/分(4WPM)~40語/分(40WPM)”まで変えることができます。詳細は、手順15、16をご覧ください。

9. **[DOWN]** を押します。
“▶”のカーソルが「回数」に移動します。
10. **DIAL** ツマミで練習したい文字の送出回数を選びます。
工場出荷時: 5回



CW学習機能(つづき)

11. を押します。

“▶”のカーソルが「PTCH」に移動します。

12. DIALツマミでPTCH(ピッチ周波数)を選びます。

工場出荷時：700Hz

13. を押します。

“▶”のカーソルが「LED」に移動します。

14. DIALツマミでLED(ストロボ)の点滅方法を選びます。

CWに合わせて点滅または消灯を選択することができます。

工場出荷時：白色点滅

15. を押します。

“▶”のカーソルが「形式」に移動します。

16. DIALツマミでCPM形式またはWPM形式を選びます。

工場出荷時：CPM

22 CW LEARNING
速度：60 字/分
回数：1回
▶ PTCH：700Hz

22 CW LEARNING
回数：1回
PTCH：700Hz
▶ LED：白色点滅

22 CW LEARNING
PTCH：700Hz
LED：白色点滅
▶ 形式：CPM

送出スピードは“20字/分(20CPM)～200字/分(200CPM)”または“4語/分(4WPM)～40語/分(40WPM)”から選択することができます。“CPM※1”“WPM※2”の説明は下記のようになります。

※1：CPM(Character Per Minutes)

1分間に送出できる文字数の目安で、例えば“60CPM”なら、1分間に約60字の文字を送るスピードになります。

※2：WPM(Word Per Minutes)

1分間に送出する単語数の目安(ARRLで定められた“PARIS”式「1単語=5文字」より算出)で、例えば“20WPM”なら、平均して1分間に20単語の文字を送るスピードになります。

22 CW LEARNING
動作：欧文
▶ 文字：A
速度：60 字/分

22 CW LEARNING
動作：欧文
文字：A
▶ 速度：20 語/分

17. を短く押すと、設定した条件でモールス符号が送出されます。

モールス符号が送出されている途中でを短く押すと、モールス符号の送出を中止します。

CW学習機能を終了するには、を1秒以上押します。

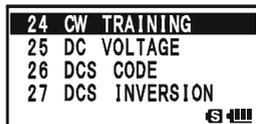
PTTスイッチを押してもCW学習機能を終了することができます。この場合は、CW学習機能を動作させる前の状態(VOモードやメモリーモードなど)に戻すことができます。

- 受信音に対し、モールス符号の音量が大きい(小さい)場合は、セットモード『11 BEEP LEVEL』で、モールス符号の音量を調節してください。
- 手順12と同様、セットモードの『23 CW PITCH』でCW学習機能やCWトレーニング機能で聴こえるモールス符号の音を好みの音(サイドトーン)に変えることができます。
- 待ち受け時にCWを学習できるよう、練習中でも本機は受信動作をおこなっています。

CWトレーニング機能

ランダムなモールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてストロボが点滅します。さらに、そのモールス符号をディスプレイに表示します。

- 1. [MENU] を 1 秒以上押します。**
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- 2. DIALツマミをまわして『24 CW TRAINING』を選択します。**
- 3. [MENU] を短く押します。**
- 4. モールス符号の送出条件(動作)を選択します(下表参照)。**
•工場出荷時: 欧文



表示	動作
欧文	アルファベットを5文字送出して、再び[MENU]が押されるまで一時停止します。
欧文連続	「アルファベットを5文字送出」を繰り返します。
数字	数字を5文字送出して、再び[MENU]が押されるまで一時停止します。
数字連続	「数字を5文字送出」を繰り返します。
混合	アルファベットと数字を5文字送出して、再び[MENU]が押されるまで一時停止します。
混合連続	「アルファベットと数字を5文字送出」を繰り返します。
和文	カナ(和文)を5文字送出して、再び[MENU]が押されるまで一時停止します*。
和文連続	「カナ(和文)を5文字送出」を繰り返します*。

※: カナ(和文)は、ディスプレイにローマ字で表示されます(例: “ヤ” の場合は “YA” と表示されます)。

- 5. [DOWN] を押します。**
“▶” のカーソルが「速度」に移動します。
- 6. [MENU] を短く押してから、DIALツマミで希望の送出スピード(モールス符号の速さ)を選びます。**



工場出荷時: CPMの場合は 60 字/分
WPMの場合は 12 語/分

送出スピードは “20 字/分 (20CPM) ~ 200 字/分 (200CPM)” まで変えることができます。また “CPM” から “WPM” に切り替えることができます。“WPM” に切り替えたときの速度は 4 語/分 (4WPM) ~ 40 語/分 (40WPM)” まで変えることができます。詳細は、手順 11. , 12. をご覧ください。

- 7. [DOWN] を押します。**
“▶” のカーソルが「PTCH」に移動します。
- 8. DIALツマミでPTCH(ピッチ周波数)を選びます。**



工場出荷時: 700Hz

- 9. [DOWN] を押します。**
“▶” のカーソルが「LED」に移動します。
- 10. DIALツマミでLED(ストロボ)の点滅方法を選びます。**

CW に合わせて点滅または消灯を選択することができます。

工場出荷時: 白色点滅



CWトレーニング機能(つづき)

11. を押します。

“▶”のカーソルが「形式」に移動します。

12. DIALツマミでCPM形式またはWPM形式を選びます。

工場出荷時：CPM

24 CW TRAINING
PTCH: 700Hz
LED: 白色点滅
▶ 形式: CPM

送出スピードは“20字/分(20CPM)～200字/分(200CPM)”または“4語/分(4WPM)～40語/分(40WPM)”から選択することができます。“CPM※1”“WPM※2”の説明は下記のようになります。

※1：CPM(Character Per Minutes)

1分間に送出できる文字数の目安で、例えば“60CPM”なら、1分間に約60字の文字を送るスピードになります。

24 CW TRAINING
動作: 欧文
文字:
▶ 速度: 60 字/分

※2：WPM(Word Per Minutes)

1分間に送出する単語数の目安(ARRLで定められた“PARIS”式「1単語=5文字」より算出)で、例えば“20WPM”なら、平均して1分間に20単語の文字を送るスピードになります。

24 CW TRAINING
動作: 欧文
文字:
▶ 速度: 20 語/分

13. を短く押すと、設定した条件でモールス符号が送出されます。

モールス符号が送出されている途中でを短く押すと、モールス符号の送出を中止します。

24 CW TRAINING
動作: 欧文
文字: J I E D T
▶ 速度: 60 字/分

CWトレーニング機能を終了するには、を1秒以上押します。

PTTスイッチを押してもCWトレーニング機能を終了することができます。この場合は、CWトレーニング機能を動作させる前の状態(VFOモードやメモリーモードなど)に戻すことができます。

- 受信音に対し、モールス符号の音量が大きい(小さい)場合は、セットモード『11 BEEP LEVEL』で、モールス符号の音量を調節してください。
- 待ち受け時にCWをトレーニングできるよう、練習中でも本機は受信動作をおこなっています。

セットモード番号順一覧表

セットモード (SET) とは、一度設定してしまえばその後変更する機会の少ない機能や動作などの設定を行なう状態をいい、110種類の設定を行なうことができます。

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
1 ANTENNA AM	AMラジオのアンテナ選択	バー & 外部アンテナ / バーアンテナ
2 ANTENNA FM	FMラジオのアンテナ選択	外部アンテナ / イヤホンアンテナ
3 ANTENNA ATT	アッテネーターのON/OFF	OFF / ON
4 APO	APO動作時間の設定	OFF / 30分 ~ 12時間
5 ARTS BEEP	ARTS着信時のビープ音設定	インレンジ / 毎回 / OFF
6 ARTS INTERVAL	ARTS動作時のチェック間隔の設定	25秒 / 15秒
7 BANK LINK	メモリーバンクリンクの設定	BANK1 : OFF ~ BANK24 : OFF
8 BANK NAME	メモリーバンクに名前を付ける	BANK1 ~ BANK24
9 BCLO	ピラーチャンネルロックアウトの選択	OFF / ON
10 BEEP EDGE	パルスエッジまたはCH1通過時の確認音	OFF / ON
11 BEEP LEVEL	ビープ音の音量設定	レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9
12 BEEP MELODY	ベル音の作成と登録	ユーザー1 ~ ユーザー3
13 BEEP SELECT	ビープ音の出力設定	キー&スキャン / キー / OFF
14 BELL RINGER	ベル呼び出し音回数の設定	1回 ~ 20回 / 連続
15 BELL SELECT	ベル機能の出力設定	OFF / BEL1 / (USER BP)
16 BLUETOOTH P-CODE	BLUETOOTHのPINコード設定	[0000] ~ [6111] ~ [9999]
17 BLUETOOTH SET	BLUETOOTHの動作設定	VOX : PTT / VOX HIGH / VOX LOW MODE : MONO / STEREO SAVE : OFF / ON POWR : ON / OFF
18 BUSY LED	BUSY LEDのON/OFF	ON / OFF
19 CH COUNTER	チャンネルカウンターのサーチ幅の設定	±5MHz / ±10MHz / ±50MHz / ±100MHz
20 CLOCK SHIFT	クロックアウトの設定	OFF / ON
21 CW ID	CW ID送出手のON/OFFおよびID書き込みの設定	OFF / ON 16文字
22 CW LEARNING	CW学習機能	動作 : 欧文 / 欧文連続 / 数字 / 数字連続 / 記号 / 記号連続 / 和文 / 和文連続 文字 : A (動作設定による) 速度 : 20 ~ 60 ~ 200字/分 回数 : 1 ~ 5 ~ 9回 PTCH : 400 ~ 700 ~ 1000Hz LED : 白色点滅 / 白色消灯 形式 : CPM / WPM
23 CW PITCH	CWピッチ周波数の設定	400Hz ~ 700Hz ~ 1000Hz
24 CW TRAINING	CWトレーニング機能	動作 : 欧文 / 欧文連続 / 数字 / 数字連続 / 混合 / 混合連続 / 和文 / 和文連続 速度 : 20 ~ 60 ~ 200字/分 PTCH : 400 ~ 700 ~ 1000Hz LED : 白色点滅 / 白色消灯 形式 : CPM / WPM
25 DC VOLTAGE	電源電圧表示	-
26 DCS CODE	DCSコードの設定	DCS 023 ~ DCS 754
27 DCS INVERSION	DCS反転コードの送受信組み合わせ設定	受信 : 同相 / 反転位相 / 両相 送信 : 同相 / 反転位相
28 DTMF DELAY	DTMF送出手遅延時間の設定	50ms / 250ms / 450ms / 750ms / 1000ms
29 DTMF MANUAL/AUTO	DTMFメモリーの送出手設定	手動 / オートダイヤル
30 DTMF SELECT	DTMFオートダイヤラのチャンネル、コード(16桁)の設定	1ch ~ 10ch
31 DTMF SPEED	DTMF送出手間隔の設定	50ms / 100ms
32 EAI	EAI機能の“ON/OFF”	OFF / ON
33 EAI TIME	EAI機能の間欠送信時間設定	1分間隔 ~ 5分間隔 ~ 50分間隔
34 EMERGENCY SELECT	エマージェンシーモードの設定	BEEP&STROBE / EAM / EHM&EAM / CW / BEEP&CW / CWID TX / BEEP / STROBE
35 EXTENDED MENU	セットモードの非表示/表示	OFF / ON
36 FW KEY HOLD TIME	[@]の長押し時間の設定	FW 0.3秒 / 0.5秒 / 0.7秒 / 1.0秒 / 1.5秒
37 HALF DEVIATION	送信変調レベルの設定	OFF / ON
38 HOME VFO	ホームチャンネル(HM)キー/リバーズ(RV)キーの変更設定	許可 / 禁止
39 HOME/REVERSE	ホームチャンネルでのVFO転送の許可/禁止	HOME / REV
40 INT MANUAL/AUTO	WRBSのFRG方式によるDTMFメモリーの送出手設定	手動 / 自動

必要に応じて使う機能

セットモード番号順一覧表(つづき)

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
41 INTERNET	Wi-FiのON/OFF	OFF / ON
42 INTERNET CODE	Wi-FiのSRG方式で使用するDTMFコードの設定	DTMF 0 ~ DTMF 1 ~ DTMF D/DTMF*/DTMF #
43 INTERNET KEY	 の機能連打設定	インターネット / インターネット CH / セットモード
44 INTERNET MODE	Wi-Fi方式の設定	FRG / SRG
45 INTERNET SELECT	Wi-FiのFRG方式で使用するコード設定	1ch ~ 64ch
46 LAMP	バックライト、キーの照明時間設定	OFF / キー2秒 ~ 5秒 ~ 10秒 / 連続
47 LANGUAGE	セットモード、メニュー等の日本語/英語切り替え	JAPANESE : 日本語 / ENGLISH : 英語
48 LCD CONTRAST	LCDコントラストの設定	レベル2 ~ レベル24 ~ レベル32
49 LCD DIMMER	LCDバックライト、テンキー照明の輝度設定	レベル1 ~ レベル4
50 LED LIGHT	白色LEDによる簡易ライトのON/OFF	-
51 LOCK	ロックモードの設定	KEY&DIAL / PTT / KEY&PTT / DIAL&PTT / ALL / KEY / DIAL
52 MEMORY FAST STEP	メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定	10CH / 20CH / 50CH / 100CH
53 MEMORY NAME	メモリータグの書き込み	-
54 MEMORY PROTECT	メモリー書き込み許可/禁止	OFF / ON
55 MEMORY SKIP	スキップメモリー/特定メモリーの設定	OFF / SKIP / ONLY
56 MEMORY WRITE	メモリー書き込み時のオートインクリメント設定	NEXT / LOWER
57 MESSAGE LIST	メッセージ機能で使用するIDリストの設定	1 ~ 20
58 MESSAGE REGISTER	自局IDの選択	1 ~ 20
59 MESSAGE SELECT	メッセージの登録と選択	1 (EMERGENCY) ~ 20
60 MIC GAIN	マイク入力レベルを調整	レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9
61 MONI/T-CALL	モニタースイッチ/T-CALLスイッチ変更設定	MONI / T-CALL
62 MUTE	操作バンド側之音入感時、非操作側の音声をMUTEするかの設定	OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / MUTE 100%
63 OFF TIMER	電源オフタイマー機能の設定	00:00 ~ 23:59 ON / OFF
64 ON TIMER	電源オンタイマー機能の設定	00:00 ~ 23:59 ON / OFF
65 OPENING MESSAGE	オープニングメッセージの設定	NORMAL / OFF / DC / MESSAGE
66 PAGER ANS-BACK	ページャーアンサーバック機能の“ON/OFF”	OFF / ON
67 PAGER CODE-RX	個別コード(受信用)の設定	01 ~ 05 ~ 50 * 01 ~ 47 ~ 50
68 PAGER CODE-TX	個別コード(送信用)の設定	01 ~ 05 ~ 50 * 01 ~ 47 ~ 50
69 PASSWORD	パスワード機能の“ON/OFF”	OFF / []
70 PR FREQUENCY	空線スケルチの設定	300Hz ~ 1600Hz ~ 3000Hz
71 PRI REVERT	プライオリティ・リバトの設定	OFF / ON
72 PRI TIME	プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定	0.1秒 ~ 5.0秒 ~ 10.0秒
73 PTT DELAY	PTT遅れタイムの設定	OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms
74 RPT ARS	AFS機能のON/OFF	ON / OFF
75 RPT SHIFT	レピータシフト方向の設定	SMPLX / RPT / RPRT(430MHz帯AFSがON時)
76 RPT SHIFT FREQ	レピータシフト幅の設定	0.000MHz ~ 150.000MHz(430MHz帯: 5.000MHz)
77 RX AF DUAL	ラジオ放送同時受信の設定	送受信 1秒 ~ 2秒 ~ 10秒 / 固定 / 送信 1秒 ~ 10秒
78 RX MODE	受信モードの切り替え	AUTO / NFM / AM / WFM
79 SAVE RX	受信セーブ時間の設定	OFF / 0.2秒 (1:1) ~ 60.0秒 (1:30)
80 SAVE TX	送信セーブ設定	OFF / ON
81 SCAN LAMP	スキャンストップ時のランプ点灯	ON / OFF
82 SCAN RE-START	スキャン再開解放時間の設定	0.1秒 ~ 2.0秒 ~ 10.0秒
83 SCAN RESUME	スキャンストップモードの設定	2.0秒 ~ 5.0秒 ~ 10.0秒 / BUSY / HOLD
84 SENSOR DISPLAY	センサー表示の選択	電圧 / 温度 / WAVE / 気圧 / 高度 / OFF
85 SENSOR INFO	温度、気圧、高度の一斉確認	温度、気圧、高度の一斉表示
86 SET MODE CSR	セットモードカーソルのロゴ設定	9種類のカーソルロゴから選択可能
87 SET MODE FORMAT	セットモードの表示切り替え	リスト表示 / 項目表示
88 SMART SEARCH	スマートサーチの動作切り替え	1回 / 連続
89 S-METER SYMBOL	S/POメーターのシンボル表示の選択	4種類
90 SPEAKER OUT	イヤホンアンテナ使用時のスピーカー音声出力設定	AUTO / SPEAKER
91 SPEC-ANALYZER	スペクトラムアナライザーの動作切り替え	1回 / 連続 / フルタイム
92 SQL LEVEL	スケルチの調整	FM/AM: レベル0 ~ レベル1 ~ レベル15 ラジオ: レベル0 ~ レベル2 ~ レベル8

必要に応じて使う機能

セットモード番号順一覧表(つづき)

セットモード番号/項目	機能説明	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
93 SQL S-METER	Sメータースケルチのレベル設定	OFF / レベル1 ~ レベル9
94 SQL SPLIT	送受信で別々のスケルチタイプの設定	OFF / ON
95 SQL TYPE	スケルチタイプの設定	OFF / TONE / TONE SQL / DCS / REV TONE / JR FREQ / FR FREQ / PAGER / MESSAGE
96 STEP FREQUENCY	チャンネルステップの設定	AUTO / 5 kHz ~ 100.0 kHz
97 STEREO	イヤホン/アンテナ使用時のスピーカー音声出力設定	ステレオ / モノラル
98 TIME SET	VX-8Dに内蔵されている時計機能の設定	-
99 TONE FREQUENCY	トーン周波数の設定	67Hz ~ 88.5Hz ~ 254.1Hz
100 TONE-SRCH MUTE	トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定	ON / OFF
101 TONE-SRCH SPEED	トーンサーチ動作スピードの設定	高速 / 低速
102 TOT	タイムアウトタイマーの設定	OFF / 30秒 ~ 10分00秒
103 UNIT OFFSET	気圧計と高度計のオフセット設定	気圧: -500 ~ +500 高度: -500 ~ +500
104 UNIT SELECT	各センサーの単位切り替え	温度: °C / °F 気圧: hPa / mb / mmHg / inch 高度: m / ft
105 VFO MODE	VFOモード時の周波数選択範囲の設定	ALL / BAND
106 VFO SKIP	必要としないVFOモードの非表示設定	(1) SW ~ (9) INFO 2
107 VOLUME MODE	VOL キーの設定	NORMAL / AUTO BACK
108 VOX	VOX機能の設定	OFF / HIGH / LOW
109 VOX DELAY	VOX デレイ時間の設定	0.5秒 ~ 3秒 (0.5秒ステップ)
110 WAVE MONITOR	波形観測モードの選択	ALL / 受信信号 / 送信変調

セットモード項目別一覧表

レピーターに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
AFS機能のON/OFF	74 [RPT_AFS]	ON / OFF
レピーター 方向の設定	75 [RPT_SHIFT]	SIMPLEX / RPT / +RPT
レピーター 幅の設定	76 [RPT_SHIFT_FREQ]	0.000 ~ 5.00 MHz (430MHz帯) ~ 150.000MHz
スケッチ/トーンスケッチ/DCS/ベージャに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
ベル音の作成と登録	12 [BEEP_MELODY]	—
ベル呼び出し音回数の設定	14 [BELL_RINGER]	1回・20回 / 連続
ベル機能の出力設定	15 [BELL_SELECT]	OFF / BELL / ユーザー1 / ユーザー2 / ユーザー3
DCSコードの設定	26 [DCS_CODE]	T04種類 (023)
DCS反転コードの送受信組み合わせ設定	27 [DCS_INVERSION]	RX- 同相 / 反転位相 / 両相 TX- 同相 / 反転位相
ベージャアンサー/バック機能の“ON/OFF”	66 [PAGER_ANSBACK]	ON / OFF
個別コード(受信用)の設定	67 [PAGER_CODERX]	05 74
個別コード(送信用)の設定	68 [PAGER_CODETX]	05 74
空線スケッチの設定	70 [PR_FREQUENCY]	300Hz ~ 1600Hz ~ 3000Hz
FM/AM/RADIO/AM/WIDE FMのスケッチレベル設定	92 [SQL_LEVEL]	レベル0 ~ レベル15 (レベル1) (AM/NFM), レベル0 ~ レベル8 (レベル2) (FM/SSB/AM/FM)
送受信で別々のスケッチタイプの設定	94 [SQL_SPLIT]	ON / OFF
スケッチタイプの設定	95 [SQL_TYPE]	OFF / TONE / TONE SQL / DCS / REV TONE / JR FREQ / PR FREQ / PAGER / MESSAGE 50種類 (88.5Hz)
トーン周波数の設定	99 [TONE_FREQUENCY]	50種類 (88.5Hz)
ARTSに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
ARTS着信時のビープ音設定	5 [ARTS_BEEP]	インジキ / 毎回 / OFF
ARTS動作時のチェック間隔の設定	6 [ARTS_INTERVAL]	15秒 / 25秒
CW D送時のON/OFFおよびID書き込みの設定	21 [CW_ID]	ON / OFF
メモリーに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
メモリーバンクリンクの設定	7 [BANK_LINK]	—
メモリーバンク名前の付与	8 [BANK_NAME]	—
メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定	52 [MEMORY_FAST_STEP]	10CH / 20CH / 50CH / 100CH
メモリーバンクの書き込み	53 [MEMORY_NAME]	—
メモリー書き込み許可/禁止	54 [MEMORY_PROTECT]	ON / OFF
メモリー書き込み時のオートインクノット設定	56 [MEMORY_WRITE]	NEXT / LOWER
スキャンに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
スキャンメモリー/特定メモリーの設定	55 [MEMORY_SKIP]	OFF / SKIP / ONLY
プライオリティ/リポートの設定	71 [PRI_REVERT]	ON / OFF
プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定	72 [PRI_TIME]	0.1秒 ~ 10秒
スキャンストップ時のランプ点灯	81 [SCAN_LAMP]	ON / OFF
スキャンストップホーンの設定	82 [SCAN_RE-START]	0.1秒 ~ 2.0秒 ~ 10秒
スキャン再開直後時間の設定	83 [SCAN_RESUME]	2秒 ~ 5秒 ~ 10秒 / BUSY / HOLD
トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定	100 [TONE_SPOH_MUTE]	ON / OFF
トーンサーチ動作モードの設定	101 [TONE_SPOH_SPEED]	高速 / 低速
SAVEに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
APC動作時間の設定	4 [APO]	OFF / 30分 ~ 12時間
BUSY LEDのON/OFF	18 [BUSY_LED]	ON / OFF
受信セーブ時間の設定	79 [SAVE_RX]	OFF / 0.2秒 ~ 0.9S (0.1秒ステップ), 1.0秒 ~ 10.0秒 (0.5秒ステップ), 15.0秒 ~ 60.0秒 (5秒ステップ)
送信セーブ設定	80 [SAVE_TX]	ON / OFF
メッセージに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
メッセージ機能で使用するIDリストの設定	57 [MESSAGE_LIST]	—
自局IDの選択	58 [MESSAGE_REGISTER]	—
メッセージの登録と選択	59 [MESSAGE_SELECT]	EMERGENCY
WIRESに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
WIRESのFRG方式によるDTMFメモリーの送出設定	40 [INT_MANUAL/AUTO]	手動 / 自動
WIRESのON/OFF	41 [INTERNET]	ON / OFF
WIRESのSRG方式で使用するDTMFコードの設定	42 [INTERNET_CODE]	DTMF 0 ~ DTMF 1 ~ DTMF D / DTMF * / DTMF #
WIRESのFRG方式で使用するコード設定	43 [INTERNET_KEY]	インターネット / インターネットCH / セットモード
圏の機能選択設定	44 [INTERNET_MODE]	SRG / FRG
WIRES方式の設定	45 [INTERNET_SELECT]	—
EAIに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
EAI機能の“ON/OFF”	32 [EAI]	ON / OFF
EAI機能の間欠送信時間設定	33 [EAI_TIME]	1分間隔 ~ 5分間隔 ~ 50分間隔
エマージェンシーモードの設定	34 [EMERGENCY_SELECT]	BEEP&STROBE / BEAM / BEEP&BEAM / CW / BEEP&CW / CWID TX / BEEP / STROBE
DTMFに関する設定項目	セットモード	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値)
DTMF 送出遅延(時間)の設定	28 [DTMF_DELAY]	50ms / 250ms / 450ms / 750ms / 1000ms
DTMFメモリーの送出設定	29 [DTMF_MANUAL/AUTO]	手動 / オートダイヤラ
DTMFオートダイヤラのチャンネル、コード(16桁)の設定	30 [DTMF_SELECT]	—
DTMF 送出時間の設定	31 [DTMF_SPEED]	50ms / 100ms

必要に応じて使う機能

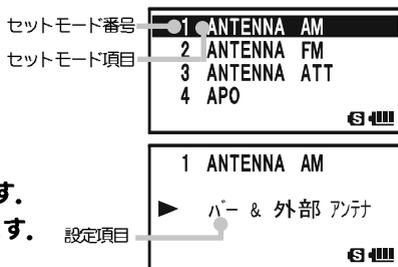
セットモード項目別一覧表 (つづき)

キー/スイッチに関する設定項目 ①Wの長押し時間の設定 ホームチャンネル(HV)キー / リバース(RV)キーの変更設定 ホームチャンネルでのVFO転送の許可/禁止 バックライト、キーの照明時間設定	セットモード 36 [FW KEY HOLD TIME] 39 [HOME REVERSE] 38 [HOME VFO] 46 [LAMP]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) FW 0.3秒 / 0.5秒 / 0.7秒 / 1.0秒 / 1.5秒 HOME / REV 禁止 / 許可 OFF / キー2秒 ~ キー5秒 ~ キー10秒 / 連続 KEY&DIAL / PTT / KEY&PTT DIAL&PTT / ALL / KEY / DIAL MONI / T-CALL OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms NORMAL / AUTO BACK
ロックモードの設定 モータースイッチ / T-CALL スイッチ変更設定 PTT デレイタイムの設定 VOL キーの設定	51 [LOCK] 61 [MONI/T-CALL] 73 [PTT DELAY] 107 [VOLUME MODE]	セットモード 10 [BEEP EDGE] 11 [BEEP LEVEL] 13 [BEEP SELECT]
ビープ音に関する設定項目 (トドメツシまたはOH1通過時の確認音) ビープ音の音量設定 ビープ音の出力設定	セットモード 48 [LCD CONTRAST] 49 [LCD DIMMER] 50 [LED LIGHT]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) ON / OFF レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9 キー&スキャン / キー / OFF
LCD/ライトに関する設定項目 LCDコントラストの設定 LCD/バックライト、デスキー照の輝度設定 白色LEDによる簡易ライトのON/OFF	セットモード 25 [DC VOLTAGE] 65 [OPENING MESSAGE] 84 [SENSOR DISPLAY] 85 [SENSOR INFO] 89 [SMETER SYMBOL] 91 [SPEC ANALYZER] 98 [TIME SET] 103 [UNIT OFF SET] 104 [UNIT SELECT] 110 [WAVE MONITOR]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) NORMAL / OFF / DC / MESSAGE 電圧 / 温度 / WAVE / WAVE / 電圧 / 高度 / OFF 4種類 1回 / 連続 / フルタイム 電圧: -500 ~ +500, 高度: -500 ~ +500 温度: °C / 圧: hPa / mbar / mmHg / inch, 高度: m / ft ALL / 受信信号 / 送信変調
表示に関する設定項目 電源電圧表示 オープニングメッセージの設定 モノバド運用時の表示機能の選択 温度、電圧、高度の音表示 S/P Oメータのシンボル表示の選択 スペクトラムアナライザの動作切り替え VX-8Dに内蔵されている時間機能の設定 気圧計と高度計のオンプット設定 各センサーの単位切り替え 波形観測モードの選択	セットモード 22 [CW LEARNING] 24 [CW TRAINING] 23 [CW FTCH]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) ON / OFF 400 Hz ~ 700 Hz ~ 1000 Hz
CW練習機能の設定項目 CW学習機能 CWトレーニング機能 CWピッチ周波数の設定	セットモード 35 [EXTENDED MENU] 47 [LANGUAGE] 86 [SET MODE CSR] 87 [SET MODE FORMAT]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) ON / OFF JAPANESE : 日本語 / ENGLISH : 英語 9種類のカーソルから選択可能 リスト表示 / 項目表示
セットモードに関する設定項目 セットモードの非表示/表示 セットモード、メニュー等の日本語/英語切り替え セットモードカーソルの設定 セットモードの表示切り替え	セットモード 108 [VOX] 109 [VOX DELAY]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) OFF / HIGH / LOW 0.5秒 ~ 3.0秒
VOXに関する設定項目 VOX機能の設定 VOXデレイ時間の設定	セットモード 1 [ANTENNA AM] 19 [CH ONT] 20 [CLOCK SHIFT] 2 [ANTENNA FM] 3 [ANTENNA ATT] 37 [HALF DEVIATION] 60 [MOGAIN] 62 [MUTE] 63 [OFF TIMER] 64 [ON TIMER] 69 [PASSWORD] 78 [PRX MODE] 88 [SMART SEARCH] 90 [SPEAKER OUT] 9 [Pd.L] 93 [SQL S.METER] 96 [STEP FREQUENCY]	選択できる項目 (太字は工場出荷時の値) バー&外部アンテナ / バーアンテナ ±5 MHz / ±10 MHz / ±50 MHz / ±100 MHz ON / OFF 外部アンテナ / ヤホンアンテナ ON / OFF ON / OFF レベル1 ~ レベル5 ~ レベル9 OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / MUTE 100% OFF / 00:00 ~ 23:59 (1分ステップ) OFF / 00:00 ~ 23:59 (1分ステップ) ON / OFF AUTO / NHM / AM / WFM 1回 / 連続 OFF / SPEAKER ON / OFF OFF / レベル1 ~ レベル9 AUTO / 5 / 8.33 / 9 / 10 / 12.5 / 15 / 20 / 25 / 50 / 100 kHz ステレオ / モノラル 送受信1秒 ~ 送受信2秒 ~ 送受信10秒 (1秒ステップ) / 固定 / 送信1秒 ~ 送信10秒 (1秒ステップ) OFF / 30秒 ~ 10分00秒 (30秒ステップ) ALL / BAND ON / OFF VOX: PTT / VOX HIGH / VOX LOW MODE: MONO / STEREO SAVE: OFF / ON POWR: ON / OFF
その他の設定項目 AMラジオのアンテナ選択 チャンネルカウンターのサーチ極の設定 クロックシフトの設定 FMラジオのアンテナ選択 アッテネーターのON/OFF 送信変調レベルの設定 マイク入力レベルを調整 操作ボタン側に信号入騒音、非操作側の音声をMUTEするかの設定 電源オフタイマー機能の設定 電源オンタイマー機能の設定 パワースト機能のON/OFF 受信モードの切り替え スマートサーチの動作切り替え ヤホンアンテナ使用時のスピーカ音声出力設定 ビーチャンネルロックアウトの選択 Sメータスケルチ (HFスケルチ) のレベル設定 チャンネルステップの設定	97 [STEREO] 77 [PRX AF DUAL] 102 [TOT] 105 [VFO MODE] 106 [VFO SKIP] 17 [BLEETOOTH SET]	FMラジオの受信モードの切り替え ラジオ放送同時受信の設定
タイムアウトタイマーの設定 VFOモード時の周波数選択範囲の設定 必要なVFDの非表示設定 BLEETOOTHの動作設定		

必要に応じて使う機能

セットモードの動作一覧表

- MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL** ツマミをまわして設定したいセットモードを選択します。
- MENU** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして設定項目を選択します。
- MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。



セットモードリセット

セットモード (APRS®/GPSセットモードを含む) の設定だけを、工場出荷時の状態に戻すことができます。ただし、次項目はオールリセット (p. 29) をしない限り、リセットされません。

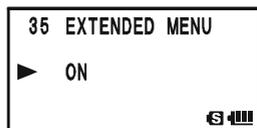
セットモード	8 BANK NAME	20 CLOCK SHIFT	21 CQ/DX	26 DCS CODE	27 DCS INVERSION
	30 DTMF SELECT	34 EMERGENCY SELECT	37 HALF DEVIATION	42 INTERNET CODE	
	45 INTERNET SELECT	52 MEMORY FAST STEP	53 MEMORY NAME	55 MEMORY SKIP	
	59 MESSAGE SELECT	67 PAGER CODE/RX	68 PAGER CODE/TX	75 PPT SHIFT	76 PPT SHIFT FREQ
	95 SQL TYPE	99 TONE FREQUENCY			
APRS®/GPSセットモード	6 APRS MSG	13 BEACON STATUS	15 DIGI PASS	19 MSG FILTER	20 MY CALLSIGN
	21 MY POSITION	22 MY SYMBOL			

- SC-MENU** (BAND) / **DA** (V/M) / **MT** (V/M) の2つのキーを押しながら **Ⓢ** を押して電源をオンにします。
「ピッポッパツ」とビーブ音が鳴ると同時に、キーから指を放してください。
- “SET MODE RESET PUSH F KEY”が表示されたら、**Ⓢ** を押します。
「ピッポッパツ」とビーブ音が鳴ります。
Ⓢ と数字キー以外のキーを押せば、リセットを中止することができます。

■セットモードの非表示設定

使用しないセットモードを非表示にすることができます。

- MENU** を1秒以上押します。
各種の設定を行なえるセットモードになります。
- DIAL** ツマミをまわして「35 EXTENDED MENU」を選択します。
- MENU** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして「ON」に設定します。
- MENU** を短く押します。
- DIAL** ツマミをまわして非表示にしたいセットモードを選択します。
- Ⓢ** を短く押して罟マークを付けます。
もう一度 **Ⓢ** を押すと非表示の設定を解除されます。
例として「37 HALF DEVIATION」を非表示にした場合 (右図参照)。
- 複数セットモードを非表示にしたい場合は手順6., 7.を繰り返します。
- MENU** を1秒以上押してセットモードを終了します。



○ 非表示にしたセットモードを一時的に表示する場合は、上記を参考に、手順4. を「OFF」にします、非表示に戻したい場合は、「ON」にします。

○ 非表示に設定後、完全表示に戻したい場合は、上記を参考に、手順4. を「OFF」にして、手順7. で非表示にしたセットモードを選択してから **DIAL** ツマミをまわして、「OFF」に設定すると非表示は解除されます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

1 ANTENNA AM

AMラジオのアンテナ選択

設定項目:バー & 外部アンテナ/バーアンテナ

工場出荷時:バー & 外部アンテナ

解説:

バー & 外部アンテナ:

上面のアンテナ端子に取り付けてあるホイップアンテナと内蔵バーアンテナに切り替わり、AM放送のバンドを受信します。

バーアンテナ:

AM放送のバンドを受信すると、自動的に内蔵のバーアンテナに切り替わります。一番よく受信できる方向にVX-8Dを向けてください。

2 ANTENNA FM

FMラジオのアンテナ選択

設定項目:外部アンテナ/イヤホンアンテナ

工場出荷時:外部アンテナ

解説:

外部アンテナ:

上面のアンテナ端子に取り付けてあるホイップアンテナに切り替わり、FM放送のバンドを受信します。

イヤホンアンテナ:

FM放送のバンドを受信すると、自動的にイヤホンコードアンテナに切り替わります。イヤホン端子(EAR)からイヤホンを外すと、上面のアンテナ端子に取り付けてあるホイップアンテナに切り替わります。イヤホンのコードはできるだけ伸ばした状態で受信してください。弱い信号を受信したときに、ノイズが入ることがあります。

3 ANTENNA ATT

アッテネーターのON/OFF

設定項目:ON/OFF

工場出荷時:OFF

解説:

アッテネーター(減衰量:10dB)をON/OFFします。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

4 APO

APO動作時間の設定

設定項目:OFF/30分~12時間(30分ステップ)

工場出荷時:OFF

解説:APO(一定時間操作しないと自動的に電源をOFFにする)時間を設定します。APO時間が設定されているときには「」が表示されます。

5 ARTS BEEP

ARTS着信時のビーブ音設定

設定項目:インレンジ/毎回/OFF

工場出荷時:インレンジ

解説:

インレンジ: はじめて交信可能範囲内にいることが確認されたときおよび、はじめて交信可能範囲外になったときだけ、ビーブ音を鳴らします。

毎回: はじめて交信可能範囲内にいることが確認されたときおよび、はじめて交信可能範囲外になったときに、ビーブ音を鳴らします。さらに、ARTS信号を受信したときにも、ビーブ音が鳴ります。

OFF: ARTSのビーブ音をOFFにします。

6 ARTS INTERVAL

ARTS動作時のチェック間隔の設定

設定項目:25秒/15秒

工場出荷時:25秒

解説:ARTS動作時のチェック間隔を設定します。

7 BANK LINK

各メモリーバンクを接続

解説:24種類のバンクからスキャンしたい複数のメモリーバンクを指定して、指定したバンクを一齐にスキャンすることができます。バンクリンクの設定方法は63ページを参照してください。

8 BANK NAME

メモリーバンクに名前を付ける

解説:メモリーバンクに半角の場合最大16桁の名前を付けることができます。名前の付けかたは、46ページを参照してください。

9 BCLO

ビジーチャンネルロックアウトの選択

設定項目:ON/OFF

工場出荷時:OFF

解説:ビジーチャンネルロックアウト(BCLO:すでに使われている周波数での送信禁止)をON/OFFすることができます。

10 BEEP EDGE

バンドエッジまたはCH1通過時の確認音

設定項目:ON/OFF

工場出荷時:OFF

解説:DIAL ツマミでの周波数選択時およびメモリースキャン時、バンドエッジやメモリーチャンネル1を通過したときのビーブ音をON/OFFすることができます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

11 BEEP LEVEL

ビープ音の音量設定

設定項目: レベル1~レベル9

工場出荷時: レベル5

解説: キー操作時などに鳴るビープ音の音量を設定します。

12 BEEP MELODY

ベル音の作成と登録

設定項目: ユーザー1~ユーザー3

工場出荷時: ユーザー1

解説: トーンスケルチ、DCS、新ページャ機能を使用して待ち受け時に好みのベル音で呼び出されたことを確認することができます。好みのベル音を作成して3種類登録することができます。

作成したビープ音をセットモードの『15 BELL SELECT』で「ユーザー1~3」を選択すると、好みのベル音で鳴らすことができます。

ベル音の作成方法は、153ページを参照してください。

13 BEEP SELECT

ビープ音の出力設定

設定項目: OFF/キー & スキャン / キー

工場出荷時: キー & スキャン

解説:

OFF: ビープ音をOFFにすることができます。

キー & スキャン: キー操作時やスキャン停止時にビープ音を鳴らします。

キー: キー操作時にビープ音を鳴らします。

14 BELL RINGER

ベル呼び出し音回数の設定

設定項目: 1回~20回/連続

工場出荷時: 1回

解説: ベル機能の呼び出し音の回数を設定します。

15 BELL SELECT

ベル機能の出力設定

設定項目: OFF/BELL/ユーザー1~3

工場出荷時: OFF

解説: ベル機能の呼び出し音の出力を設定します。ベル機能が設定されているときには「」が表示されます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: ベル機能をOFFにすることができます。

BELL: ベル機能をONにすることができます。

ユーザー1~3: 『12 BEEP MELODY』で作成して登録した好みのベル音を選択することができます。

16 BLUETOOTH P-CODE

Bluetoothのピンコード設定

設定項目: 0000~9999

工場出荷時: 6111

解説: ピンコードを任意のピンコードに設定することができます。

17 BLUETOOTH SET

Bluetoothの動作設定

設定項目: VOX: PTT/VOX HIGH/VOX LOW/OFF

MODE: MONO/STEREO

SAVE: OFF/ON

POWER: OFF/ON

工場出荷時: VOX: PTT

MODE: MONO

SAVE: OFF

POWER: ON

解説:

VOX: PTT:

Bluetooth®ヘッドセット“BH+2A”または“BH+1A”のPTTスイッチで送受信の切り替えを行います。

VOX HIGH:

VOX*感度“HIGH”(高感度)で**Bluetooth**®を動作させます。

VOX LOW:

VOX*感度“LOW”(低感度)で**Bluetooth**®を動作させます。

OFF:

Bluetooth®機能が“OFF”になり、VX-8D本体のマイク(または接続したマイクロホン)で送受信の切り替えを行います。

※: VOXとは音声により送受信を自動で切り替える機能です。

MODE: MONO:

“BH+2A”を使用する場合、または“BH+1A”をモノラルで使用する場合に切り替えます。

STEREO: “BH+1A”をステレオで使用する場合に切り替えます。

SAVE: OFF:

“BH+2A”または“BH+1A”のバッテリーセーブ機能を“OFF”にします。

ON:

約20秒間以上、何も操作を行わなかったり、話をしなかったり、相手の信号を受信しなかった場合は、バッテリーセーブ機能が動作します。

POWER: OFF:

Bluetooth®ユニット“BU-2”を使用しないときは電源を“OFF”にします。

ON:

Bluetooth®ユニット“BU-2”を使用するときは電源を“ON”にします。

セットモードの動作一覧表(つづき)

18 BUSY LED

BUSY LEDのON/OFF

設定項目:ON / OFF

工場出荷時:ON

解説:受信時に点灯するBUSYインジケータ(BUSY LED) をOFFにすることができます。

19 CH COUNTER

チャンネルカウンターのサーチ幅の設定

設定項目:±5MHz/±10MHz/±50MHz/±100MHz

工場出荷時:±5MHz

解説:チャンネルカウンターのサーチ幅を選択します。

20 CLOCK SHIFT

クロックシフトの設定

設定項目:ON / OFF

工場出荷時:OFF

解説:マイコンのクロックを高調波による内部スプリアスとして受信された時は“ON”にします。通常は“OFF”で使用してください。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

21 CW ID

CW ID送出的ON/OFFおよびID書き込みの設定

設定項目:ON / OFF

工場出荷時:OFF

解説:ARTS機能、エマージェンシー機能、EAI機能を使用しているときに動作する、CWによるID送出手を設定します。CWIDは最大16文字まで送出することができます。

CW IDの設定方法は145ページを参照してください。

CWでIDを送出するためには、第三級アマチュア無線技士以上の資格とF2Aの電波型式の免許が必要です。

22 CW LEARNING

CW学習機能

解説:CW学習機能の設定を行います。

モールス符号を一文字づつ5回繰り返し返してスピーカーで鳴らし、その音に合わせてTX/BUSYインジケータが点滅しさらに、そのモールス符号をディスプレイに表示させることができます。モールス符号は英文や数字だけでなく和文も対応しています。CW学習機能については162ページを参照してください。

23 CW PITCH

CWピッチ周波数の設定

設定項目:400Hz~1000Hz

工場出荷時:700Hz

解説:CW学習機能やCWトレーニング機能で聴こえるモールス符号の音を好みの音(サイドトーン)に変えることができます。

24 CW TRAINING

CWトレーニング機能

解説:CWトレーニング機能の設定を行います。ファンタムなモールス符号をスピーカーで鳴らし、その音に合わせてTX/BUSYインジケータが点滅しさらに、そのモールス符号をディスプレイに表示させることができます。モールス符号は英文や数字だけでなく和文も対応しています。CWトレーニング機能については172ページを参照してください。

25 DC VOLTAGE

電源電圧表示

解説:ディスプレイに電源電圧を表示します。

26 DCS CODE

DCSコードの設定

設定項目:DCS 023~DCS 754 (104種類)

工場出荷時:DCS 023

解説:104種類のコードから選択することができます。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

選択できるDCSコード										
023	054	125	165	245	274	356	445	506	627	732
025	065	131	172	246	306	364	446	516	631	734
026	071	132	174	251	311	365	452	523	632	743
031	072	134	205	252	315	371	454	526	654	754
032	073	143	212	255	325	411	455	532	662	-
036	074	145	223	261	331	412	462	546	664	-
043	114	152	225	263	332	413	464	565	703	-
047	115	155	226	265	343	423	465	606	712	-
051	116	156	243	266	346	431	466	612	723	-
053	122	162	244	271	351	432	503	624	731	-

セットモードの動作一覧表(つづき)

27 DCS INVERSION

DCS反転コードの送受信組み合わせ設定

設定項目: 受信-同相, 送信-同相 /
受信-反転位相, 送信-同相 /
受信-両相, 送信-同相 /
受信-同相, 送信-反転位相 /
受信-反転位相, 送信-反転位相 /
受信-両相, 送信-反転位相

工場出荷時: R-N-T-N

解説: 位相の反転したDCSコードを受信したり送信することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

受信-同相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードは受信しません。
位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-反転位相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードのみ受信します。
位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-両相, 送信-同相:

位相反転したDCSコードと位相反転して
いないDCSコードを受信します。
位相反転したDCSコードは送信しません。

受信-同相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードは受信しません。
位相反転したDCSコードを送信します。

受信-反転位相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードを受信します。
位相反転したDCSコードを送信します。

受信-両相, 送信-反転位相:

位相反転したDCSコードと位相反転して
いないDCSコードを受信します。
位相反転したDCSコードを送信します。

28 DTMF DELAY

DTMF送出ディレイ時間の設定

設定項目: 50ms/250ms/450ms/750ms/1000ms

工場出荷時: 450ms

解説: キーを押してから実際にDTMFを送出する時間(ディレイタイム)を設定することができます。

29 DTMF MANUAL/AUTO

DTMFメモリーの送出設定

設定項目: 手動/オートダイヤラ

工場出荷時: 手動

解説:

手動: マニュアルでDTMFを送出します。
送出方法は144ページを参照してください。

オートダイヤラ: ディスプレイに“”が表示され
ます。セットモードの『30 DTMF
SELECT』により、DTMFメモリー
(10チャンネル)に登録してあり、
オートでDTMFを送出します。
送出方法は144ページを参照して
ください。

30 DTMF SELECT

DTMFオートダイヤラのチャンネル、 コード(16桁)の設定

設定項目: CH1~CH10

工場出荷時: CH1

解説: DTMFコード(16桁以内)をDTMFメモリー
CH1~CH10に登録します。

登録方法は142ページを参照してください。

31 DTMF SPEED

DTMF送出時間の設定

設定項目: 50ms/100ms

工場出荷時: 50ms

解説: DTMF信号を送出する時間(速度)を設定する
ことができます。

32 EAI

EAI機能の“ON/OFF”

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: EAI機能をON/OFFすることができます。

33 EAI TIME

EAI機能の間欠送信時間設定

設定項目: 1分間隔~5分間隔~50分間隔

工場出荷時: 5分間隔

解説: EAI機能の間欠送信時間を設定します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

34 EMERGENCY SELECT

エマージェンシーモードの設定

設定項目: BEEP&STROBE / BEAM / BEEP&BEAM /
CW / BEEP&CW / CW-ID TX /
BEEP / STROBE

工場出荷時: BEEP&STROBE

解説: エマージェンシー機能動作時の、ピープ音と
ストロボ動作の設定を替えることができます。

“CW”または“BP+CW”を選択すると「SOS」を点滅
しますが、このCWのメッセージ内容を変更するこ
とができます。メッセージ内容の変更方法は下記を
参照してください。

BEEP&STROBE: ピープを鳴らしながら、BUSY/TX
インジケータが白色でストロボ
発光します。

BEAM: BUSY/TXインジケータが白色で
点灯します。

BEEP&BEAM: ピープを鳴らしながら、BUSY/TX
インジケータが白色で点灯し
ます。

CW: BUSY/TXインジケータが白色で
「SOS」と点滅します。

BEEP&CW: ピープ音が「SOS」と鳴り、さらに音
に合わせてBUSY/TXインジケ
ータが白色で点滅します。

CW-ID TX: 1分毎にCWIDを送信し、同時に
BUSY/TXインジケータが白色で
点滅します。
CWIDの登録方法は145ページを参
照してください。

BEEP: ピープ音のみ鳴らします。

STROBE: BUSY/TXインジケータが白色で
ストロボ発光します。

CWメッセージ内容の変更方法

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの「34 EMERGENCY SELECT」を選
択します。
3. **[MENU]**を押します。
4. DIALツマミをまわして「CW」または「BEEP&CW」
を選択します。
5. **[SPS 501TPMODE]**を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選
択します。
 - ・ あらかじめ“SOS”が入力されています。
 - ・ テンキーからも入力が可能です。
7. **[SPS 501TPMODE]**を押してカーソルを移動します。
8. 手順5. 6を繰り返しメッセージを入力します
(最大16文字)。
9. **[MENU]**を1秒以上押します。
メッセージ内容がメモリーされ、もとの表示に
戻ります。

文字一覧表は、145ページの「CW ID機能」を参照して
ください。

35 EXTENDED MENU

セットモードの非表示/表示

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説

OFF: 全てのセットモードを表示します。

ON: 非表示にしたいセットモードを非表示にし
ます。

セットモードの非表示設定方法

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
 2. セットモードの「35 EXTENDED MENU」を選
択します。
 3. **[MENU]**を押します。
 4. DIALツマミをまわして「ON」に設定します。
 5. **[MENU]**を押します。
 6. DIALツマミをまわして非表示にしたいセッ
トモードを選択します。
 7. **[GW]**を押します。
ディスプレイの左上に*アイコンが点灯し
ます。
もう一度**[GW]**を押すと解除されます。
 8. 複数セットモードを非表示にしたい場合は、手
順6. 7を繰り返し非表示にしたいセットモード
を選択します。
 9. **[GW]**を1秒以上押します。
非表示にしたいセットモードが設定され、も
との表示に戻ります。
- 非表示にしたセットモードを一時的に表示す
る場合は、手順4を「OFF」にします。非表示に戻
したい場合は、「ON」にします。
- 非表示に設定後、全て表示に戻したい場合は、手
順4. を「OFF」にして、手順7. で非表示にした
セットモードを選択してから**[GW]**を押すと、
ディスプレイの左上の*アイコンが消灯され、
非表示は解除されます。

36 FW-KEY HOLD TIME

[GW]の長押し時間の設定

選択できる項目: FW0.3秒/FW0.5秒/FW0.7秒/
FW1.0秒/FW1.5秒

初期値: FW0.5秒

解説: **[GW]**を長押しするスイッチの時間(押し続け
る時間)を変更することができます。
セットモードに設定するときに**[GW]**を約0.5秒間長
く押しますが、この時間を0.5秒以外に0.3秒、0.7秒、
1.0秒、1.5秒の中から好みの時間に変えることが
できます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

37 HALF DEVIATION

送信変調レベルの設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: 送信変調度が通常の約半分になります。通常は“OFF”のままで使用してください。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

38 HOME VFO

ホームチャンネルのVFO転送の許可/禁止

設定項目: 許可 / 禁止

工場出荷時: 許可

解説:

許可: ホームチャンネルからDIALツマミをまわすとVFOに転送されます。

禁止: ホームチャンネルからDIALツマミをまわしてもVFO転送はされません。

39 HOME/REVERSE

EMG R/H (HM/RV) ホームチャンネル (HM) キー/リバース (RV) キーの変更設定

設定項目: HOME / REV

工場出荷時: HOME

解説:

HOME: ホームチャンネルの呼び出しとして動作します。

REV: リバース設定として動作します。

40 INT MANUAL/AUTO

WIRESのFRG方式によるDTMFメモリーの送出設定

設定項目: 手動 / 自動

工場出荷時: 手動

解説:

手動: マニュアルでDTMFコードを送出します。

送出方法は144ページを参照してください。

自動: セットモード『45 INTERNET SELECT』にて、よく使用するアクセスコードを1~10チャンネルのWIRES Dメモリーに登録しておく、直接テンキーを押すとオートでアクセスコードを送出することができます。

例として1チャンネルは^{STEP}1のキー、10チャンネルは^{RADIO}0のキーを押します。

送出方法は36ページを参照してください。

41 INTERNET

WIRESのON/OFF

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: ONにするとWIRESアクセス機能として動作します。セットモード『43 INTERNET KEY』の「INTERNET」と同じ動作をします。『43 INTERNET KEY』で「INTERNET」以外の機能を^{TXPO}へ割り付けしたときに、このセットモードでWIRESアクセス機能をON/OFFすることができます。ONにするとディスプレイ右 upper には^{TXPO}アイコンが点灯します。

なお、メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

42 INTERNET CODE

インターネットモードで使用するDTMFコードの設定

設定項目: DTMF 0~DTMF 9, DTMF A~DTMF D
DTMF *, DTMF #

工場出荷時: DTMF 1

解説:

WIRESのSRG方式で使用するDTMFコードを指定します。インターネットモードの時にPTTを押すと、ここで指定したDTMFコードが送出されます。

43 INTERNET KEY

^{TXPO}の機能割付設定

設定項目: インターネット/インターネットCH/
セットモード

工場出荷時: インターネット

解説: ^{TXPO}へWIRESインターネット機能以外の機能を割り付けることができます。

インターネット: WIRESインターネット機能として動作します。FRG方式やSRG方式のWIRES局をアクセスするときにあらかじめONにしておきます。ONにするとディスプレイ右 upper には^{TXPO}アイコンが点灯します。^{TXPO}を押しながらDIALツマミをまわすとアクセスコードを送出します。

インターネットCH: 上記の「INTERNET」と同様、WIRESインターネット機能として動作します。アクセスコードの送出方法は^{TXPO}を短く押してからDIALツマミをまわします。

セットモード: ^{TXPO}を押したときに、よく使うセットモードをショートカットキーとして割り付けることができます。

ショートカットの割り付け方は169ページを参照してください。

必要に応じて使う機能

セットモードの動作一覧表(つづき)

44 INTERNET MODE

WiRES方式の設定

設定項目: SRG/FRG

工場出荷時: FRG

解説:

SRG: WiRESのSRG方式を使用するときに選択します。

FRG: WiRESのFRG方式を使用するときに選択します。

45 INTERNET SELECT

WiRESのFRG方式で使用する場合の設定

設定項目: F 1ch~F 64ch

工場出荷時: F 1

解説 インターネットモード時、送信開始時に出力されるコード(最大8桁)を設定することができます。また、各コードに最大6文字の名前を付けることができます。

コードの設定や名前の付け方は33ページを参照してください。

46 LAMP

バックライト、キーの照明時間設定

設定項目: キー2秒~キー10秒/連続/OFF

工場出荷時: キー5秒

解説 ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明時間を設定します。

キー2秒~キー10秒: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明時間を2秒~10秒の間で1秒間隔に選択することができます。

連続: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明を常時点灯します。

OFF: ディスプレイのバックライトとキーパッドの照明を消灯します。

47 LANGUAGE

セットモードメニュー等の日本語/英語切り替え

設定項目: JAPANESE: 日本語 / ENGLISH: 英語

工場出荷時: JAPANESE: 日本語

解説: セットモードでの表示言語を切り替えます。

48 LCD CONTRAST

ディスプレイ(LCD)のコントラスト調整

設定項目: レベル12~レベル32

工場出荷時: レベル24

解説: LCDのコントラストを調節します。

49 LCD DIMMER

ディスプレイ(LCD)のバックライト、テンキー照
明の輝度調整

設定項目: レベル1~レベル4

工場出荷時: レベル4

解説: LCDのバックライト、テンキー照明輝度を調節します。

50 LED LIGHT

白色LEDによる簡易ライトのON/OFF

設定項目: -

工場出荷時: -

解説 『50 LED LIGHT』を選択するとBUSY/TXインジケーターのLEDが白色に光り、簡易ライトとして動作します。

セットモード『41 INTERNET』を「OFF」に設定し、『50 LED LIGHT』をショートカットに割り付けておくと、簡単に簡易ライトを呼び出すことができます。

51 LOCK

ロックモードの設定

設定項目: KEY / DIAL / KEY&DIAL / PTT /
KEY&PTT / DIAL&PTT / ALL

工場出荷時: KEY&DIAL

解説 ロックする対象を設定します。

KEY: 前面の各キーをロックします。ただし[MENU]はロックの対象外です。また[Ⓢ]を短く押して、ロックしたりロックを解除する操作も対象外です。

DIAL: DIALツマミをロックします。

KEY&DIAL: 前面の各キーとDIALツマミをロックします。ただし[MENU]はロックの対象外です。また[Ⓢ]を短く押して、ロックしたりロックを解除する操作も対象外です。

PTT: PTTスイッチをロックします。

KEY&PTT: 前面の各キーとPTTスイッチをロックします。

DIAL&PTT: DIALツマミとPTTスイッチをロックします。

ALL: DIALツマミPTTスイッチ前面の各キーをロックします。

52 MEMORY FAST STEP

メモリー呼び出し時のメモリーチャンネルステップ設定

設定項目: 10CH/20CH/50CH/100CH

工場出荷時: 10CH

解説: [QW](ファンクション)を短く押してDIALツマミをまわすと、指定したチャンネルステップ(工場出荷時では10CHステップ)でメモリーを呼び出すことができます。メモリー数が多いときに使用すると大変便利な機能です。

セットモードの動作一覧表(つづき)

53 MEMORY NAME

メモリータグの書き込み

解説:メモリーチャンネルに最大16桁の名前(メモリータグ)をつけることができます。名前のつけかたは、42ページを参照してください。

54 MEMORY PROTECT

メモリー書き込み許可/禁止

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説:ONになるとメモリー書き込みを禁止します。誤操作でメモリー書き込みや、上書きを防止することができます。

55 MEMORY SKIP

スキップメモリー/指定メモリーの設定

設定項目: OFF/SKIP/ONLY

工場出荷時: OFF

解説:スキップメモリーまたは指定メモリーの設定を行います。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: スキップメモリーまたは指定メモリーをOFFにします。

SKIP: メモリースキャン時にスキャンする必要のないメモリーチャンネルを指定します。

ONLY: 指定のメモリーチャンネルだけをスキャンしたいときに指定します。

56 MEMORY WRITE

メモリー書き込み時のオートインクリメント設定

設定項目: NEXT/ LOWER

工場出荷時: NEXT

解説:

NEXT: 以前書き込んだメモリー番号の次の番号を表示します。メモリーチャンネルを最小チャンネルから順番にメモリーしてないときや、メモリーバンクを利用してメモリーしてある場合に便利です。

LOWER: メモリーを最小チャンネルから順番に書き込んだとき、未書き込みの最小チャンネルを表示します。

57 MESSAGE LIST

メッセージ機能で使用するIDリストの設定

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:あらかじめメッセージ機能を使用する場合は、メッセージ交換をするメンバーのIDを登録する必要があります。メンバーのIDは自分を含めて最大20人で最大8文字登録することができます。

58 MESSAGE REGISTER

時局IDの選択

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:メッセージを送る際に、相手局に自分のIDを表示させるための設定を行います。

最初、セットモードの『57 MESSAGE LIST』で自分を含めてメンバーIDを登録してから行ってください。

59 MESSAGE SELECT

メッセージの登録と選択

設定項目: 1ch~20ch

工場出荷時: 1ch

解説:メッセージの登録と、相手局に送るメッセージの選択をすることができます。メッセージは最大16文字で最大20種類の登録/選択をすることができます。

メッセージの登録方法は下記を参照してください。

メッセージの登録方法

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『59 MESSAGE SELECT』を選択します。
3. **[MENU]**を押します。
4. DIALツマミをまわして「1ch」~「20ch」のいずれかを選択します。
5. **[MODE]**を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選択します。
 - ・ テンキーからも入力が可能です。
7. **[SPS 50 TRF] [MODE]**を押してカーソルを移動します。
8. 手順6, 7を繰り返してメッセージを入力します(最大16文字)。
9. **[MENU]**を0.5秒以上押します。
メッセージ内容がメモリーされ、もとの表示に戻ります。

文字一覧表は、138ページの「メモリータグを使う」を参照してください。

セットモードの動作一覧表(つづき)

60 MIC GAIN

マイク入力レベルを調整

設定項目: レベル1~レベル9

工場出荷時: レベル5

解説: マイクの感度を設定することができます。数字が大きくなるほど、高感度になります。

61 MONI/T-CALL

モニタースイッチ/T-CALLスイッチ変更設定

設定項目: MONI/T-CALL

工場出荷時: MONI

解説:

MONI: モニターとして動作します。

T-CALL: トーンコールとして動作します。

62 MUTE

操作バンド側に信号入感時、非操作側の音声をMUTEするかを設定

設定項目: OFF / MUTE 30% / MUTE 50% / MUTE 100%

工場出荷時: OFF

解説: 操作/バンド側に信号が入感しているときに、非操作側の音声をMUTEすることができます。MUTEのレベルは5段階で%が大きくなるほど、非操作側のMUTEが大きくなります。

63 OFF TIMER

電源オフタイマー機能の設定

設定項目: OFF/00:00~23:59 ON

工場出荷時: OFF

解説: 電源をオンした状態で、指定した時間に電源を“オフ”にすることができます。

64 ON TIMER

電源オンタイマー機能の設定

設定項目: OFF/00:00~23:59 ON

工場出荷時: OFF

解説: 電源をオフにすると、指定した時間に電源を“オン”にすることができます。

65 OPENING MESSAGE

オープニングメッセージの設定

設定項目: NORMAL / OFF / DC / MESSAGE

工場出荷時: NORMAL

解説: 電源を入れたときに約3秒間ディスプレイに電源電圧やメッセージを表示します。

NORMAL: 「STANDARD」を表示します。

OFF: 電源電圧またはメッセージの表示をOFFにします。

DC: 電源電圧を表示します。

MESSAGE: 半角の場合、最大16文字のメッセージを表示することができます。メッセージの登録は下記の方法で行なってください。工場出荷時は「STANDARD」を表示します。

メッセージの登録方法

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『65 OPENING MESSAGE』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. DIALツマミをまわして「MESSAGE」を選択します。
5. **[SPS 50 TYP (MODE)]**を押します。
6. DIALツマミをまわしてメッセージの文字を選択します。
 - ・メッセージの文字は、大文字欧文、小文字欧文、記号、カタカナ、数字、漢字です。
 - ・テンキーからも入力が可能です。
7. **[SPS 50 TYP (MODE)]**を押してカーソルを移動します。
8. 手順6、7を繰り返しメッセージを入力します(最大16文字)。
9. **[MENU]**を1秒以上押します。メッセージ内容が登録され、もとの表示に戻ります。

文字一覧表は、204ページを参照してください。

セットモードの動作一覧表(つづき)

66 PAGER ANS-BACK

ページャーアンサーバック機能の“ON/OFF”

設定項目: OFF / ON

工場出荷時: OFF

解説: 新ページャー機能動作時、呼び出しを受けたときに、自動的に約2.5秒間送信することができます。

67 PAGER CODE-RX

個別コード (受信用) の設定

設定項目: 01~50

工場出荷時: 05 47

解説: 新ページャー機能やEA機能を使用する際の個別コードを設定します。

68 PAGER CODE-TX

個別コード (送信用) の設定

設定項目: 01~50

工場出荷時: 05 47

解説: 新ページャー機能やEA機能を使用する際、呼び出したい相手局の個別コードを設定します。

69 PASSWORD

パスワード機能の“ON/OFF”

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: OFF

解説: 正しいパスワードを入力しないと、電源をオンにすることができない“パスワード機能”をON/OFFします。

詳細は、157ページを参照してください。

70 PR FREQUENCY

空線スケルチの設定

設定項目: 300Hz~3000Hz

工場出荷時: 1600Hz

解説: 空線信号の周波数を100Hzステップで300Hz~3000Hzまで設定することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

周波数の設定方法は51ページを参照してください。

71 PRI REVERT

プライオリティ・リバートの設定

設定項目: OFF / ON

工場出荷時: OFF

解説:

OFF: プライオリティリバートの機能がOFFになります。

ON: デュアルレシーブ時にPTTスイッチを押すと、瞬時にプライオリティチャンネルに切り替わりプライオリティチャンネルで送信します。

72 PRI TIME

プライオリティチャンネル監視間隔時間の設定

設定項目: 0.1秒~10秒

工場出荷時: 5.0秒

解説: プライオリティチャンネルの監視間隔時間を設定することができます。

73 PTT DELAY

PTTディレイタイムの設定

設定項目: OFF / 20ms / 50ms / 100ms / 200ms

工場出荷時: OFF

解説: PTTスイッチを押してから、実際に電波が送信されるまでの時間を設定します。

74 RPT ARS

ARS機能のON/OFF

設定項目: ON / OFF

工場出荷時: ON

解説: ARS(レピータの周波数に合わせるだけで自動的にレピータを使える状態になる)機能の動作をON/OFFすることができます。

75 RPT SHIFT

レピータシフト方向の設定

設定項目: -RPT / +RPT / SIMPLEX

工場出荷時: -RPT

(439.000~439.980MHz: ARSがON時)

解説: レピータのシフト方向を設定します。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

-RPT: マイナス方向

+RPT: プラス方向

SIMPLEX: シフトなし

76 RPT SHIFT FREQ

レピータシフト幅の設定

設定項目: 0.000MHz~150.000MHz

工場出荷時: 5.000MHz(430MHz帯)

解説: レピータシフト幅を設定します。430MHz帯以外の周波数帯は0MHzに設定してあります。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

77 RX AF DUAL

ラジオ放送同時受信の設定

設定項目: 送受信 1秒～送受信 10秒 / 固定 / 送信 1秒～送信 10秒

工場出荷時: 送受信2秒

解説:

送受信 1秒～送受信 10秒:

“AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い、“受信信号が無くなった後”あるいは“送信を終了後”にラジオ受信を再開する時間を設定します。例えば5秒に設定すると、受信(または送信)が終了してから5秒後にラジオ受信を再開します。

固定: “AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い、信号を受信するとその周波数を受信し続けます。

送信 1秒～送信 10秒:

“AF-DUAL 受信機能”でラジオ放送を受信中、2波のアマチュアバンド(Aバンド、Bバンド)で待ち受け受信を行い相手と交信して、送信が終了後相手局がない場合、先に送信すると設定した時間でラジオ受信に戻ります。先に信号を受信したときは、“AF-DUAL 受信機能”を解除してその周波数を受信し続けます。

78 RX MODE

受信モードの切り替え

設定項目: AUTO/NFM/AM/WFM

工場出荷時: AUTO

解説: モード(電波型式)を変更することができます。AUTOに設定しておくとも自動的周波数帯に適したモードに切り替わります(下記参照)。メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

周波数帯	モード	周波数帯	モード
0.5~1.8VHz	AM	161.5~162.9VHz	NFM
1.8~2.9VHz	AM	162.9~174MHz	NFM
2.9~3.0MHz	NFM	174~222MHz	WFM
3.0~35.53MHz	NFM	222~250.4MHz	AM
35.53~51MHz	AM	250.4~253MHz	NFM
51~54MHz	NFM	276~300MHz	NFM
54~76MHz	NFM	300~336MHz	AM
76~90MHz	WFM	336~420MHz	NFM
90~108MHz	WFM	420~430MHz	NFM
108~137MHz	AM	430~440MHz	NFM
137~142MHz	NFM	440~459.5MHz	NFM
142~148MHz	NFM	459.5~464.8MHz	WFM
148~156MHz	NFM	464.8~470MHz	FM
156~157.45MHz	NFM	470~770MHz	WFM
157.45~160.6MHz	NFM	770~915MHz	NFM
160.6~160.975MHz	NFM	961~999MHz	WFM
160.975~161.9MHz	NFM	—	—

周波数帯は、下限を含み上限を含まず。

79 SAVE RX

受信セーブ時間の設定

設定項目: 0.2秒(1:1)～60.0秒(1:50)/OFF

工場出荷時:0.2秒

解説: 受信セーブがオンのときは、“S”が点滅します(信号受信中は点灯)。

0.2秒(1:1): 0.2秒受信して0.2秒セーブ
～(0.1秒単位)

1.0秒(1:5): 0.2秒受信して1.0秒セーブ
～(0.5秒単位)

10.0秒(1:50): 0.2秒受信して10.0秒セーブ
～(5秒単位)

60.0秒(1:300): 0.2秒受信して60.0秒セーブ
OFF: 受信セーブしません(連続受信)。

80 SAVE TX

送信セーブ設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: OFF

解説: 送信セーブ機能をONにすると、相手局の信号強度がフルスケールの場合、送信出力がハイパワーのときにはLOWに下がります。

81 SCAN LAMP

スキャンストップ時のランプ点灯

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: ON

解説: スキャンストップ時の照明の点灯をON/OFFすることができます。

82 SCAN RE-START

スキャン再開開始時間の設定

設定項目: 0.1秒～1.0秒(0.1秒単位) / 1.0秒～10.0秒(0.5秒単位)

工場出荷時: 2.0秒

解説: スキャンがストップ中に信号が無くなってからスキャンを再度開始するときのスタート時間を設定します。

83 SCAN RESUME

スキャンストップモードの設定

設定項目: 2秒～10秒 / BUSY / HOLD

工場出荷時: 5.0秒

解説:

2秒～10秒:

設定した時間を受信した後に、スキャンを再開します。

例えば、5秒に設定した場合は、5秒受信した後、スキャンを再開します。

BUSY: 信号がなくなるまで受信し、信号がなくなるとスキャンを再開します。

HOLD: スキャンを中止して、その周波数を受信し続けます。

セットモードの動作一覧表(つづき)

84 SENSOR DISPLAY

モノバンド運用時の表示機能選択

設定項目: 電圧/温度/WAVE/気圧/高度/OFF

工場出荷時: 電圧

解説:

電圧: 電源の電圧を表示します。

温度: VX-8Dの内部温度を示します。

WAVE: 受信時は受信信号, 送信時は送信変調を表示します。

気圧: 気圧を表示します。

高度: 高度を表示します。

OFF: 非表示にします。

85 SENSOR INFO

温度・気圧・高度一斉表示機能

解説: 温度・気圧・高度を一斉に表示します。

温度: VX-8Dの内部温度を示します。

気圧: 気圧を表示します。

高度: 高度を表示します。

86 SET MODE CSR

カーソルの選択

設定項目:  /  /  /  /  /

 /  /  /  / 

工場出荷時: 

解説:

9種類のカーソルから1つ選択することができます。

87 SET MODE FORMAT

セットモードの表示切り替え

設定項目: リスト表示 / 項目表示

工場出荷時: リスト表示

解説:

リスト表示: リスト形式で表示します。

項目表示: 1件ごとの項目形式で表示します。

88 SMART SEARCH

スマートサーチの動作切り替え

設定項目: 1回/連続

工場出荷時: 1回

解説:

1回: 1回だけサーチします。

連続: スマートメモリーがいっぱいになるまで、繰り返しサーチします。

89 S-METER SYMBOL

S/POメーターの表示パターンの選択

設定項目:    



工場出荷時: 

解説: S/POメーターの表示パターンを選択します。

90 SPEAKER OUT

イヤホンアンテナ使用時のスピーカ音声出力設定

設定項目: AUTO/SPEAKER

工場出荷時: AUTO

解説: イヤホンアンテナ使用時のスピーカ音声出力を設定します。イヤホンアンテナの切り替えは、メニューモードの『2 ANTENNA FM』を参照してください。

AUTO: イヤホンアンテナ使用時に、イヤホンから音声を出力し、スピーカからは出力されません。

SPEAKER: イヤホンアンテナ使用時に、イヤホンから音は出ず、スピーカのみ音声を出力します。

91 SPEC-ANALYZER

スペアナの動作切り替え

設定項目: 1回 / 連続 / フルタイム

工場出荷時: 1回

解説:

1回: 1回スキャンして、その結果を表示します。一度スキャンを行った後、スキャンの使用状況をグラフで表します。中心周波数に信号があった場合は、その音声を出力します。DIALをまわすと再度スキャンを開始します。

連続: 繰り返しスキャンして、最新の結果を表示します。

フルタイム: 繰り返しスキャンして、最新の結果を表示しながら音声出力を出すことができます。

92 SQL LEVEL

FM/AM/RADIO(AM,WIDE FM)の

スケルチレベル設定

設定項目: FM/AM: レベル 0~レベル 15

RADIO(AM,WIDE FM):

レベル 0~レベル 8

工場出荷時: FM/AM: レベル 1

WIDE FM, RADIO(AM,WIDE FM): レベル 2

解説: 受信しているモードのスケルチレベルを設定します。数字が大きくなるほどスケルチが深くなります。

セットモードの動作一覧表(つづき)

93 SQL S-METER

Sメータースケルチ(RFスケルチ)のレベル設定

設定項目: OFF/レベル1～レベル9

工場出荷時: OFF

解説: 設定値以上の信号を受信した場合のみ、音声を出発することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: Sメータースケルチ機能が“OFF”になります。

レベル 1:  (Sメーター“1”が点滅)
Sメーターが“1”以上の信号の音声を出力します。

レベル 2:  (Sメーター“2”が点滅)
Sメーターが“2”以上の信号の音声を出力します。

レベル 3:  (Sメーター“3”が点滅)
Sメーターが“3”以上の信号の音声を出力します。

レベル 4:  (Sメーター“4”が点滅)
Sメーターが“4”以上の信号の音声を出力します。

レベル 5:  (Sメーター“5”が点滅)
Sメーターが“5”以上の信号の音声を出力します。

レベル 6:  (Sメーター“6”が点滅)
Sメーターが“6”以上の信号の音声を出力します。

レベル 7:  (Sメーター“7”が点滅)
Sメーターが“7”以上の信号の音声を出力します。

レベル 8:  (Sメーター“8”が点滅)
Sメーターが“8”以上の信号の音声を出力します。

レベル 9:  (Sメーター“9”が点滅)
Sメーターが“9”以上の信号の音声を出力します。

94 SQL SPLIT

送受信で別々のスケルチタイプの設定

設定項目: OFF/ON

工場出荷時: OFF

解説: 送信と受信で別々のスケルチタイプを設定することができます。ONに設定すると、セットモードの『95 SQL TYPE』にD CODE/T DCS/D TONEの設定項目が追加されます。

D CD: 送信時のみDCSコードを送出します (“DC”が点灯)。

TONE-DCS: 送信時にトーン信号を送出し、受信時にDCSコードで待ち受けをします (“T-D”が点灯)。

D CD-TONE SQL: 送信時にDCSコードを送出し、受信時にトーン信号で待ち受けをします (“D-T”が点灯)。

95 SQL TYPE

スケルチタイプの設定

設定項目: OFF/TONE/TONE SQL/DCS/REV TONE/JR FREQ/PR FREQ/PAGER/MESSAGE

工場出荷時: OFF

解説: 各スケルチタイプを設定します。

 を押してフジコ放送を受信中に設定することはできません。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

OFF: トーン送出、スケルチともにOFFにします。

TONE: トーン送出のみを行います (“TN”が点灯)。

TONE SQL: トーンスケルチをONにします (“TSQ”が点灯)。こちらで設定している周波数のトーンが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

DCS: デジタルコードスケルチをONにします (“DCS”が点灯)。こちらで設定しているDCSコードが含まれた信号を受信したときのみスケルチが開きます。

REV TONE: リバーストーン動作をONにします (“RTN”が点灯)。通話がないときにトーン信号が含まれ、通話を始めるとトーン信号が消えるスケルチ制御方式の通信を受信するときに使用します。

JR FREQ: 2280Hzの空線信号を含んだJR鉄道無線を受信するときはONにします (“JR”が点灯)。

PR FREQ: 鉄道無線や空線信号の含んだ周波数を受信するときに設定します (“PR”が点灯)。空線信号の設定はセットモードの『70 PR FREQUENCY』で行ってください。

PAGER: ページャ機能を使用するときに選択します (“PAG”が点灯)。

MESSAGE: メッセージ機能を使用するときに選択します (“MSG”が点灯)。

セットモードの動作一覧表(つづき)

96 STEP FREQUENCY

チャンネルステップの設定

設定項目: AUTO/5.0k/(6.25k)/(8.3k)/(9.0k)/
10.0k/12.5k/15.0k/20.0k/25.0k/
50.0k/100.0kHz

工場出荷時: AUTO

解説: ステップ幅(DIALツマミで周波数選択時に1クリックで変化する周波数とVFOスキャン時の周波数変化量)を設定します。工場出荷時の状態では周波数帯ごとに最適値が設定されていますので、通常はそのままでお使いいただけます。

0.5~1.8MHzは“9kHz”または“10kHz”のみ選択できます。また“9kHz”ステップは0.5~1.8MHzのみ選択できます。

“8.33kHz”のステップはARバンドのみ選択できます。

250MHz~300MHzと580MHz以上の周波数は、5kHz、6.25kHzと15kHzステップの設定をすることができません。なお、工場出荷時の各周波数帯によるAUTOで設定されているステップ幅は、下表のようになります。

周波数帯は、下限を含み上限を含まず。

周波数帯	ステップ幅	周波数帯	ステップ幅
0.5~1.8MHz	9kHz	161.5~162.9MHz	25kHz
1.8~29MHz	5kHz	162.9~174MHz	10kHz
29~30MHz	10kHz	174~222MHz	50kHz
30~35.53MHz	10kHz	222~250.4MHz	100kHz
35.53~51MHz	5kHz	250.4~253MHz	12.5kHz
51~54MHz	20kHz	276~300MHz	12.5kHz
54~76MHz	5kHz	300~336MHz	100kHz
76~90MHz	100kHz	336~420MHz	12.5kHz
90~108MHz	50kHz	420~430MHz	12.5kHz
108~137MHz	25kHz	430~440MHz	20kHz
137~142MHz	10kHz	440~459.5MHz	12.5kHz
142~148MHz	20kHz	459.5~464.8MHz	25kHz
148~156MHz	10kHz	464.8~470MHz	12.5kHz
156~157.45MHz	25kHz	470~770MHz	50kHz
157.45~160.8MHz	10kHz	770~915MHz	12.5kHz
160.8~160.975MHz	25kHz	961~999MHz	100kHz
160.975~161.9MHz	5kHz	-	-

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

97 STEREO

FMラジオの受信モード切り替え

設定項目: ステレオ/モノラル

工場出荷時: ステレオ

解説: FMラジオをステレオ受信にするかあるいは、モノラル受信にするか切り替えることができます。

通常はステレオに設定してありますが、FM放送の電波が弱くステレオ受信が不可能な場合はモノラル受信に切り替えてください。

98 TIME SET

VX-8Dに内蔵されている時計機能の設定

工場出荷時: 2008年1月1日、火曜日、00時00分、--

解説: 時計の時間や、時報の設定をすることができます。詳細は17ページを参照してください。

99 TONE FREQUENCY

トーン周波数の設定

設定項目: 67~254.1Hz(50トーン)

工場出荷時: 88.5Hz

解説: 50トーンのトーン周波数から選択することができます。

メモリーチャンネルへ個別に登録することができます。

選択できるトーン周波数(Hz)									
67.0	82.5	100.0	123.0	151.4	171.3	189.9	210.7	250.3	
69.3	85.4	103.5	127.3	156.7	173.8	192.8	218.1	254.1	
71.9	88.5	107.2	131.8	159.8	177.3	196.6	225.7	-	
74.4	91.5	110.9	136.5	162.2	179.9	199.5	229.1	-	
77.0	94.8	114.8	141.3	165.5	183.5	203.5	233.6	-	
79.7	97.4	118.8	146.2	167.9	186.2	206.5	241.8	-	

100 TONE-SRCH MUTE

トーンサーチ動作中の音声出力ミュートの設定

設定項目: ON/OFF

工場出荷時: ON

解説:

ON: トーン周波数が一致したときだけ音声を出力させます。

OFF: トーンサーチ中は、トーン周波数に関係なく音声を出力させます。

101 TONE-SRCH SPEED

トーンサーチ動作スピードの設定

設定項目: 高速/低速

工場出荷時: 高速

解説: トーン周波数をサーチするスピードを切り替えることができます。

高速: トーン周波数のサーチ速度が速くなります。

低速: トーン周波数のサーチ速度が遅くなります。

102 TOT

タイムアウトタイマーの設定

設定項目: OFF/30秒~10分

工場出荷時: OFF

解説: タイムアウトタイマー(TOT:連続送信時間の制限)の時間を設定します。

セットモードの動作一覧表(つづき)

103 UNIT OFFSET

気圧と高度のオフセット

解説:正確な気圧計と高度計の値を入力し、補正します。

例1) 気圧の場合

VX-8Dの気圧表示を“1024hPa”に補正したい場合は、以下のように設定します。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『103 UNIT OFFSET』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. **[▲]**または**[▼]**を短く押して気圧(BARO)を選択します。
5. DIALツマミをまわして“1024hPa”を入力します。
6. **[MENU]**を1秒以上押して終了します。

例2) 高度の場合

VX-8Dの高度表示を“0m”に補正したい場合は、以下のように設定します。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『103 UNIT OFFSET』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. **[▲]**または**[▼]**を短く押して高度(ALT)を選択します。
5. DIALツマミをまわして“0m”を入力します。
6. **[MENU]**を1秒以上押して終了します。

104 UNIT SELECT

温度・気圧・高度の単位切り替え

設定項目: 温度(TEMP): °C/°F
気圧(BARO): hPa/mb/mmHg/inch
高度(ALT): m/ft

工場出荷時: 温度(TEMP): °C
気圧(BARO): hPa
高度(ALT): m

解説:温度・気圧・高度の単位を切り替えることができます。

1. **[MENU]**を1秒以上押します。
2. セットモードの『104 UNIT SELECT』を選択します。
3. **[MENU]**を短く押します。
4. **[▲]**または**[▼]**を押して温度・気圧・高度から変更したい選択項目を選びます。
5. DIALツマミをまわして単位を変更します。
6. **[MENU]**を1秒以上押して終了します。

105 VFO MODE

VFOモード時の周波数選択範囲の設定

設定項目: ALL/BAND

工場出荷時: ALL

解説:VFOモード時の周波数選択範囲を設定します。

ALL: バンドエッジに達すると、次のバンドに切り替わります。

BAND: バンドエッジに達すると、現在のバンドの他端に移ります。

106 VFO SKIP

必要としないバンドの非表示設定

設定項目: BAND 1~BAND 9

解説:SCAN BAND ON**(BAND)**を押したときに、必要としないバンドを非表示にすることができます。

設定方法は168ページを参照してください。

107 VOLUME MODE

VOLキーの設定

設定項目: NORMAL/AUTO BACK

工場出荷時: NORMAL

解説:

NORMAL: **[VOL]**を押しながらDIALツマミをまわすと、音量を調節することができます。

AUTO BACK: **[VOL]**を押した後DIALツマミをまわすと、音量を調節することができます。調節後、約3秒間で自動的にDIALツマミで周波数などを調整できるようになります。

108 VOX

VOX機能の設定

設定項目: OFF / HIGH / LOW

工場出荷時: OFF

解説:VOX回路の動作感度を設定します。

109 VOX DELAY

VOXディレイ時間の設定

設定項目: 0.5 / 1 / 1.5 / 2 / 2.5 / 3 秒

工場出荷時: 0.5秒

解説:VOX運用時に、送信状態から受信状態に戻るまでの復帰時間(ディレイ時間)を設定します。

110 WAVE MONITOR

波形観測モードの選択

設定項目: ALL / 受信信号 / 送信変調

工場出荷時: ALL

解説:

ALL: 受信信号の波形と、送信しているときの変調信号の波形、両方を表示します。

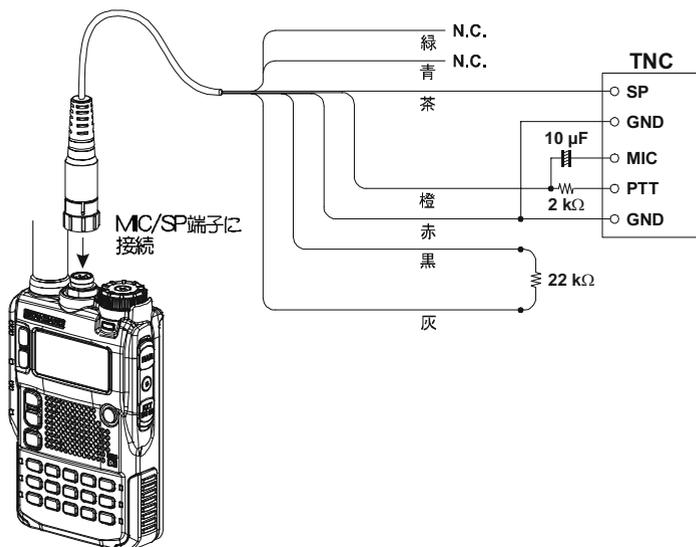
受信信号: 受信信号の波形のみを表示します。

送信変調: 送信している変調信号の波形のみを表示します。

パケット通信に使う

オプションのコネクションケーブル(CT-M11)を使用すると、お手持ちのTNC(ターミナルノードコントローラー)を接続してパケット通信を行うことができます。

コネクションケーブル CT-M11
(オプション)



接続後、VX-8Dの音量を調節して、VX-8DからTNCへの出力レベルを設定してください。

また、TNC側の出力レベル調節用ボリュームでTNCからVX-8Dへの入力レベルを調節してください(VX-8D側では入力レベルは調節できません)。

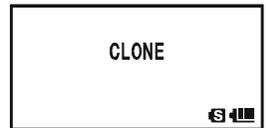
- 大量のデータを転送するときには送信時間が長くなり、本機の発熱が大きくなります。長時間送信し続けると、過熱防止回路が作動して送信出力が下がります。さらに送信を続けると、過熱による故障を防ぐために、送信が中止されて受信状態になります。過熱防止回路が作動して受信状態になったときには、電源をオフまたは受信状態のまま、温度が下がるまでお待ちください。
- パケット通信時には受信セーブ機能はオフに設定してください(セットモードの『79 SAVE RX』)。
- パーソナルコンピューターで発生する雑音によって、受信が妨害される場合があります。正常に受信できない場合は、パーソナルコンピューターをVX-8Dから離し、フォトカプラーやノイズフィルターを介して接続してください。
- TNCとパーソナルコンピューターの接続方法については、ご使用になるTNCの取扱説明書等をご覧ください。

クローン操作

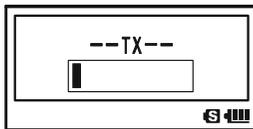
メモリーされているデータや各種の設定などをもう1台のVX-8Dにコピーできます。



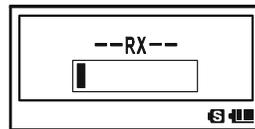
1. 2台のVX-8Dの電源をオフにし、オプションのクローンケーブル (CT-134) をMIC/SP端子に接続します。
2. 2台のVX-8Dを、**[W]** を押しながら **[C]** を押して電源をオンにします。
クローンモードになります。



3. 受け側のVX-8Dの **[SPS SD TYP MODE]** を押し、続いて送り側のVX-8Dの **[SC-MEMO ON BAND]** を押します。
データのコピーが始まると、受け側の表示が“--WAIT--”から“--RX--”に替わります。送り側がデータを送るとデータ送出量のインジケータが表示し、受け側もデータを受け取るとインジケータが表示されます。



(送り側)



(受け側)

コピーが終了すると、受け側のVX-8Dが通常モードに戻ります(送り側のVX-8Dは“--TX--”から“CLONE”に戻ります)。

4. 2台のVX-8Dの電源をオフにし、クローンケーブルを外します。

- データの転送中に“ERROR”が表示された場合はエラーです。
クローンケーブルの接続を確認してもう一度やりなおしてください。
- 時計は専用回路で構成されているため、時刻のデータをコピーすることはできません。
- 仕様の異なるVX-8シリーズ間でのクローンはできません。

付 録

プリセットされている放送局周波数一覧表

『スペシャルバンクを呼び出して世界各地の放送、AM/FMラジオ、TV放送を聴く』の項目で放送局を呼び出したときの一覧表です。

1. を押してAバンドに設定し、を押した後に^{SP BNK}を押します。
放送局名の表示はモノバンドに設定しているときのみ表示されます。
2. スペシャルバンクの表示になりますので、^{SC-MEMO ON}を押して「ラジオ」を選択します。
選択後プリセットされている放送局のリストチャンネルと放送局名を表示します。
3. DIALツマミをまわしてリストチャンネルを合わせると、各放送局を呼び出すことができます。

リストチャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方	リストチャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方
1	6.030	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	27	9.560	AM	TURKEY	Voice of Turkey	トルコ
2	6.160	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	28	11.690	AM	TURKEY	Voice of Turkey	トルコ
3	9.760	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	29	9.660	AM	VATICAN	Vatican Radio	バチカン
4	11.965	AM	VOA	Voice of America	アメリカ	30	11.625	AM	VATICAN	Vatican Radio	バチカン
5	9.555	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	31	11.830	AM	VATICAN	Vatican Radio	バチカン
6	9.660	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	32	15.235	AM	VATICAN	Vatican Radio	バチカン
7	11.715	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	33	5.955	AM	NEDERLAND	Radio Nederland	オランダ
8	11.955	AM	CANADA	Radio Canada International	カナダ	34	6.020	AM	NEDERLAND	Radio Nederland	オランダ
9	6.195	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス	35	9.895	AM	NEDERLAND	Radio Nederland	オランダ
10	9.410	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス	36	11.655	AM	NEDERLAND	Radio Nederland	オランダ
11	12.095	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス	37	5.985	AM	CZECH LIBERTY	Radio Prague	チェコ
12	15.310	AM	BBC	British Broadcasting Corporation	イギリス	38	6.105	AM	CZECH LIBERTY	Radio Prague	チェコ
13	6.090	AM	FRANCE	Radio France International	フランス	39	9.455	AM	CZECH PRAGUE	Radio Prague	チェコ
14	9.790	AM	FRANCE	Radio France International	フランス	40	11.860	AM	CZECH LIBERTY	Radio Prague	チェコ
15	11.670	AM	FRANCE	Radio France International	フランス	41	9.780	AM	PORTUGAL	Radio Portugal	ポルトガル
16	15.195	AM	FRANCE	Radio France International	フランス	42	11.630	AM	PORTUGAL	Radio Portugal	ポルトガル
17	6.000	AM	DEUTSCHE WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	43	15.550	AM	PORTUGAL	Radio Portugal	ポルトガル
18	6.075	AM	DEUTSCHE WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	44	21.655	AM	PORTUGAL	Radio Portugal	ポルトガル
19	9.650	AM	DEUTSCHE WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	45	9.650	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン
20	9.735	AM	DEUTSCHE WELLE	Deutsche Welle	ドイツ	46	11.880	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン
21	5.990	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア	47	11.910	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン
22	9.575	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア	48	15.290	AM	SPAIN	Radio Exterior de Espana	スペイン
23	9.675	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア	49	6.055	AM	NIKKEI	ラジオNIKKEI	日本
24	17.780	AM	ITALY	Italian Radio International	イタリア	50	7.315	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー
25	7.170	AM	TURKEY	Voice of Turkey	トルコ	51	9.590	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー
26	7.270	AM	TURKEY	Voice of Turkey	トルコ	52	9.925	AM	NORWAY	Radio Norway International	ノルウェー

プリセットされている放送局周波数一覧表(つづき)

- AMラジオ放送のバンドを受信するときは、市販の外部アンテナの取り付けをおすすめします。
- 受信する時間帯や電波の状態が悪いときは、受信できない場合があります。
- 各放送局は下表以外にも受信できる周波数があります。また、放送局によっては、廃局、停波、周波数の移動をしている場合があります。詳しくは市販されている周波数帳などを参考にしてください。
- 本機で受信できるTV放送(音声)は、アナログテレビ放送の音声で、デジタル放送の音声を聴くことはできません。アナログテレビ放送は2011年7月24日に終了しましたので、テレビ音声を聴くことはできません。

リストチャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方	リストチャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方
53	9.985	AM	NORWAY	Radio Norway International	ルグー	86	5.995	AM	AUSTRALIA	Radio Australia	オーストラリア
54	6.065	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	87	9.580	AM	AUSTRALIA	Radio Australia	オーストラリア
55	9.490	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	88	9.660	AM	AUSTRALIA	Radio Australia	オーストラリア
56	15.240	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	89	12.080	AM	AUSTRALIA	Radio Australia	オーストラリア
57	17.505	AM	SWEDEN	Radio Sweden	スウェーデン	90	0.567	AM	NHK-1	NHK第1札幌	北海道
58	6.120	AM	FINLAND	Radio Finland	フィンランド	91	0.747	AM	NHK-2	NHK第2札幌	北海道
59	9.560	AM	FINLAND	Radio Finland	フィンランド	92	1.287	AM	HBC	北海道放送	北海道
60	11.755	AM	FINLAND	Radio Finland	フィンランド	93	1.440	AM	STV	STVラジオ	北海道
61	15.400	AM	FINLAND	Radio Finland	フィンランド	94	80.400	WFM	AIR-G	FM北海道	北海道
62	5.920	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア	95	82.500	WFM	NR-WAV	FMノースウェーブ	北海道
63	5.940	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア	96	85.200	WFM	NHK-SP	NHK-FM札幌	北海道
64	7.200	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア	97	95.750	WFM	TV-1CH	北海道放送	北海道
65	12.030	AM	RUSSIA	Voice of Russia	ロシア	98	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	北海道
66	7.465	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル	99	181.750	WFM	TV-5CH	STV	北海道
67	11.585	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル	100	221.750	WFM	TV12CH	NHK教育	北海道
68	15.615	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル	101	499.750	WFM	TV17CH	テレビ北海道	北海道
69	17.535	AM	ISRAEL	Israel Broadcasting Authority	イスラエル	102	559.750	WFM	TV27CH	北海道文化放送	北海道
70	6.045	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド	103	607.750	WFM	TV35CH	北海道テレビ放送	北海道
71	9.595	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド	104	1.233	AM	RAB	青森放送	東北
72	11.620	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド	105	80.000	WFM	AFB	FM青森	東北
73	15.020	AM	INDIA	All India Radio (AIR)	インド	106	0.684	AM	IBC	岩手放送	東北
74	7.190	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	107	76.100	WFM	FMI	FM岩手	東北
75	7.405	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	108	0.936	AM	ABS	秋田放送	東北
76	9.785	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	109	82.800	WFM	AFM	FM秋田	東北
77	11.685	AM	CHINA	China Radio International (CRI)	中国	110	0.918	AM	YBC	山形放送	東北
78	6.135	AM	KOREA	Radio Korea	韓国	111	80.400	WFM	BOY-FM	FM山形	東北
79	7.275	AM	KOREA	Radio Korea	韓国	112	1.458	AM	RFC	ラジオ福島	東北
80	9.570	AM	KOREA	Radio Korea	韓国	113	81.800	WFM	FMF	ふくしまFM	東北
81	13.670	AM	KOREA	Radio Korea	韓国	114	0.891	AM	NHK-1	NHK第1仙台	東北
82	6.165	AM	JAPAN	Radio Japan	日本	115	1.089	AM	NHK-2	NHK第2仙台	東北
83	7.200	AM	JAPAN	Radio Japan	日本	116	1.260	AM	TBC	東北放送	東北
84	9.750	AM	JAPAN	Radio Japan	日本	117	77.100	WFM	DAT-FM	FM仙台	東北
85	11.860	AM	JAPAN	Radio Japan	日本	118	82.500	WFM	NHK-SD	NHK-FM仙台	東北

プリセットされている放送局周波数一覧表(つづき)

リスト チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方	リスト チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方
119	95.750	WFM	TV-1CH	東北放送	東北	158	86.300	WFM	FM-GNM	FMぐんま	関東
120	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	東北	159	95.750	WFM	TV-1CH	NHK総合テレビ	関東
121	181.750	WFM	TV-5CH	NHK教育	東北	160	107.750	WFM	TV-3CH	NHK教育テレビ	関東
122	221.750	WFM	TV12CH	仙台放送	東北	161	175.750	WFM	TV4CH	日本テレビ	関東
123	589.750	WFM	TV32CH	東日本放送	東北	162	187.750	WFM	TV6CH	TBS	関東
124	601.750	WFM	TV34CH	宮城テレビ放送	東北	163	197.750	WFM	TV-8CH	フジテレビ	関東
125	1.116	AM	BSN	新潟放送	信越	164	209.750	WFM	TV10CH	テレビ朝日	関東
126	77.500	WFM	FM-NIG	FM新潟	信越	165	221.750	WFM	TV12CH	テレビ東京	関東
127	1.098	AM	SBC	信越放送	信越	166	481.750	WFM	TV14CH	MX-TV	関東
128	79.700	WFM	FM-NGN	FM長野	信越	167	493.750	WFM	TV16CH	放送大学	関東
129	0.738	AM	KNB	北日本放送	北陸	168	625.750	WFM	TV38CH	テレビ埼玉	関東
130	82.700	WFM	FM-TYM	FMとやま	北陸	169	649.750	WFM	TV42CH	TVK	関東
131	1.107	AM	MRO	北陸放送	北陸	170	673.750	WFM	TV46CH	千葉テレビ	関東
132	80.500	WFM	FM-ISK	FM石川	北陸	171	685.750	WFM	TV48CH	群馬テレビ	関東
133	0.864	AM	FBC	福井放送	北陸	172	0.729	AM	NHK-1	NHK第1名古屋	東海
134	76.100	WFM	FM-FKI	FM福井	北陸	173	0.909	AM	NHK-2	NHK第2名古屋	東海
135	0.594	AM	NHK-1	NHK第1東京	関東	174	1.053	AM	CBC	CBCラジオ	東海
136	0.693	AM	NHK-2	NHK第2東京	関東	175	1.332	AM	TOKAI	東海ラジオ放送	東海
137	0.765	AM	YBS	山梨放送	関東	176	1.431	AM	GIFU	岐阜ラジオ	東海
138	0.810	AM	AFN	AFN東京	関東	177	77.800	WFM	ZIP-FM	FM名古屋	東海
139	0.954	AM	TBS	TBS	関東	178	78.900	WFM	FM-MIE	FM三重	東海
140	1.134	AM	BUNKA	文化放送	関東	179	79.500	WFM	RADIOI	愛知国際放送	東海
141	1.197	AM	IBS	茨城放送	関東	180	80.000	WFM	RAD-80	岐阜FM	東海
142	1.242	AM	NIPPON	ニッポン放送	関東	181	80.700	WFM	FMA	FM愛知	東海
143	1.422	AM	RF-NPN	RFラジオ日本	関東	182	82.500	WFM	NHK-NY	NHK-FM名古屋	東海
144	1.530	AM	CRT	栃木放送	関東	183	95.750	WFM	TV-1CH	東海テレビ	東海
145	76.100	WFM	INT-FM	Inter FM	関東	184	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合テレビ	東海
146	76.400	WFM	R-BERY	FM栃木	関東	185	181.750	WFM	TV-5CH	中部日本放送	東海
147	77.100	WFM	FM-UNV	放送大学	関東	186	203.750	WFM	TV-9CH	NHK教育テレビ	東海
148	78.000	WFM	BAY-FM	BAY FM	関東	187	215.750	WFM	TV11CH	名古屋テレビ	東海
149	78.600	WFM	FM-FUJ	FM富士	関東	188	547.750	WFM	TV25CH	テレビ愛知	東海
150	79.500	WFM	NACK-5	NACK 5	関東	189	607.750	WFM	TV35CH	中京テレビ	東海
151	80.000	WFM	TYO-FM	TOKYO FM	関東	190	1.404	AM	SBS	静岡放送	東海
152	80.700	WFM	NHK-CB	NHK-FM千葉	関東	191	76.100	WFM	FM-HAR	浜松FM放送	東海
153	81.300	WFM	J-WAVE	J-WAVE	関東	192	79.200	WFM	K-MX	静岡FM放送	東海
154	81.900	WFM	NHK-YK	NHK-FM横浜	関東	193	0.558	AM	AM-KOB	ラジオ関西	近畿
155	82.500	WFM	NHK-TY	NHK-FM東京	関東	194	0.666	AM	NHK-1	NHK第1大阪	近畿
156	84.700	WFM	FM-YKH	FMヨコハマ	関東	195	0.828	AM	NHK-2	NHK第2大阪	近畿
157	85.100	WFM	NHK-UW	NHK-FMさいたま	関東	196	1.008	AM	ABC	朝日放送	近畿

プリセットされている放送局周波数一覧表(つづき)

リスト チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方	リスト チャンネル	周波数 (MHz)	モード	表示	放送局名	国/地方
197	1.143	AM	KBS	京都放送	近畿	236	79.200	WFM	FMY	FM山口	中国
198	1.179	AM	MBS	毎日放送	近畿	237	1.449	AM	RNC	西日本放送	四国
199	1.314	AM	OBC	大阪放送	近畿	238	78.600	WFM	FM-KGW	FM香川	四国
200	76.500	WFM	FM-CCL	関西インターメディア	近畿	239	1.116	AM	RNB	南海放送	四国
201	80.200	WFM	FM-802	FM802	近畿	240	79.700	WFM	FM-EHM	FM愛媛	四国
202	82.800	WFM	NHK-KT	NHK-FM京都	近畿	241	1.269	AM	JRT	四国放送	四国
203	85.100	WFM	FM-OSK	FM大阪	近畿	242	80.700	WFM	FM-TKS	FM徳島	四国
204	86.500	WFM	NHK-KB	NHK-FM神戸	近畿	243	0.900	AM	RKC	高知放送	四国
205	88.100	WFM	NHK-OS	NHK-FM大阪	近畿	244	81.600	WFM	FM-KCH	FM高知	四国
206	89.400	WFM	A-STN	FM京都	近畿	245	0.612	AM	NHK-1	NHK第1福岡	九州
207	89.900	WFM	KIS-FM	兵庫FMラジオ放送	近畿	246	1.017	AM	NHK-2	NHK第2福岡	九州
208	101.750	WFM	TV-2CH	NHK総合	近畿	247	1.278	AM	RKB	RKB毎日放送	九州
209	175.750	WFM	TV-4CH	毎日放送	近畿	248	1.413	AM	KBC	九州朝日放送	九州
210	187.750	WFM	TV-6CH	朝日放送	近畿	249	76.100	WFM	LOVEFM	九州国際FM	九州
211	197.750	WFM	TV-8CH	関西テレビ	近畿	250	78.700	WFM	CRS-FM	FM九州	九州
212	209.750	WFM	TV10CH	読売テレビ	近畿	251	80.700	WFM	FM-FOK	FM福岡	九州
213	221.750	WFM	TV12CH	NHK教育	近畿	252	84.800	WFM	NHK-FK	NHK-FM福岡	九州
214	511.750	WFM	TV19CH	テレビ大阪	近畿	253	95.750	WFM	TV-1CH	九州朝日放送	九州
215	613.750	WFM	TV36CH	サンテレビ	近畿	254	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	九州
216	77.000	WFM	ERADIO	FM滋賀	近畿	255	175.750	WFM	TV-4CH	RKB毎日放送	九州
217	1.431	AM	WBS	和歌山放送	近畿	256	187.750	WFM	TV-6CH	NHK教育	九州
218	1.494	AM	RSK	山陽放送	中国	257	203.750	WFM	TV-9CH	テレビ西日本	九州
219	76.800	WFM	FM-OKY	FM岡山	中国	258	511.750	WFM	TV19CH	TXN九州	九州
220	0.702	AM	NHK-2	NHK第2広島	中国	259	619.750	WFM	TV37CH	福岡放送	九州
221	1.071	AM	NHK-1	NHK第1広島	中国	260	77.900	WFM	FMS	FM左賀	九州
222	1.350	AM	RCC	中国放送	中国	261	1.233	AM	NBC	長崎放送	九州
223	78.200	WFM	HFM	広島FM放送	中国	262	79.500	WFM	SMILE	FM長崎	九州
224	88.300	WFM	NHK-HR	NHK-FM広島	中国	263	1.098	AM	OBS	大分放送	九州
225	107.750	WFM	TV-3CH	NHK総合	中国	264	88.000	WFM	FM-OIT	FM大分	九州
226	175.750	WFM	TV-4CH	中国放送	中国	265	0.936	AM	MRT	宮崎放送	九州
227	193.750	WFM	TV-7CH	NHK教育	中国	266	83.200	WFM	JOY-FM	FM宮崎	九州
228	221.750	WFM	TV12CH	広島テレビ	中国	267	1.197	AM	RKK	熊本放送	九州
229	583.750	WFM	TV31CH	テレビ新広島	中国	268	77.400	WFM	FMK	FM中九州	九州
230	607.750	WFM	TV35CH	広島ホームテレビ	中国	269	1.107	AM	MBC	南日本放送	九州
231	1.431	AM	BSS	山陰放送(鳥取)	中国	270	79.800	WFM	MYUFM	FM鹿児島	九州
232	78.800	WFM	V-AIR	FM山陰(鳥取)	中国	271	0.738	AM	RBC	琉球放送	沖縄
233	0.900	AM	BSS	山陰放送(島根)	中国	272	0.864	AM	ROK	ラジオ沖縄	沖縄
234	77.400	WFM	V-AIR	FM山陰(島根)	中国	273	87.300	WFM	FM-OKN	FM沖縄	沖縄
235	1.458	AM	KRY	山口放送	中国	-	-	-	-	-	-

TVチャンネル/周波数一覧表

『スペシャルバンクのTV専用メモリーでTV放送を聴く』の項目でTVチャンネルを呼び出したときの一覧表です。

1. を押してAバンドに設定し、を押した後に^{SP BNK}を押します。
RMが点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
2. スペシャルバンクの表示になりますので、^{SC-MBND DA}を押して「TV放送」を選択します。
選択後、プリセットされているTVチャンネルと周波数を表示します。
3. DIALツマミをまわして、聴きたいTVチャンネルに合わせます。

チャンネル	周波数 (MHz)								
T1	95.75	T14	481.75	T27	559.75	T40	637.75	T53	715.75
T2	101.75	T15	487.75	T28	565.75	T41	643.75	T54	721.75
T3	107.75	T16	493.75	T29	571.75	T42	649.75	T55	727.75
T4	175.75	T17	499.75	T30	577.75	T43	655.75	T56	733.75
T5	181.75	T18	505.75	T31	583.75	T44	661.75	T57	739.75
T6	187.75	T19	511.75	T32	589.75	T45	667.75	T58	745.75
T7	193.75	T20	517.75	T33	595.75	T46	673.75	T59	751.75
T8	197.75	T21	523.75	T34	601.75	T47	679.75	T60	757.75
T9	203.75	T22	529.75	T35	607.75	T48	685.75	T61	763.75
T10	209.75	T23	535.75	T36	613.75	T49	691.75	T62	769.75
T11	215.75	T24	541.75	T37	619.75	T50	697.75	-	-
T12	221.75	T25	547.75	T38	625.75	T51	703.75	-	-
T13	475.75	T26	553.75	T39	631.75	T52	709.75	-	-

JR鉄道無線周波数一覧表

『スペシャルバンクを呼び出してJR鉄道無線を聴く』の項目でJR鉄道無線を呼び出したときの一覧表です。

デジタル通信に移行している地域では、受信することができません。

1. **A** を押してAバンドに設定し、**W** を押した後に **SP BANK** (**9** **9** **9**) を押します。
RM が点灯している場合は、RADIO機能またはAF-DUAL機能をオフにしてください。
 局名の表示はモノバンドに設定しているときのみ表示されます。
2. スペシャルバンクの表示になりますので、**SC-MEMO DA** (**BAND**) を押して「鉄道無線」を選択します。
 選択後、プリセットされているJR鉄道無線の周波数を表示します。
3. DIALツマミをまわしてチャンネルを合わせると、JR鉄道無線の周波数を呼び出すことができます。

チャンネル番号	周波数 (MHz)						
J1	352.5375 列車無線1基地局	J6	336.0625 列車無線3移動局	J11	352.6000 列車無線6基地局	J16	336.1250 列車無線8移動局
J2	336.0375 列車無線1移動局	J7	352.5750 列車無線4基地局	J12	336.1000 列車無線6移動局	J17	414.4250 Cタイプ入換波
J3	352.5500 列車無線2基地局	J8	336.0750 列車無線4移動局	J13	352.6125 列車無線7基地局	J18	414.5500 Cタイプ上り波
J4	336.0500 列車無線2移動局	J9	352.5875 列車無線5基地局	J14	336.1125 列車無線7移動局	J19	415.2000 Cタイプ下り波
J5	352.5625 列車無線3基地局	J10	336.0875 列車無線5移動局	J15	352.6250 列車無線8基地局	-	-

文字コード一覧表

約6000文字の漢字と記号等を文字コードでメモリーやメモリーバンクを入力することができます(「メモリーに名前を付ける」は42ページ参照,「メモリーバンクに名前を付ける」は46ページを参照してください)。

漢字の網部分はテンキーを押したときに最初に出てくる漢字です。例として(1)を押して“あ”を選択したときは“亜”, $\text{CODE}_{2\text{ABC}}$ を押して“か”を選択した場合は“下”が表示されます。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
0000																		0300																
0010																		0310																
0020	井	井	哇	娃	阿	哀	愛	換	始	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0320	笨	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0030	旭	萃	芦	紗	梓	押	換	撥	宛	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0330	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0040	粟	裕	安	施	按	暗	開	開	宛	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0340	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0050	夷	委	威	尉	推	意	恩	易	宛	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0350	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0060	萎	衣	謂	連	遣	醫	匠	亥	宛	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0360	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0070	稀	茨	芋	鱒	允	印	咽	員	宛	逢	葵	茜	稀	惡	握	濕	0370	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0080																	0380	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
0090																	0390	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○			
00A0	昂	院	院	隱	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03A0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
00B0	確	淮	滴	嘘	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03B0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
00C0	雲	存	餌	詠	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03C0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
00D0	頰	芙	衛	詠	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03D0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
00E0	蘭	履	奄	宴	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03E0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
00F0	艶	苑	菴	宴	韻	時	宇	鳥	羽	迂	雨	鴨	鴨	窺	升	03F0	強	供	伏	僑	兒	鏡	市	缺	OFF	○	○	○	○	○				
0100																	0400																	
0110																	0410																	
0120	葺	棟	臆	橫	歐	段	翁	翁	襖	嵩	臆	臆	臆	臆	臆	臆	0420																	
0130	屋	憶	佳	加	可	嘉	苒	苒	恩	温	科	科	科	科	科	0430																		
0140	伽	伍	佳	加	可	嘉	苒	苒	恩	温	科	科	科	科	科	0440																		
0150	火	珂	佳	加	可	嘉	苒	苒	恩	温	科	科	科	科	科	0450																		
0160	過	通	佳	加	可	嘉	苒	苒	恩	温	科	科	科	科	科	0460																		
0170	介	通	佳	加	可	嘉	苒	苒	恩	温	科	科	科	科	科	0470																		
0180																	0480																	
0190																	0490																	
01A0	魁	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04A0																		
01B0	外	咳	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04B0																		
01C0	垣	柿	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04C0																		
01D0	覺	角	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04D0																		
01E0	楓	柁	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04E0																		
01F0	叶	柁	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	幽	04F0																		
0200	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	←	0500																		
0210	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	0510																		
0220	澤	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	宥	0520																		
0230	完	漢	潤	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	0530																		
0240	汗	漢	潤	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	0540																		
0250	洗	漢	潤	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	濯	0550																		
0260	嚴	玩	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	0560																		
0270	崎	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	奇	0570																		
0280	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	⇒	0580																		
0290	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	⇨	0590																		
02A0	舩	機	婦	毅	氣	汽	祈	季	稀	紀	規	規	規	規	規	05A0																		
02B0	帆	義	騎	毅	氣	汽	祈	季	稀	紀	規	規	規	規	規	05B0																		
02C0	帆	義	騎	毅	氣	汽	祈	季	稀	紀	規	規	規	規	規	05C0																		
02D0	帆	義	騎	毅	氣	汽	祈	季	稀	紀	規	規	規	規	規	05D0																		
02E0	朽	求	汲	泣	炎	球	究	究	究	究	究	究	究	究	究	05E0																		
02F0	戸	拒	抱	拳	渠	虛	距	距	距	距	距	距	距	距	距	05F0																		

付録

周波数の使用区分

この使用区分は平成27年1月5日に総務省より施行されており、電波を発射するときには、下記の使用区分にしたがって運用してください。なお、使用区分は改訂される場合がありますので、最新情報はJARLニュース等でご確認ください。



注1: 50.000MHzから50.100MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯幅が3kHz以下のデータ通信にも使用することができる。
 注2: 50.000MHzから50.200MHzまでの周波数で月面反射通信(EME)を行う場合に限り占有周波数帯幅が3kHz以下のデータ通信にも使用することができる。
 注3: 50.010MHzの周波数は、JARLが国際的な標識信号(ビーコン)を送信する場合に限る。
 注4: 51.000MHzから51.500MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局との占有周波数帯幅が3kHz以下の電話・電信・データ及びCWによる通信にも使用することができる。



注5: 144.10MHzから144.20MHzまでの周波数は、外国のアマチュア局と月面反射通信(EME)にも使用できる。この場合の電波の占有周波数帯幅の許容値は3kHz以下のものに限る。
 注6: 144.30MHzから144.50MHzまでの周波数は、国際宇宙ステーションとの交信に限って広帯域の電話・電信及び画像通信にも使用することができる。



狭帯域: 占有周波数帯幅が3kHz以下のもの(A3Eを除く)。
 広帯域: 占有周波数帯幅が3kHzを超えるもの。

アマチュア無線局免許申請書類の書きかた

「無線局事項書及び工事設計書の書きかた」

VX-8Dは技術基準適合機ですので、技術基準適合証明番号『002KN563』を記入することにより、下記記入例の「」部分は記入を省略できます。

総務省の「電子申請・届出システム Lite」で申請する場合は、技術基準適合証明番号欄の「区分」に「工事設計認証番号」を選択し、「記号部」002KN、「番号部」563 を入力してください。

11 無線設備の設置場所又は常置場所	フリガナ 都道府県-市区町村コード	12 移動範囲	<input type="checkbox"/> 移動する（陸上、海上及び上空） <input type="checkbox"/> 移動しない
13 電波の型式並びに希望する周波数及び空中線電力	希望する周波数帯	第三級アマチュア無線技士以上の方は、3VA、3VFに <input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください。 第四級アマチュア無線技士の方は、4VA、4VFに <input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください。	
	<input type="checkbox"/> 1.5M	空中線電力の10Wを記入してください。	
	<input type="checkbox"/> 3.5M		
	<input type="checkbox"/> 3.8M		
	<input type="checkbox"/> 7M		
	<input type="checkbox"/> 10M		
	<input type="checkbox"/> 14R		
	<input type="checkbox"/> 14R		
	<input type="checkbox"/> 14R		
	<input type="checkbox"/> 21R		
<input type="checkbox"/> 24R			
<input type="checkbox"/> 28R			
<input checked="" type="checkbox"/> 50M	<input checked="" type="checkbox"/> 3VA <input checked="" type="checkbox"/> 4VA	<input type="checkbox"/> 3V <input type="checkbox"/> 4VF	<input type="checkbox"/> 10 W
<input checked="" type="checkbox"/> 144M	<input type="checkbox"/> 3VA <input type="checkbox"/> 4VA	<input checked="" type="checkbox"/> 3VF <input checked="" type="checkbox"/> 4VF	<input type="checkbox"/> 10 W
<input checked="" type="checkbox"/> 430M	<input type="checkbox"/> 3VA <input type="checkbox"/> 4VA	<input checked="" type="checkbox"/> 3VF <input checked="" type="checkbox"/> 4VF	<input type="checkbox"/> 10 W
14 変更する欄の番号	<input type="checkbox"/> 3 <input type="checkbox"/> 8 <input type="checkbox"/> 11 <input type="checkbox"/> 12 <input type="checkbox"/> 13 <input type="checkbox"/> 16	① 移動する局の場合は、「工事設計書」の欄に記載している送信機の数 合	
50M, 144M, 430Mに <input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください。			

■第三級アマチュア無線技士以上のかたが申請する場合

装置の区別	変更の種類	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	範囲方式	終極管 型式	容量	定格出力 (W)	
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN563	F3E, F2D, A3E, F2A, F1D 50MHz帯	F3E, F2D, F2A, F1D 144MHz帯 430MHz帯	F3E リアクトンズ協調 A3E 終極電力協調	2SK3476 x 1	7.4	5
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更							
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更							

技術基準適合証明番号を記入した場合は、記入する必要はありません。

「技術証明」で免許申請を行う場合は、技術基準適合証明番号（002KN563）を記入してください。

■第四級アマチュア無線技士のかたが申請する場合

装置の区別	変更の種類	技術基準適合証明番号	発射可能な電波の型式及び周波数の範囲	範囲方式	終極管 型式	容量	定格出力 (W)	
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	002KN563	F3E, F2D, A3E, F1D 50MHz帯	F3E, F2D, F1D 144MHz帯 430MHz帯	F3E リアクトンズ協調 A3E 終極電力協調	2SK3476 x 1	7.4	5
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更							
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更							

技術基準適合証明番号を記入した場合は、記入する必要はありません。

「技術証明」で免許申請を行う場合は、技術基準適合証明番号（002KN563）を記入してください。

付録

第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更	使用するアンテナの型式を記入してください。	<input checked="" type="checkbox"/> 印をつけてください。
第 送信機	<input type="checkbox"/> 取替 <input type="checkbox"/> 増設 <input type="checkbox"/> 撤去 <input type="checkbox"/> 変更		
送信空中線の型式		周波数測定装置の有無	<input type="checkbox"/> 有（誤差0.025%以内） <input type="checkbox"/> 無
送信機部	<input type="checkbox"/> 送信機系統部	その他の工事設計	<input type="checkbox"/> 表第3章に規定する条件に合致する。

- VX-8Dの技術基準適合番号は、底面の技術基準適合証明シールに記載されています。
- VX-8D固有の記載事項以外については、『アマチュア無線局（個人局）の開局申請書類の書き方』（一般社団法人日本アマチュア無線連盟発行）などを参考にして記入してください。

アマチュア無線局免許申請書類の書きかた(つづき)

「アマチュア局の無線設備の保証認定願」/「アマチュア局の無線設備等の変更の保証認定願」の書きかた(付属装置がある場合)

VX-8DにTNCなどの付属設備を接続する場合には、JAROまたはTSS株式会社の「保証認定」を受けて申請してください。

《例:新規開局の場合》



アマチュア局の無線設備の保証願書

私は、アマチュア局の免許申請に係る無線設備の保証を受けたいので、別紙の表を添えて申し込みます。

出願者		出願の日	
住所 社団の場合は 事務所の所在地		年 月 日	
氏名 社団の場合は 代表者の氏名		電話番号	
送信機番号		FAX番号	
		Eメールアドレス	
免許を申請する無線設備	送信機名称等	接続するブースタの名称等	附属装置の有無
	第1送信機	002KN563	<input type="checkbox"/> 有
	第2送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第3送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第4送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第5送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第6送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第7送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第8送信機		<input type="checkbox"/> 有
	第9送信機		<input type="checkbox"/> 有
第10送信機		<input type="checkbox"/> 有	
その他の事項	電波法第3章に規定された条件に合致しています。		

技術基準適合番号
『002KN563』を記入する

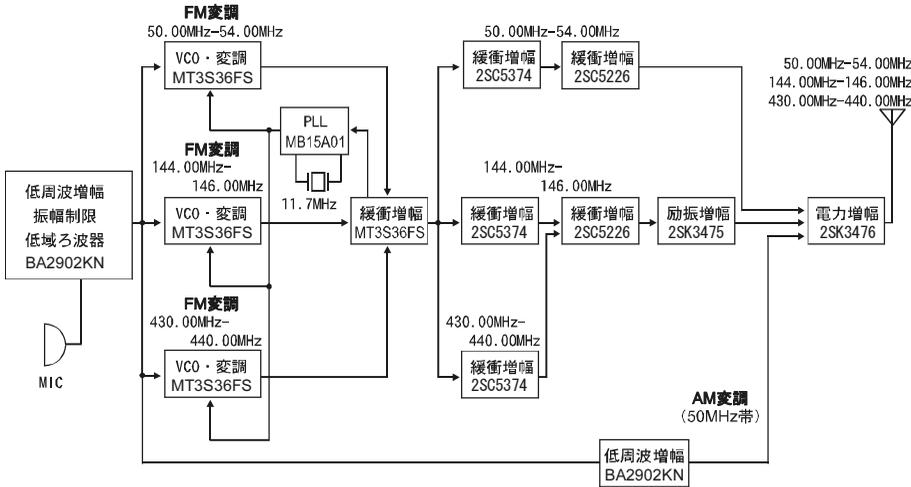
記入事項については、TSS保証事業部のホームページ
「<http://www.tsscom.co.jp/>」または、免許申請書の
「保証願書の記入例」をご覧ください。

保証料の払込みにかかる証明書の貼付欄

- ・専用の払込用紙で払い込まれたときは、受付証明書(払込用紙右端部)をお貼り下さい。
- ・汎用の払込用紙で払い込まれたときは、受領証の原本をお貼り下さい。
- ・銀行口座に払い込まれたときは、取扱票の原本をお貼り下さい。
- ・ATMで払い込まれたときは、取扱票の原本をお貼り下さい。
- ・インターネット利用で払い込まれたときは、確認画面のハードコピーを添付してください。

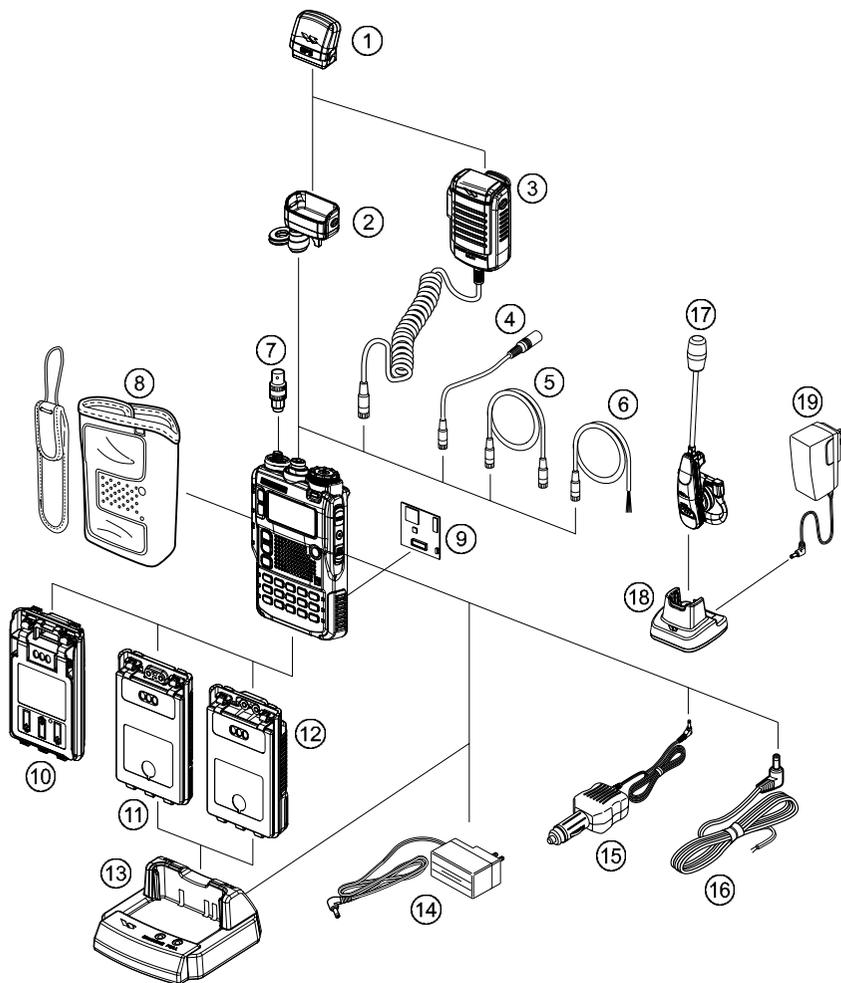
- 技術基準適合外の無線機と一緒に保証認定で申請(アマチュア局の無線設備の保証認定願/アマチュア局の無線設備等の変更の保証認定願)する場合であっても、VX-8Dに関しては技術基準適合機として申請できます。
- VX-8Dの技術基準適合番号は、底面の技術基準適合証明シールに記載されています。
- 『方式・規格』の記入事項については、お使いのTNCの取扱説明書を参照してください。

《送信機系統図》



付録

オプション



付録

- ① GPSアンテナユニット (FGPS-2)
- ② GPSアンテナ接続アダプター (CT-136)
- ③ 防水型スピーカーマイク (MH-74A7A)
- ④ スタンダードハンディ用
4ピンマイク変換アダプター (CT-131)
- ⑤ クローンケーブル (CT-134)
- ⑥ コネクションケーブル (CT-M11)
- ⑦ BNC-SMA変換コネクター (QN-3)
- ⑧ ソフトケース (CSC-93)
- ⑨ **Bluetooth**® ユニット (BU-2)
- ⑩ 単三形アルカリ乾電池 (3本) ケース (FBA-39)

- ⑪ 電池パック (FNB-101L) 付属品と同等
- ⑫ ロングライフ電池パック (FNB-102L)
- ⑬ 急速充電用クレードル (CD-41)
- ⑭ CD-41用バッテリーチャージャー (PA-48A)
- ⑮ シガープラグ付きDCアダプター (SDD-13)
- ⑯ 外部電源用ケーブル (EDC-6)
- ⑰ **Bluetooth**® 防水型ヘッドセット (BH-2A)
- ⑱ BH-2A用専用充電クレードル (CD-40)
- ⑲ CD-40用バッテリーチャージャー (PA-46A)

※ 詳細はカタログをご覧ください。

故障かな？と思ったら 修理を依頼される前に、次の事項を確認してください。

■電源が入らない

- 電池パックが消耗していませんか？
お買い上げ直後または長期間使用していないときは、電池パックを充電してください。
- 電池パックは正しくセットしてありますか？
“電池パックを取り付ける”を参照し、確実に取り付けてください。
- 外部電源の接続は間違っていないですか？
外部電源を使用するときには、必ずシガープラグ付き外部電源アダプター“SDD-13”または外部電源ケーブル(E-DC-6)を使用してください。
- 電池パックまたはSDD-13の電圧は正常ですか？
電池パックの場合は残量があること(過放電にしないこと)、SDD-13の出力電圧は約DC12Vであることを確認してください。

■音が出ない

- スケルチ(またはSメータースケルチ)のレベルや設定が大きくなっていませんか？
モニタースイッチを押して、ザーという音が出ることを確認してください。
弱い信号を受信するときには、スケルチ(またはSメータースケルチ)レベルを調整してください。
- 音量が下がっていませんか？
VOLを押しながらDIALツマミを右にまわして音量を大きくしてください。
- トーンスケルチまたはDCSがオンになっていませんか？
トーンスケルチまたはDCSがオンのときには、設定したトーン周波数またはDCSコードと同じ信号が含まれた信号を受信するまで音は出ません。

■電波が出ない

- PTTスイッチは確実に押していますか？
- PTTロックがオンになっていませんか？
- ビジー-TX禁止(BCL0機能)がオンになっていませんか？
ビジー-TX禁止(BCL0機能)がオンのときには、信号を受信しているときにPTTスイッチを押しても電波は出ません。信号がなくなるのを待ってからPTTスイッチを押してください。
- 送信周波数はアマチュアバンドになっていませんか？
AMラジオ放送帯/短波帯/FMラジオ放送帯/Air/バンド/TV放送帯/情報無線帯では送信できません。
- 電池パックまたは外部電源の電圧は正常ですか？
電池パックの残量を確認してください。
また、送信時に電圧降下を起こすような電源では、VX-8Dの性能を十分に発揮することはできません。

■キーやDIALツマミを操作できない

- キーロックやDIALロックがオンになっていませんか？

■電池パックが充電できない/充電してもすぐ使えなくなる

- 電池パックを当社指定の充電器で充電していますか？
付属のバッテリーチャージャー(PA-48A)または急速充電クレードル(CD-41)で充電してください。また外部電源で充電する場合はシガープラグ付き外部電源アダプター(SDD-13)または外部電源ケーブル(E-DC-6)を使用してください。
- 消耗した電池パックを使用していませんか？
充電中に“充電エラー”がディスプレイに出た場合は、電池パックが過放電している場合があります。数回充電を繰り返して何度も表示が出る場合は、電池パックの寿命または不良と考えられます。電池パックは消耗品ですので、早期に新しい電池パックと交換してください。電池パックは約300回充電を繰り返して使用することができます。

同時受信時の組み合わせによって、内部発振器の高周波による内部ビート等の影響がありますが、故障ではありません(下記計算式参照:nは任意の整数)。また、同時受信時に周波数の組み合わせによっては、受信感度の変動がある場合があります。

- 受信周波数=9.8304MHz × n 倍
- 受信周波数=11.7MHz × n 倍
- 受信周波数=4.9152MHz × n 倍
- 受信周波数=6.144MHz × n 倍
- 上段側(A/バンド)の周波数=(下段側(B/バンド)の周波数 ± 46.35MHz) × n 倍
- 下段側(B/バンド)の周波数=(上段側(A/バンド)の周波数 ± 47.25MHz) × n 倍 @上段側(A/バンド)MODE=FM
- 下段側(B/バンド)の周波数=(上段側(A/バンド)の周波数 ± 45.8MHz) × n 倍 @上段側(A/バンド)MODE=WFM

索引

記号	◎スイッチ	10
	Ⓕスイッチ	29
	*キー (DTMF)	32, 144
	#キー (DTMF)	32, 144
	☒キー	31
	▲キー	13, 24, 58, 72
	▼キー	13, 24, 58, 72
A	A キー (DTMF)	32, 144
	A / バンド	11, 24
	AF-DUAL 機能	121
	AM アンテナの切り替え	15, 123
	AM 放送を聴く	15, 121
	APD 機能	162
	APRS®/GPS セットモード動作一覧表	112
	APRS®/GPS セットモード番号順一覧表	111
	APRS MESSAGE 画面とキ説明	102
	APRS® ビーコンを受信する	82
	APRS® ビーコンを送信する	96
	APRS® ビーコン画面とキー操作の説明	82
	APRS® ヘルプリスト	120
	APRS® ボーレートの設定	78
	APRS® メッセージの画面とキ説明	102
	APRS® メッセージを送信する	107
	APRS® 運用の初期設定の流れ	74
	APRS® の初期設定	74
	APRS® 機能を使う	74
	ARTS キー	25, 146
	ARTS™ 機能	146
	ATT 機能	166
B	B キー (DTMF)	32, 144
	B / バンド	11, 24
	BAND キー	12, 25
	BAND を選ぶ	12
	BCLD 機能	164
	BH-1A	66
	BH-2A/BH-1A 用専用充電レドール (CD-40)	66, 212
	BH-2A	66, 212
	Bluetooth® の初期設定 (ペアリング操作)	67
	Bluetooth® ヘッドセットで運用できる時間の目安	66
	Bluetooth® ヘッドセットの使い方	68
	Bluetooth® ヘッドセットの充電方法	66
	Bluetooth® ヘッドセットの送信切り替え方法の設定	69
	Bluetooth® ヘッドセットを使う	65
	Bluetooth® ユニット "BU-2" の取り付け	65
	Bluetooth® 機能を使う	65
	BNC-SMA 変換コネクタ (CN-3)	212
	BND DN キー	13, 24
	BUSY インジケータを OFF にする	158
C	C キー (DTMF)	32, 144
	CD-40	66, 212
	CD-40 用バッテリーチャージャー (PA-46A)	66, 212
	CD-41	6, 212
	CD-41 用バッテリーチャージャー (PA-46A)	6, 212
	CN-3	212
	CODE キー	139, 212
	CSC-93 ソフトケース	212
	CT-131	212
	CT-134	197, 212
	CT-136	71, 212
	CT-M11	196, 212
	CW ID 機能	145
	CW トレーニング機能	172
	CW 学習機能	170
D	D キー (DTMF)	32, 144
	DCS サーチ	150
	DCS 機能	148

	DIAL ツマミ	10, 13, 24
	DTMF 機能	142
	DW キー	25, 140
E	EAI 機能	124
	EAR 端子 (ステレオイヤホン用)	24
	E-DC-6B	212
	EMG キー	25, 128
	EXT DC IN 端子	8, 9, 24
F	F/W (ファンクション) キー	24
	FBA-39	7, 212
	FEP-4	68, 212
	FGPS-2	70, 212
	FM アンテナの切り替え	123
	FM 放送を聴く	15, 121
	FNB-101L1	5, 6, 212
	FNB-102L1	5, 6, 212
	FRG	32
G	GPS アンテナ接続アダプター (CT-136)	71
	GPS アンテナユニットの取り付け	70
	GPS アンテナユニット (FGPS-2)	70
	GPS とは?	72
	GPS の測位方法	72
	GPS 画面の説明と操作	73
	GPS 機能を使う	70
	GPS 機能を使う	72
H	HM キー	25, 40
I	IPX7	20
J	JR 以外の空線信号音を消す	51
	JR の空線信号音を消す	51
	JR 鉄道無線を聴く	50
	JR 鉄道無線周波数一覧表	50, 203
M	MENU キー	16, 24, 180
	MH-74AA	70, 212
	MHz キー	13, 24
	MIC/SP 端子	24
	MODE キー	12, 25
	MONI スイッチ	24
	MT キー	25, 41
P	PA-48A	6, 212
	PTT スイッチ	14, 24
R	R/H キー	30
	RADIO キー	15, 25
	RAW / バットデーターの表示	94
	RPT キー	30
	RV キー	25, 30
S	SC-M キー	12, 40
	SDD-13	8, 212
	SET キー	180
	SKIP キー	61
	SmartBeaconing を設定する	98
	SP Bnk キー	25
	SPS キー	25
	SP-ANA キー	25, 133
	SQ TYP キー	25
	SRG	37
	STEP キー	25, 28
	S メータースケルチ機能	147
T	TOT 機能	162
	TV チャンネル周波数一覧表	202
	TV 放送を聴く	15, 49
	TV 専用メモリーで TV 放送を聴く	49
	TXPO キー	25, 27

索引(つづき)

V	V/Mキー	25, 39
	VFO スキャン	58
	VOL スイッチ	10, 24
	VOX 機能	165
W	WiRES で交信する	31
	WiRES ID メモリー	33
あ	アンテナターミネーション機能	166
	アマチュア無線局免許申請書類の書きかた	210
	安全上のご注意	18
	アンテナ端子(SMA)	24
	アンテナを取り付ける	4
い	イヤホンアンテナ	123
	イヤホン BH-1A ステレオ用(FEP-4)	68
	インターネットキー	25, 31
	インターネットキーの動作をマイキーに変更する	169
え	エマージェンシー機能	128
お	オフタイマー機能	161
	オプション	212
	オープニングメッセージ	166
	オールリセット	29
	オンタイマー機能	161
	音声で自動放送する(VOX 機能)	165
	音声をミュートする	27
	温度表示機能	134
	温度・気圧・高度3種類を表示	160
	音量の設定方法を変更する	159
	音量を調節する	10
か	外部電源端子	8, 9
	外部電源用ケーブル(E-DC-6)	9, 212
	各部の名称と操作	24
	各部の名称と働き	24
	かんたん操作	4
	乾電池ケース“FBA-39”の使いかた(オプション)	7
き	キー操作早見表	219
	気圧表示機能	135
	急速充電用クレードル(CD-41)	6, 212
	救急無線周波数表	57
	救急無線を聴く	56
く	空線スケルチ機能	51
	クローン操作	197
	クローンケーブル(CT-134)	197, 212
け	消したメモリーを復活する	41
こ	交信してみよう	10
	高度表示機能	135
	国際VHF(マリン)無線周波数表	52
	国際VHF(マリン)無線を聴く	52
	故障かな?と思ったら	213
	好みのベル音をつくる	153
	コネクションケーブル(CT-M11)	196, 212
し	シガープラグ付きDCアダプター(SDD-13)	8, 212
	自局コールサインの設定	77
	自局シンボルの設定	79
	指定した時間に電源をオフする	161
	指定した時間に電源をオンする	161
	指定メモリー	61
	自動的に電源をオフする	162
	市販のバンドストップを取り付ける	5
	周波数の使用区分	209
	“受信/送信”詳細画面とキー説明	102
	受信セーブ機能	163
	受信感度を下げる	166
	受信信号の波形表示機能	134

	受信中に誤って送信しないようにする	164
	照明の点灯条件を変更する	158
	消防無線周波数表	57
	消防無線を聴く	56
	状態が変わらないようにロックする	29
	周波数帯を選び	12
	周波数をあわせる	13
	準備しよう	4
	使用時間の目安と残量表示	7
	車載用外部電源“SDD-13”を接続する(オプション)	8
	新ページャー機能	154
	シンボルの直接入力	80
す	スキップサーチメモリー	59
	スキップメモリー	61
	スクリーンオフ時の受信方法を設定する	59
	スクリーンを使う	58
	スケルチのレベルを調節する	28
	スタグダードバンド用4ピンマイク変換アダプター(CT-131)	212
	ステータステキストの入力	99
	ステレオイヤホン端子(EAR端子)	24
	ストロボをライトとして使用する	158
	スプリットメモリー	39
	スペクトラムスコープ機能	133
	スペシャルバンク	48
	スマートサーチ	130
せ	世界各地の放送を聴く	53
	セットモード	16
	セットモード(APRS/GPS)	112
	セットモードの動作一覧表	180
	セットモードの非表示設定	180
	セットモードリセット	180
	セットモード項目別一覧表	178
	セットモード番号順一覧表	174
そ	操作音がならないようにする	159
	操作音の音量を設定する	159
	送信する	14
	送信セーブ機能	163
	送信出力を切り替える	27
	ソフトケース(CSC-93)	212
た	タイマー機能(オンタイマー)	161
	タイマー機能(オフタイマー)	161
	多彩なメモリー機能	38
	単三角形アルカリ乾電池(3本)ケース(FBA-39)	7, 212
ち	チャンネルカウンター	129
て	定格	217
	定型メッセージの登録	109
	ディスプレイの説明	26
	デジタールルートの設定	101
	釣道無線を聴く	50
	テレビ放送を聴く(アナログ)	49
	デュアルレシーブ(DWR)機能	140
	テンキーの説明	25
	電源ケーブル“E-DC-6”を接続する(オプション)	9
	電源電圧表示機能	133
	電源を入れたときの表示を変える	166
	電池パックを取り付ける	5
	電池パックを充電する	6
	電池パック(FNB-101L1)	6, 212
	電池パック ロングライフ(FNB-102L1)	212
	電波を発射する前に	21
	電源キー	10, 24
	電源を入れる	10
	電池パックについて	6

索引(つづき)

と	盗聴器発見機能サーチ	132
	同梱品を確認する	23
	特長	22
	特定小電力無線を聴く	54
	特定小電力無線周波数表	54
	時計の設定(APRS®)	75
	時計をセットしよう	17
	トーンスケルチサーチ	149
	トーンスケルチ機能	148
は	バッテリーアイコン表示	7, 26
	バッテリー使用時間	7
	波形表示機能	134
	パケット通信に使う	196
	パスワード機能	157
	バーアンテナ	15, 123
ひ	ビーコンを送信する	96
	ビーコンを受信する	82
	ビーコンの自動送信間隔設定	96
	ビーコンの手動送信 / 自動送信の切り替え	96
	ビーコン局をリストから削除する	93
	必要に応じて使う機能	157
ふ	ファンクションスイッチ	24
	プライオリティパート	141
	付録	198
	プログラマブルメモリスキャン(PMS)	64
へ	ベージャ機能	154
	ベル機能	152
	“編集”画面とキー説明	103
	返信機能	108
	変調信号の波形表示機能	134
	便利なスペシャルバンク	48
ほ	ホームチャンネルを呼び出す	40
	防水型スピーカーマイク(MH-T4A7A)	70, 212
	防水機能(IPX7 相当)	20
	ポジションコメントの選択	100
	放送局周波数一覧表	198
ま	マイキー	169
	マイクゲイン	164
	マイバント機能	168
	マニュアルでステップを切り替える	28
	マニュアルでモードを切り替える	29
	マリンバンドを聴く	52

め	メッセージ機能	136
	メッセージの作成と送信(APRS)	107
	メッセージの受信確認データ(ACK)	110
	メッセージを受信する	104
	メッセージをリストから削除する(APRS)	106
	メモリーオンリーモード	167
	メモリー構成	38
	メモリスキャン	60
	メモリータグを使う	42
	メモリーチューン機能	41
	メモリーに名前をつける	42
	メモリーに書き込む	39
	メモリーバンクスキャン	62
	メモリーバンクに名前をつける	46
	メモリーバンクリンクスキャン	63
	メモリーバンクを使う	44
	メモリーを呼び出す	40
	メモリーを使う	38
	メモリーを消す	41
も	モニタースイッチ	24
	目次	2
	文字コード一覧表	204
ら	ラジオを聴いてみよう	15
	ラジオを聴きながら他の周波数を 同時受信する(AF-DUAL 機能)	121
	ラジオ受信の再開時間の設定	122
り	リセット(オールリセット)	29
	リセット(セットモードリセット)	180
	リチウムイオン電池について	6
れ	レピーターで交信する	30
	連続送信時間を制限する	162
ろ	ロック(🔒)	29
わ	ワイヤレスマイクを聴く	55

定 格

■一般定格

送受信可能周波数範囲 : 送信周波数範囲 50~54MHz, 144~146MHz, 430~440MHz
: 受信周波数範囲 504kHz~999.900MHz(一部周波数を除く)
送受信周波数ステップ : 5/6.25/8.33/9/10/12.5/15/20/25/50/100kHz (Airバンドに限り, 8.33kHzを選択することができます)
(AMラジオ放送帯に限り, 9kHzおよび10kHzを選択することができます)

電波型式 : F3E, F2D, F2A, A3E, F1D
通信方式 : 単信方式
周波数偏差 : ±5ppm以内(-10°C~+50°C)
アンテナインピーダンス : 50Ω
電 源 : 定格 DC7.4V(電池/パックFNB-10 1LI/102LI 使用時), マイナス接地
DC4~14V, マイナス接地
動作可能範囲(外部電源入力) DC11~16V, マイナス接地(SDD-13使用時)

消費電流 : 受信定格出力時 モノバンド:約200mA デュアルバンド:約240mA
受信スクルーチ時 モノバンド:約85mA デュアルバンド:約120mA
受信バッテリーセーブ時(受信1:セーブ5) モノバンド:約35mA デュアルバンド:約42mA
AM/FMラジオ受信時 モノバンド:約85mA
電源オフ時(APO) 約300μA
50MHz帯送信時(5W):約1.6A, 144MHz帯送信時(5W):約1.7A, 430MHz帯送信時(5W):約1.9A

使用温度範囲 : -20°C~+60°C
ケース寸法 : 幅60×高さ95×奥行き24.2mm(突起物を含まない)
本体重量 : 約240g(アンテナ, 電池/パックFNB-10 1LIを含む)

■送信部

送信出力 : 5W(13.8V入力時:電池/パックFNB-10 1LI/FNB-102LI)
FM:5W(50/144/430MHz帯, (L3:2.5/L2:1.0/L1:0.05W切り替え可能, DC7.4V入力)
AM:1W固定(50MHz帯)
50/144MHz/430MHz帯:1W(単三形アルカリ電池ケースFBA-39使用時)

変調方式 : FM:リアクタンس変調, AM:終段低電力変調
最大周波数偏移 : ±5kHz(10Cおよびスプラッターフィルター付き)
占有周波数帯域 : FM:16kHz以内, AM:6kHz以内
不要輻射強度 : 1W以上 60dB以下, 1W未満 50dB以下
マイクロホンインピーダンス:約2kΩ(エレクトレットコンデンサ型)

■受信部

受信方式 : AM/NFM:ダブルコンバージョンスーパーヘテロダイン, WFM:トリプルコンバージョンスーパーヘテロダイン
AMラジオ/FMラジオ:シングルコンバージョンスーパーヘテロダイン

中間周波数 : AM/NFM時(A/バンド):第一IF周波数47.25MHz, 第二IF周波数450kHz
WFM時(A/バンド):第一IF周波数45.8MHz, 第二IF周波数10.7MHz, 第三IF周波数1MHz
AMラジオ/FMラジオ時(A/バンド):第一IF周波数130kHz
NFM時(B/バンド):第一IF周波数46.35MHz, 第二IF周波数450kHz

受信感度 : A/バンド 0.5~30MHz(AM) 3μV @10dB SN
30~54MHz(NFM) 0.35μV typ @12dB SINAD
54~76MHz(NFM) 1μV typ @12dB SINAD
76~108MHz(FMラジオ, TV(1ch~3ch)) 1.5μV typ @12dB SINAD
108~137MHz(AM) 1.5μV typ @10dB SN
137~140MHz(NFM) 0.2μV @12dB SINAD
140~150MHz(NFM) 0.16μV @12dB SINAD
150~174MHz(NFM) 0.2μV @12dB SINAD
174~222MHz(WFM) 1μV typ @12dB SINAD
300~350MHz(NFM) 0.5μV @12dB SINAD
350~400MHz(NFM) 0.2μV @12dB SINAD
400~470MHz(NFM) 0.18μV @12dB SINAD
470~540MHz(WFM) 1.5μV @12dB SINAD
540~800MHz(WFM) 3μV typ @12dB SINAD
800~999MHz(NFM) 1.5μV typ @12dB SINAD
B/バンド 50~54MHz(NFM) 0.18μV typ @12dB SINAD
144~146MHz(NFM) 0.18μV @12dB SINAD
430~440MHz(NFM) 0.2μV @12dB SINAD

通過帯域幅 : NFM, AM:12kHz以上/-6dB WFM:200kHz以上/-6dB
選択度 : NFM, AM:35kHz以上/-60dB WFM:300kHz以下/-20dB
低周波定格出力 : 200mW以上(@7.4V), 400mW以上(13.8V)(8Ω, THD10%)
低周波出力インピーダンス:8Ω
副次的に発生する電波等の強度:4mV以下

定格値は常温・常圧時の値です。

キー操作早見表

キー & スイッチ	短く押す	約 1 秒以上押す	 を押した後各キーを押す
PTT	送信	—	一時/ハイ/パワー送信
 MONI/FCALL	スケルチオフ	—	スケルチレベル設定
 VOL	—	音量調節 (押えたら DIAL をまわす)	音量調節 (DIAL が音響用)
 FW	ファンクション	メモリー書き込み	—
 A	操作/バンド上段へ移動 表示/バンドの倍角表示 オン/オフ	デュアル受信 オン/オフ	—
 B	操作/バンド下段へ移動 表示/バンドの倍角表示 オン/オフ	デュアル受信 オン/オフ	—
	周波数 UP	スキャン UP	1MHz UP
	周波数 DWN	スキャン DWN	1MHz DWN
 MENU	GPS→APRS→APRSMESSAGE→周波数表示	セトモード	—
 SC-MBAND/DL BAND	バンド切り替え (アップ)	スキャンモード切り替え	バンド切り替え (ダウン)
 EMG R/H HM/RV	ホームチャンネル呼び出し	エマージェンシー オン/オフ	リバーズ オン/オフ
 TX PO	マイキー	—	送信出力切り替え
	キーロック オン/オフ	電源オン/オフ	—
 STEP 1	1を入力	—	ステップ幅変更
 CODE 2 ABC	2を入力	—	トランスカド、DSSコード、ベシコード、メモリー変
 DTMF 3 DEF	3を入力	—	DTMF メモリーの選択
 ARTS 4 GHI	4を入力	—	ARTS 機能
 SKIP 5 JKL	5を入力	—	スキップメモリーの設定
 RPT 6 MNO	6を入力	—	レピーター機能の選択
 AF-DUAL 7 PQ RS	7を入力	—	AF デュアル オン/オフ
 SP-ANA 8 TUV	8を入力	—	スベアナ オン/オフ
 SP-BNK 9 WXYZ	9を入力	—	特殊メモリー
 RADIO 0	0を入力	—	ラジオ切り替え(A/バンド時)
 SPS SQ TYP MODE	電波型式切り替え	メモリーバンド呼出し(押えたら DIAL をまわす)	スケルチタイプ切り替え(DIAL をまわす)
 DW MT V/M	VFOモード/メモリーモード切り替え	デュアルループ開始	メモリーチューンモードに移行 (メモリーモード時)

YAESU

The radio

本製品または他の当社製品についてのお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社カスタマーサポートにお願いいたします。

八重洲無線株式会社 カスタマーサポート

電話番号 0120-456-220

受付時間 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 18:00

©2016 八重洲無線株式会社

無断転載・複写を禁ず

1606Y-FM

八重洲無線株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル

